

青森県埋蔵文化財調査報告書 第289集

三内丸山遺跡 XVII

平成 12 年 度

青森県教育委員会

青森県埋蔵文化財調査報告書 第289集

三内丸山遺跡 XVII

—第6 鉄塔地区調査報告書3—

平成12年度

青森県教育委員会

序

青森市に所在する三内丸山遺跡は、青森県総合運動公園拡張整備事業に係る新県営野球場建設に先立ち、平成4年度から県教育委員会が発掘調査を行ってまいりました。

調査の結果、本遺跡は縄文時代・平安時代・中世の複合遺跡であることが明らかになりました。特に大規模な遺溝、多種多量の出土遺物から縄文時代前期中葉から中期にかけて約1,500年以上継続して営まれた拠点的な集落であり、円筒土器文化を代表する大規模な集落跡であることが判明しました。

本書はその成果の一部をまとめたものですが、今後三内丸山遺跡の解明、及び埋蔵文化財の保護と研究に役立てば幸いです。

最後に、調査及び本書作成にご尽力いただいた関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成12年7月

青森県教育委員会

教育長 佐藤正昭

例 言

- 1 本報告書は、平成4・5年度に実施した県営総合運動公園拡張事業に伴う新野球場建設予定地内の東北電力高压電線の鉄塔移設に係る予定地の発掘調査報告書である。
- 2 本地区は、「第6鉄塔」地区と呼称されている。
- 3 本地区は平成8年度に刊行した「三内丸山遺跡Ⅷ」、平成9年度に刊行した「三内丸山遺跡Ⅸ」の続編で、「調査要項」や「検出遺構」、包含層の「出土遺物」などは既に刊行済みである。
- 4 本遺跡の遺跡番号は01021番である。
- 5 報告書の執筆者名は、文末に付した。
- 6 挿図の縮尺は各図ごとに示した。
- 7 石器・石製品の石質鑑定は、青森県環境生活部県史編さん室山口義伸氏に依頼した。
- 8 原則として、遺物には各ページごとに観察表・計測表を付け、出土地点や層位、その他の特徴を一覧できるようにした。
- 9 縄文原体は、山内清男「日本先史土器の縄文」（先史考古学会 1979）を参考に分類し、記述はそれに従った。ただし、観察表では以下のように省略した。
結節回転文—結回、単軸絡条体○類—単絡○、多軸絡条体—多軸絡
また表中では、縄文原体の回転文の場合は種類のみ、押圧文の場合は種類の後に「押」を付けている。隆帯上の施文文様は「隆帯」の後に括弧書きした。
- 10 石質は以下のとおり略称する。
玉—玉髓、頁—頁岩、玉珪—玉髓質珪質頁岩、珪頁—珪質頁岩、黒—黒曜石、鉄—鉄石英、凝—凝灰岩、砂—砂岩、安—安山岩、流—流紋岩、閃—閃緑岩、緑細凝—緑色細粒凝灰岩、細凝—細粒凝灰岩、溶凝—溶結凝灰岩、軽—軽石
- 11 発掘調査における出土遺物・実測図・写真等は青森県教育庁文化課三内丸山遺跡対策室で保管している。
- 12 本報告書の内容である第6鉄塔地区遺構外出土遺物は、これ以前の同内容に関するすべての資料・報文等に優先するものである。

目 次

第 I 章 調査に至る経過と調査要項 (三内丸山遺跡Ⅷ)	
第 II 章 調査の方法と調査の経過 (三内丸山遺跡Ⅷ)	
第 III 章 遺跡の概要 (三内丸山遺跡Ⅷ)	
第 IV 章 遺跡の環境 (三内丸山遺跡Ⅷ)	
第 V 章 中・近世の検出遺構 (三内丸山遺跡Ⅷ)	
第 VI 章 縄文時代の検出遺構と遺物 (三内丸山遺跡Ⅷ・Ⅸ)	
第 VII 章 自然科学的調査 (三内丸山遺跡Ⅸ)	
第 VIII 章 考察 (三内丸山遺跡Ⅸ)	
第 IX 章 遺構外出土遺物	1
第 1 節 土 器	1
第 2 節 石 器	14
第 3 節 土・石製品	79
第 4 節 骨 角 器	83
第 X 章 補 遺	89
写真図版	93

第Ⅸ章 遺構外出土遺物

第1節 土 器

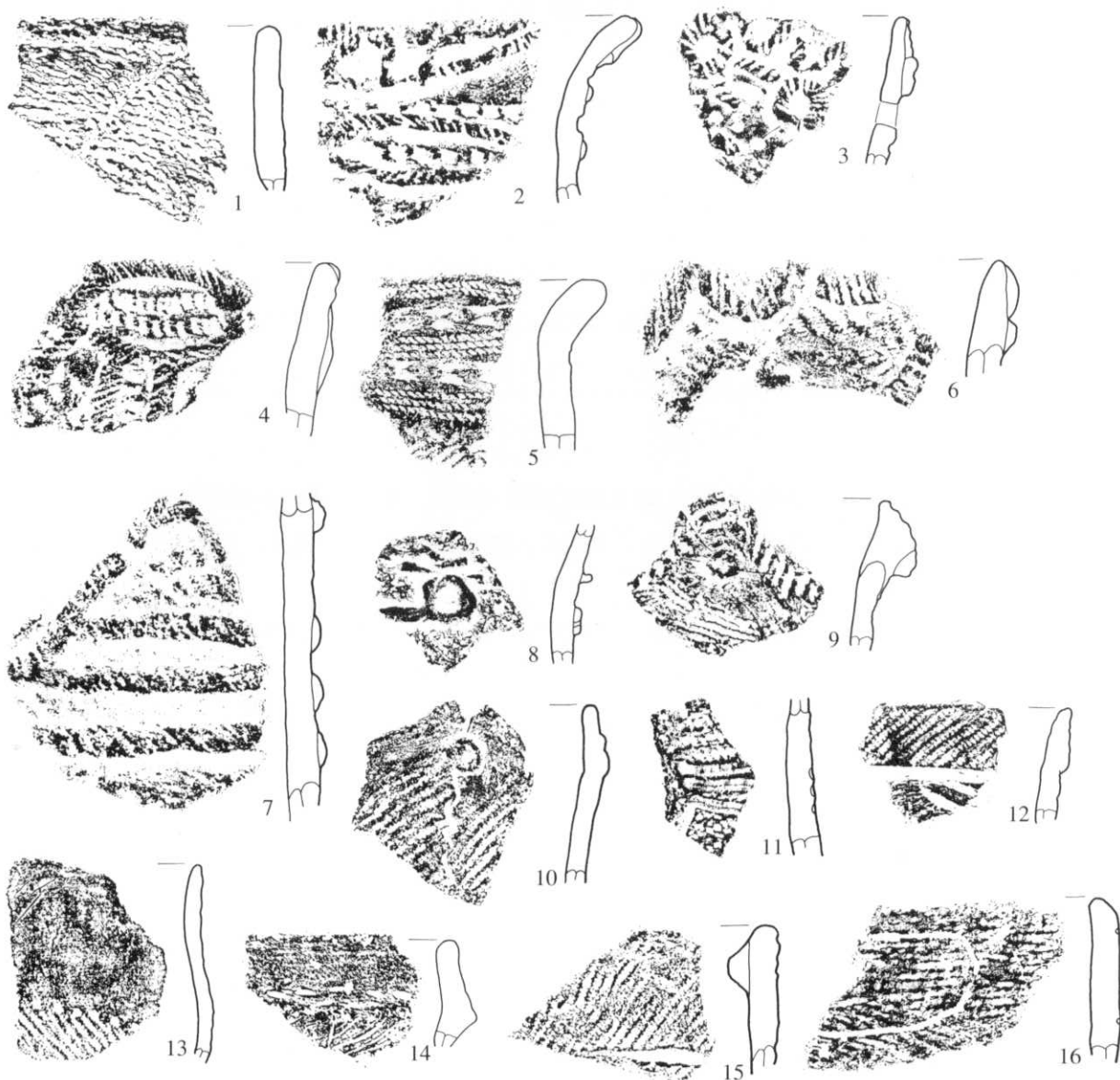
ここでは遺構外出土遺物として、第Ⅰ層・第Ⅱ層出土遺物を扱う。両層とも遺物の出土量は少なく、散発的な出土状況を示す。ただし、第Ⅱ層は大木10式併行土器が主体であるため、各層を分けて記述する。また、先行トレンチなどで調査した際、出土層位が不明なものもある。それについても、この節中で扱うことにする。

(1) 第Ⅰ層 (1図・2図)

土器は段ボール箱で1箱分出土した。縄文時代前期・中期、平安時代の土器が出土しているが、量的に主体を占めるは縄文時代中期末のものである。縄文土器は風化が進み、文様が不明なものが多い。

1は円筒下層b式で、口縁部に単軸絡条体回転が施される。2～5は円筒上層c式で、粘土紐の貼付と刺突が観察される。3は円形の貼付と貫通孔がある。5は貼付はないが、刺突と原体の押圧から、これに含めた。6～8は円筒上層d式で、地文上に粘土紐が貼付けられる。9～11は円筒上層e式で、9・10は山形口縁部である。波頂部には、9が円形の、10は環状の貼付がつく。10の波頂部は二又に分かれ、貼付以下は結節回転文が縦走する。12～14は最花式で、口縁部は12が折り返し口縁、13・14が無文帯でその下に刺突が巡る。15～25は大木10式併行期の土器で、15～20は口縁部である。15・16は縄文地に沈線が、17～20は無文帯の下に沈線と磨消縄文が施されるものである。19は内面へ折り返し口縁で、ヒレ状突起もつく。20はリング状の突起である。21～25は胴部片で、23は磨消縄文、それ以外は縄文地に沈線で文様が描かれる。26～28は中期末葉ぐらいの底部片で、底面に26は十字方向のナデ、27・28は網代痕がつく。29・30は平安時代のもので、29は土師器甕の底部で木葉痕がつく。30は須恵器壺?の底部付近である。

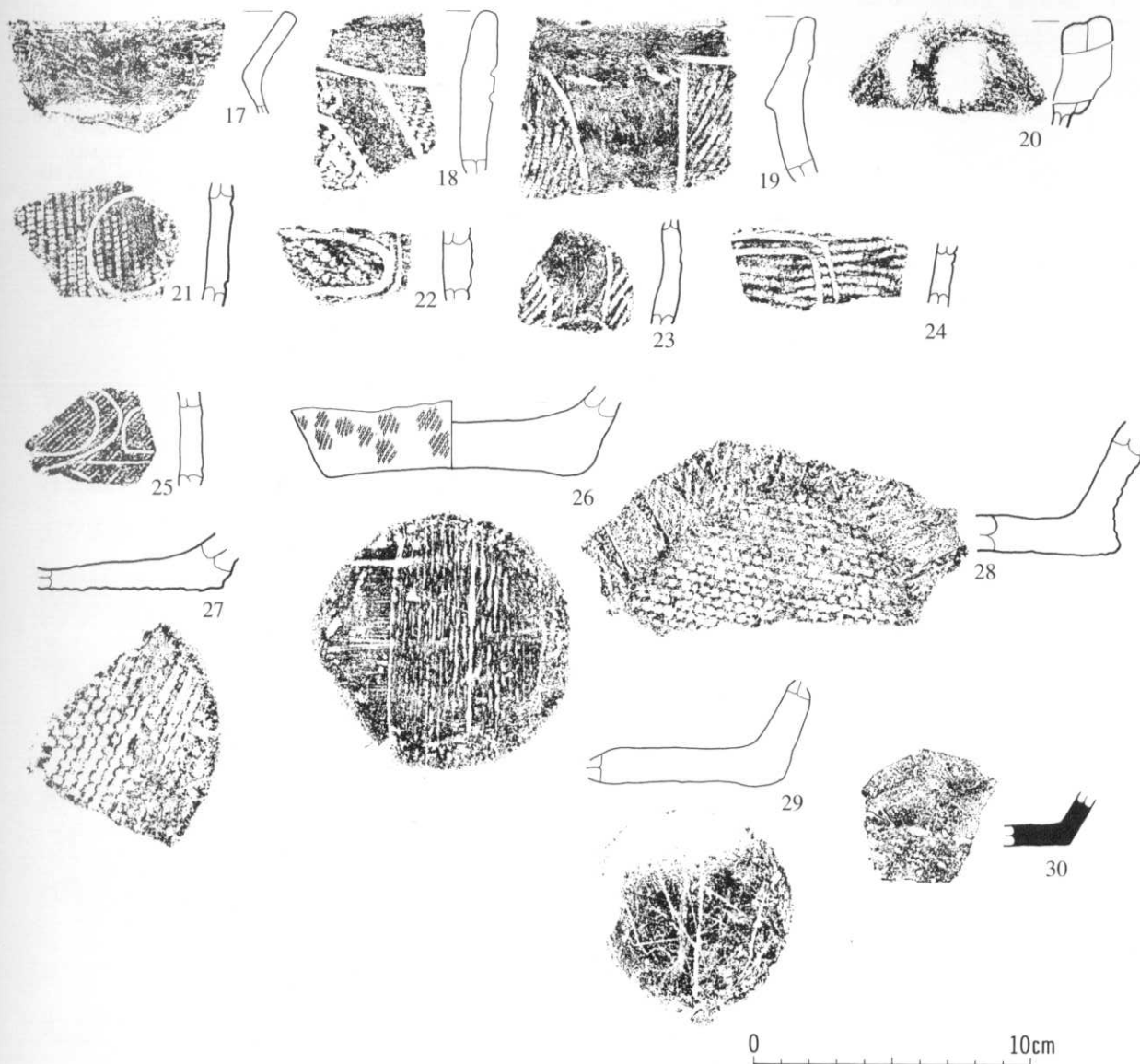
(小笠原 雅行)



0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	VII H-76	I	L単縁I, R L押(横、斜)			ミガキ	II-3		
2	VII F-74	〃	貼付(L押)、刺突			〃	III-3		
3	〃	〃	貼付(L押)、刺突、貫通孔			〃	〃		
4	VII F-75	〃	〃			〃	〃		
5	VII H-76	〃	L押、刺突			〃	〃		
6	VII F-74	〃	R L、貼付(L押)			〃	III-4		
7	〃	〃	〃			〃	〃		
8	VII G-74	〃		絡束第1種?、貼付		〃	〃		
9	〃	〃	口唇肥厚、ボタン状貼付、R押	R L		〃	III-5		
10	〃	〃	環状貼付、L R、R結回(縦)			ナデ	〃	波頂部二又状	
11	VII F-74	〃		L R、沈線		ミガキ	〃		
12	VII F-75	〃	折返口縁(L R)、L R、沈線			〃	III-9		
13	VII F-74	〃	無文帯	円形刺突、R L		〃	〃		
14	VII G-74	〃	〃、横位刺突	沈線		〃	〃		
15	VII F-74	〃	波状口縁、L R、沈線			〃	III-10	波頂部内面に八状貼付	
16	VII G-74	〃	L R、沈線			ナデ	〃	口唇外剥ぎ状	

1 図 第 I 層出土土器 (1)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
17	VII G-74	I	無文			ミガキ		III-10	口唇外反
18	〃	〃	無文、沈線、RL、刺突			ナデ		〃	内面に軽い段
19	VII F-74	〃	〃、〃、〃			ミガキ		〃	内面ヒレ状突起、折返口唇状
20	〃	〃	リング状把手					〃	
21	VII G-74	〃		RL (縦)、環状沈線		ミガキ		〃	
22	VII F-75	〃		RL、沈線				〃	
23	VII G-75	〃		沈線、RL (縦)		ナデ		〃	
24	VII F-75	〃		LR、沈線		ミガキ		〃	
25	〃	〃		〃、〃		〃		〃	
26	VII G-74	〃			RL		ナデ	III-11	
27	〃	〃			R単絡I	ナデ	網代痕	〃	
28	VII G-76	〃			LR		〃	〃	

番号	出土地点	層位	種類	器種	法量 (cm)			外面調整			内面調整			底面	分類	備考
					口径	器高	底径	口縁部	体部上半	体部下半	口縁部	体部上半	体部下半			
29	VII G-74	I	土師	甕						ケズリ			ケズリ	木葉痕	VIII	
30	VII F-75	〃	須恵	壺						〃					〃	

2 図 第 I 層出土土器 (2)

(2) 第Ⅱ層 (3 図～6 図)

土器は段ボール箱で3箱分出土した。縄文時代中期末葉のものが主体で、それ以前の土器が若干出土した。復元し得るものは無く、すべて破片資料である。主に調査区北東側から出土している。

1 は円筒上層c式で、逆「の」の字状の貼付や刺突がある。2 は2条の横位貼付と橋状把手がつけられる。榎林式以後のものである。3・4 は最花式で、口縁部に無文帯がある。5～23は大木10式併行期の土器である。5～13の口縁部以下は沈線で区画した内部に縄文が施されるものである。5～9は口縁部に無文帯が巡るものである。9は波状口縁である。10は口縁部に2条の貼付がある。11～13はヒレ状突起がつくもので、11は突起の下に横位に、12は波状口縁部に横位につけられる。11は内面に貼付が巡り、突起部と連結する。この横位の貼付のため、口唇部上面が凹状になる。12は内面にもヒレ状突起がつき、その下に沈線が1条巡る。13はヒレ状突起部分の内面に円形の貼付がつく。14は波状口縁で外面は無文、内面は折り返し口縁と波頂部から縦位のヒレ状突起の組み合わせになる。15～21は刺突も施されるものである。15は波頂部に内外面からリング状の貼付が合わされたような形状で、中心に貫通孔がある。縄文が施文される部分は、沈線と短刻線状の刺突で区画される。17・18は波状口縁で、波頂部を中心に円形さらには弧状に刺突が施される。19～21は円形ないし弧状に区画された部分の周囲に刺突が施される。20・21は縄文が施されるが、19には無く、区画内部全体に短刻線状の刺突が施されるものと思われる。22・23は胴部片で、23は全面に地文施文後、沈線で文様が描かれる。24・25は中期後半のものと思われる口縁部片で、24は単軸絡条体、25は縄文が施される。26は帯状の貼付後、全面に縄文が施される。天祐寺式の系統のものであろうか。27～45は底部片である。27～44までが網代痕が付く。いずれも「一本越え、一本潜り、一本送り」である。繊維の幅は3～5mmである。45はスグレ状圧痕である。

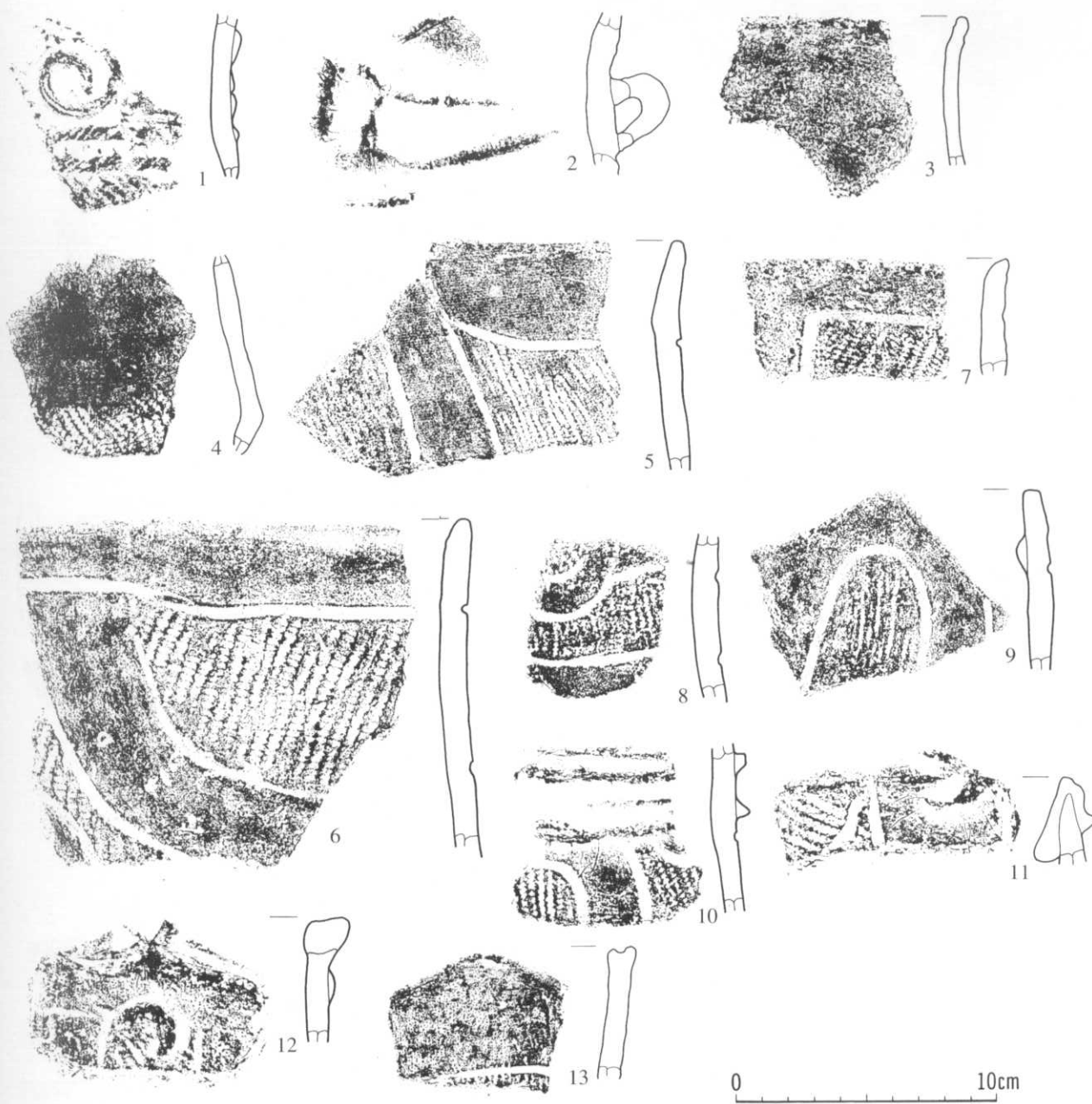
(小笠原 雅行)

(3) 出土層位不明 (7 図～11 図)

土器が段ボール箱で約10箱分である。ここでは破片資料は扱わず、ある程度復元・図示できたもののみを紹介する。

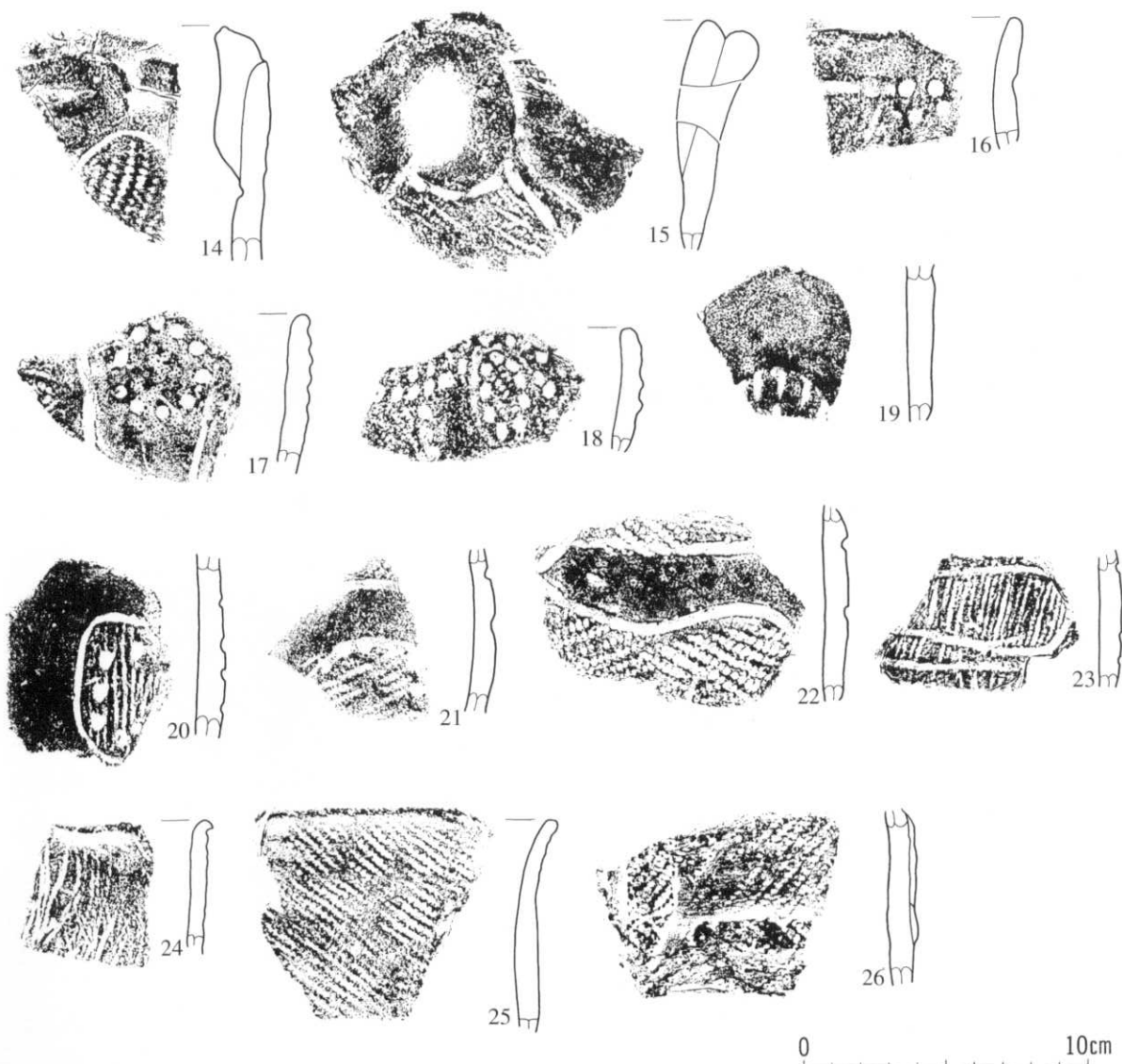
1・2は、口縁部に地文と同じ原体による縄文が施されたものである。頸部には(2には口唇部にも)、横位の原体押圧が巡る。3～6は口縁部に結節回転文が施されるものである。地文は3・4が複節縄文、5が撚り戻し縄文、6が単軸絡条体回転である。7～10は、口縁部に横位の単軸絡条体1類が施されたものである。7・8は頸部に隆帯のないもので、地文は単軸絡条体回転である。9は頸部に太い隆帯があり、地文は撚り戻し縄文である。10は低隆帯が巡り、地文は単軸絡条体1類である。11・12は口縁部に単軸絡条体5類、胴部に単軸絡条体1類が施されたものである。11は口唇部に原体の押圧が、12は頸部に低隆帯が巡る。13～19は口縁部が単軸絡条体6A類、胴部が単軸絡条体1類である。13～15が頸部に原体の押圧が、16～19には低隆帯も巡る。16を除き、口唇部にも原体押圧が巡る。20～22は胴部のみ復元できたもので、単軸絡条体回転である。

(小笠原 雅行)



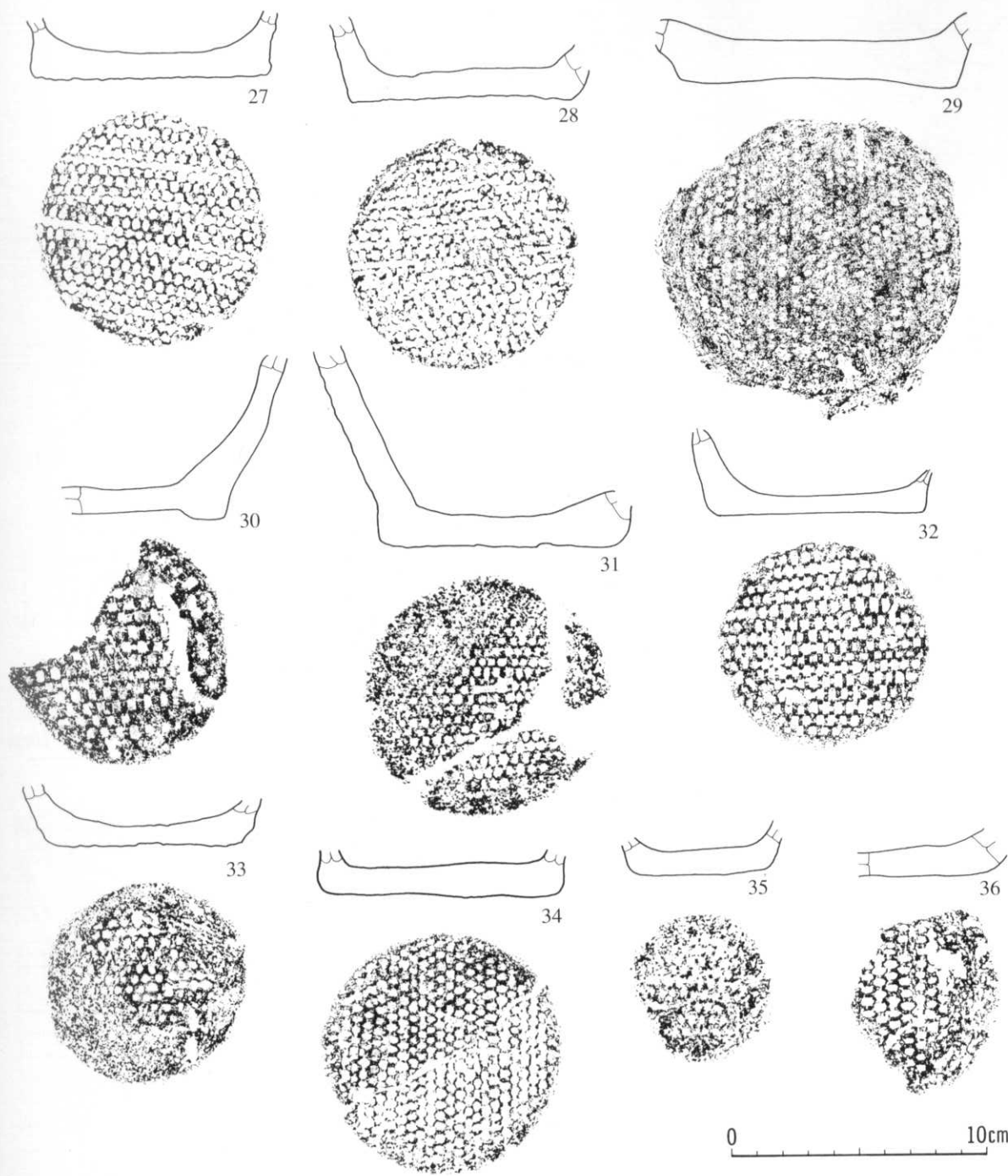
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	VII E-76	II		貼付(L押)、刺突	縄文	ミガキ	III-3		
2	VII E-75	〃	貼付、橋状突手			〃	III-11		
3	〃	〃	無文帯			〃	III-9		
4	VII E-76	〃	〃	RL		〃	〃		
5	〃	〃	無文帯、沈線	沈線、RL		〃	III-10	内面折返状	
6	VII E-75	〃	〃	〃、LR		〃	〃		
7	〃	〃	〃	〃、RL		〃	〃		
8	VII E-76	〃	〃	〃、〃		〃	〃		
9	〃	〃	〃	〃、LR		ナデ	〃	波状口縁、内面折返状波頂部内面に縦貼付	
10	〃	〃	〃、貼付	〃、RL		ミガキ	〃		
11	〃	〃	ヒレ状突起、沈線、LR			〃	〃	ヒレ状突起内面に円形貼付	
12	〃	〃	突起、無文帯、ヒレ状突起	沈線		〃	〃	口唇部上面凹状	
13	VII E-75	〃	波状口縁、無文帯	沈線、縄文?		〃	〃	内面に入状貼付	

3図 第II層出土土器(1)



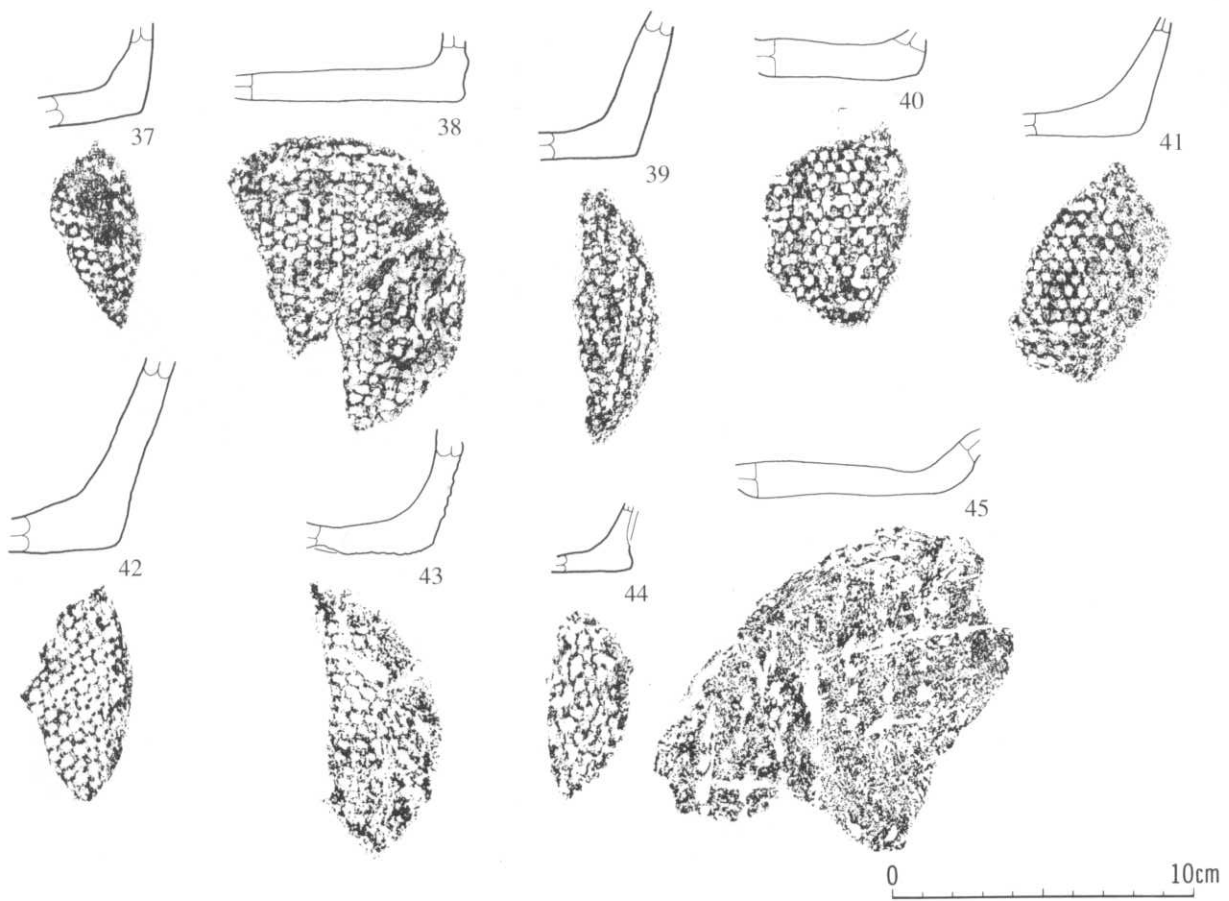
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
14	Ⅶ E-76	Ⅱ	波状口縁、無文帯	沈線、RL		ミガキ	Ⅲ-10	波頂部内面にヒレ状突起	
15	〃	〃	波状口縁、貫通孔、無文帯	刺突、RL		?	〃		
16	〃	〃	無文帯、円形刺突	沈線、縄文?		ナデ	〃		
17	Ⅶ E-75	〃	波状口縁、円形刺突、沈線			ミガキ	〃		
18	Ⅶ E-74	〃	〃、〃			〃	〃	内面に煤状炭化物	
19	Ⅶ E-76	〃	無文帯、沈線、刺突			〃	〃		
20	〃	〃		沈線、LR、刺突		〃	〃		
21	〃	〃		〃、RL、〃		〃	〃		
22	Ⅶ E-76	〃		〃、LR		〃	〃		
23	〃	〃		L単絡1、沈線		ナデ	〃		
24	Ⅶ E-75	〃	R単絡1?			ミガキ	Ⅲ-11	口唇外側へめくれ	
25	Ⅶ F-76	〃	LR			ナデ	〃	口縁若干外反	
26	Ⅶ E-75	〃		带状貼付、RL		ミガキ	天祐寺?		

4 図 第Ⅱ層出土土器 (2)



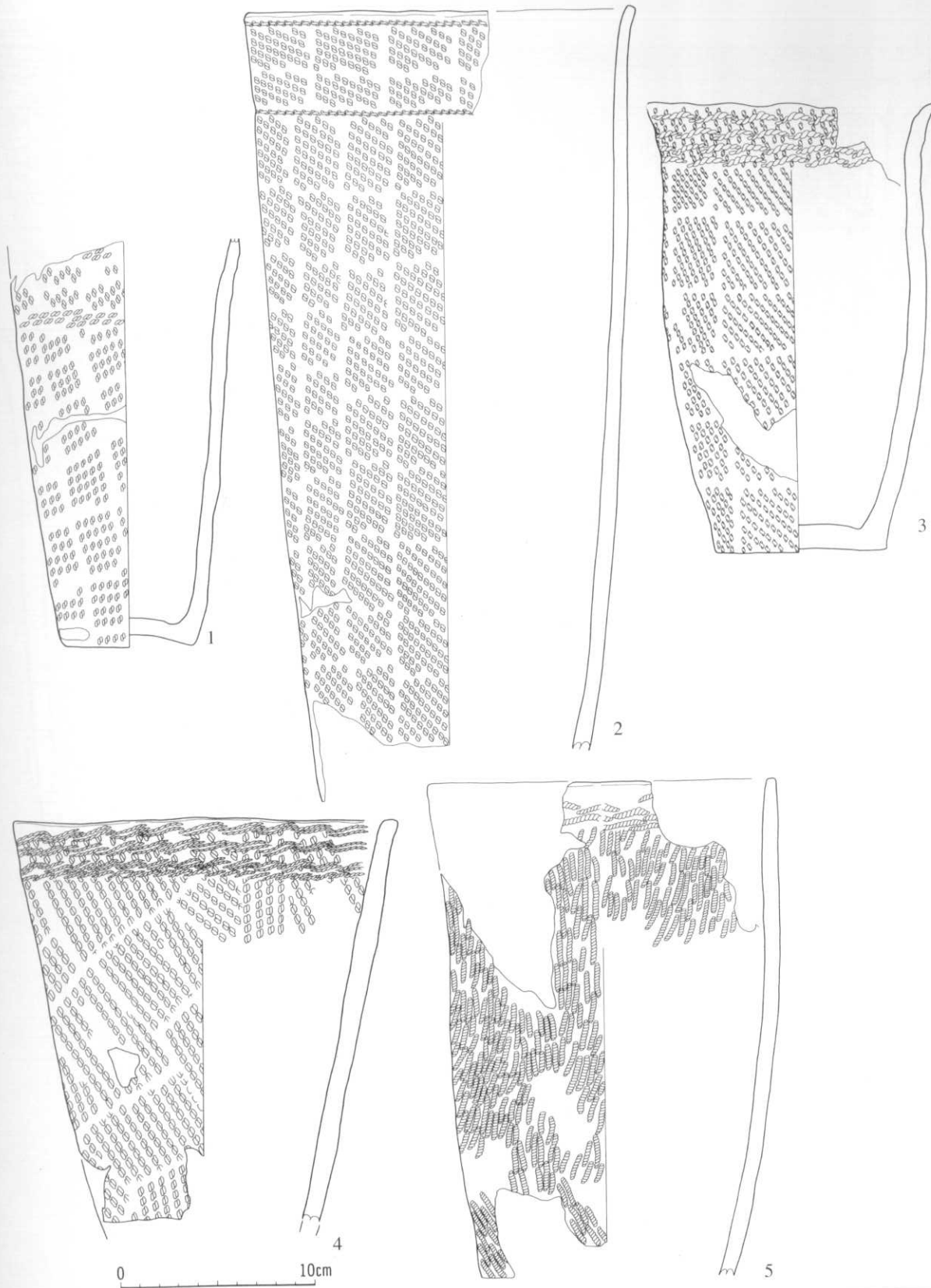
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
27	VII E-75	II					網代痕	III-11	
28	〃	〃					〃	〃	
29	VII F-77	〃					〃	〃	
30	VII F-76	〃			R L		〃	〃	
31	VII E-75	〃			〃		〃	〃	
32	VII E-76	〃					〃	〃	
33	VII E-75	〃					〃	〃	
34	VII F-76	〃					〃	〃	
35	VII F-74	〃					〃	〃	
36	VII E-76	〃					〃	〃	

5 図 第 II 層出土土器 (3)



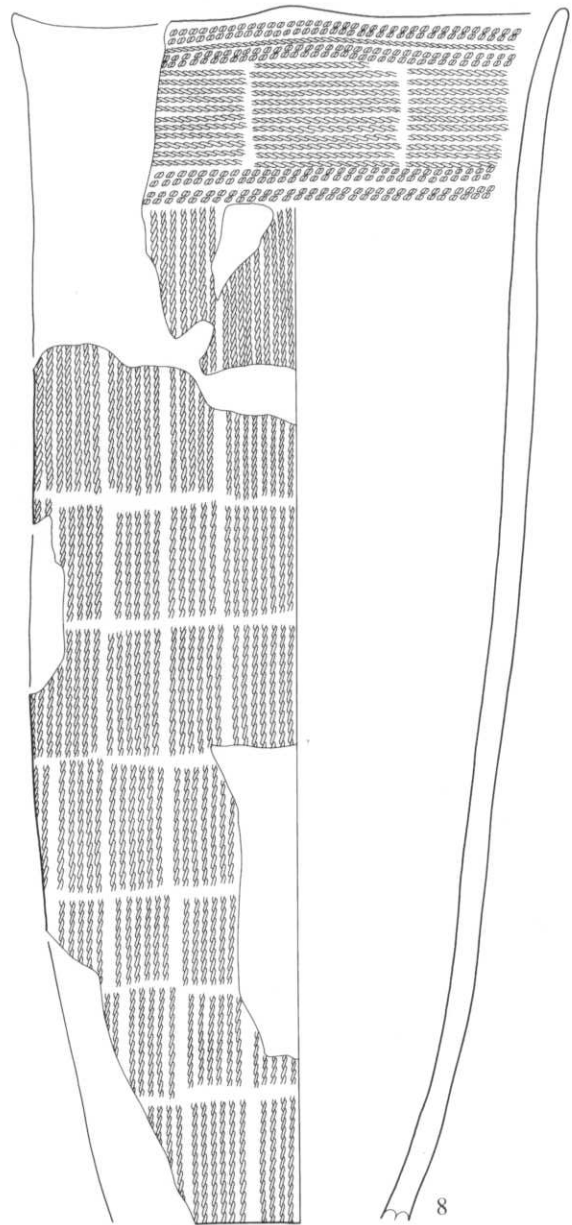
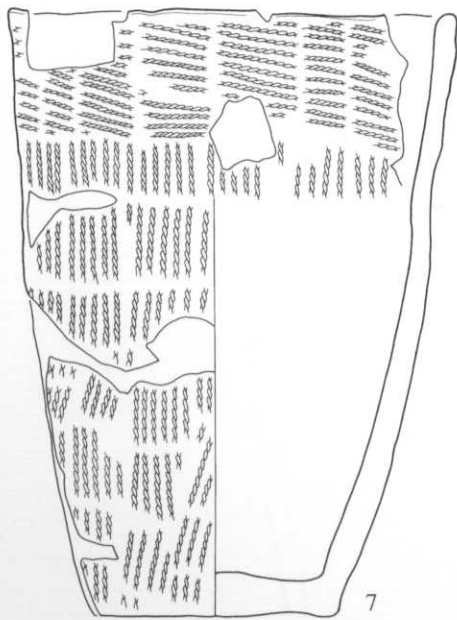
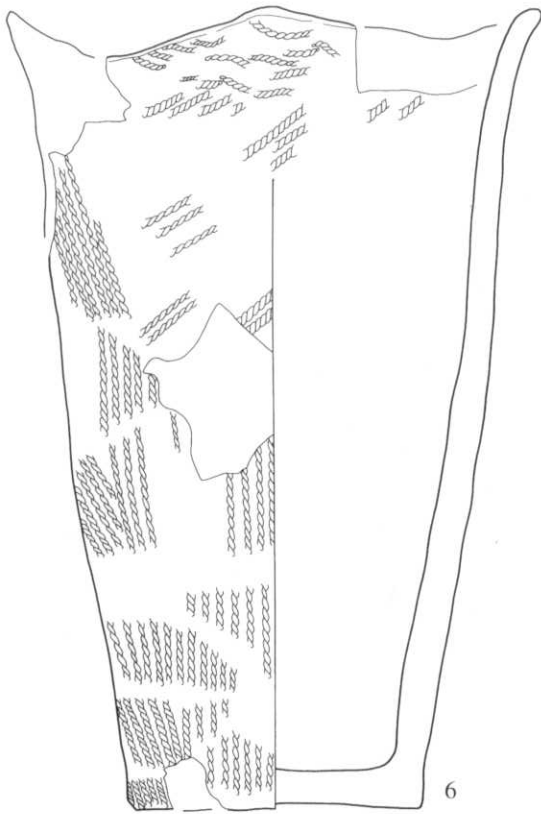
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
37	VII E-76	II			R L		網代痕	III-11	
38	〃	〃			L R		〃	〃	
39	〃	〃			不明		〃	〃	
40	〃	〃					〃	〃	
41	〃	〃			不明		〃	〃	
42	VII E-75	〃			R L		〃	〃	
43	〃	〃					〃	〃	
44	〃	〃					〃	〃	
45	VII G-74	〃					スダレ状圧痕	〃	

6 図 第 II 層出土土器 (4)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	VII H-74	東西トレンチ	R L R	R L R 押、R L R	R L R	ミガキ	無文、上げ底	II-2・3-3	
2	〃	〃	R L R、L R 押	R L R	〃	〃	〃	〃	
3	VII H-75	西トレンチ	R L R、R 結回	〃	〃	〃	R L R	II-2・3-4	
4		トレンチ	R L R、R 結回(2条単位)	〃		〃	〃	〃	
5	VII H-75	西トレンチ	R L R、R 結回			〃	〃	〃	

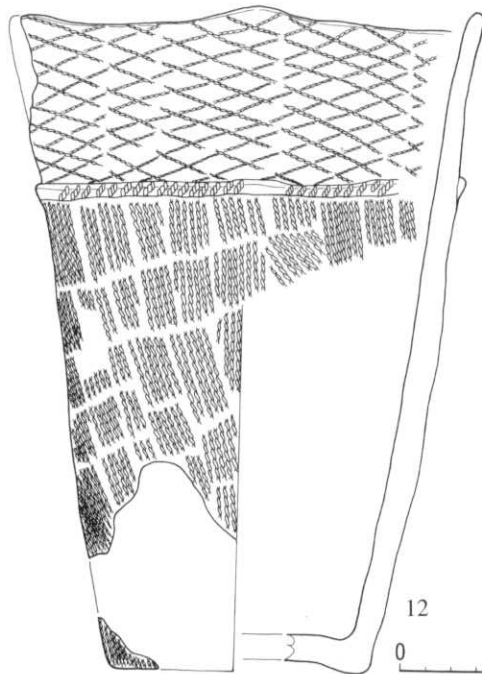
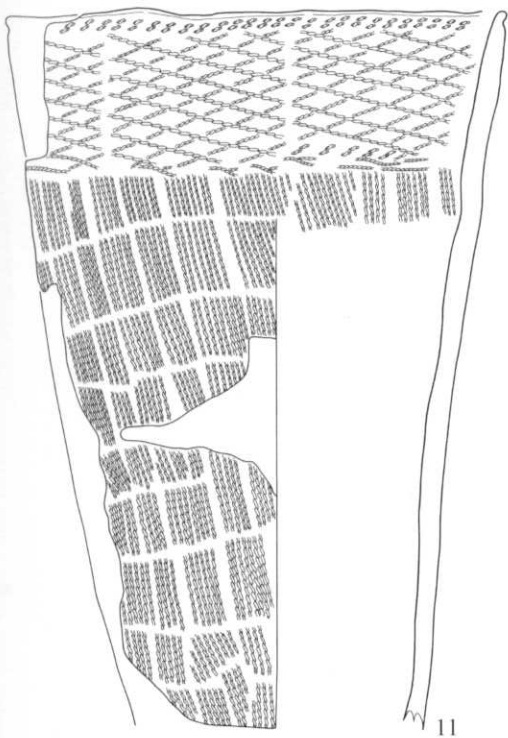
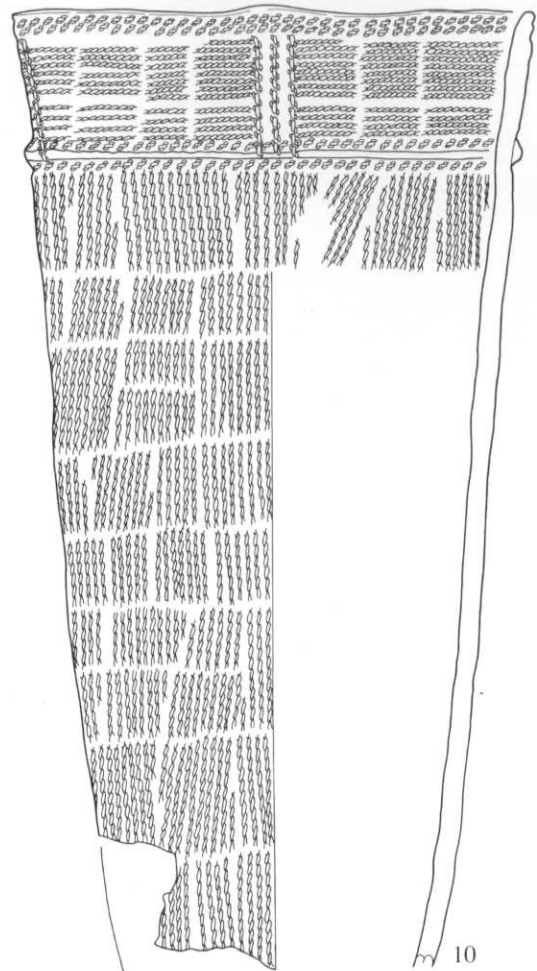
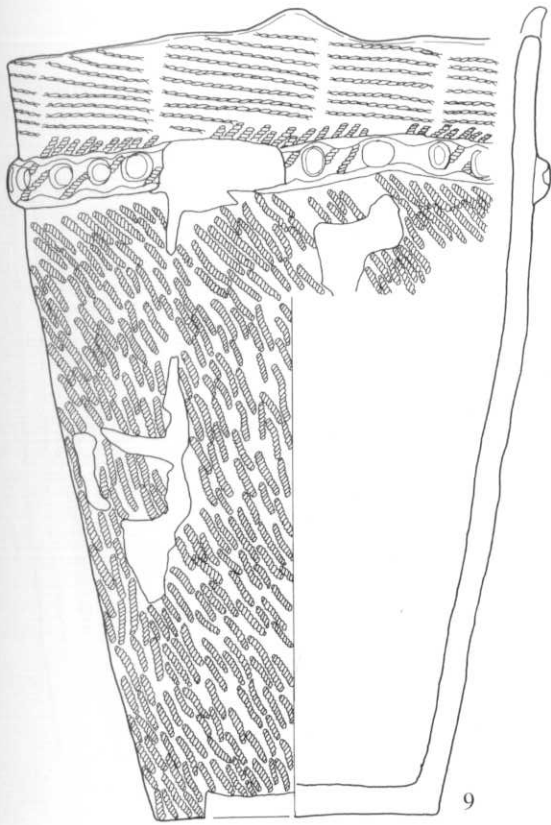
7 図 出土層位不明土器 (1)



0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
6	VII H-75	西トレンチ	L R、R結回	R単絡1	R単絡1	ミガキ	無文	II-2・3-4	4波状口縁
7	VII H-74	東西トレンチ	R単絡1	〃	〃	〃	〃	II-2・3-6	
8	〃	〃	L単絡1、R L R、L押	L単絡1	L単絡1	〃		〃	

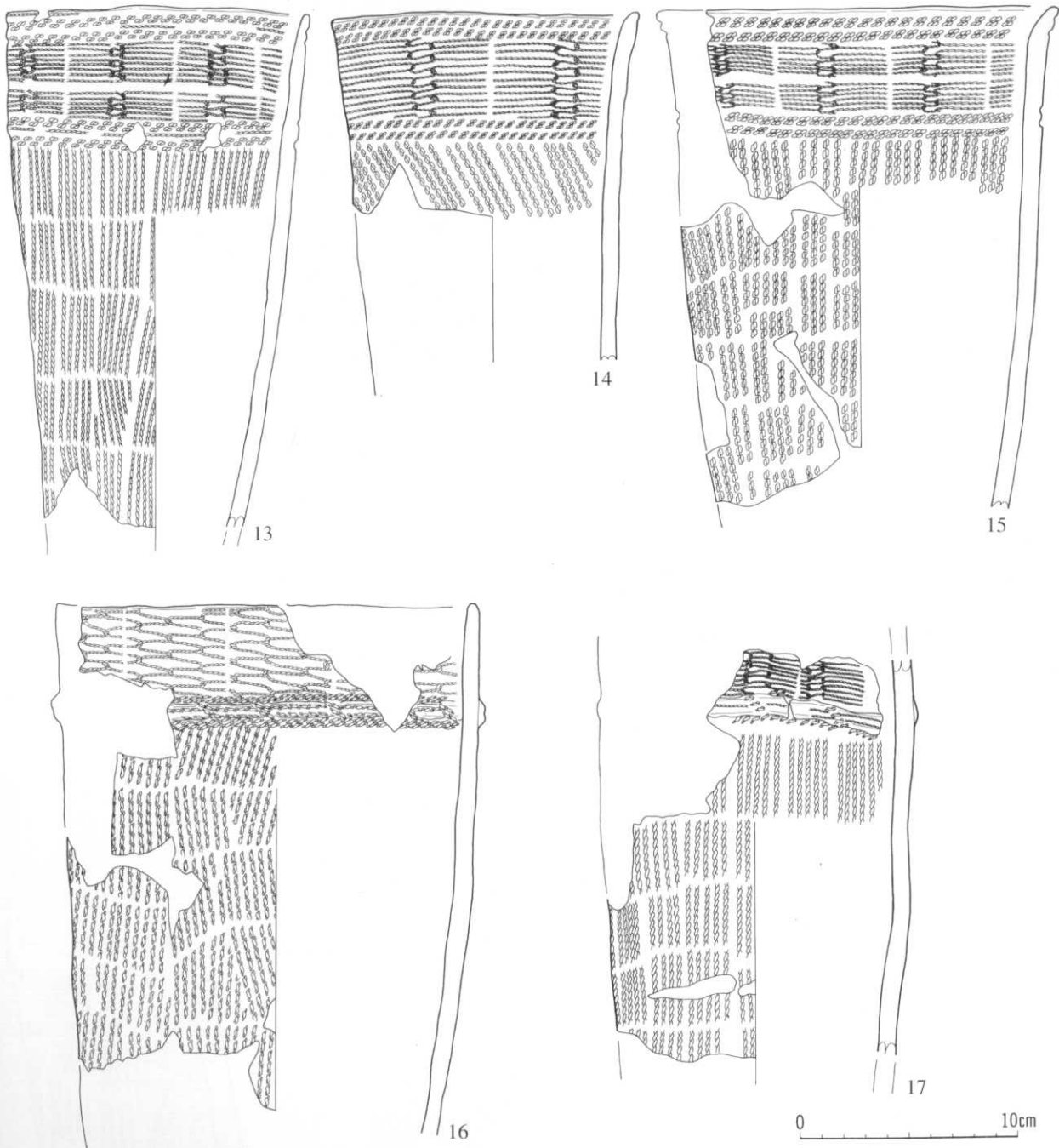
8 図 出土層位不明土器 (2)



0 10cm

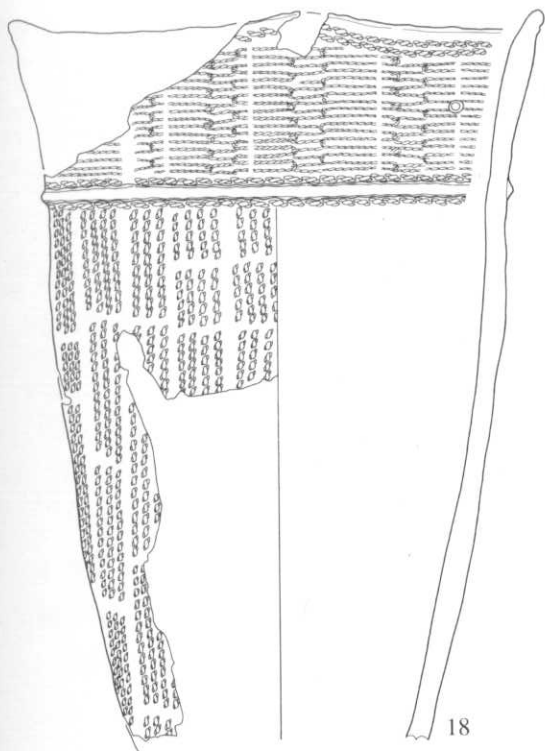
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
9	VII H-74	東西トレンチ	R単絡1	隆帯(円形刺突)、RRL	RRL	ミガキ	RRL	II-2・3-6	
10	〃	〃	R単絡1、RL押	低隆帯(上下にRL押、L単絡1)	L単絡1	〃		〃	
11	〃	〃	R単絡5、RLR押	R単絡1	R単絡1	〃		II-2・3-12	
12	〃	〃	R単絡5	低隆帯(R押)、R単絡1	〃	〃	無文	〃	

9 図 出土層位不明土器 (3)

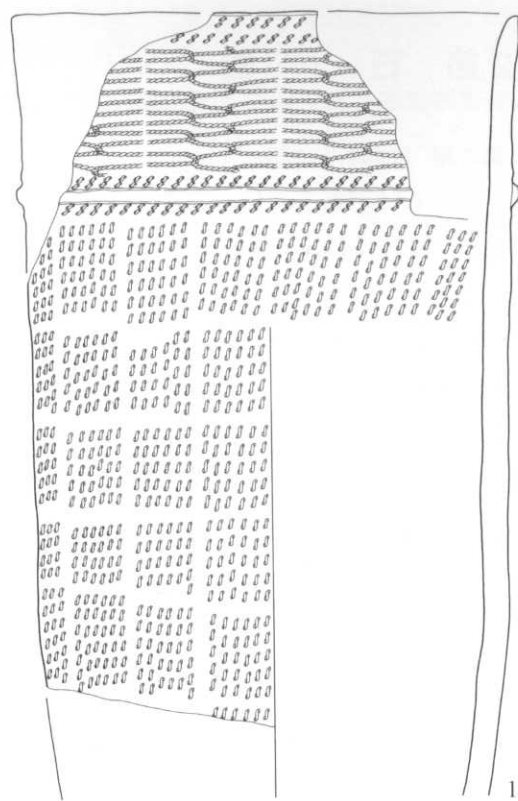


番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
13	ⅦH-74	東西トレンチ	R単絡6A、RLR押	頸部RLR押、R単絡1	R単絡1	ミガキ		Ⅱ-2・3-13	
14	〃	〃	〃、〃	〃、LR単絡1		〃		〃	
15	〃	〃	〃、〃			〃		〃	
16	〃	〃	〃、〃	隆帯(LR押?)、LR単絡1		〃		〃	
17	〃	〃	R単絡6A	RL押、低隆帯(RL押)、L単絡1	L単絡1	〃		〃	

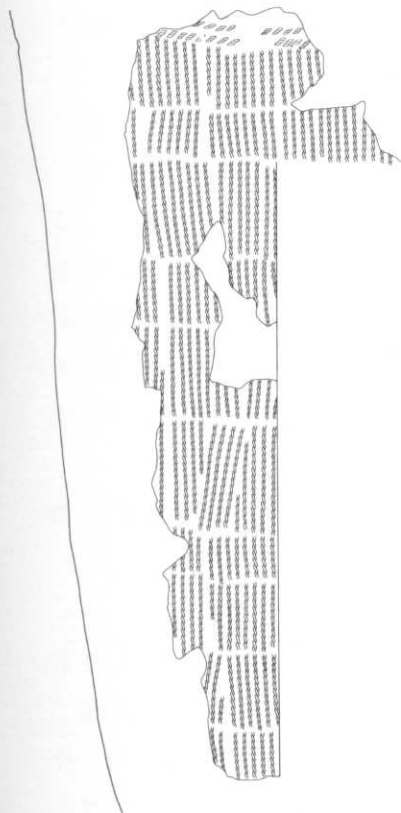
10図 出土層位不明土器 (4)



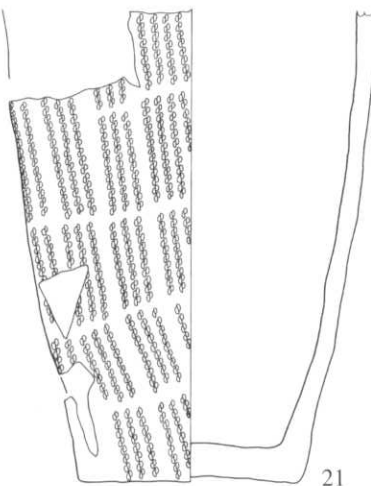
18



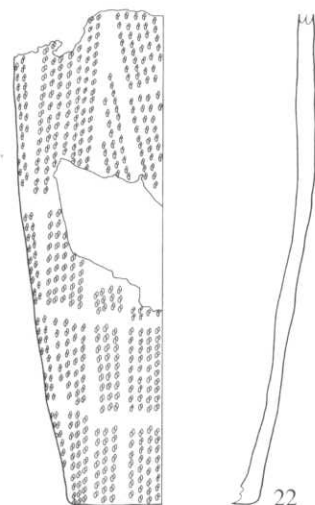
19



20



21



22

0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
18	VII H-74	東西トレンチ	R単絡6A、LR押	低隆帯 (LR押、LR単絡1)	LR単絡1	ミガキ		II-2・3-13	
19	〃	〃	〃、RLR押	〃 (RLR押、〃)	〃	〃		〃	
20	〃	〃	RL押	R単絡1	R単絡1	〃		II-6	
21	〃	〃			LR単絡1	〃		〃	
22	VII H-75	西トレンチ			〃	〃	無文	〃	

11図 出土層位不明土器 (5)

第2節 石 器

(1) 第I層 (12図～29図)

第I層からは石鏃、石匙、石錐、石篋、不定形石器、異形石器、石核類、半円状扁平打製石器、敲磨器類、砥石、軽石・軽石製品、石皿・台石類などが出土している。

剥片石器の石材は、ほとんどが珪質頁岩で、他に玉髓質珪質頁岩、玉髓、黒曜石、鉄石英などが使用されている。

敲磨器類では安山岩、凝灰岩、流紋岩、頁岩などが、砥石は凝灰岩が使用されている。

A類 石鏃 (1)

1は有茎Y基の石鏃であり、先端部と基部を欠失している。

C類 石匙 (2～11)

縦型、斜型のもの、先端が錐先状に尖るもの、四角形状のものなどが出土している。

2は先端が錐先状に尖り裏面の一部に光沢が認められる。3、5は裏面に光沢が認められる。8、9は下辺を刃部としている。8はほぼ五角形、9は四角形であるが、両側縁に抉りを作り出しており、つまみ部分に相当するものとして本類に含めた。

11はつまみ部分の抉りが浅いが、形状から本類とした。

D類 石錐 (12～21)

先端のみを作り出したものや、先端部分に加工が集中するものが多い。

12の形状は石匙に類似するが、つまみ部に相当する部分は加工によって作り出されたものではない。先端がつくりだされており、本類とした。13～19、21の加工は、錐先部分を中心としたものである。

E類 石篋 (22～24)

22～24はいずれも短冊状の石篋である。22は欠損品であり、下辺の加工が粗く石槍等他の器種の可能性もある。

G類 不定形石器 (25～68、70)

肉厚で直線的な刃部のものや、弧状の刃部を持つもの、薄手のもの、厚みのある器体に粗い加工を施したもの、剥片のごく一部に加工を加えたもの、微細な剥離痕を持つものなどが出土した。片面加工のものが多い。また、定形石器の破片、未製品の可能性のあるものを含んでいる。

25は形態が石篋と類似するが、片面加工であり、長さに対して厚みがなく、本類とした。剥片の末端に凸に弧を描く肉厚の刃部が形成されている。26も形態は石篋と類似するが裏面末端が正面に向かって反り返り、下辺を刃部と見なせないため本類に含めた。

28は裏面に、29、30は両面に光沢を持ち、石匙破片の可能性はある。

44は黒曜石製であり、産地分析によって北海道赤井川産と推定されている。

67、68は同一母岩であり、いずれも微細な剥離痕が認められる。

70は小型で肉厚で、形状は三角形である。先端部に小さな剥離が僅かにみられ、錐先部を整えるための二次加工の可能性はある。

R類 異形石器 (69)

69は三日月形の異形石器である。上部に1ヶ所突起が認められる。

P類 石核類 (71~82)

71~75は珪質頁岩製の石核である。いずれも小型であり、71、75は裏面側に礫面が残る。

76~79は黒曜石製の小型石核である。76、78は両極打法によるものであり、厚みがあることから石核とした。産地分析により、76が青森県鶴ヶ坂・出来島産、77・78は青森市戸門産、79は青森県鶴ヶ坂・出来島産と推定されている。

80は珪質頁岩製の石核であり両刃礫器状の形状をしめす。81は頁岩の、82は玉髓の原石である。

J類 半円状扁平打製石器 (83~84)

83は安山岩製で、側面にはざらざらした磨面と敲打痕が認められる。84は凝灰岩製で浅い抉りを持つ。

I類 敲磨器類 (86~101)

楕円礫を素材としたものが多く、特に敲打痕を持つものが多い。95は全面に使用痕がみとめられる。ざらざらした部分を敲打痕としたが、他に比較的滑らかな部分があり磨面として表示した。凹痕の他にも溝状のくぼまりも持っており、砥石としても使用されたと考えられる。100は欠損した石皿を凹石として転用したものであり、正面と右側面、裏面に凹痕が形成されている。101は整形がなされており、石棒の先端部のような形状である。欠損品であるが残存部は全面が磨面であり、器表面に擦痕が認められる。

S類 砥石 (102~103)

102~103は小型の板状の砥石であり、凝灰岩製である。

T類 軽石・軽石製品 (104)

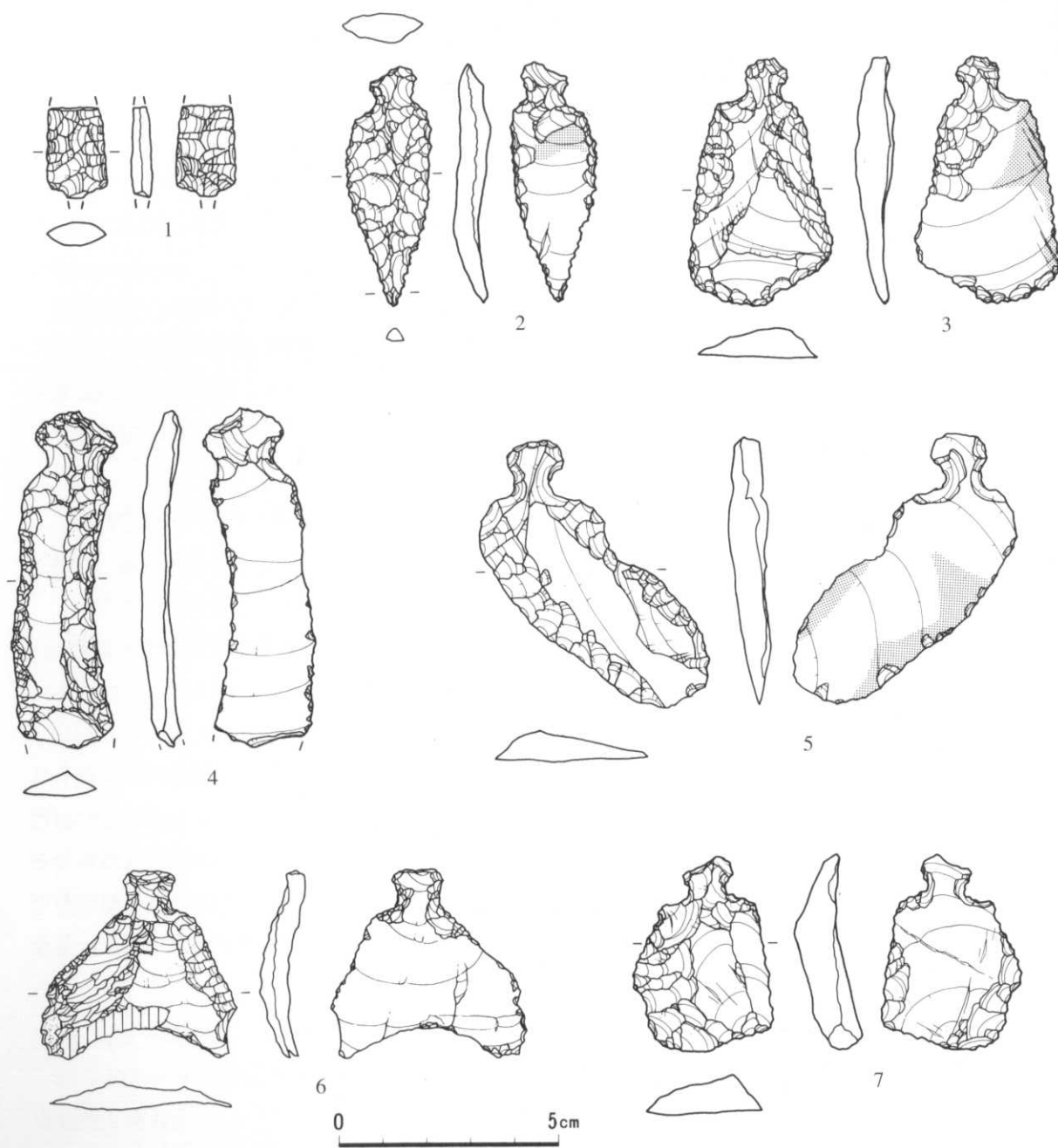
104は擦痕を持つ軽石である。

L類 石皿・台石類 (105~108)

台状の礫を使用したものが多く、皿状にくぼむものは少ない。また、すべて欠損品である。105~108とも石材は安山岩であり、108は皿状に整形された石皿の欠損品である。

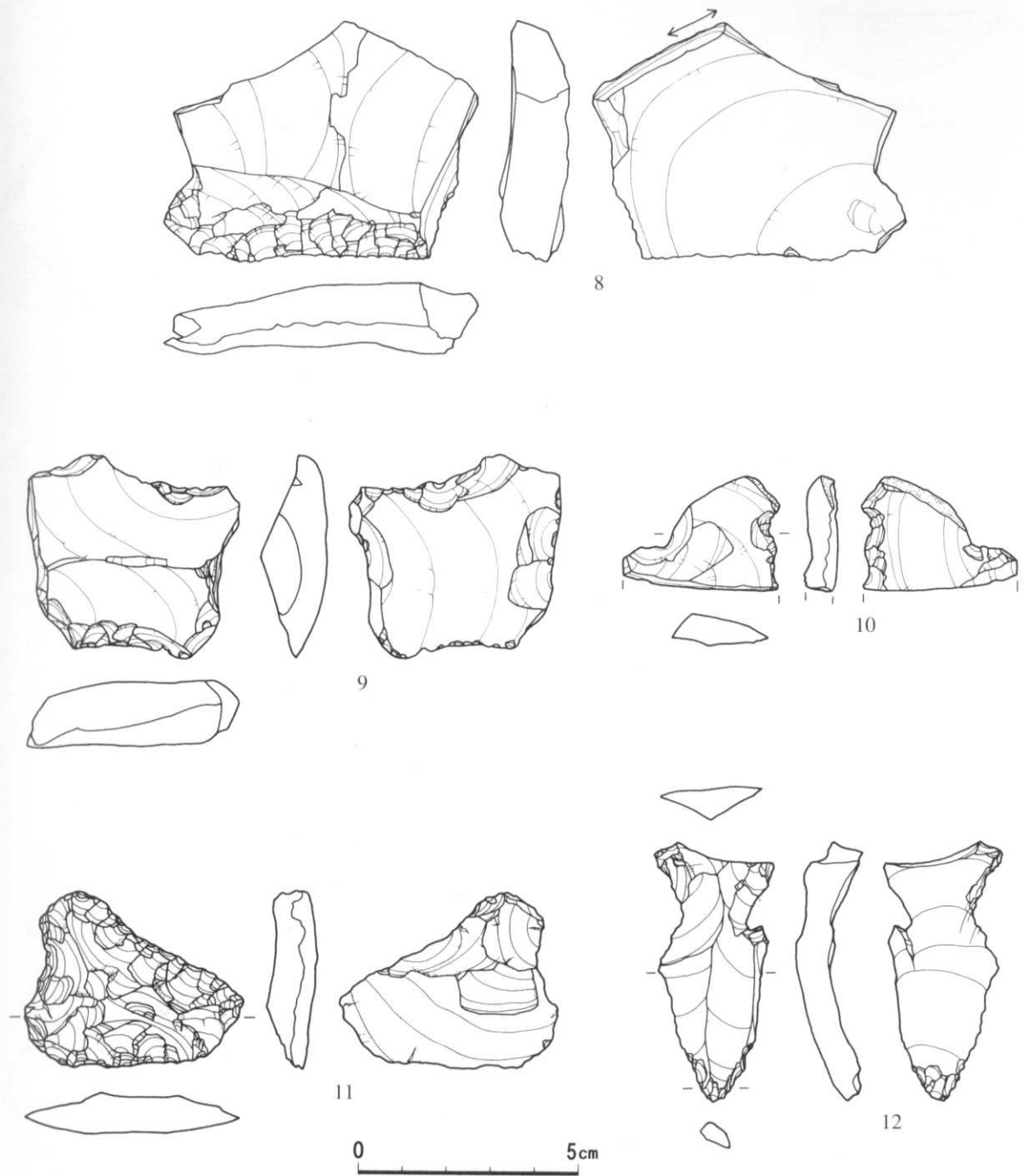
Q類 その他 (85)

85は長さ9.9cmで、安山岩製の横長剥片に二次加工を施したものである。



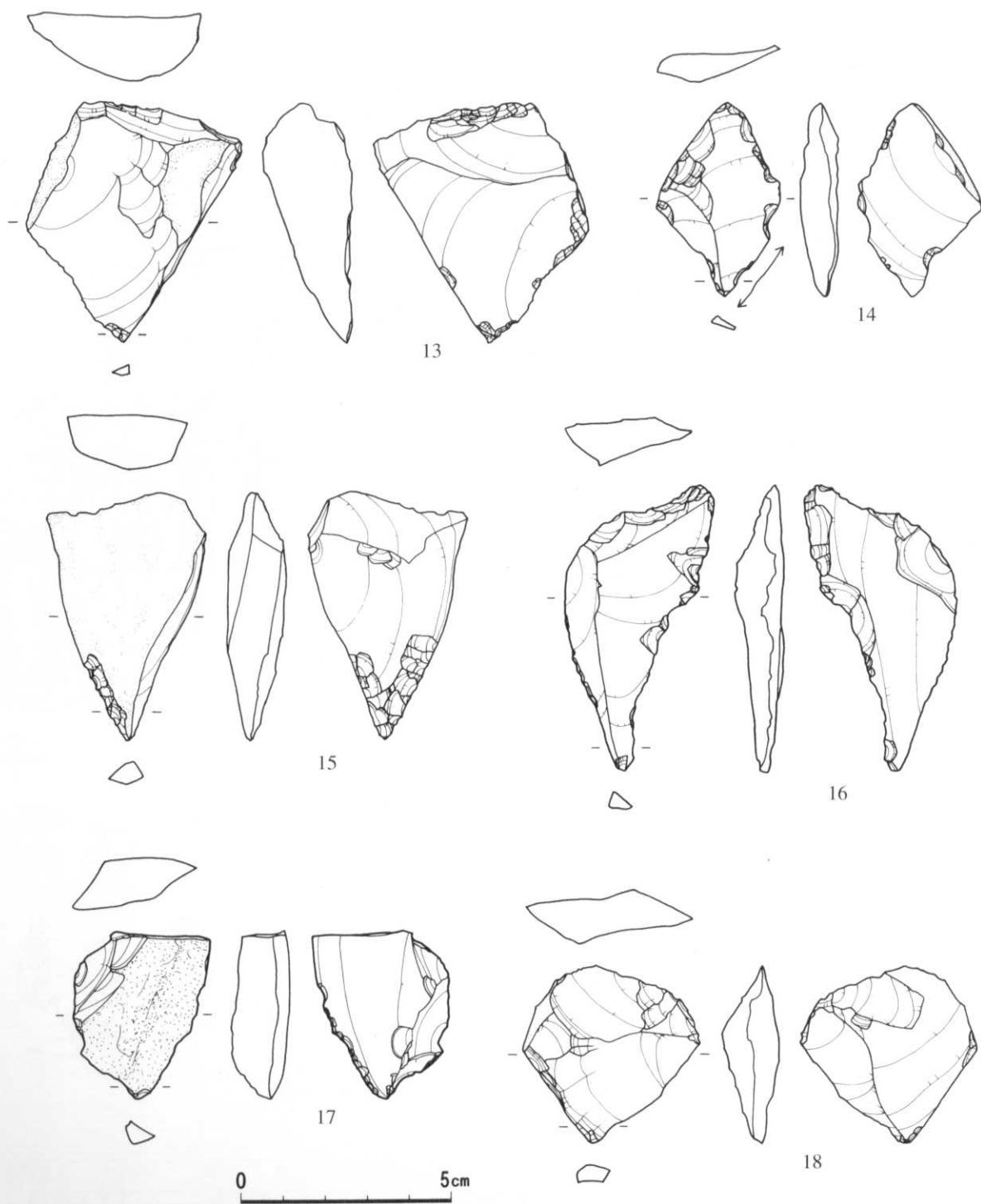
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	VII F-75	I	(21)	14	(5)	(1.8)	珪頁	A b		60682
2	VII H-76	〃	55	20	10	6.2	〃	C e		3271
3	VII H-75	〃	57	33	10	12.3	〃	C a		3233
4	VII G-74	〃	(77)	(25)	(10)	(12.2)	〃	〃		3065
5	VII F-75	〃	68	35	8	13.2	〃	C c		72877
6	VII F-74	〃	43	45	11	8.9	〃	C b		2902
7	VII H-75	〃	44	32	16	13.4	〃	C a		3231

12図 第I層出土石器(1)



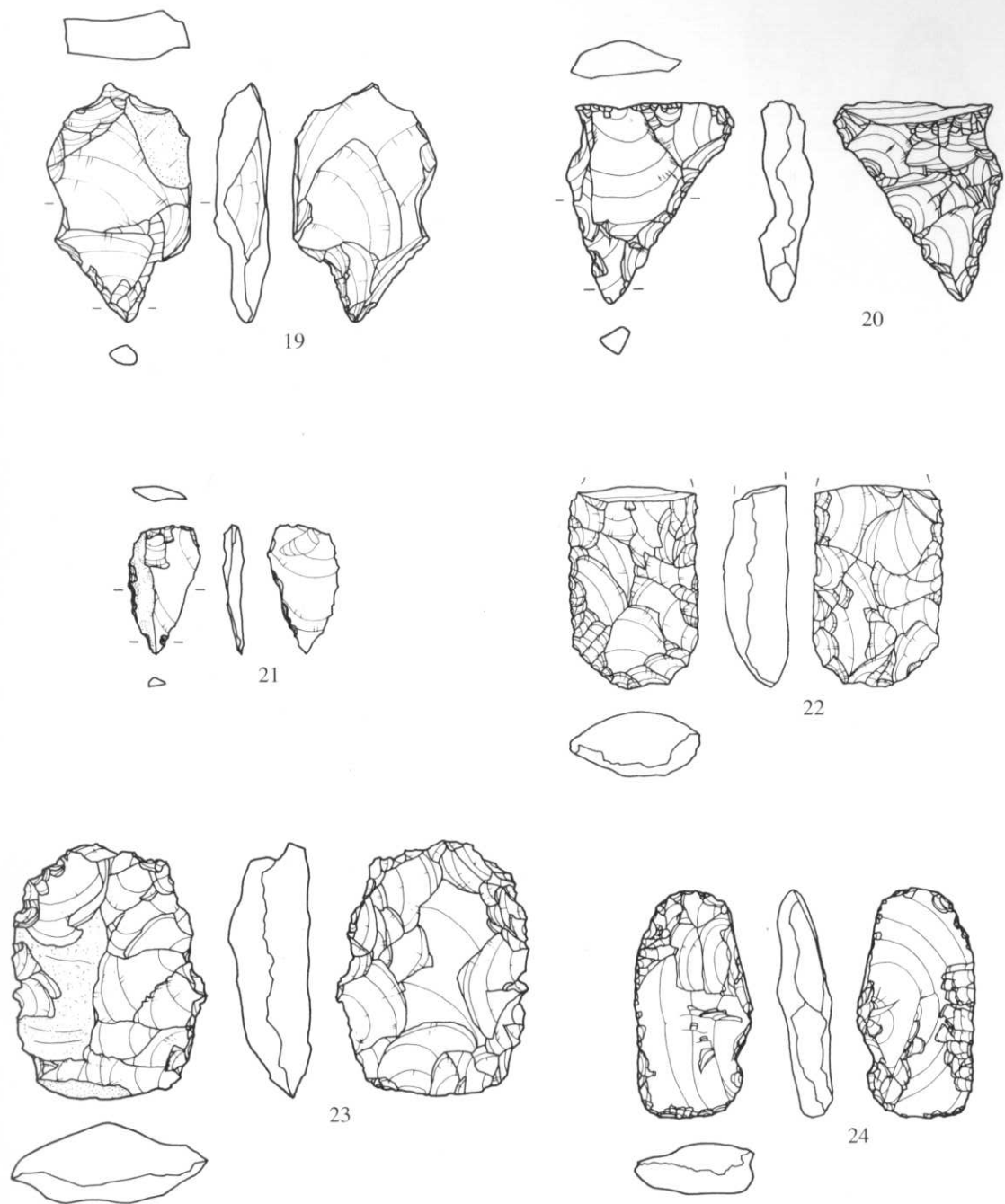
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
8	VII F-74	I	55	72	16	56.5	珉頁	C f	スクレイパー類?	60106
9	〃	〃	46	48	15	30.6	〃	〃	〃	76130
10	VII G-75	〃	(27)	(36)	(8)	(5.6)	〃	C a	〃	76164
11	VII H-75	〃	41	50	12	17.7	〃	C c	〃	71683
12	VII H-76	〃	59	28	15	10.6	〃	D c	〃	3270

13図 第I層出土石器(2)



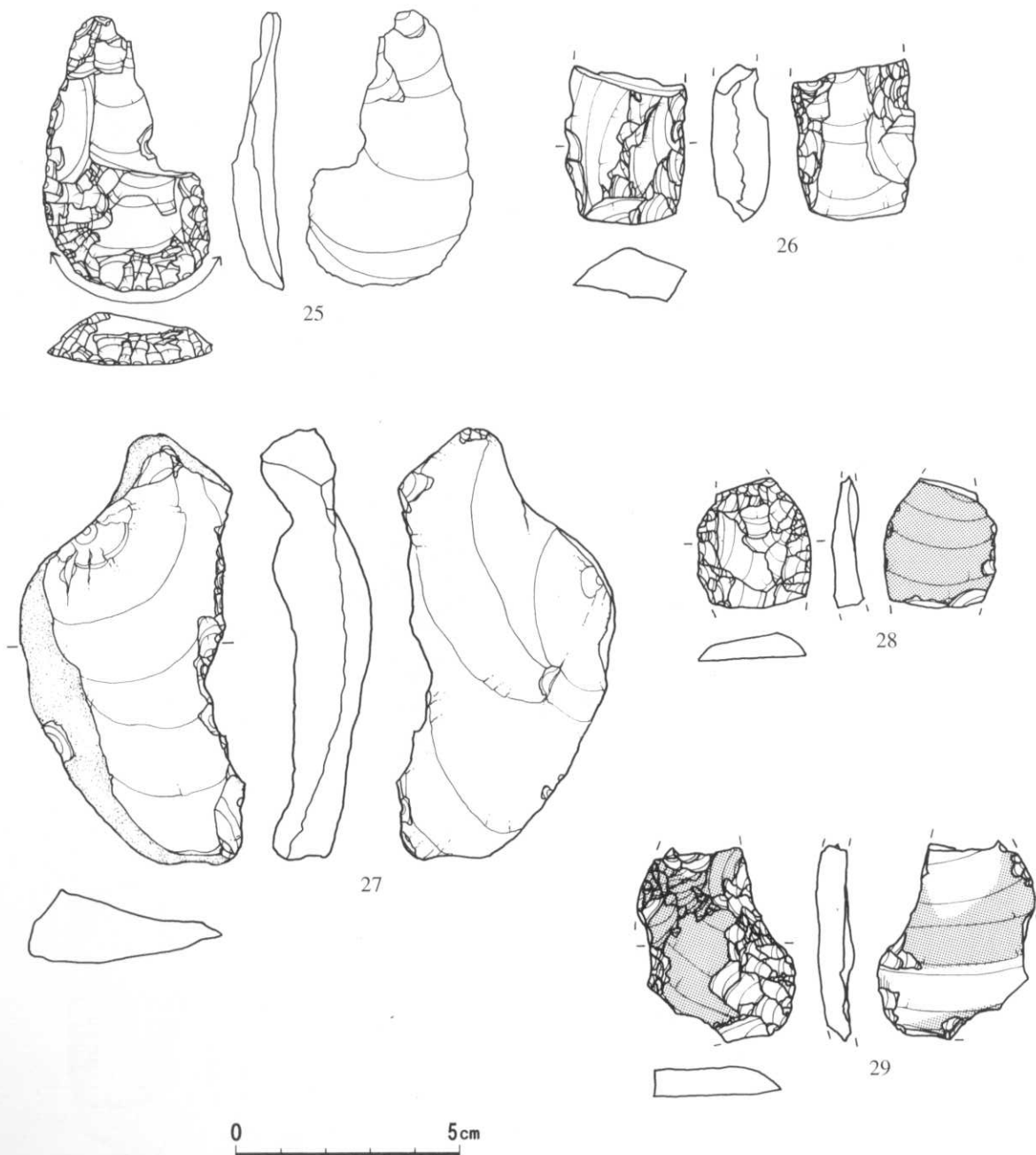
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
13	Ⅶ F-74	I	57	52	21	44.1	珪頁	D b		76113
14	Ⅶ G-76	〃	46	29	9	6.9	〃	〃		74196
15	〃	〃	60	38	14	28.3	〃	D c		72886
16	Ⅶ F-74	〃	68	36	11	14.8	〃	D b		75442
17	Ⅶ H-74	〃	40	33	14	14.9	〃	〃		71056
18	Ⅶ G-75	〃	43	42	14	17.0	〃	D c	尖端つぶれ	73803

14図 第I層出土石器 (3)



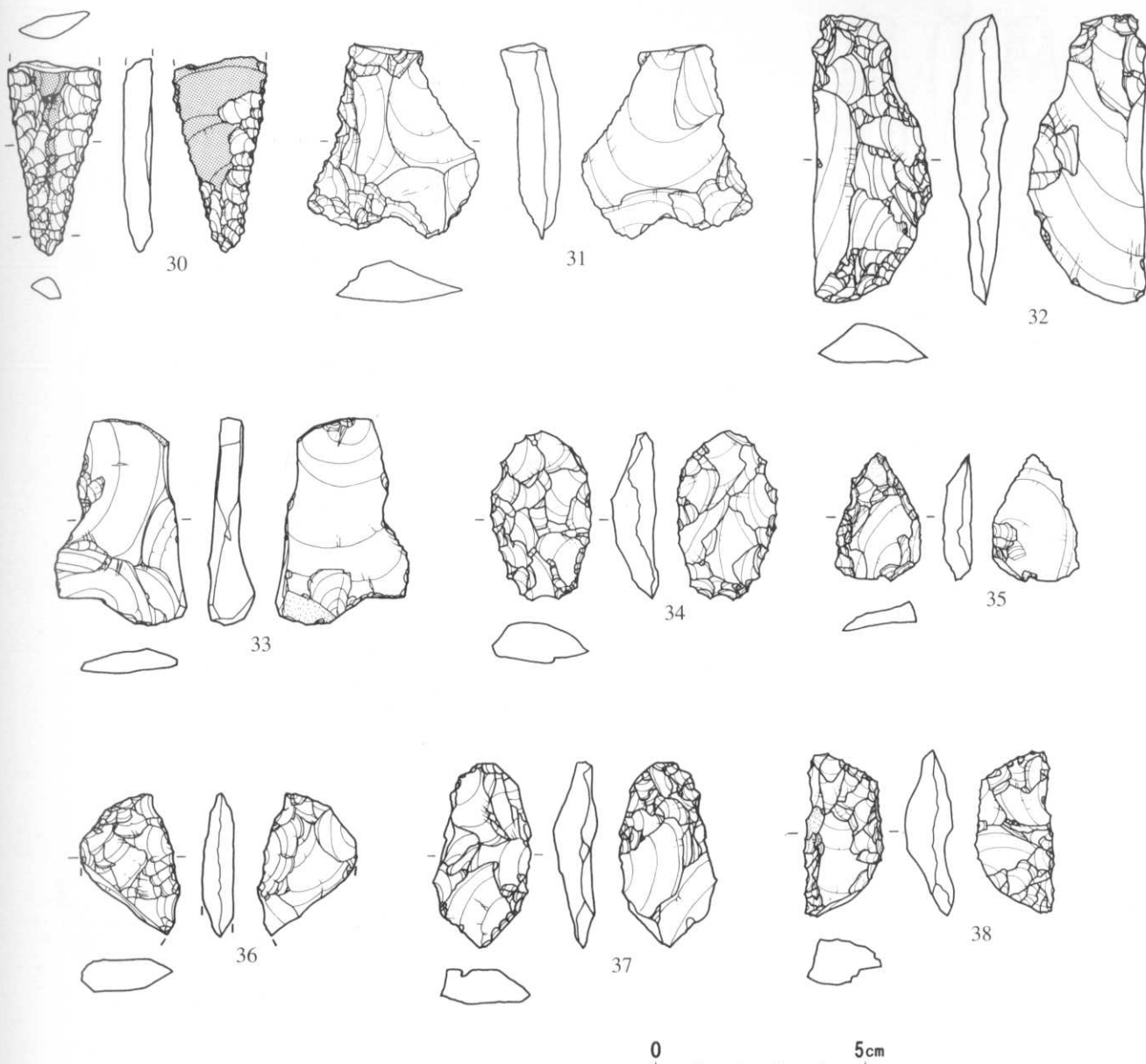
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
19	Ⅶ H-75	I	53	32	12	18.4	珪頁	D b	尖端摩耗	72883
20	Ⅶ F-76	〃	45	37	12	13.3	〃	〃		62809
21	Ⅶ G-75	〃	9	16	4	1.7	〃	D c		76168
22	Ⅶ G-74	〃	(45)	29	(14)	(22.7)	〃	E a		3406
23	〃	〃	56	43	18	39.0	〃	〃		3407
24	Ⅶ G-75	〃	51	26	12	16.0	〃	〃		66718

15図 第I層出土石器(4)



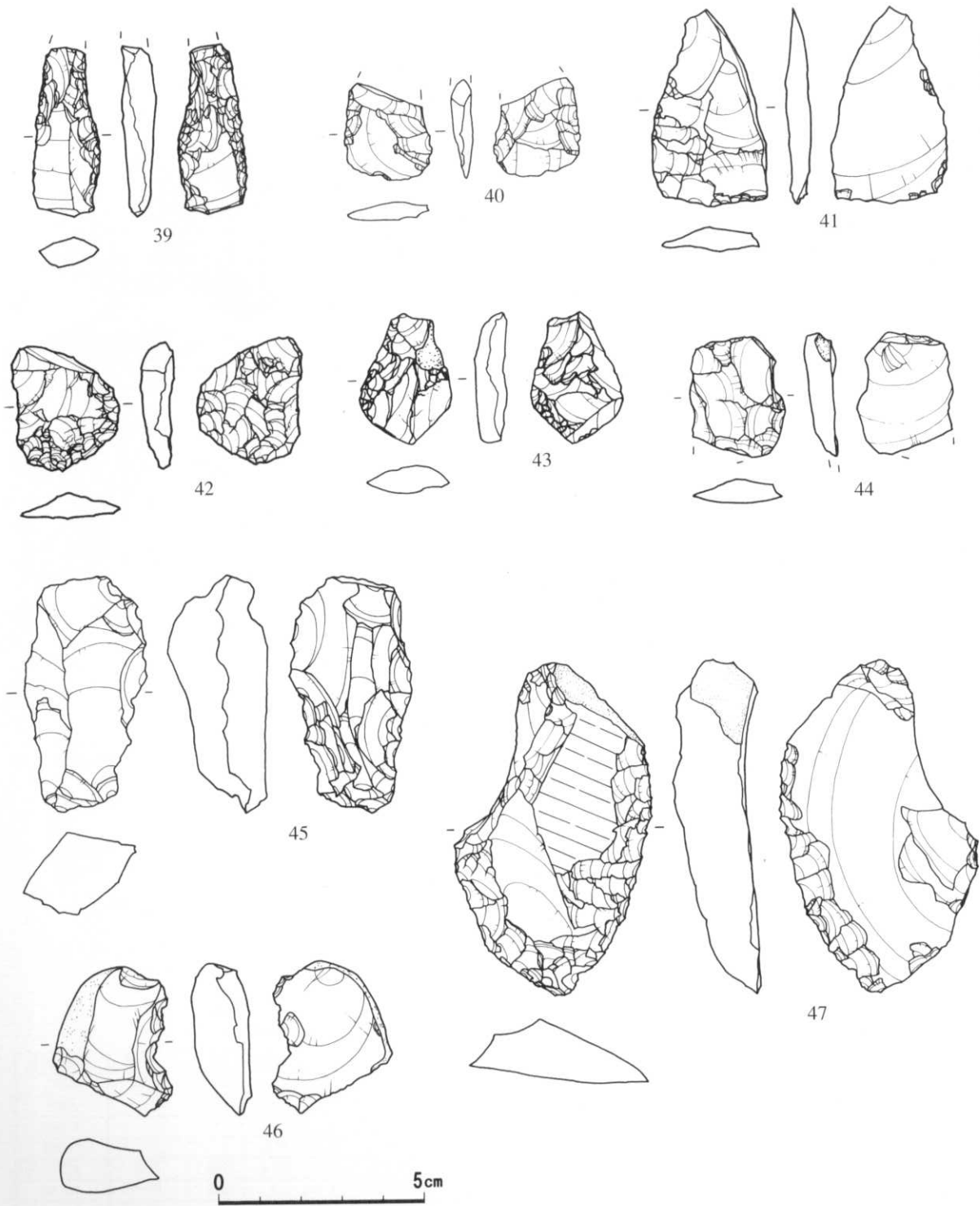
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
25	VII F-74	I	62	37.5	11.5	16.7	珪頁	G a		3343
26	VII H-75	〃	(36)	(23)	(13)	(13.3)	〃	〃	裏面末端反る	71684
27	VII G-74	〃	97	50	24	67.3	〃	〃		65129
28	VII H-75	〃	(29)	(26)	(7)	(5.3)	〃	〃	石匙破片?	71681
29	VII H-77	〃	(44)	(36)	(8)	(13.8)	〃	〃	〃	72296

16図 第I層出土石器 (5)



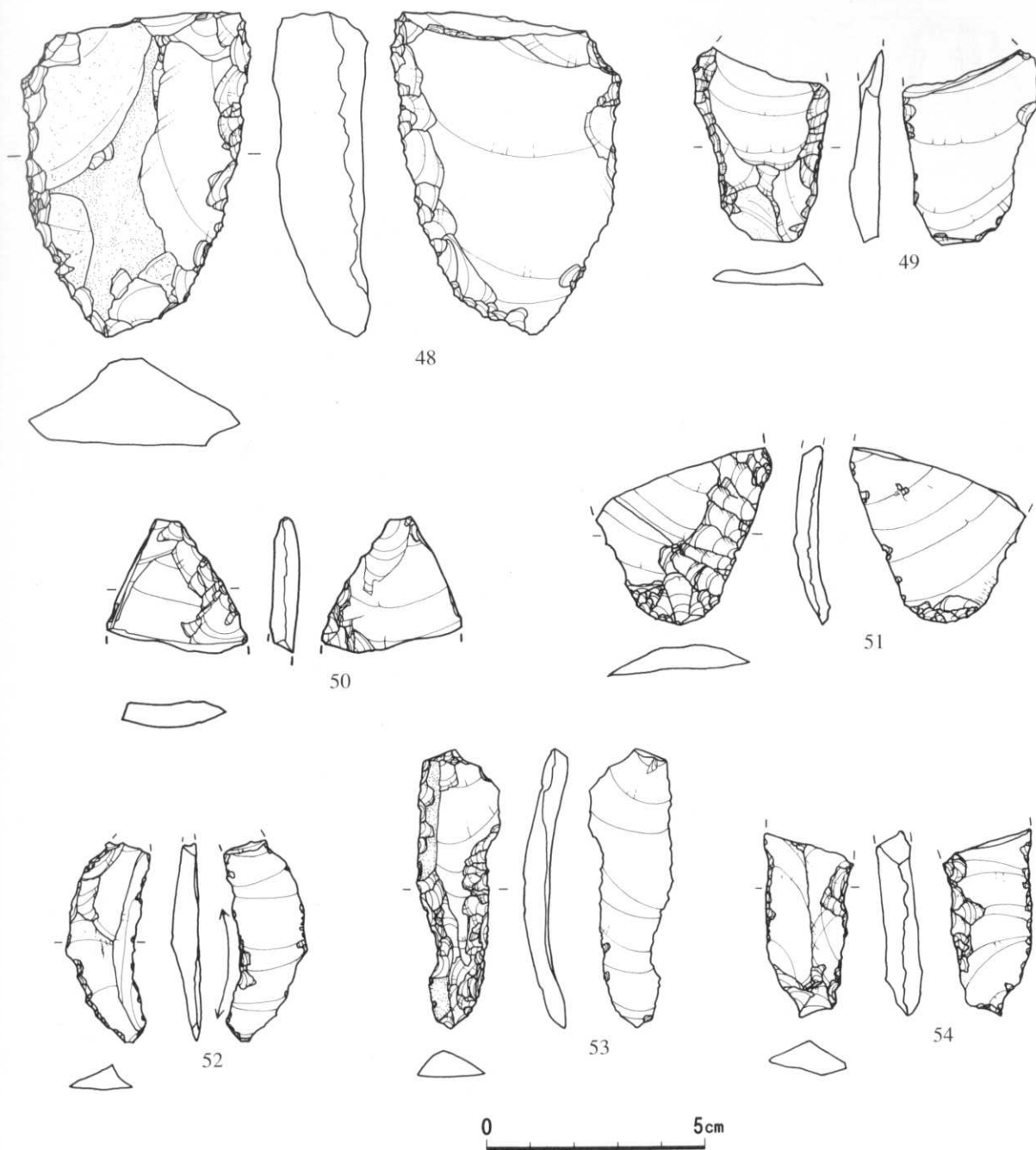
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
30	ⅦH-75	I	(47)	(22)	(7)	(6.9)	珪頁	G a	石匙破片? 石錐?	3232
31	ⅦG-74	〃	47	41	14	16.8	〃	〃	石匙?	3405
32	ⅦH-75	〃	69	29	13	21.7	〃	〃	〃	71685
33	ⅦH-74	〃	49	31	11	13.0	〃	G b	〃	71083
34	ⅦF-75	〃	40	23	11	9.8	〃	G a	石鏢?	72607
35	〃	〃	30	20	7	3.6	〃	〃	石錐?	76186
36	ⅦH-74	〃	(34)	(24)	(8)	(5.8)	〃	〃	〃	71021
37	ⅦH-76	〃	44	23	10	9.3	〃	〃	〃	71836
38	ⅦG-76	〃	39	18	11	7.6	〃	〃	〃	72605

17図 第I層出土石器(6)



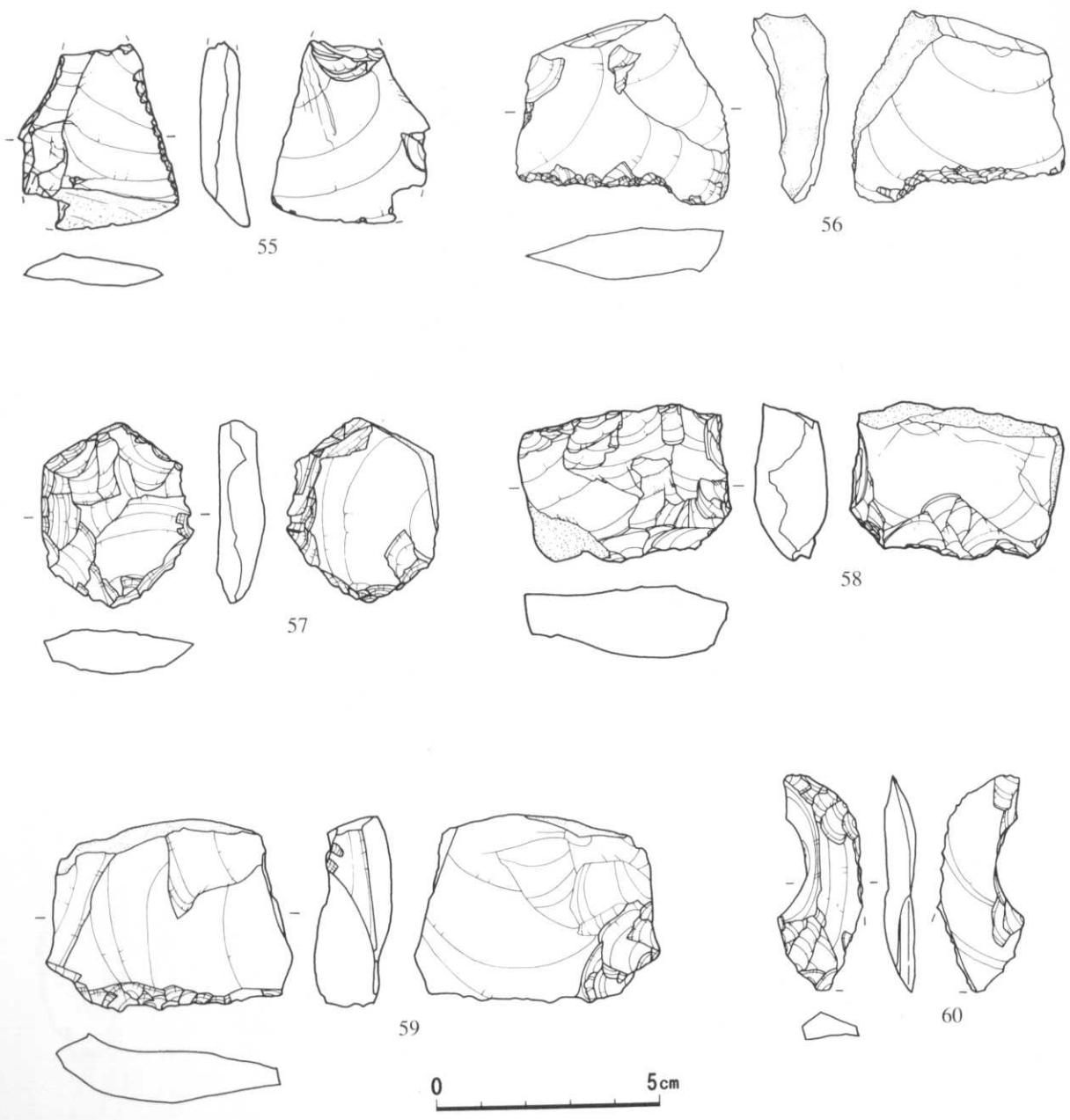
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
39	VII G-75	I	(41)	17	(9)	(5.6)	珪頁	G a	石錐未製品?	66707
40	〃	〃	(24)	21	(5)	(2.0)	〃	〃	〃	76183
41	VII F-77	〃	48	28	6	7.6	〃	〃	〃	63683
42	VII G-76	〃	30	26	8	2.5	〃	〃	〃	68495
43	VII H-77	〃	32	23	8	5.2	〃	〃	〃	72299
44	VII G-76	〃	(30)	(23)	7	(4.8)	〃	〃	赤井川産	68459
45	VII F-74	〃	58	30	25	36.5	珪頁	〃	〃	3346
46	〃	〃	37	29	14	14.3	〃	〃	〃	60015
47	VII G-76	〃	81	48	21	55.3	〃	〃	〃	72880

18図 第I層出土石器(7)



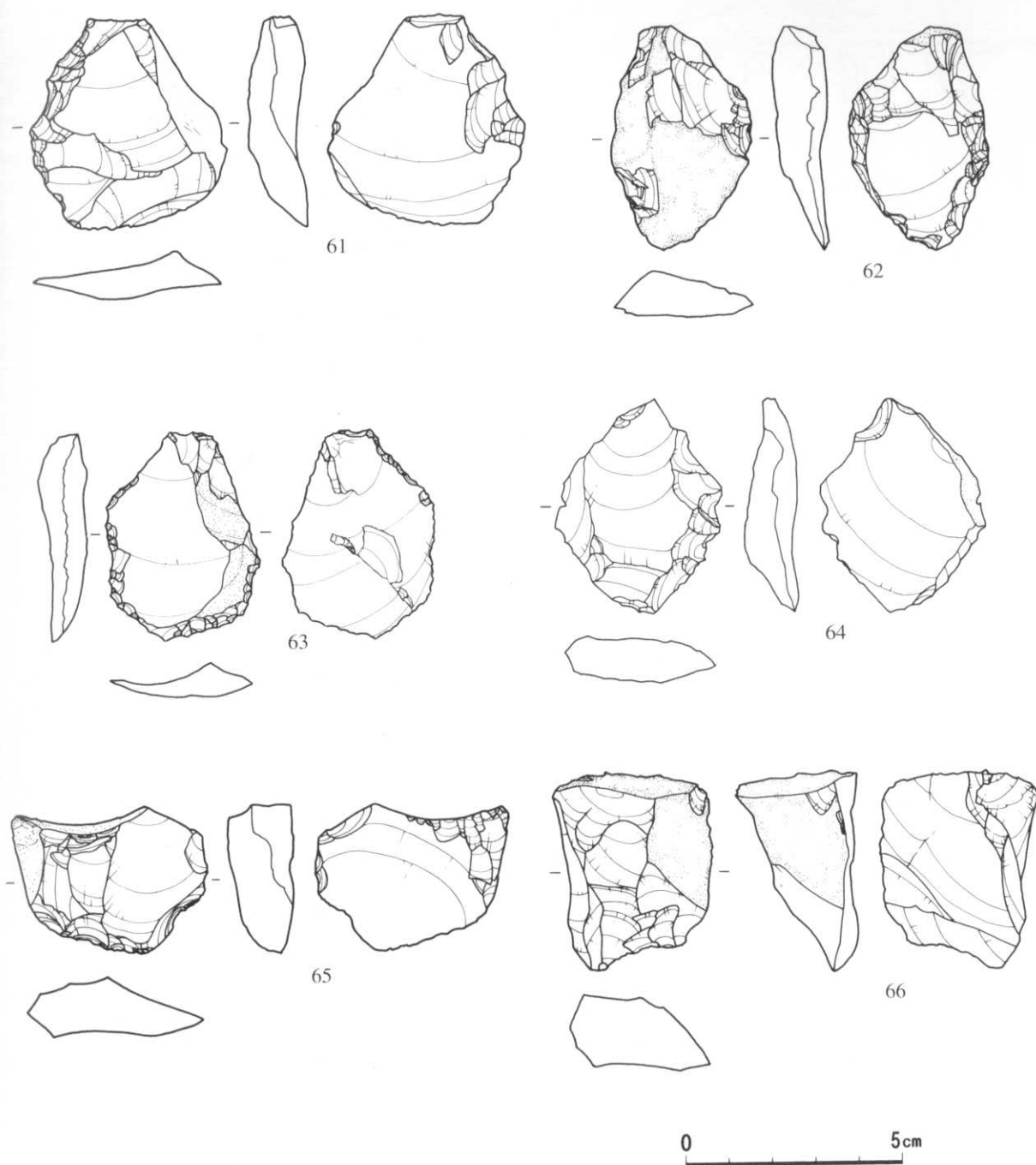
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
48	VII H-75	I	74	53	22	82.1	珪頁	G a		72604
49	VII F-74	〃	(45)	31	(9.5)	(7.9)	〃	〃		72889
50	VII H-74	〃	(31)	(32)	(7)	(6.1)	〃	〃		71090
51	VII H-76	〃	(41)	(41)	(7)	(7.6)	〃	〃		71856
52	VII G-74	〃	(46)	19	8	(3.9)	〃	〃		3066
53	VII F-75	〃	64	19	10	7.4	〃	〃		76120
54	VII G-74	〃	(43)	(21)	(11)	(7.0)	〃	〃		3067

19図 第I層出土石器(8)



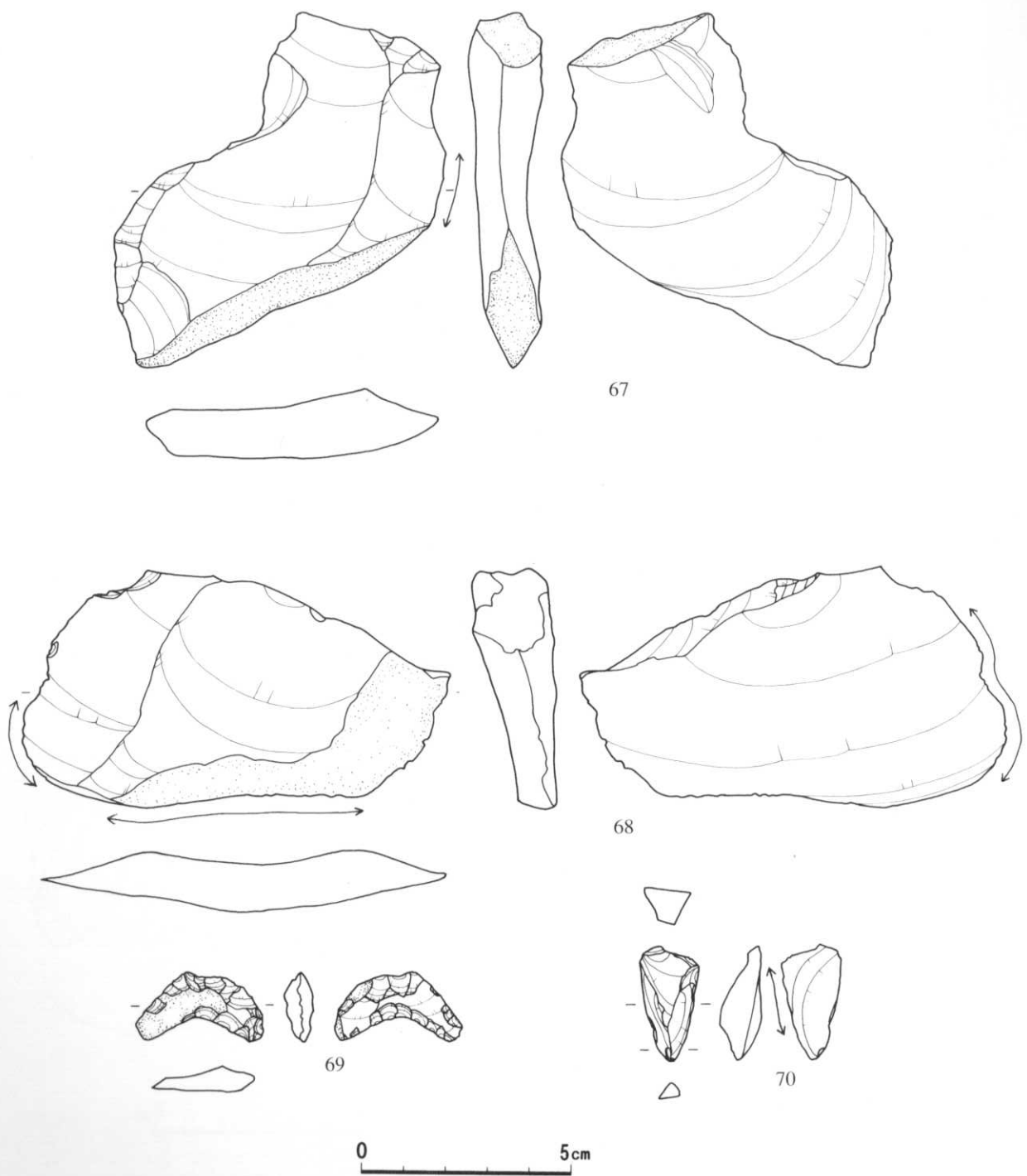
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
55	VII H-76	I	(42)	(36)	(11)	(11.9)	珪頁	G a		71844
56	VII F-74	〃	43	48	17	26.8	〃	〃		75440
57	VII G-76	〃	41	34	11	15.6	〃	〃		74188
58	VII H-74	〃	35	48	17	33.0	〃	G b		71062
59	VII H-75	〃	43	55	17	34.2	〃	G a		72888
60	VII G-76	〃	(49)	(19)	7	(5.4)	〃	〃		74214

20図 第I層出土石器 (9)



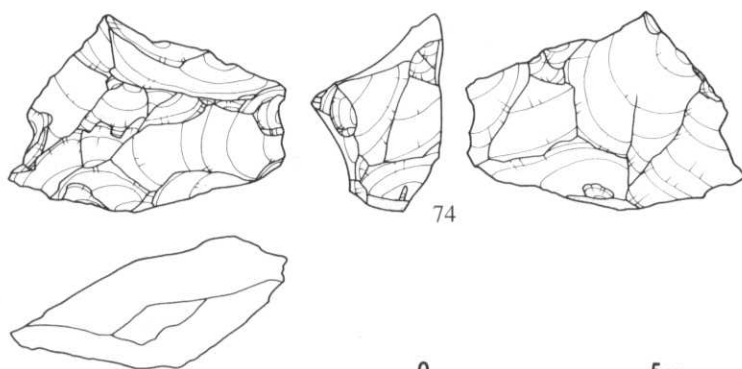
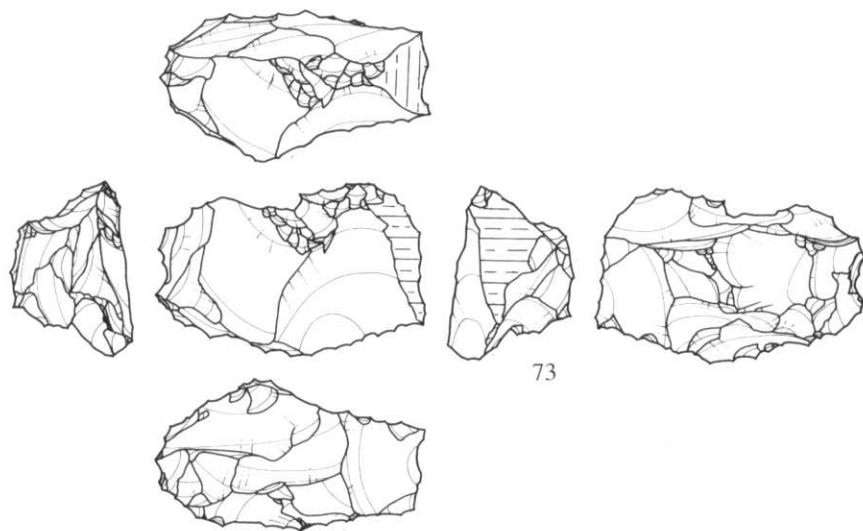
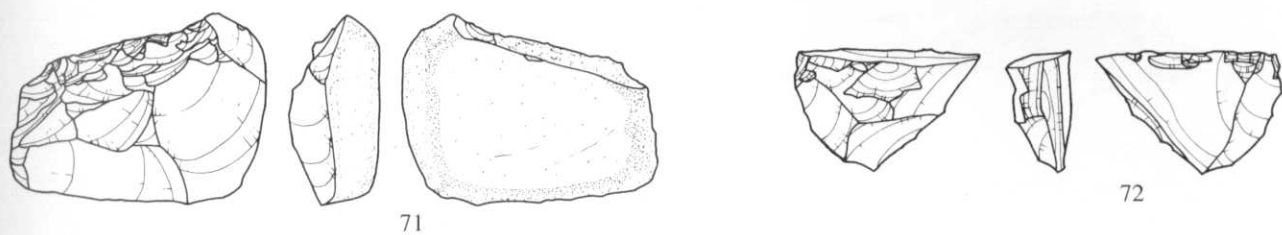
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
61	VII H-75	I	49	45	13	21.5	珪頁	G a		72885
62	VII G-75	〃	52	33	12	16.9	〃	〃		76217
63	VII F-75	〃	47	35	11	15.0	〃	〃		72606
64	VII G-76	〃	50	38	12	21.0	〃	〃		72533
65	VII F-74	〃	34	45	15	21.1	〃	〃		60099
66	〃	〃	46	37	28	36.8	〃	G b		60016

21図 第I層出土石器 (10)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
67	VII G-74	I	85	79	18	81.4	珪頁	G c		65124
68	〃	〃	58	102	20	86.1	〃	〃		65126
69	VII G-75	〃	17	30	7	2.3	〃	R		3418
70	VII G-76	〃	28	14	10	2.6	〃	G b	石錐素材?	74184

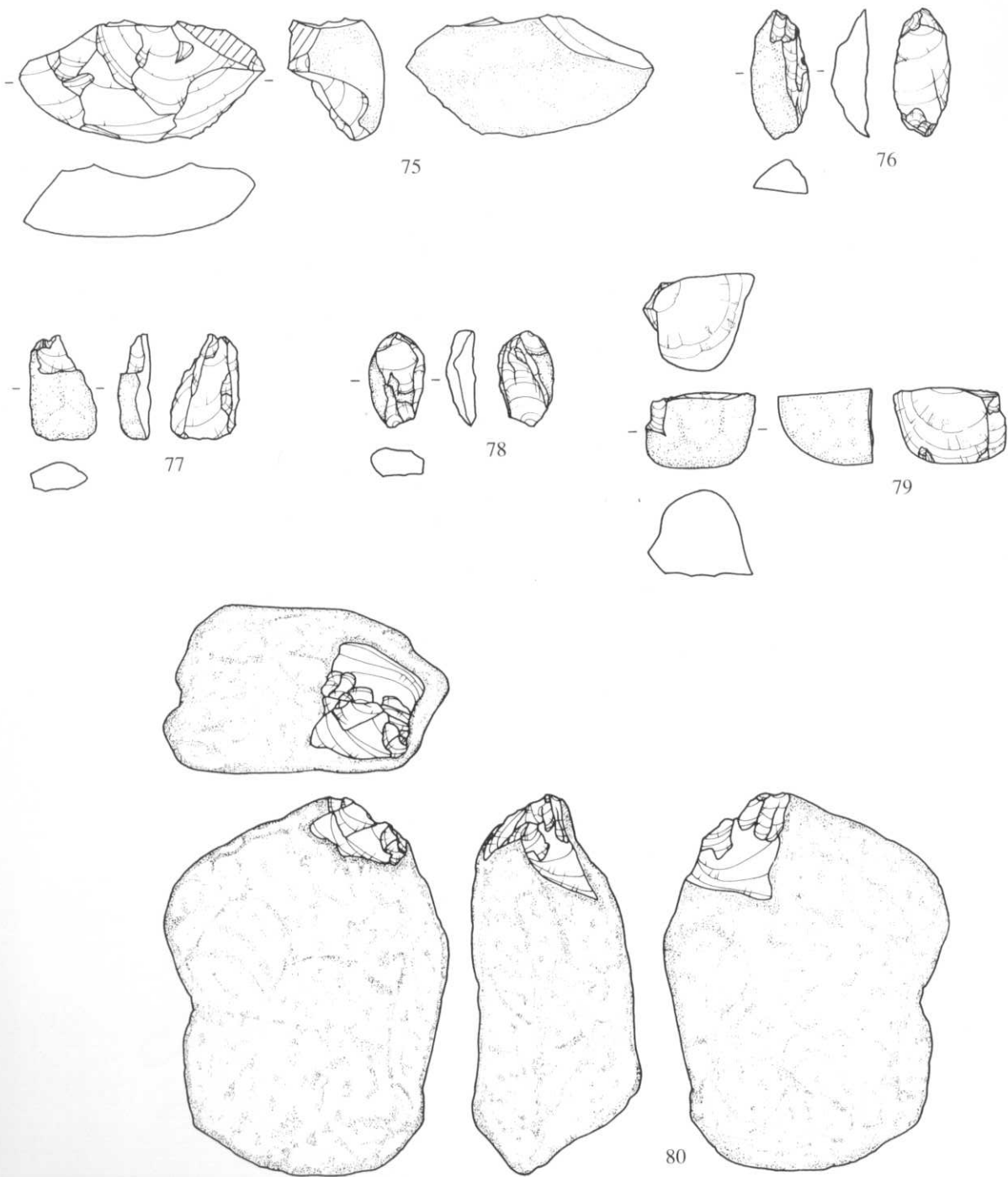
22図 第I層出土石器 (11)



0 5cm

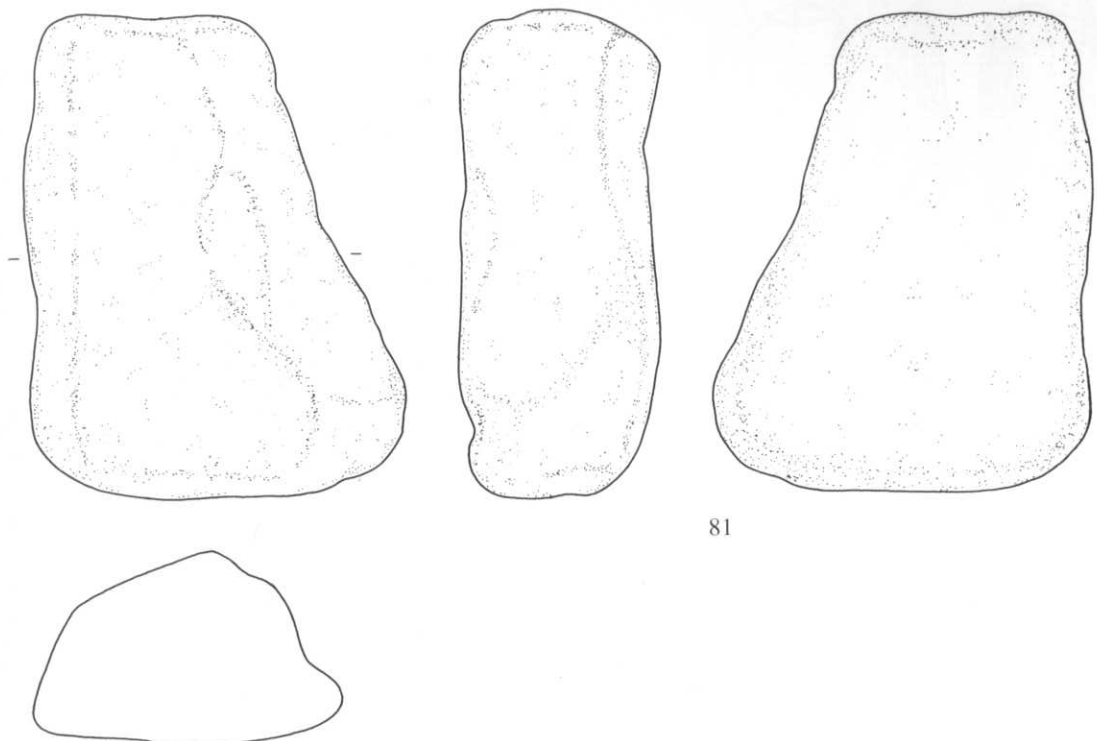
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
71	VII F-74	I	40	53	18	44.6	珪頁	P a		72802
72	VII F-75	〃	26	39	14	11.0	〃	〃	R.フレイク?	76166
73	〃	〃	30	53	24	40.9	〃	〃		72632
74	〃	〃	41	58	22	43.3	〃	〃		76154

23図 第I層出土石器 (12)

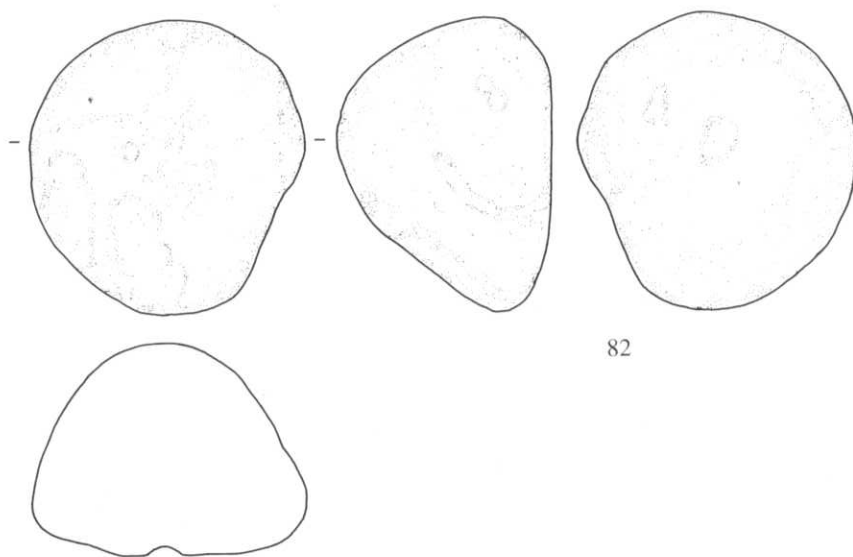


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
75	VII G-74	I	29	58	23	34.0	珪頁	P a		65110
76	VII F-75	〃	30	14	9	2.7	黒	〃	鶴ヶ坂・出来高産	72677
77	〃	〃	25	16	7	82.1	〃	〃	戸門産	71013
78	VII H-74	〃	23	13	7	2.3	〃	〃	〃	72604
79	VII G-74	〃	18	26	22	12.8	〃	〃	鶴ヶ坂・出来高産。剥片?	72603
80	〃	〃	90	68	40	281.1	珪頁	P a		72876

24図 第I層出土石器 (13)



81



82



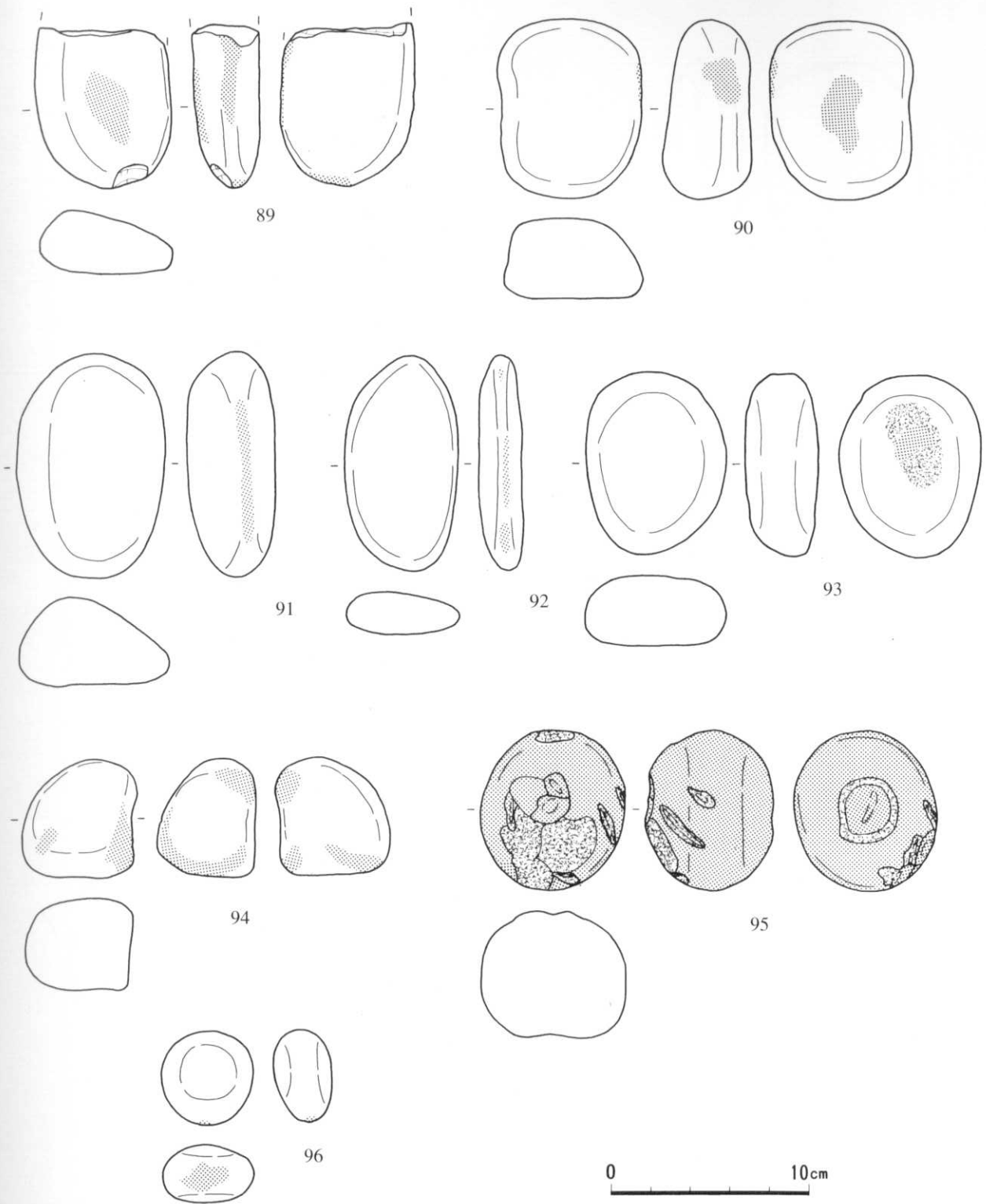
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
81	Ⅶ F-74	I	97	75	41	370.7	頁	P b		72807
82	Ⅶ H-76	々	59	55	43	159.4	玉	々		74073

25図 第 I 層出土石器 (14)



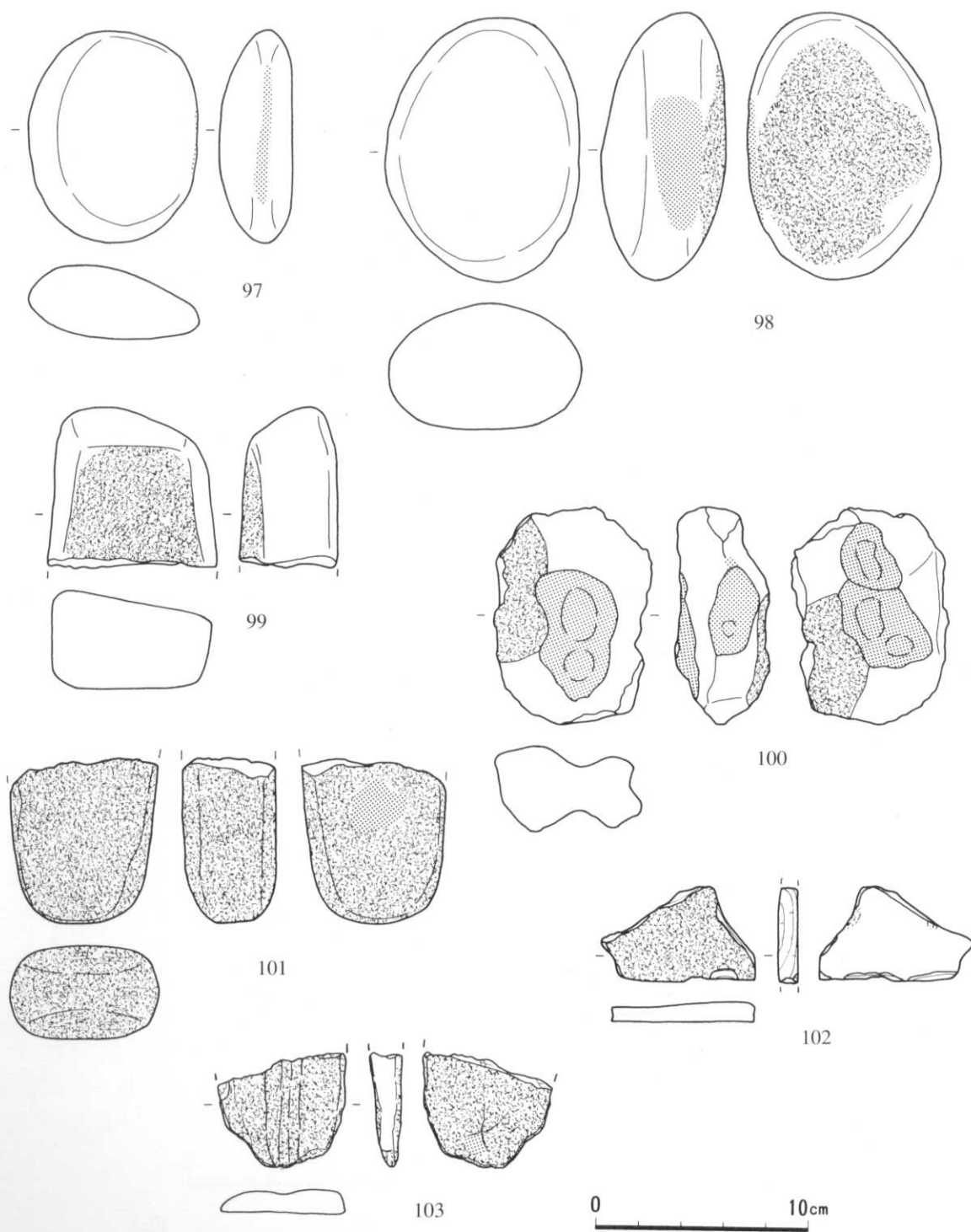
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
83	VII H-76	I	123	57	30	235.1	安	J		75000
84	VII H-74	〃	(58)	(99)	(10)	(86.3)	凝	〃		74845
85	VII F-74	〃	99	60	22	106.7	安	Q		75160
86	VII F-75	〃	166	61	71	868.4	〃	I b		74993
87	VII G-74	〃	(88)	(51)	(45)	(285.4)	流	I a		72884
88	VII F-76	〃	79	65	31	178.1	頁	〃		74367

26図 第I層出土石器 (15)



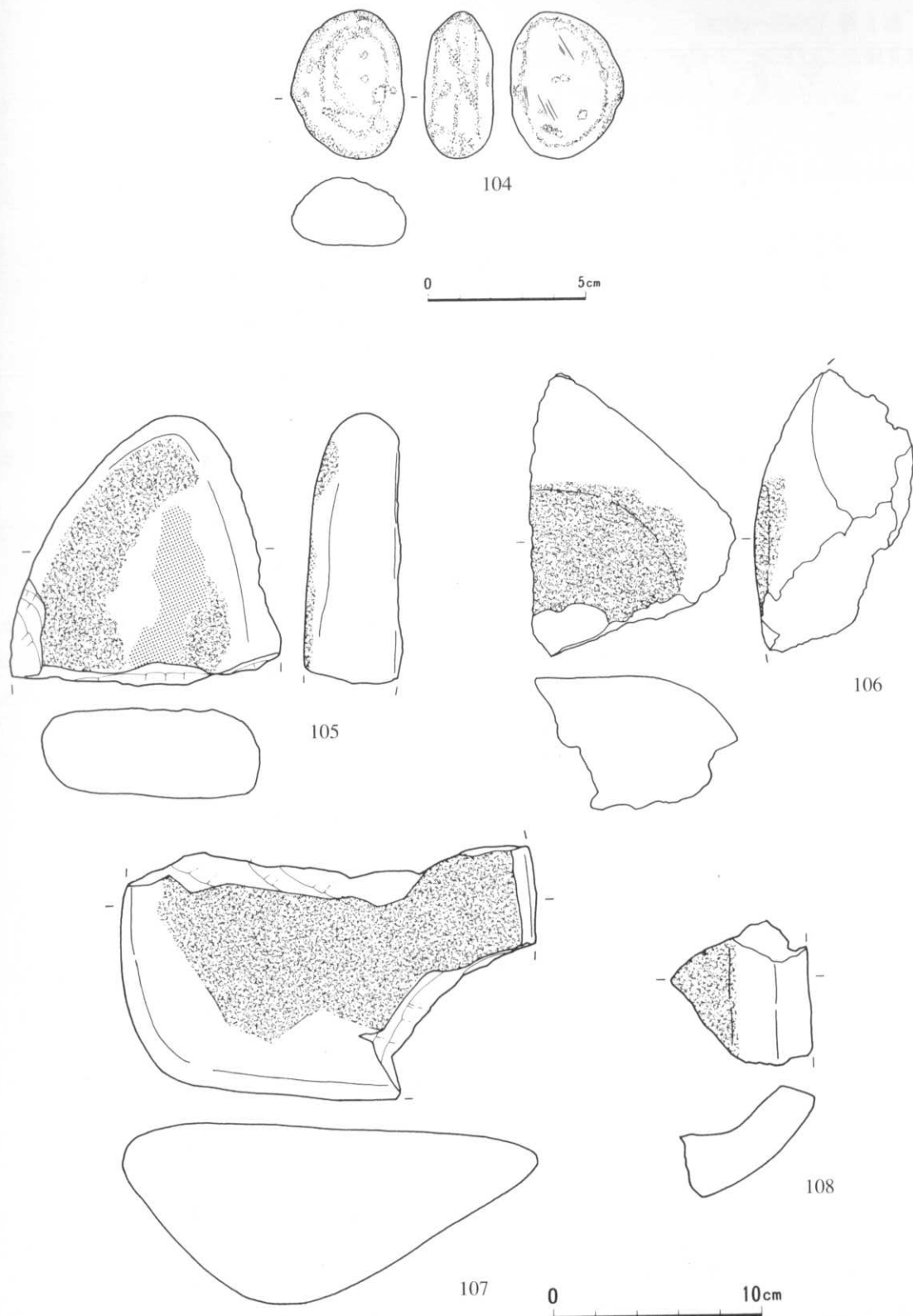
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
89	VII G-75	I	(83)	(69)	(34)	(288.8)	安	I b		72691
90	VII F-75	〃	92	72	45	467.0	〃	〃		74366
91	VII G-77	〃	112	76	95	550.1	〃	〃		74371
92	〃	〃	109	58	23	192.5	流	〃		74370
93	VII F-74・75	〃	92	71	37	335.9	凝	〃		74989
94	VII G-75	〃	60	59	49	254.5	安	〃		74998
95	VII F-75	〃	81	73	65	291.0	〃	〃		74365
96	VII F-77	〃	47	46	29	72.5	凝	〃		74863

27図 第I層出土石器 (16)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
97	Ⅶ F—76	I	100	80	35	351.8	安	I b		74386
98	Ⅶ F—75	〃	126	92	59	779.8	〃	I c		74994
99	Ⅶ H—74	〃	(75)	(80)	(47)	(438.7)	〃	〃		74851
100	Ⅶ G—74	〃	102	75	45	252.8	〃	I a	石皿欠損品利用	74995
101	Ⅶ F—75	〃	(78)	(71)	(44)	(315.6)	〃	I c	石棒破片?	74364
102	〃	〃	(44)	(73)	(9)	(27.4)	凝	S b		75369
103	Ⅶ F—74	〃	(54)	(60)	(14)	(45.8)	〃	〃		75368

28図 第I層出土石器 (17)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
104	Ⅶ F-74	I	47	35	22	14.3	軽	T b		72582
105	Ⅶ G-74	〃	(129)	(130)	(48)	(885.3)	〃	L		74850
106	Ⅶ H-74	〃	(135)	(95)	(77)	(747.9)	〃	〃		75365
107	Ⅶ H-76	〃	(120)	(198)	(87)	(2540.6)	〃	〃		72687
108	Ⅶ G-74	〃	(69)	(66)	(54)	(133.7)	〃	〃		

29図 第I層出土石器 (18)

(2) 第Ⅱ層 (30図～32図)

第Ⅱ層からは石匙、不定形石器、石核類、敲磨器類、石皿・台石類などが出土している。

石材は剥片石器のうち、ほとんどが珪質頁岩であるが、玉髓や玉髓質珪質頁岩、黒曜石なども使用されている。

敲磨器類の材料としては安山岩、凝灰岩、溶結凝灰岩、砂岩などが使用されている。

C類 石匙 (1～2)

1～2はいずれも光沢を持つ。光沢は裏面に著しく正面側では器体中央部に認められる。

G類 不定形石器 (3～12)

7は欠損品で石槍状の形状である。両側縁に階段状の剥離が向かい合い、両極打法によって整形された可能性がある。11は粗い加工が施されるが、刃部の形成には至っていない。12は黒曜石製であり、産地分析により北海道赤井川産と推定されている。

P類 石核類 (13～14)

13は石核である。上下と裏面の一部に礫面が残り、原石自体も長さが5 cm程度の小型のものと考えられる。礫面を打面として剥離されている。

14は黒曜石製の剥片であり、産地分析によって北海道赤井川産と推定されている。長さは2.3cmと小型で、この形状で搬入されたとは考えにくく、三内丸山遺跡で剥片剥離により生産されたものと考えられる。

I類 敲磨器類 (16～19)

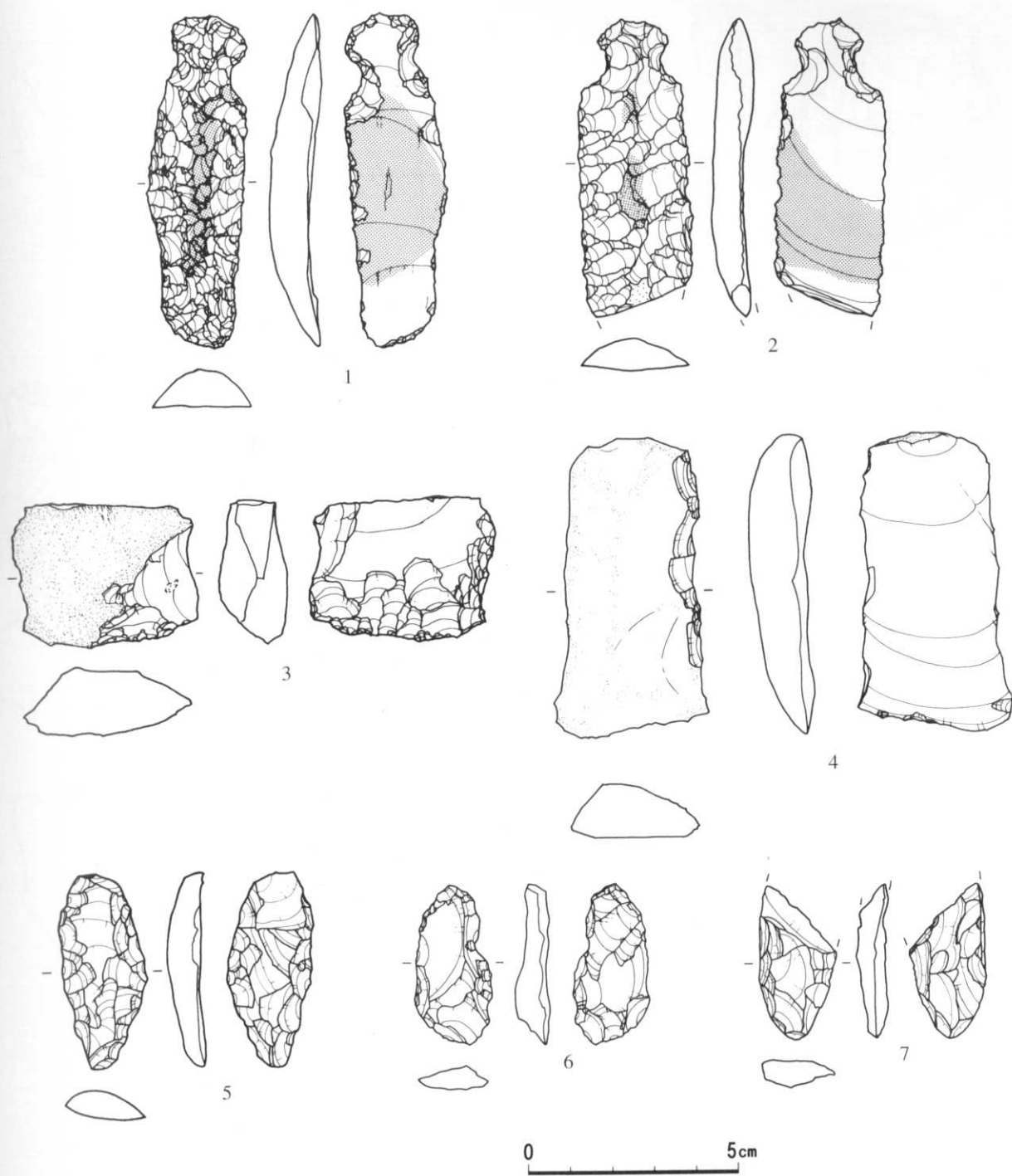
16は偏平な礫の側縁に敲打痕が残る。17は磨面を切って敲打痕が形成されている。敲打痕は節理面で剥落した部分にも認められる。石材が砂岩であり、幅3～4 mmの溝状の細長い窪まりを持ち、砥石としても使用された可能性がある。18は整形がなされており、断面が四角形で石棒の先端に類似した形状である。欠損品であり、残存部は全面が磨面となっている。器表面には擦痕が認められる。19は表面に磨面が認められる。明確な部分のみスクリーンで表示したが、器表面全体に広がる可能性がある。破片資料のため全体の形状は不明であるが、断面は丸みを帯びた四角形であり、石棒破片の可能性もある。

L類 石皿・台石類 (20)

20は正面、裏面ともに磨面を持つ石皿の破片であるが、両面とも磨面を切って凹痕が形成される。凹痕はいずれも残存部分の中央部に位置し、破片となった後に形成された可能性がある。

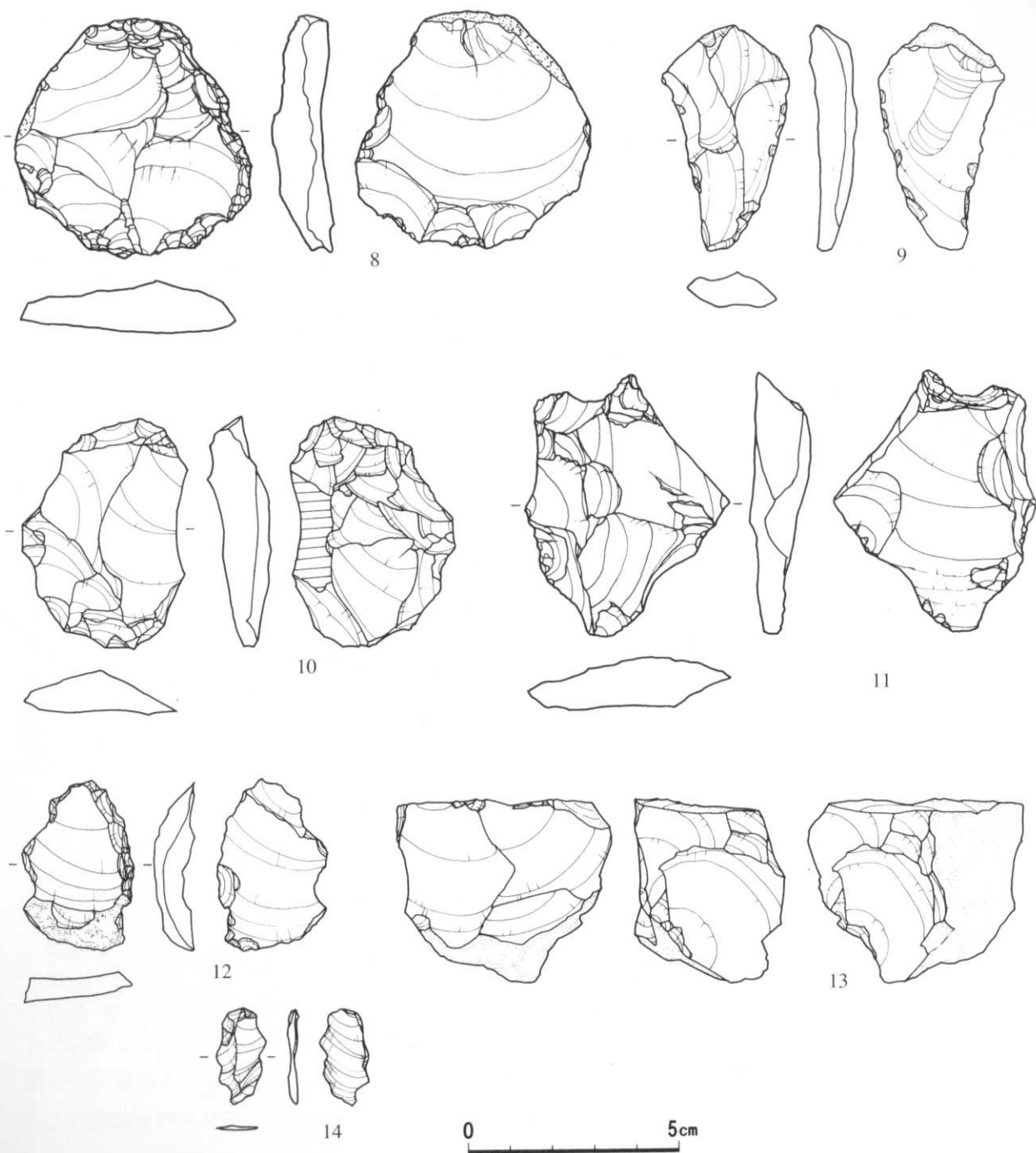
Q類 その他 (15)

15は欠損品であり器種を特定できない。粘板岩製であり、正面には研磨痕が残る。残存部分を基部とすると石槍状の形状であった可能性もある。



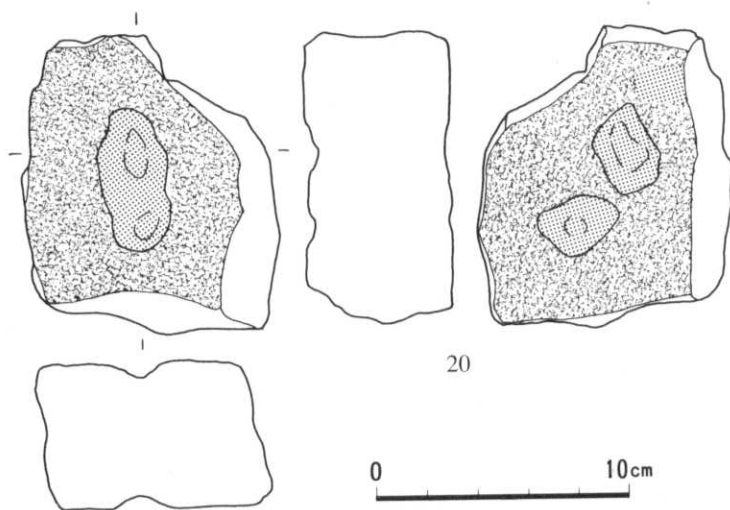
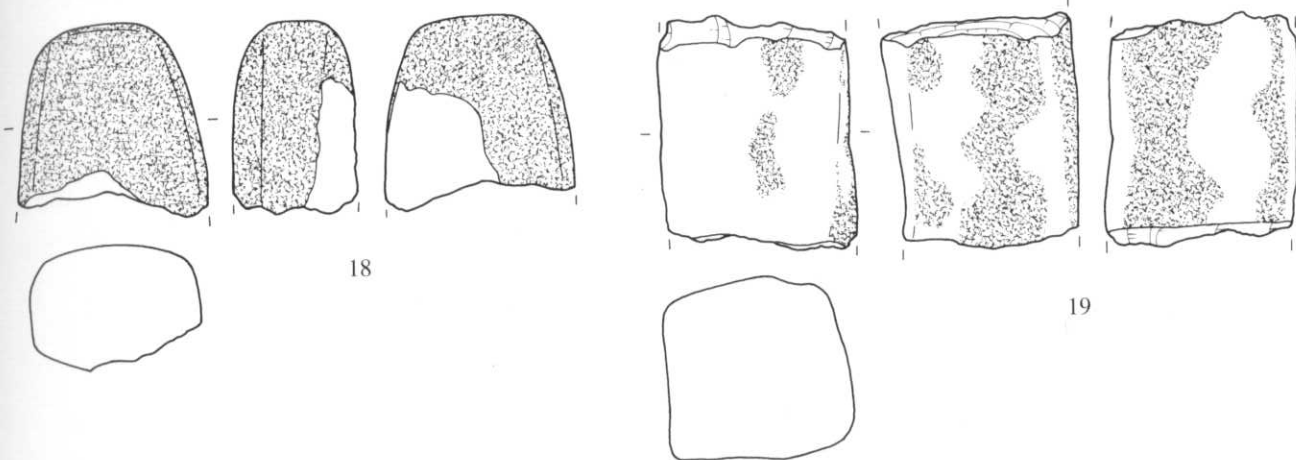
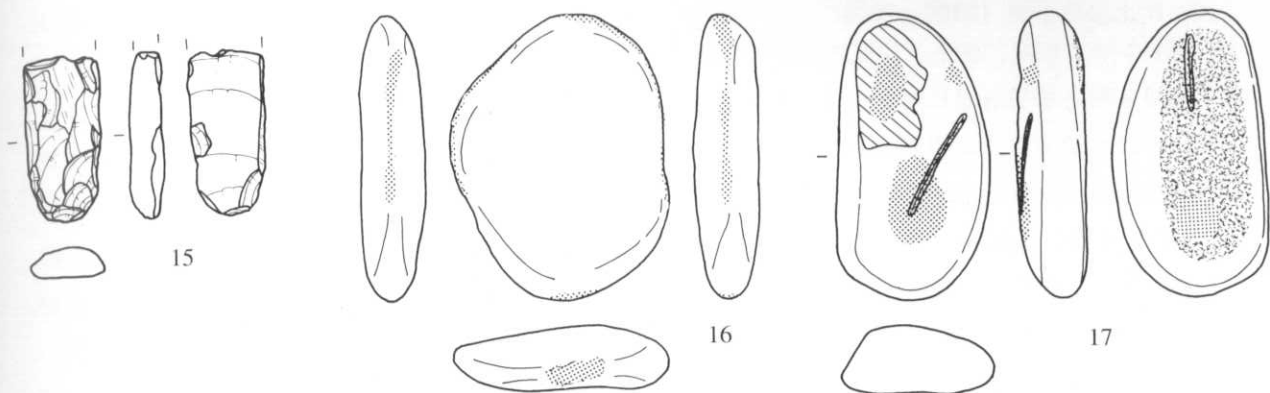
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	VI G-74	II	80	25	13	21.0	珪頁	C a		3068
2	VI H-77	〃	(72)	(28)	(11)	(16.3)	〃	〃		3308
3	VI G-74	〃	30	45	16	31.3	玉珪	G a		65180
4	VI F-76	〃	72	37	15	43.5	珪頁	〃		3340
5	VI G-74	〃	47	21	9	7.5	玉珪	〃	石錐? 石鏃未製品?	73041
6	VI F-77	〃	43	18	9	5.3	珪頁	〃	石鏃未製品?	63700
7	VI G-74	〃	(37)	(18)	(7)	(4.4)	玉	〃		72819

30図 第II層出土石器(1)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
8	VII G-74	II	57	56	14	43.7	珪頁	G a		65185
9	VII F-76	〃	54	30	11	12.9	〃	G b		72509
10	VII E-76	〃	55	39	15	24.1	〃	G a		72501
11	VII G-74	〃	62	48	15	36.9	〃	G b		65181
12	VII E-76	〃	41	26	10	7.9	黒	G a	赤井川産	3339
13	VII F-76	〃	44	52	36	63.1	珪頁	P a		60125
14	VII E-76	〃	23	12	2	0.4	黒	P c	赤井川産	3335

31図 第II層出土石器(2)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
15	Ⅶ E-76	Ⅱ	(66)	(30)	(14)	(43.0)	粘	Q		75268
16	Ⅶ E-75	〃	113	81	26	326.5	安	I b		74862
17	〃	〃	115	62	28	271.3	砂	I c		74374
18	〃	〃	(76)	(76)	(49)	(327.9)	凝	〃	石棒破片?	74373
19	〃	〃	(94)	(79)	(78)	(850.8)	溶凝	〃	〃	74747
20	〃	〃	(119)	(102)	(58)	(759.5)	凝	L		70183

32図 第Ⅱ層出土石器 (3)

(3) 出土層位不明 (33図~70図)

トレンチ、攪乱、排土、注記の欠失その他により、出土層位が不明な石器を一括した。

第VI a層と第VI b層に層が区分される前に第VI層としてとりあげられた遺物や、第VI a層~VI b層にかけて設定された東西トレンチ(西トレンチ)の遺物については、円筒下層 a式に伴うものである。記述は器種毎に時期判定の可能な遺物から行った。

石鏃、石匙、石錐、石篋、不定形石器、異形石器、石核類、磨製石斧、抉入扁平磨製石器、敲磨器類、砥石、軽石・軽石製品、石皿・台石類、角柱状の礫・礫石器などが出土している。

第VI層及び東西トレンチの出土遺物については縦型の石匙の多いことや、石錐の出土点数が多いことなど第VI a層・VI b層と共通性を持つ。また、第VI層からは玉髓製の異形石器などが一括して出土しており、注目される。

剥片石器の石材は、ほとんどが珪質頁岩で、他に玉髓質珪質頁岩、玉髓、黒曜石などが使用されている。磨製石斧では、緑色細粒凝灰岩、頁岩が使用され、敲磨器類では安山岩、凝灰岩、溶結凝灰岩、頁岩などが使用されている。石皿・台石類は主として安山岩を使用している。角柱状の礫は流紋岩が主で、溶結凝灰岩も使用されている。

A類 石鏃 (1~15)

1~9は第VI層及び東西トレンチからの出土である。基部は円基、平基、凹基である。

C類 石匙 (16~92)

16~67は第VI層及び東西トレンチからの出土であり、68、69は第V a~V c層、70~71は第V c層~VI b層のものである。縦型の石匙が多数を占め、横型、斜型のものも出土している。光沢の認められるものも多い。

16は長さが11.3cmと大型で、両面加工である。先端部が錐先状に尖る。つまみ部分の摩耗が著しい。18は表裏ともに光沢が顕著であるが、光沢を切って錐先状の先端をつくりだしている。64は横型の石匙であり、66はつまみ部の抉りの間隔が3.9cmと大きい。

88は黒曜石製で産地分析により青森市戸門産と推定されている。長さが2.1cm、重さが1.7gと実用性に乏しい大きさであり、異形石器の可能性がある。

D類 石錐 (93~115)

93~108は第VI層及び東西トレンチからの出土である。93~96、98、102~103のように、一方の側面が折れ面や剥離面であるものが多い。それらの面では、錐先部分を中心に加工が加えられている。錐先断面を三角形あるいは厚みのある四角形に加工しやすい素材を選び、整形を一部省略したものと考えられるが、一部は剥片を折り取って素材とした可能性がある。

108は先端部を持ち本類に含めたが、右側縁が弧状に抉れ、裏面側では周辺に光沢が認められる。スクレイパーとしても使用されたと考えられる。

114は、先端部の磨耗が著しく、側縁の稜が失われ、回転によるものと考えられる横方向の擦痕が認められる。115は形状や加工が石鏃に類似するが、右側縁からの加工により、器体の対称性を損なうように先端が作り出され、先端付近の厚みが大きい。石鏃を再加工した可能性もある。

E類 石鏡 (116)

116は長さ5.5cm、幅2.2cmの短冊型の石鏡である。

G類 不定形石器 (117~192)

肉厚で直線的な刃部のもや弧状の刃部のも、薄手で直線的な刃部のも、厚みのある器体に粗い加工を施したもの、抉りを作り出して刃部としたもの、剥片のごく一部に加工を加えたもの、微細な剥離痕を持つものなどが出土した。定形石器の破片、未製品の可能性のあるものを含む。

117~166、180~186、188~192は第Ⅵ層及び東西トレンチからの出土である。

117、118は石鏡の可能性はある。119は長さが12.3cmと大型である。形状はくの字形をしており異形石器の可能性はあるが、大きさから本類に含めた。126は一端が尖るが摩耗やつぶれが確認できず、長さが9cmと大型であり、本類とした。

181は両側縁からの折れによる先端部を持つが、先端付近の加工はごくわずかである。意図的な切断により錐先を作り出したのか不明確であるため本類とした。183~187も石錐(素材)の可能性はあるが、先端部分の加工が明確ではなく、本類とした。

188~192は小型で玉髓製である。異形石器の項で記述するが193~200の玉髓製異形石器などと一括して出土したと考えられる。

R類 異形石器 (193~200)

193~200の8点は玉髓製で、ⅧG-74から第Ⅵ層として同一月日に取り上げられたものである。いずれも、長さは1.5cm~3.0cmであり、小型の剥片の中央部付近で両側縁に抉りを設けている。出土状況の詳細は不明であるが、形状に共通性があり、一括出土品と考えられる。また、同一グリッド、同一層で、同一月日に取り上げがなされている玉髓製の石器は188~192、201~205であり、これらを含めて一括して出土した可能性が高い。

異形石器の認定基準を大きさと形の非実用性と、素材の色など視覚性の重視・優先におき、特に突起や対称性などの形に対するこだわりの有無を重視して、以上18点を異形石器8点、スクレイパー類2点、R. フレイク3点、剥片5点に分類した。192はこれらの異形石器と形状に共通性があるが、左側縁のみの加工であり、異形石器としての認定を保留し、R. フレイクとした。また、190もR. フレイクとしたが正面左側縁を上にし、欠損部を切断加工とすると198などに近い形状となり、異形石器の可能性はある。玉髓は、同一母岩の認定が難しいが、色調や稿・不純物から少なくとも3つのグループにわけられる。また、198と199、204と205は接合した。(なお「三内丸山遺跡Ⅸ」の口絵3では一括出土の可能性を検討した同一グリッド出土の第Ⅵa層等の剥片2点を含め20点の写真を掲載したがこの2点は色調の異なりに加え、層と取り上げ月日が異なるため一括出土から除外している。)

P類 石核類 (201~211)

201~205は、異形石器と一括出土したと考えられる玉髓製の剥片である。

206~211は石核であり、うち206~208は第Ⅵ層及び東西トレンチからの出土である。縁辺から求心的に剥片を剥離するものが多い。211も求心的な剥離を行っているが、打面と作業面を入れ替えな

が剥離しており、両刃礫器状の形状となっている。

H類 石斧 (212~214)

磨製石斧を3点図示した。うち212と214が第Ⅵ層及び東西トレンチからの出土であり、いずれも刃部の減耗が不均衡であり、器体に対して、刃部が斜めとなっている。

K類 抉入扁平磨製石器 (216)

216は破片であり節理面が大きく残るが、推定される全体の形と、機能面と考えられる正面右側縁の状況から本類とした。

I類 敲磨器類 (218~221、223~235)

218~221、223~226は第Ⅵ層及び東西トレンチからの出土である。

凹痕を持つもの、敲打痕を持つもの、磨面を持つもの、使用痕の複合するものがみられる。敲打痕を持つものが最も多い。

S類 砥石 (236~237)

236は細粒凝灰岩製で溝状のくぼみを持つ。237は頁岩の細長い礫を素材としており、擦痕が顕著で、端部は激しく減耗している。

T類 軽石・軽石製品 (238~240)

238~240はいずれも第Ⅵ層及び東西トレンチからの出土で、面取りがなされている。240については擦痕が認められる。

L類 石皿・台石類 (241~245)

241、242、244は第Ⅵ層及び東西トレンチからの出土である。244は大きさから本類に含めたが、凝灰岩製で、浅く溝状のくぼみを持ち、砥石の可能性もある。

U類 角柱状の礫・礫石器 (246~248)

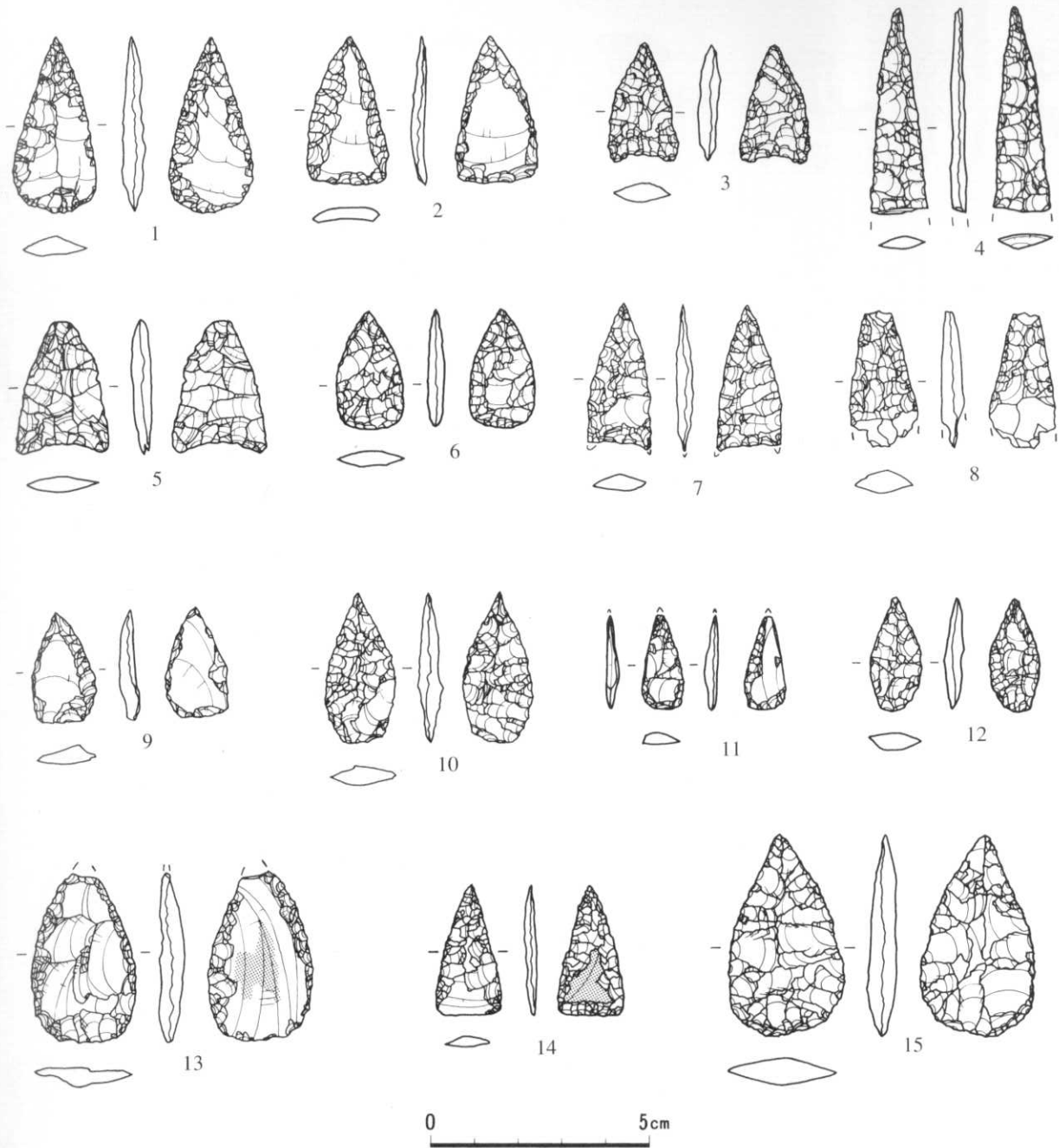
246は角柱状の礫であり、247、248には使用痕が認められる。

Q類 その他 (215、217、222)

器種を特定できないものを一括した。215は半円状扁平打製石器あるいはその未成品の可能性はあるが、加工が粗く約1/3を欠失しており器種認定を保留した。中央には敲打痕が認められる。

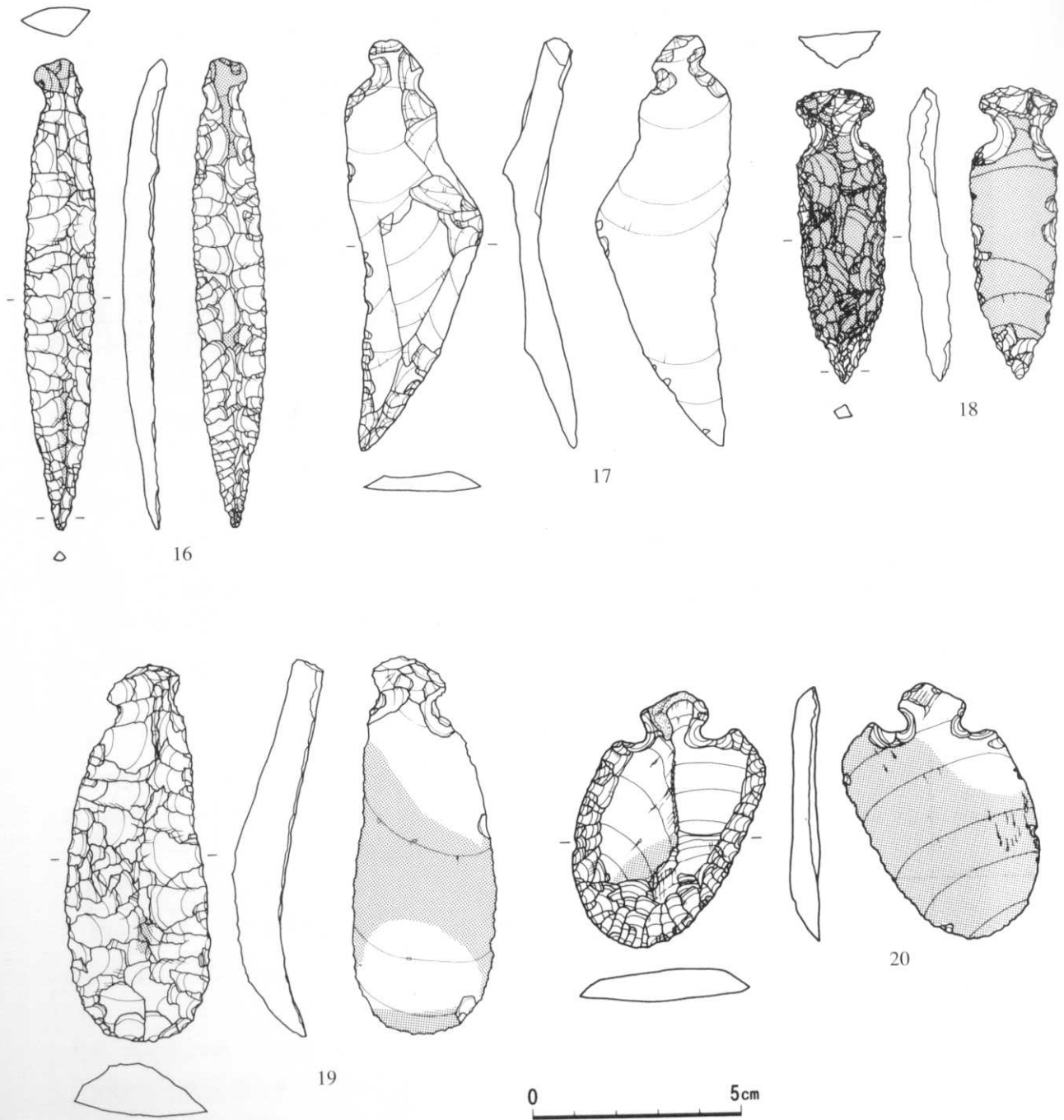
217は施される加工が粗く、長さが10cmに満たない。また凝灰岩製であり、第6鉄塔地区では半円状扁平打製石器などに加工されることが少ない石材であり器種認定を保留した。

222は楕円礫の側面に形成された磨面を切って剥離加工が加えられている。磨石を再加工した礫器の可能性はあるが、石材は細粒凝灰岩と比較的柔らかい石材である。また、第6鉄塔地区では他に類似した石器が出土しておらず、器種認定を保留した。



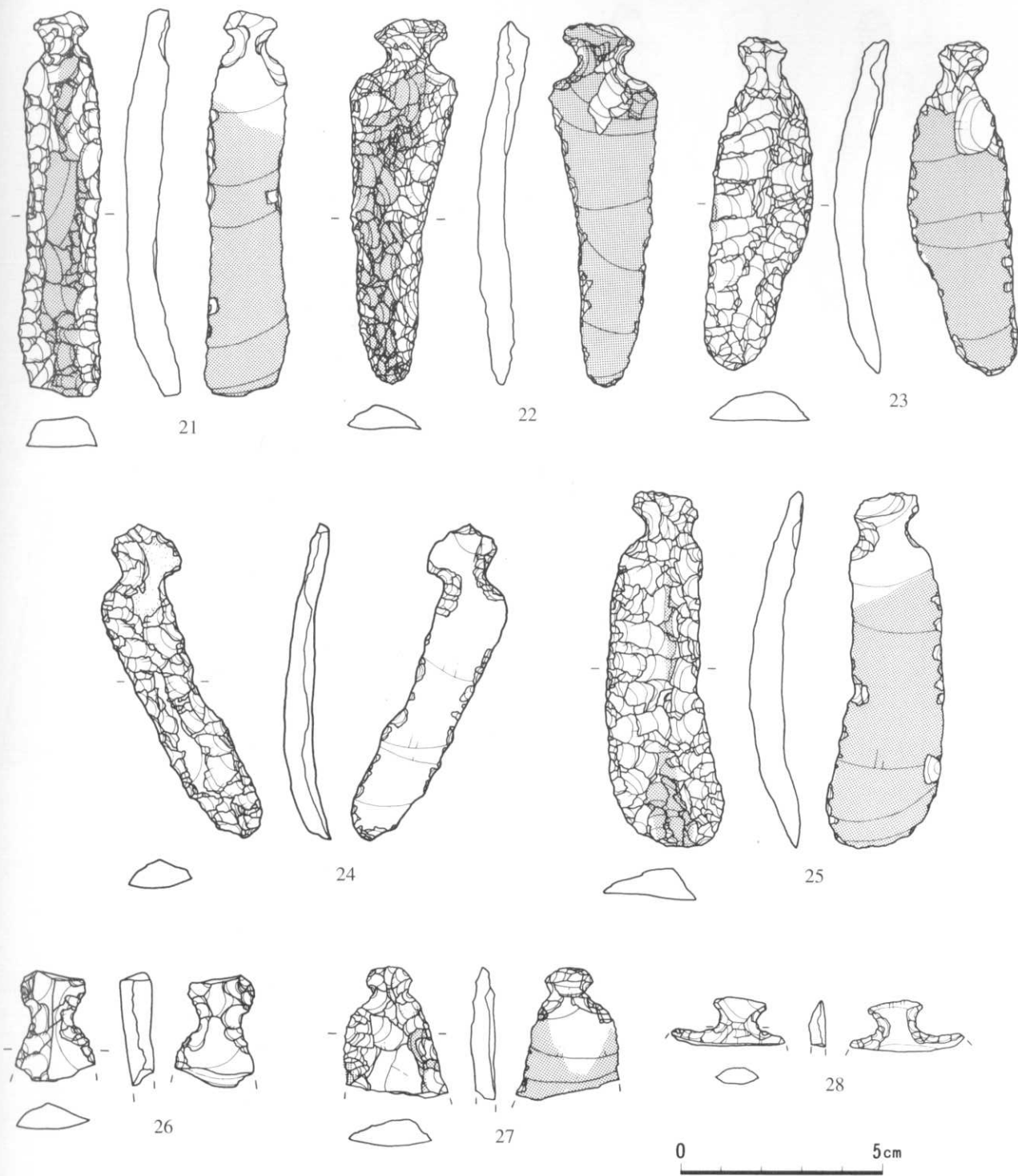
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	VII G-74	東西トレ	41	20	6	3.3	珪頁	A e		3977
2	〃	〃	34	19	4	2.1	〃	A d		3538
3	〃	VI	27	16	5	2.0	〃	A f		3558
4	VII G-76	〃	(48)	(13)	(4)	(1.8)	〃	A		3589
5	VII G-75	VIトレ	30	21	4	2.4	〃	A f		73037
6	VII F-74	東西トレ	27	15	4	1.6	〃	A e		3585
7	VII G-74	〃	(34)	(15)	4	(1.7)	〃	A f		3542
8	〃	〃	(31)	(16)	(5)	(2.2)	〃	A	焼け	3552
9	〃	〃	25	15	5	1.6	〃	A d		3541
10	VII G-76	〃	34	16	6	2.7	〃	〃		3555
11	〃	排土	(21)	10	3	(0.6)	〃	A e	未製品?	3584
12	VII F-76	〃	26	12	5	1.3	珪頁	〃		3566
13	VII F-75-3	〃	(39)	24	6	(5.3)	〃	〃		4007
14	VII G-75	〃	29	14	4	1.1	〃	A d		9632
15	〃	〃	46	26	7	7.3	〃	A e		3603

33図 出土層位不明石器 (1)



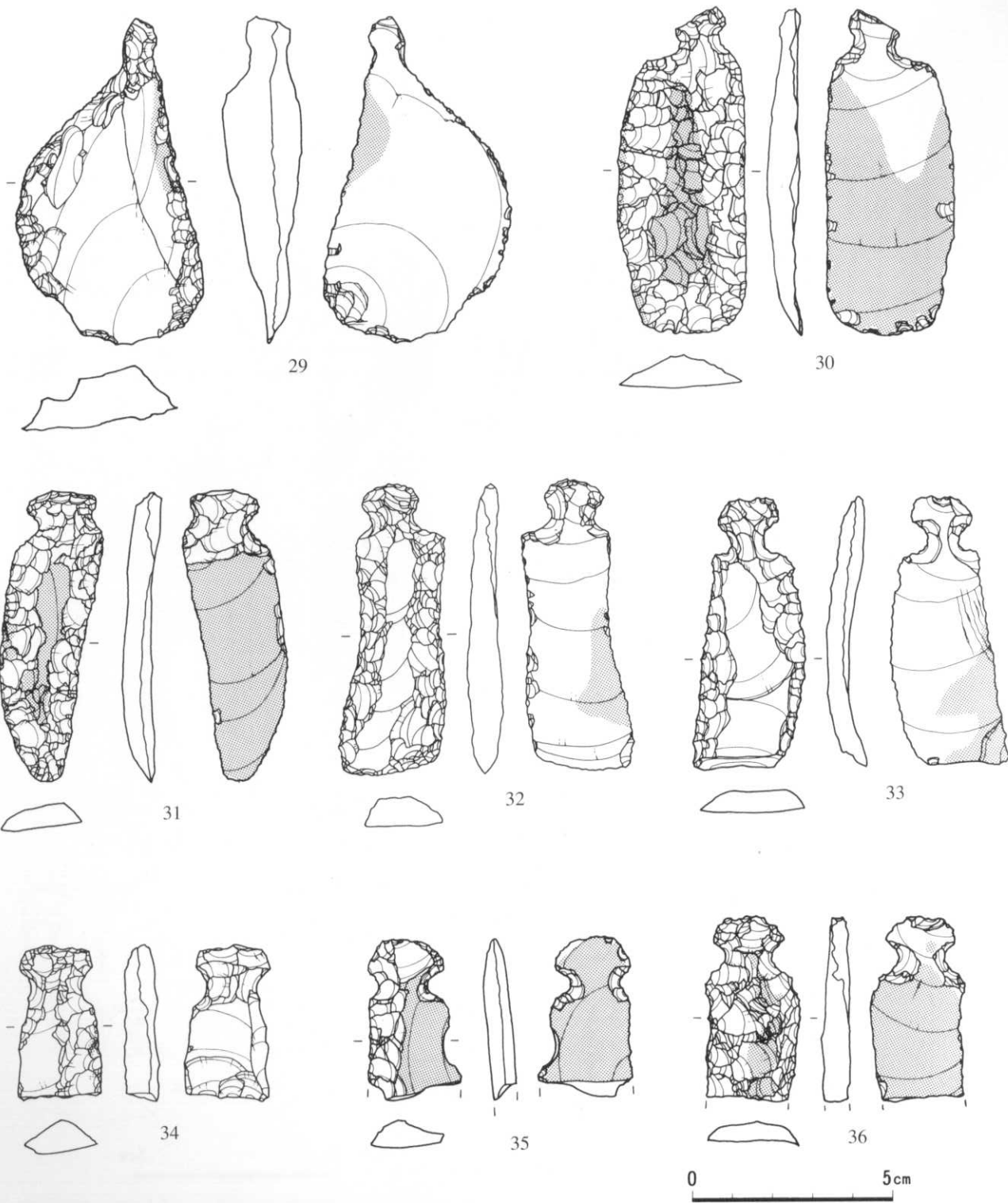
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
16	Ⅶ G-74	東西トレ	113	16	12	14.1	珪頁	C e			3735
17	Ⅶ H-74	〃	99	33	22	19.6	〃	C a			3687
18	Ⅶ F-75	Ⅵトレ	71	22	10	13.3	〃	C e			2945
19	Ⅶ G-74	東西トレ	95	35	23	33.8	〃	C a			3698
20	Ⅶ H-75	西トレ	61	47	8	19.7	〃	C c			72430

34図 出土層位不明石器 (2)



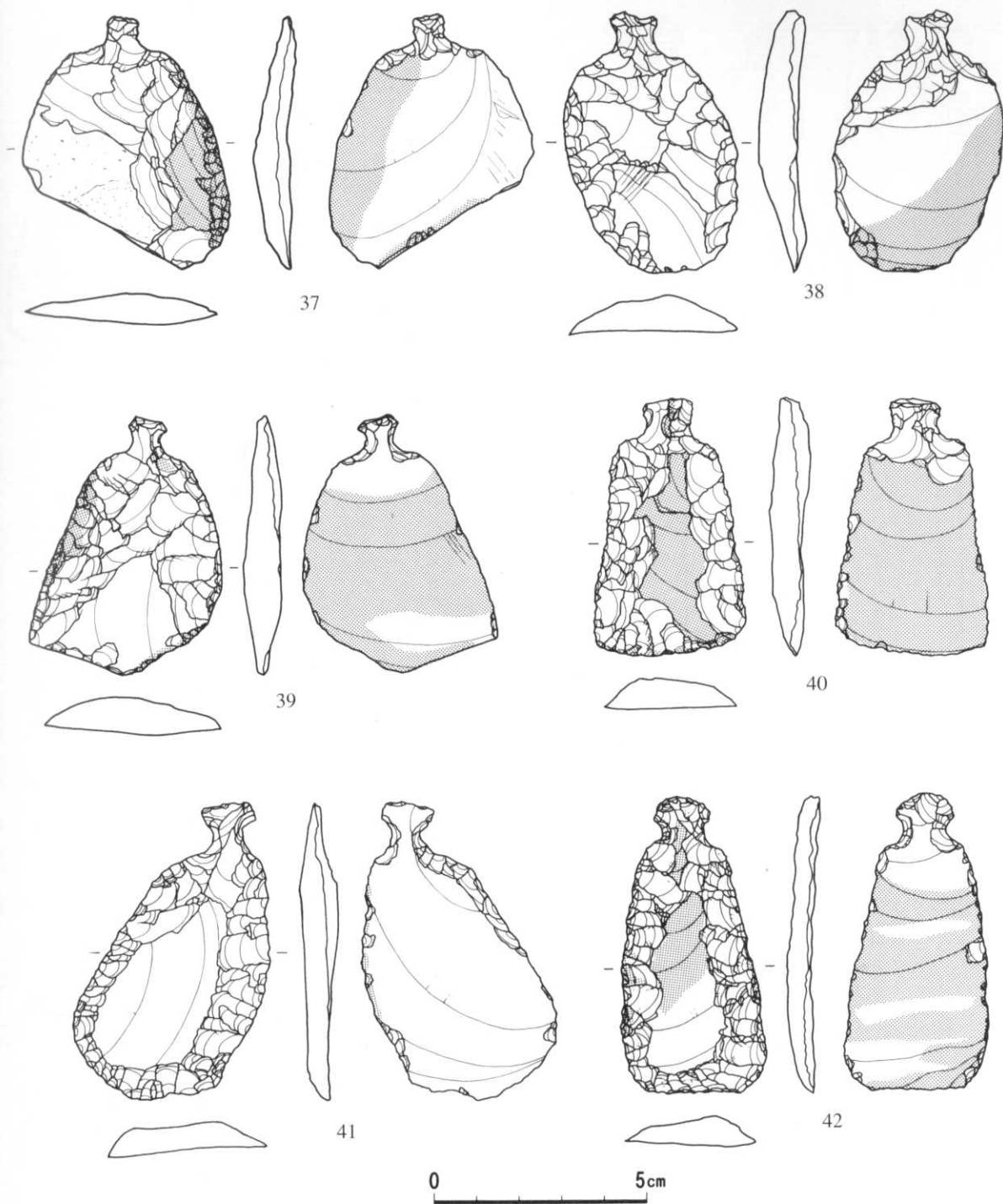
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
21	Ⅶ G-75	Ⅵ	97	21	15	20.0	珪頁	C a		3690
22	Ⅶ F-74	〃	91	27	12	15.8	〃	〃		2910
23	Ⅶ G-74	東西トレ	84	27	12	17.6	〃	〃		3638
24	Ⅶ G-76	Ⅵ	78	41	12	12.4	〃	C c		3629
25	Ⅶ G-74	東西トレ	89	30	13	22.2	〃	C a		3626
26	〃	〃	(27)	(20)	(10)	(3.6)	〃	〃		3646
27	Ⅶ F-74	〃	(33)	(26)	(7)	(4.9)	〃	〃		3779
28	Ⅶ G-76	Ⅵ	(12)	(28)	(4)	(1.0)	〃	C		3740

35図 出土層位不明石器 (3)



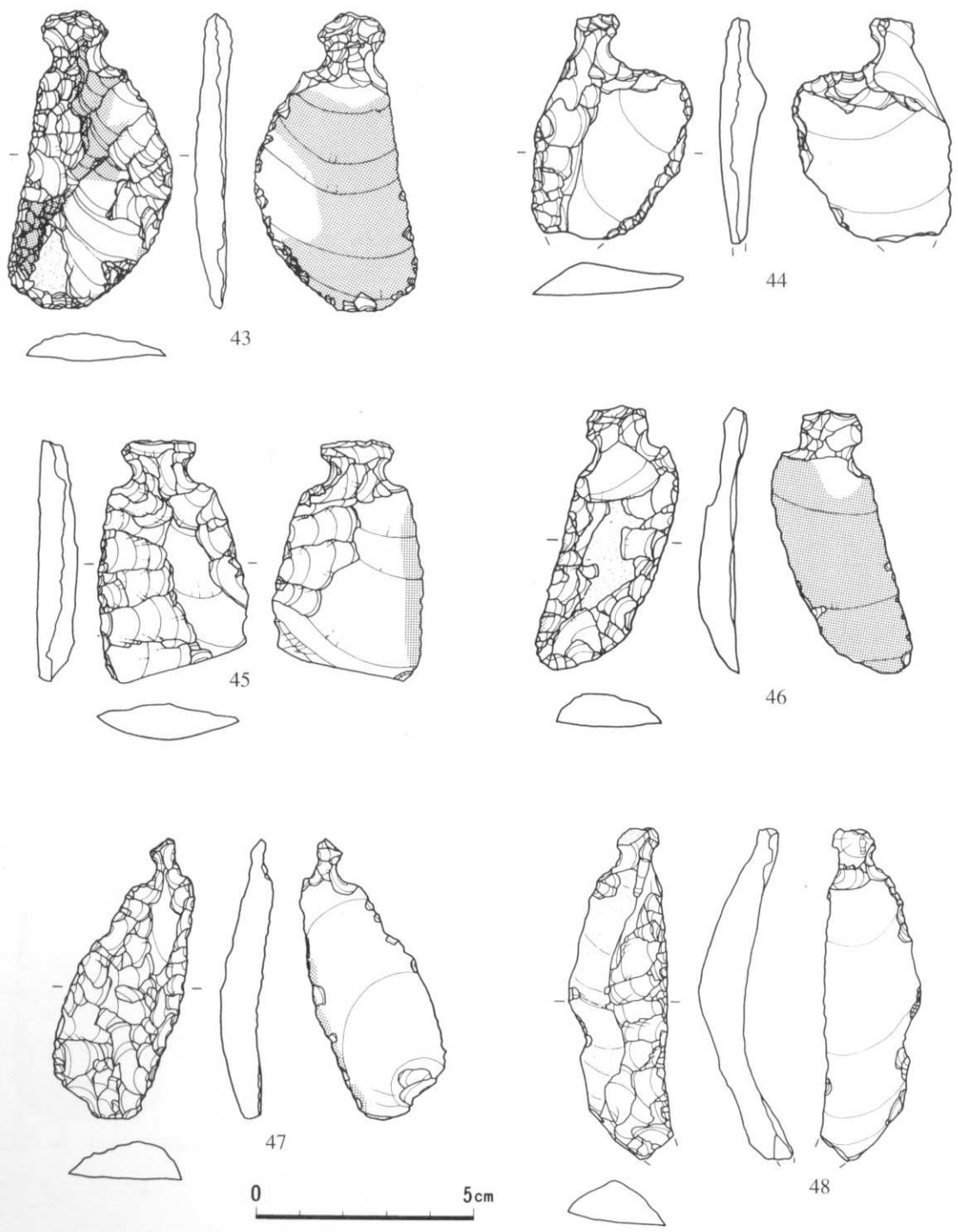
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
29	VII H-74	東西トレ	82	47	20	37.2	珪頁	C a		4028
30	VII G-77	VI	82	32	8	25.3	〃	〃		3918
31	VII G-75	〃	73	26	9	13.2	〃	〃		3606
32	VII F-75	VIトレ	73	28	9	16.8	〃	〃		2944
33	VII H-74-4	西トレ	72	33	10	12.9	〃	〃		3887
34	VII G-76	VI	39	21	9	7.8	〃	〃	下半部欠損後裏面再加工	3824
35	VII G-74	〃	(40)	(23)	(8)	(6.1)	〃	〃		3645
36	VII F-76	VIトレ	(47)	(24)	(8)	(9.3)	〃	〃		3007

36図 出土層位不明石器 (4)



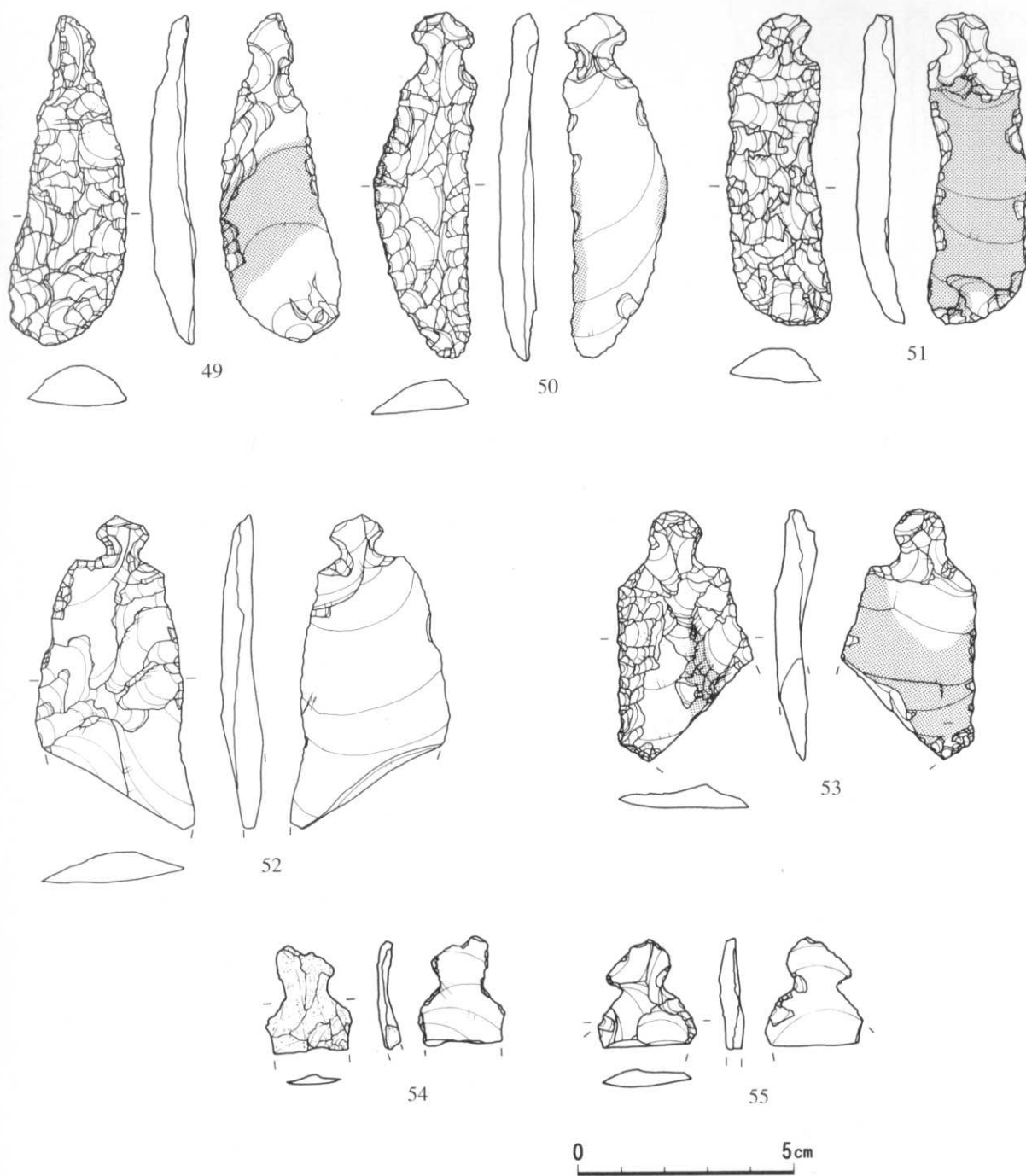
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
37	VII G-74	東西トレ	60	49	10	19.9	珪頁	C a		3618
38	〃	〃	62	41	12	22.6	〃	〃		3797
39	VII G-76	VI	66	45	9	18.8	〃	〃		3661
40	VII G-74	東西トレ	60	36	10	20.2	〃	〃		3912
41	VII F-74	VI	70	46	9	17.6	〃	C c		3839
42	〃	VIトレ	70	34	8	13.5	〃	C a		2911

37図 出土層位不明石器 (5)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
43	VII F-75	VI	69	38	8	16.5	珪頁	C a		2942
44	VII G-75	〃	(57)	42	11	(14.5)	〃	C c		3669
45	VII G-74	東西トレ	56	35	9	19.8	〃	C a		3827
46	〃	〃	61	32	10	11.5	〃	C c		3801
47	VII G-75	VI	64	29	11	13.9	〃	〃		3724
48	VII G-76	〃	(76)	(24)	(22)	(16.3)	〃	C a		3728

38図 出土層位不明石器 (6)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
49	VII H-74	VI	76	27	10	17.4	珪頁	C a		3720
50	VII G-76	〃	80	24	9	13.8	〃	〃		3697
51	〃	〃	72	24	11	17.2	〃	〃		3730
52	VII G-77	〃	(72)	(37)	(9)	(16.5)	〃	〃		3700
53	VII H-74	〃	(58)	(32)	(9)	(13.6)	〃	〃		3822
54	VII F-74	東西トレ	(25)	(20)	(5)	(1.8)	〃	〃		3636
55	〃	〃	(25)	(23)	(6)	(1.9)	〃	C		3654

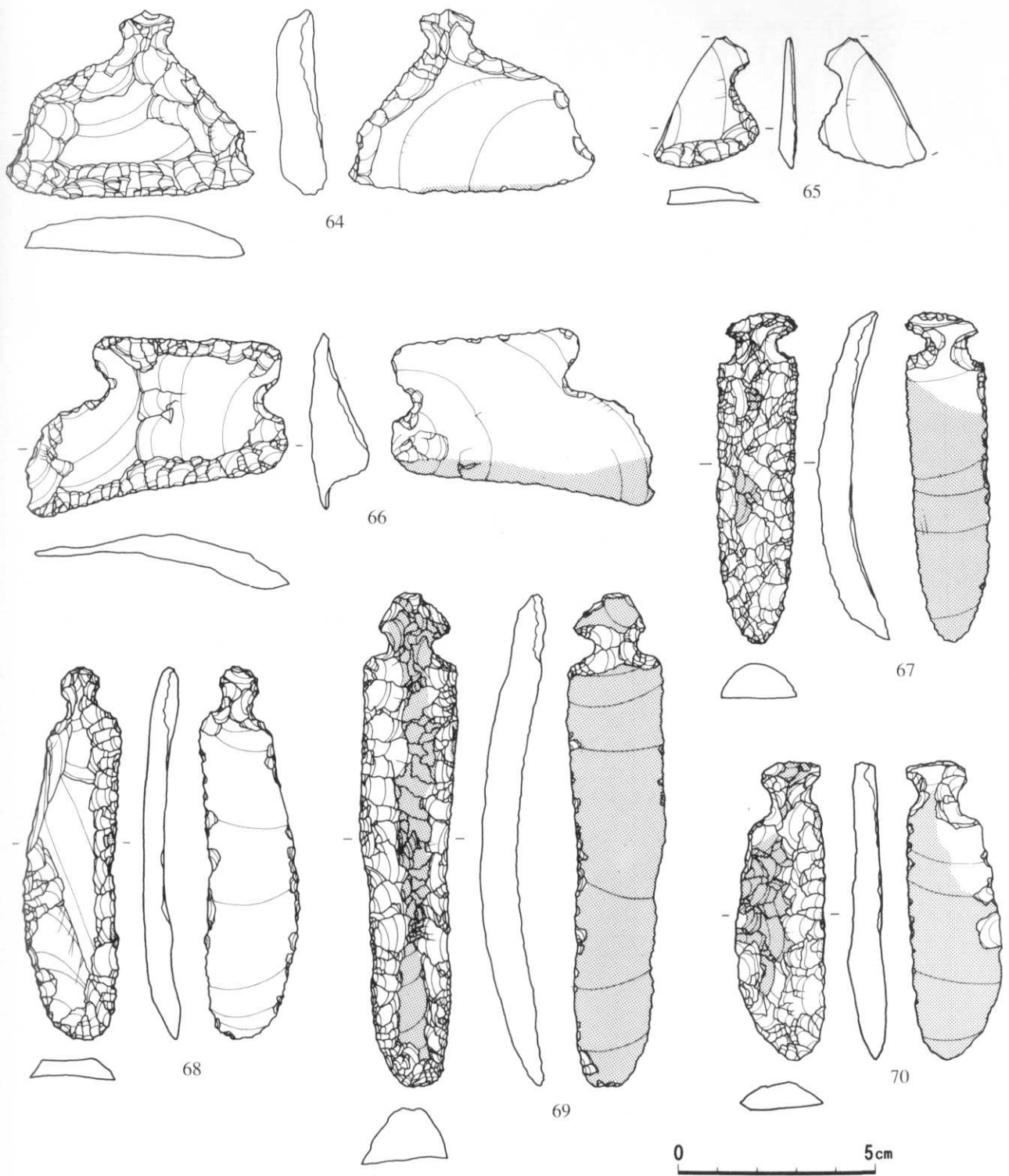
39図 出土層位不明石器 (7)



0 5cm

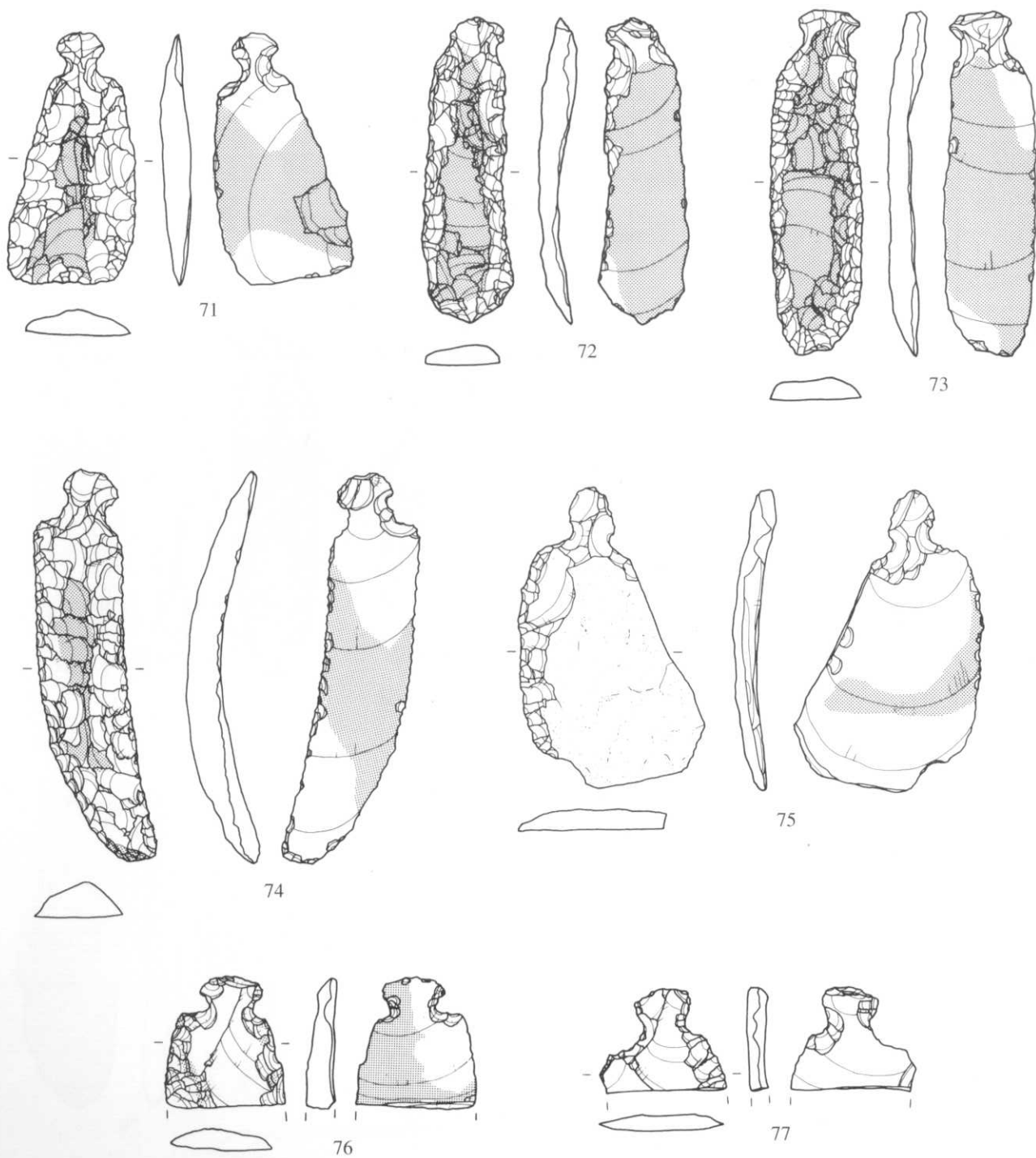
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
56	VII G-75	VI	(59)	(19)	(9)	(9.0)	珪頁	C a			3814
57	VII G-74	東西トレ	(62)	(31)	(8)	(9.7)	〃	〃			3662
58	VII F-76	VI トレ	64	23	10	11.5	〃	〃			3008
59	VII G-75	VI	59	26	10	8.1	〃	〃			3658
60	VII F-76	〃	62	27	13	14.8	〃	〃			3006
61	VII F-75	〃	56	22	6	9.3	〃	〃			3769
62	VII G-75	〃	(49)	23	8	(8.2)	〃	〃			3809
63	VII H-75	西トレ	(41)	19	4	(19.7)	〃	C g			72430

40図 出土層位不明石器 (8)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
64	VII H-75	VI	48	63	8	27.1	珪頁	C b			3732
65	VII G-74	東西トレ	34	(27)	(5)	(3.2)	〃	〃			3953
66	VII F-74	VI	45	56	15	15.6	〃	C f			3907
67	VII G-74	東西トレ	83	21	18	18.5	〃	C a			72618
68	VII H-76	V a ~ V c	95	25	10	17.9	〃	〃			3297
69	VII F-76	〃	127	25	18	34.7	〃	〃			2959
70	VII G-75-1	V c ~ VI b	76	23	10	14.4	〃	〃			3859

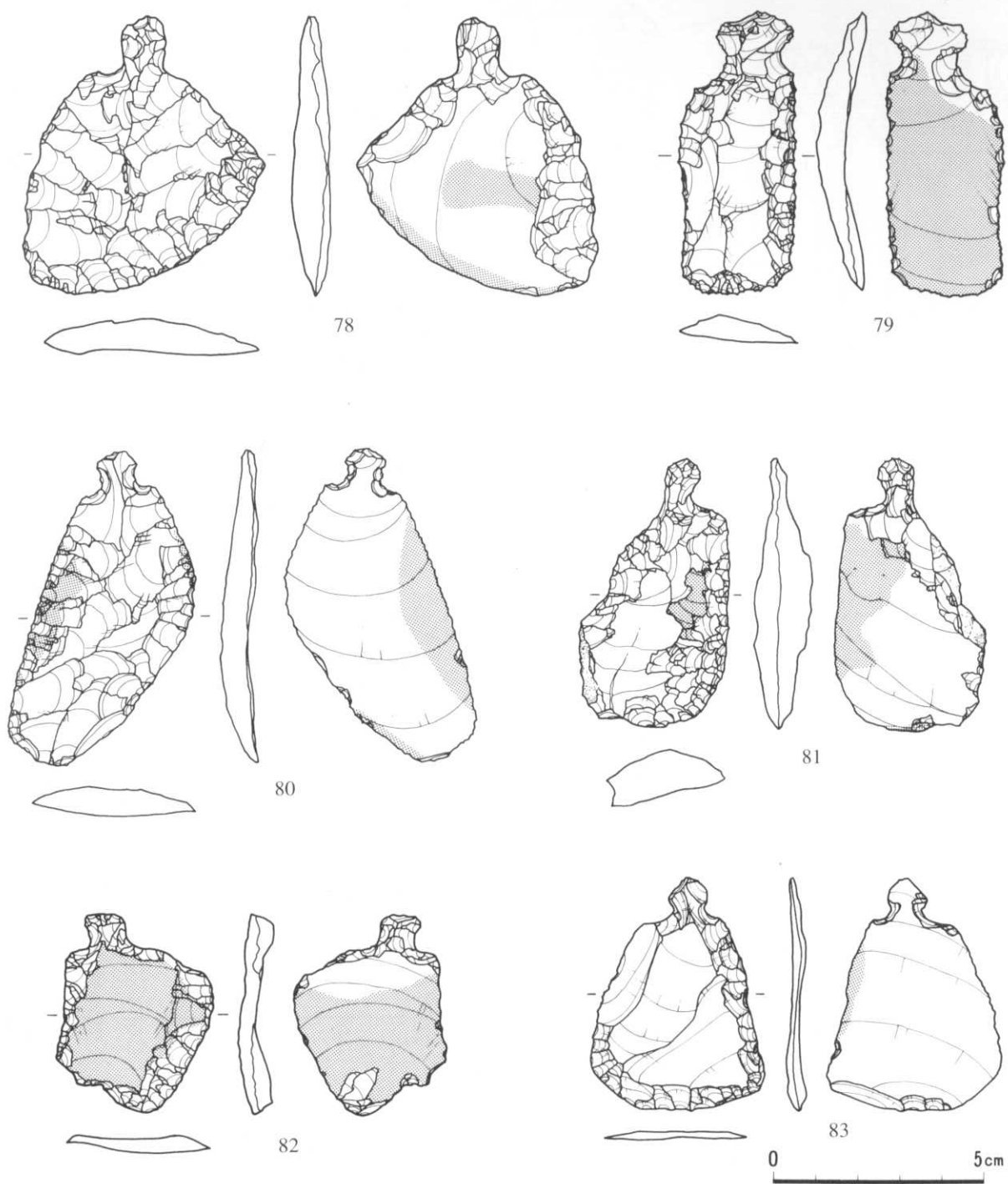
41図 出土層位不明石器 (9)



0 5cm

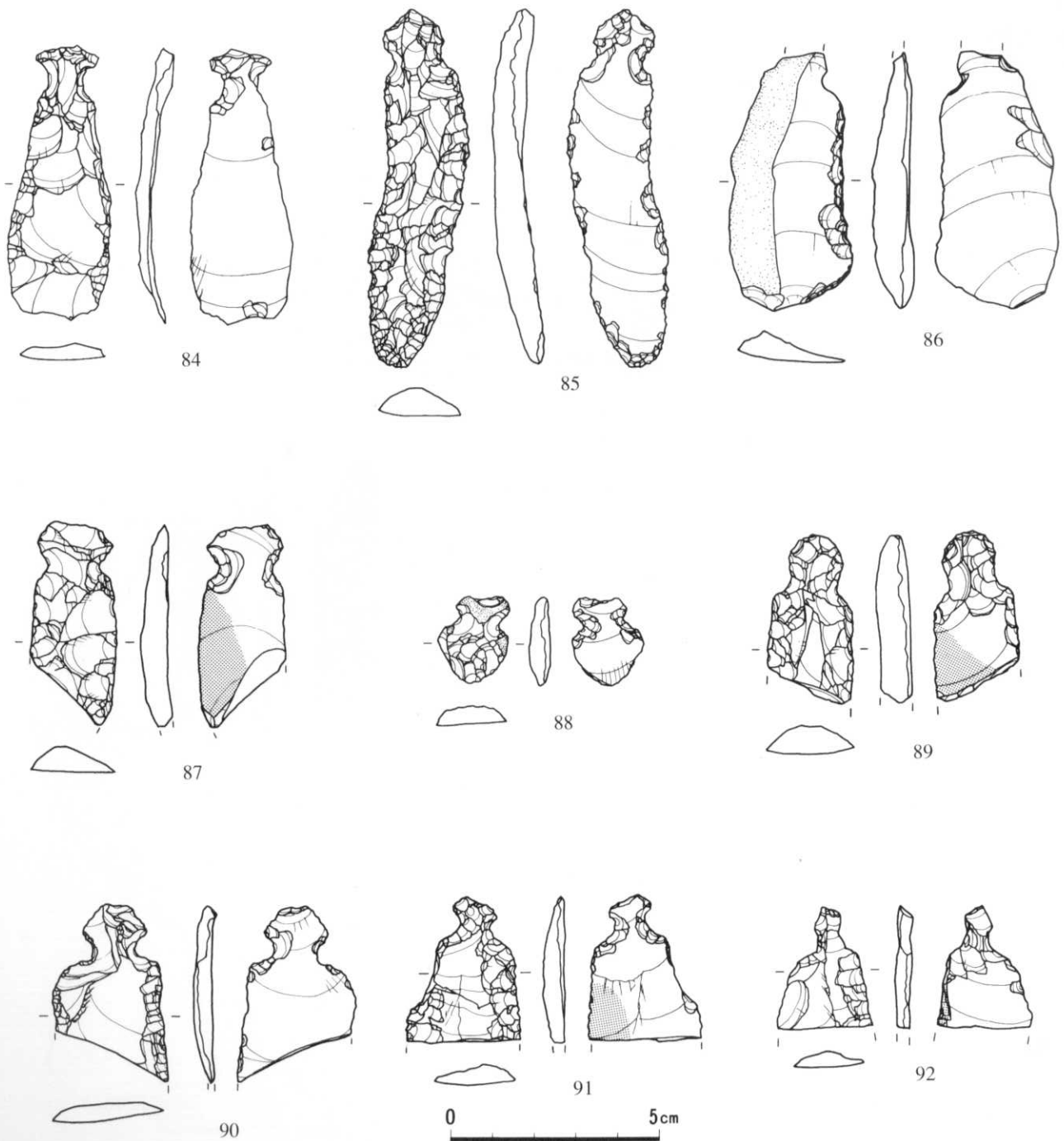
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
71	VII G-74-3	Vc ~ VIb	62	32	8	15.2	珪頁	C a		3807
72		排土	75	23	9	14.0	〃	〃		3615
73	VII G-76		85	23	10	17.6	〃	〃		3855
74	〃		96	31	19	23.9	〃	C c		3915
75	VII H-76	排土	73	46	10	18.2	〃	〃		3713
76			(32)	(29)	(7)	(6.7)	〃	C a		75254
77		排土	(26)	(31)	(6)	(3.2)	〃	〃		3651

42図 出土層位不明石器 (10)



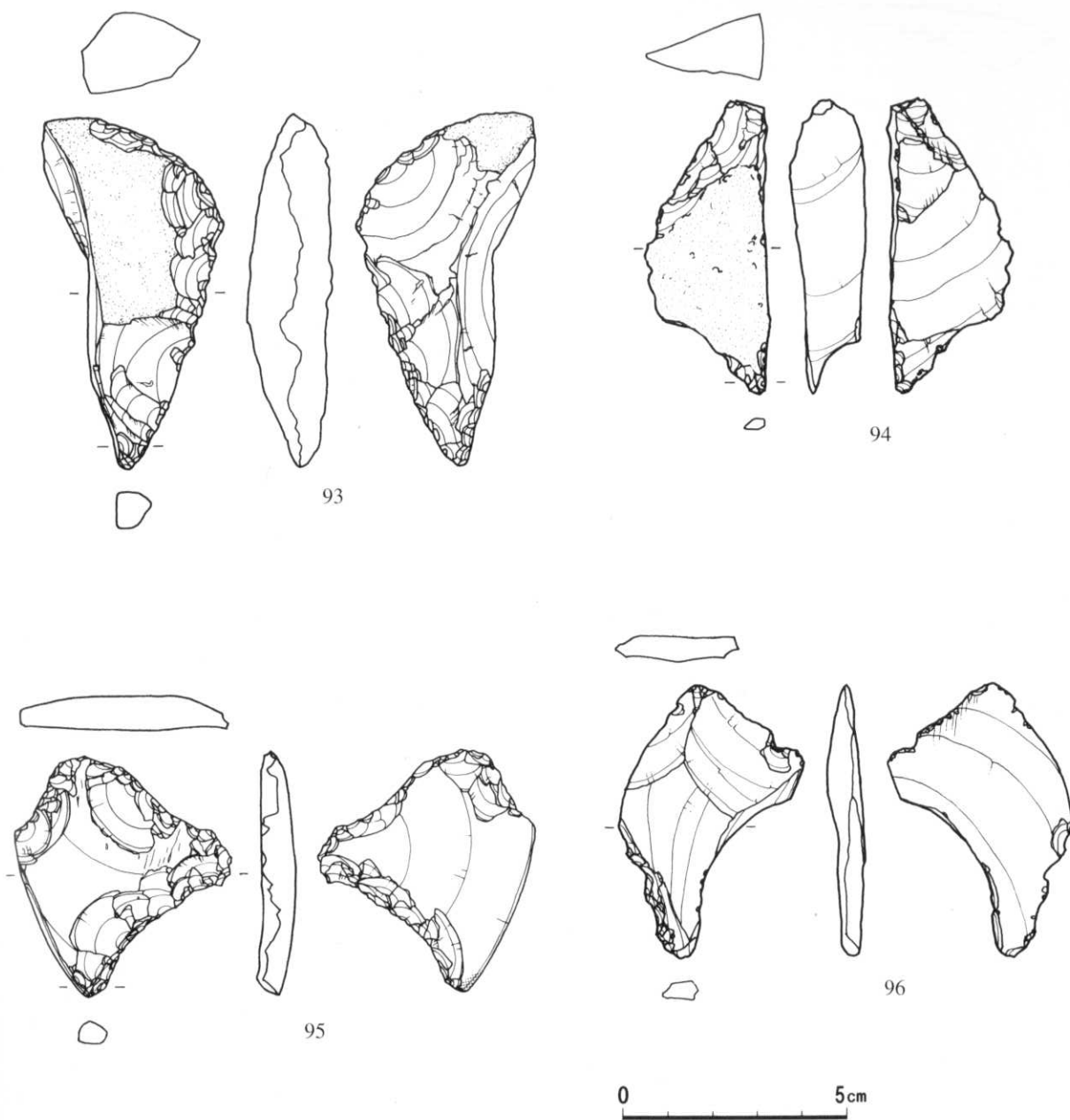
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
78	Ⅶ G-74		67	60	9	29.1	珪頁	C c		3619
79	Ⅶ G-76		68	28	11	14.2	〃	C a		72619
80	〃		74	45	9	18.6	〃	C c		3916
81	Ⅶ G-75		64	36	4	24.8	〃	C a		3625
82		排土	47	36	9	8.5	〃	C c		3614
83	Ⅶ G-76		55	41	4	8.1	〃	C a		72507

43図 出土層位不明石器 (11)



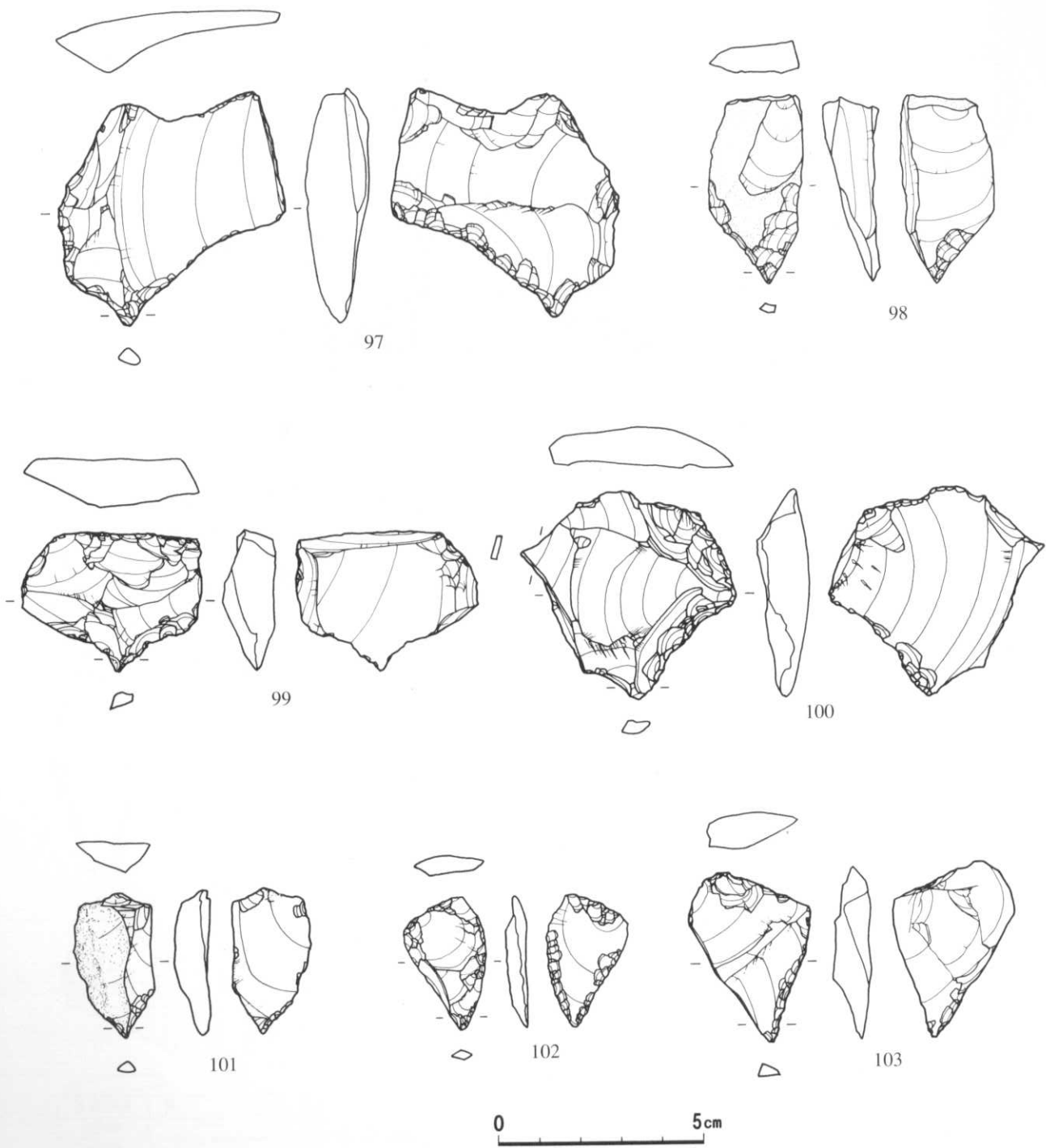
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
84			66	27	7	8.2	珪頁	C a		3826
85			86	24	13	15.4	〃	〃		3910
86	VII G-74		(62)	30	10	(13.0)	〃	C g		73373
87	〃	排土	(49)	(21)	(8)	(6.7)	〃	C a		3655
88	VII G-75		21	17	5	1.7	黒	〃	戸門産。異形石器?	3647
89	VII G-74		(40)	(21)	(9)	(7.0)	珪頁	〃		3647
90	VII F-76		(42)	(28)	(5)	(3.8)	〃	〃		3664
91	VII H-76		(35)	(27)	(5)	(5.0)	〃	〃		3757
92	VII G-76		(29)	(23)	(5)	(2.6)	〃	〃		3819

44図 出土層位不明石器 (12)



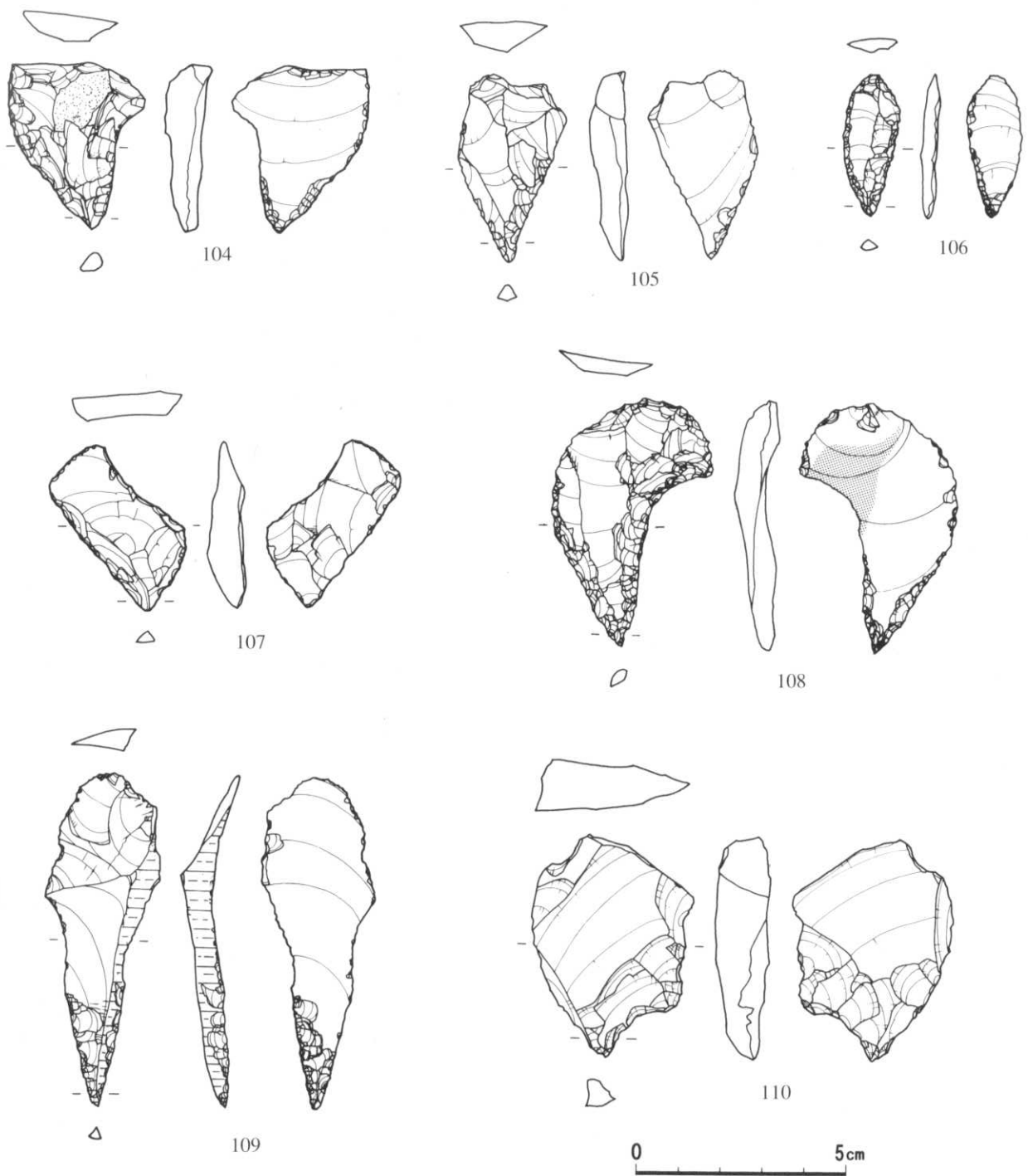
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
93	VII G-74	東西トレ	80	40	19	44.7	珪頁	D b		66626
94	〃	〃	62	28	17	25.8	〃	〃		66601
95	〃	〃	54	49	9	19.5	〃	〃	尖端摩耗	4052
96	〃	〃	61	42	9	13.7	〃	〃		66590

45図 出土層位不明石器 (13)



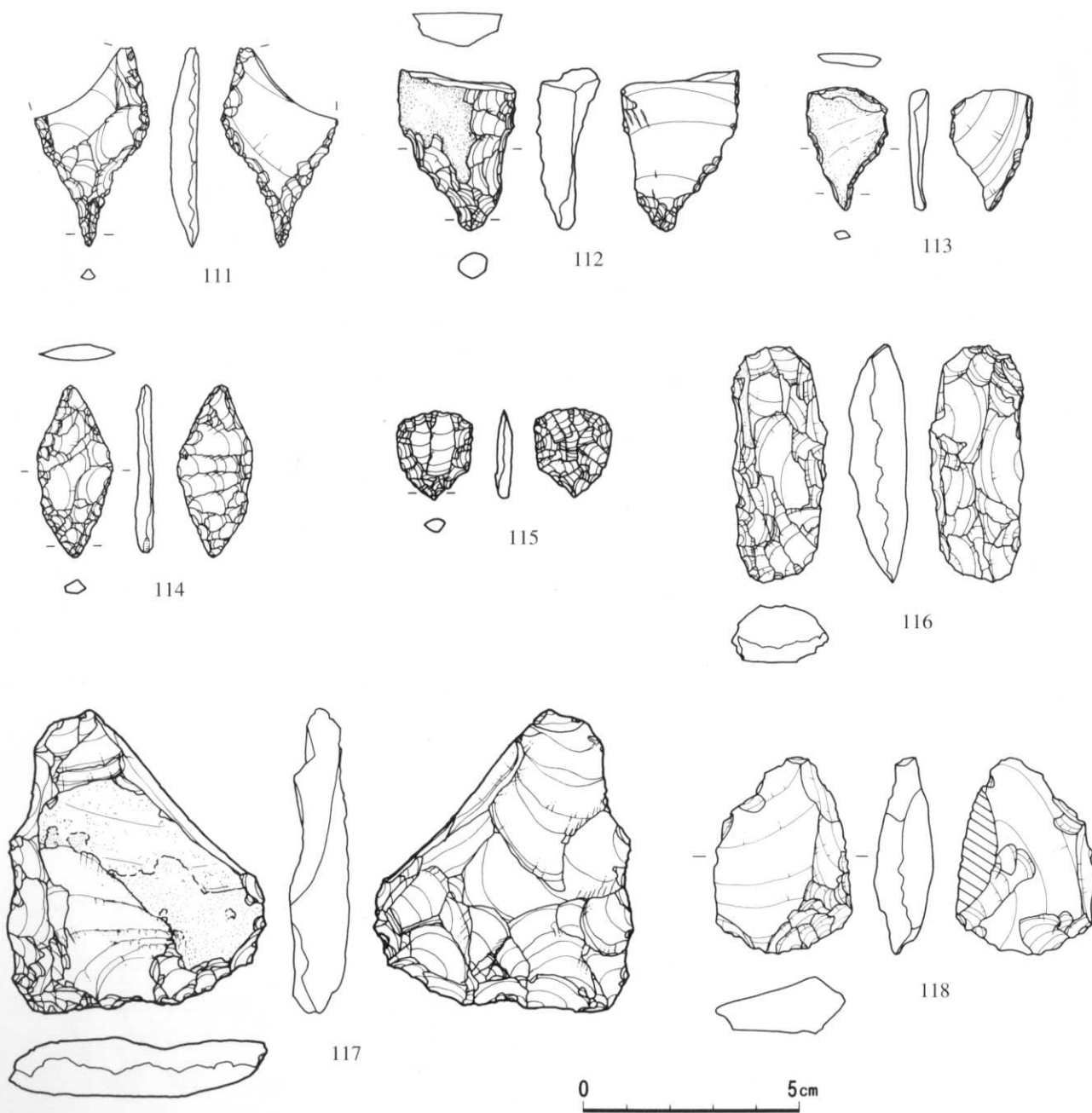
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
97	VII G-76	VI	57	56	16	29.8	珪頁	D b		69551
98	VII F-76	〃	46	23	14	11.4	〃	〃		63607
99	VII G-76	〃	35	44	13	17.4	〃	〃		69502
100	VII F-75	VI トレ	54	50	13	28.7	〃	〃		62775
101	VII H-74	東西トレ	35	20	9	5.4	〃	D c		72469
102	VII G-74	〃	32	19	5	2.3	〃	D b	石鏃未製品?	3955
103	〃	〃	42	30	10	9.2	〃	D c		66604

46図 出土層位不明石器 (14)



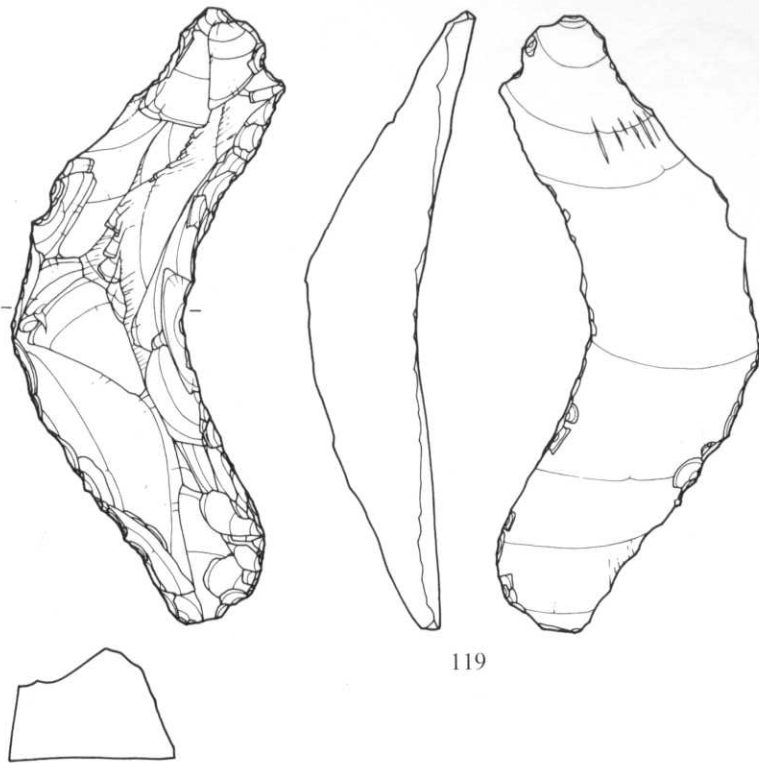
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
104	VII G-77	VI	40	33	11	9.8	珪質	D b		70032
105	VII F-74	〃	45	26	9	7.9	〃	〃	石鏃未製品?	60523
106	VII G-74	東西トレ	35	13	4	1.9	〃	〃		9650
107	〃	〃	40	32	9	6.8	〃	〃		66615
108	VII H-74	VI	60	38	10	11.6	〃	〃		4029
109	VII G-74		80	27	15	9.6	〃	〃		4024
110		排土	53	38	13	25.8	〃	〃		71512

47図 出土層位不明石器 (15)

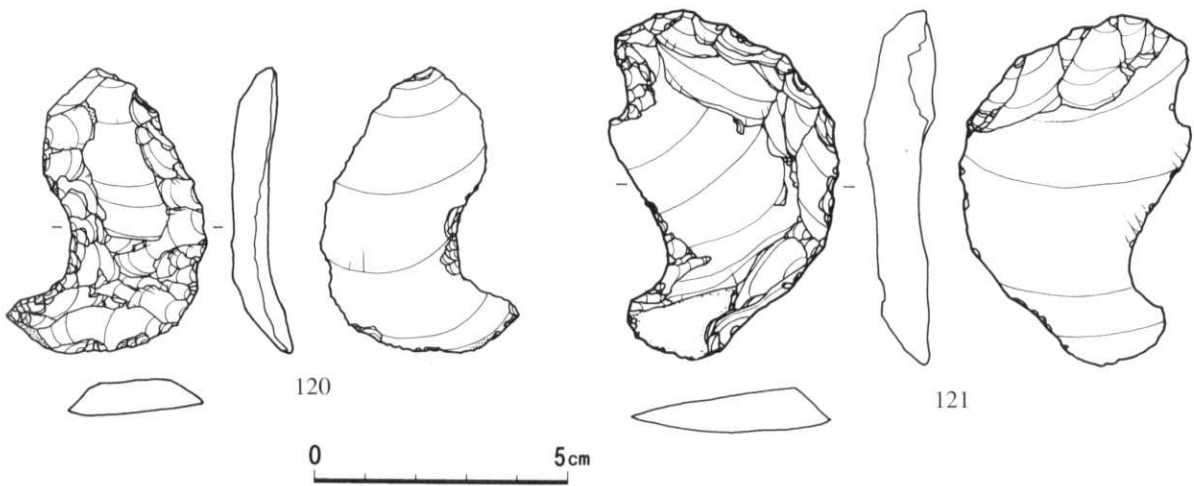


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
111			(47)	(27)	7	(5.0)	珪頁	D b		4011
112	VII G-74		38	27	15	10.3	〃	〃	尖端磨耗	76366
113	〃		28	19	4	2.1	〃	〃	〃	76354
114	〃		40	17	5	2.8	〃	〃	。回転痕	3596
115		排土	21	18	4	1.5	〃	D d		76361
116	VII G-77		55	22	13	18.1	〃	E a		75258
117	VII G-74	東西トレ	71	60	14	57.3	〃	G a	石筥?	66579
118	〃	〃	46	32	19	19.4	〃	〃	〃	66607

48図 出土層位不明石器 (16)



119



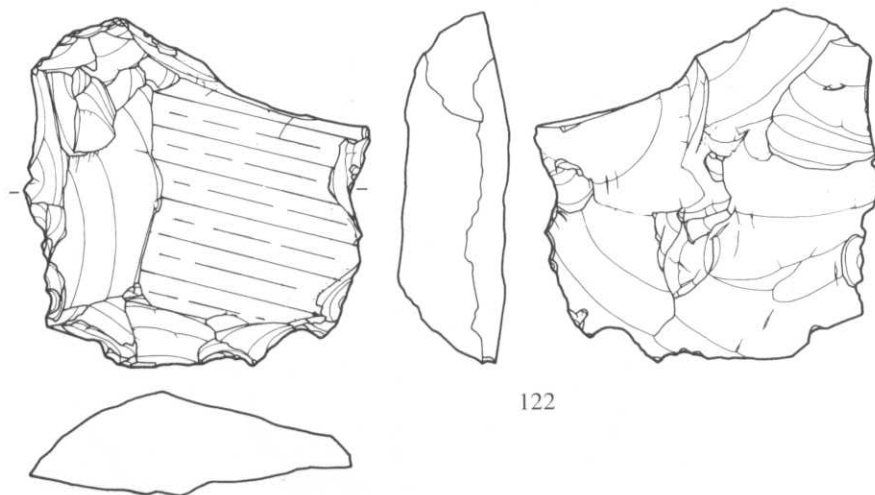
120

121

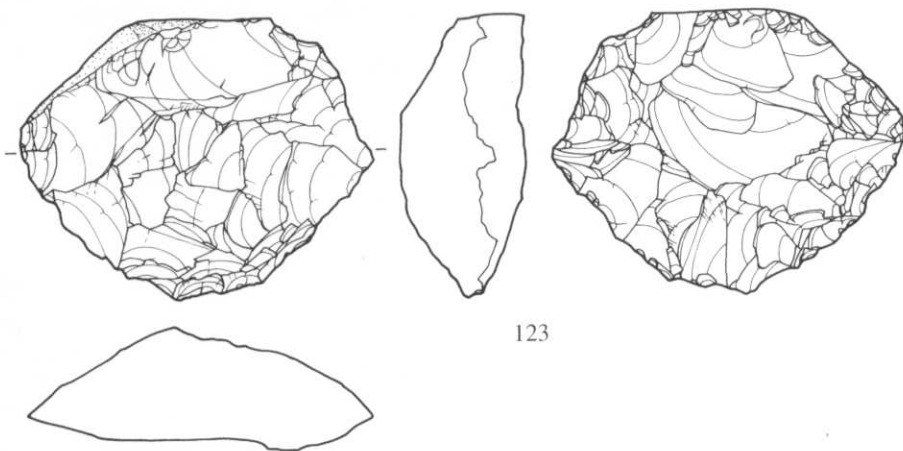
0 5cm

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
119	Ⅶ G-74	東西トレ	123	53	33	102.7	珪頁	G a	異形石器?	66627
120	Ⅶ G-76	Ⅵ	56	40	13	15.2	〃	〃		3970
121	Ⅶ G-74	東西トレ	70	45	14	29.2	〃	〃		66602

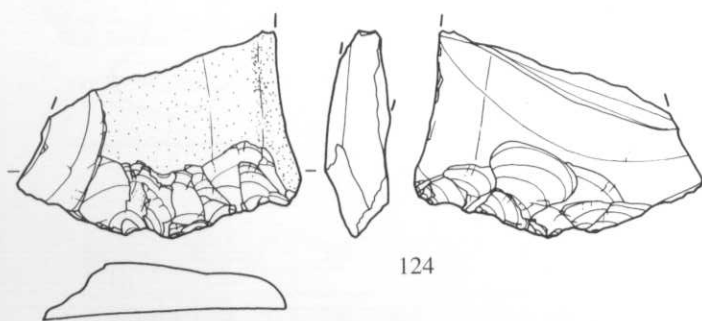
49図 出土層位不明石器 (17)



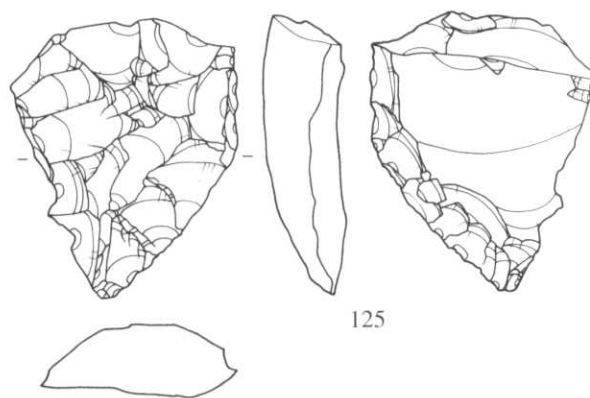
122



123



124

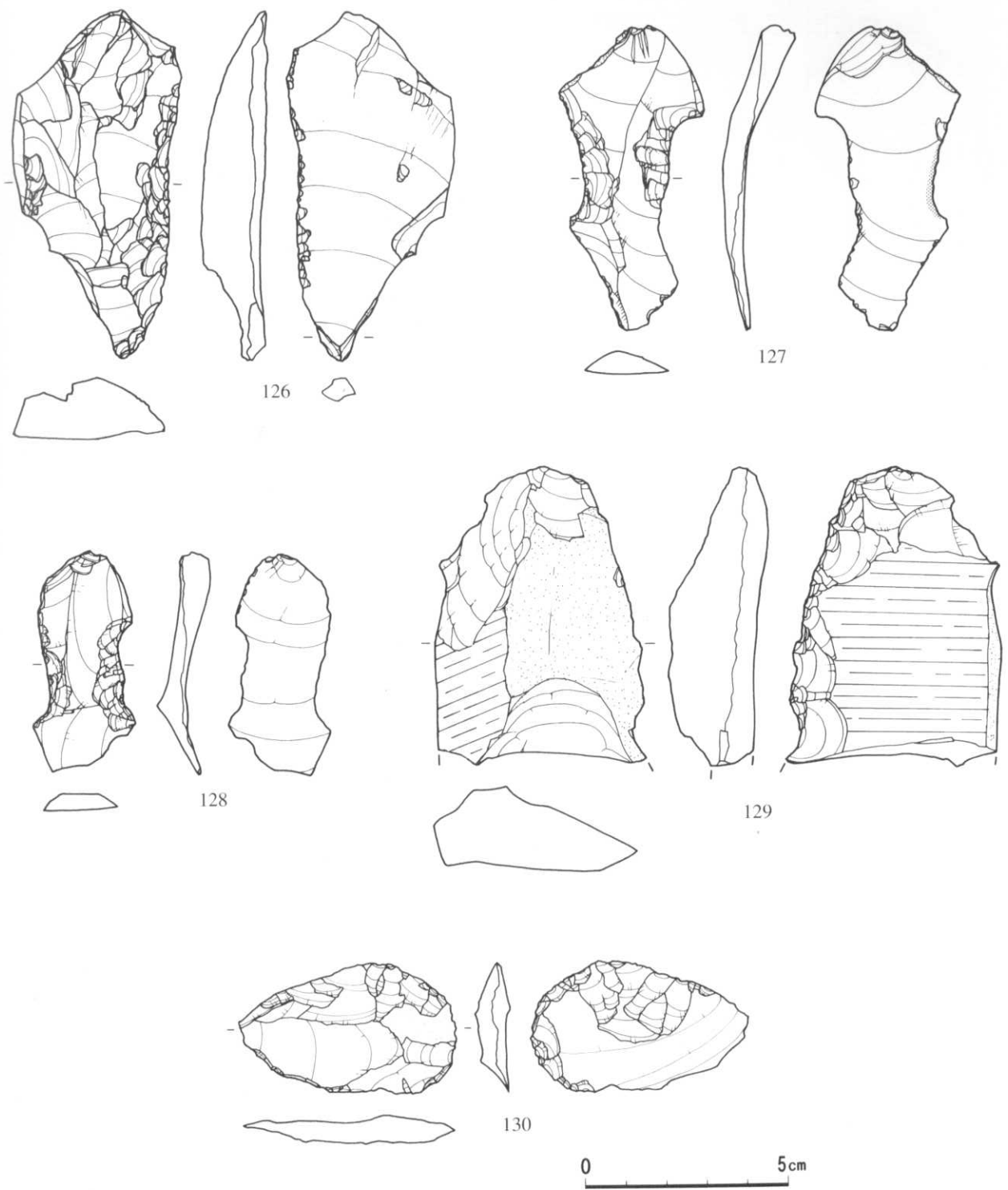


125

0 5cm

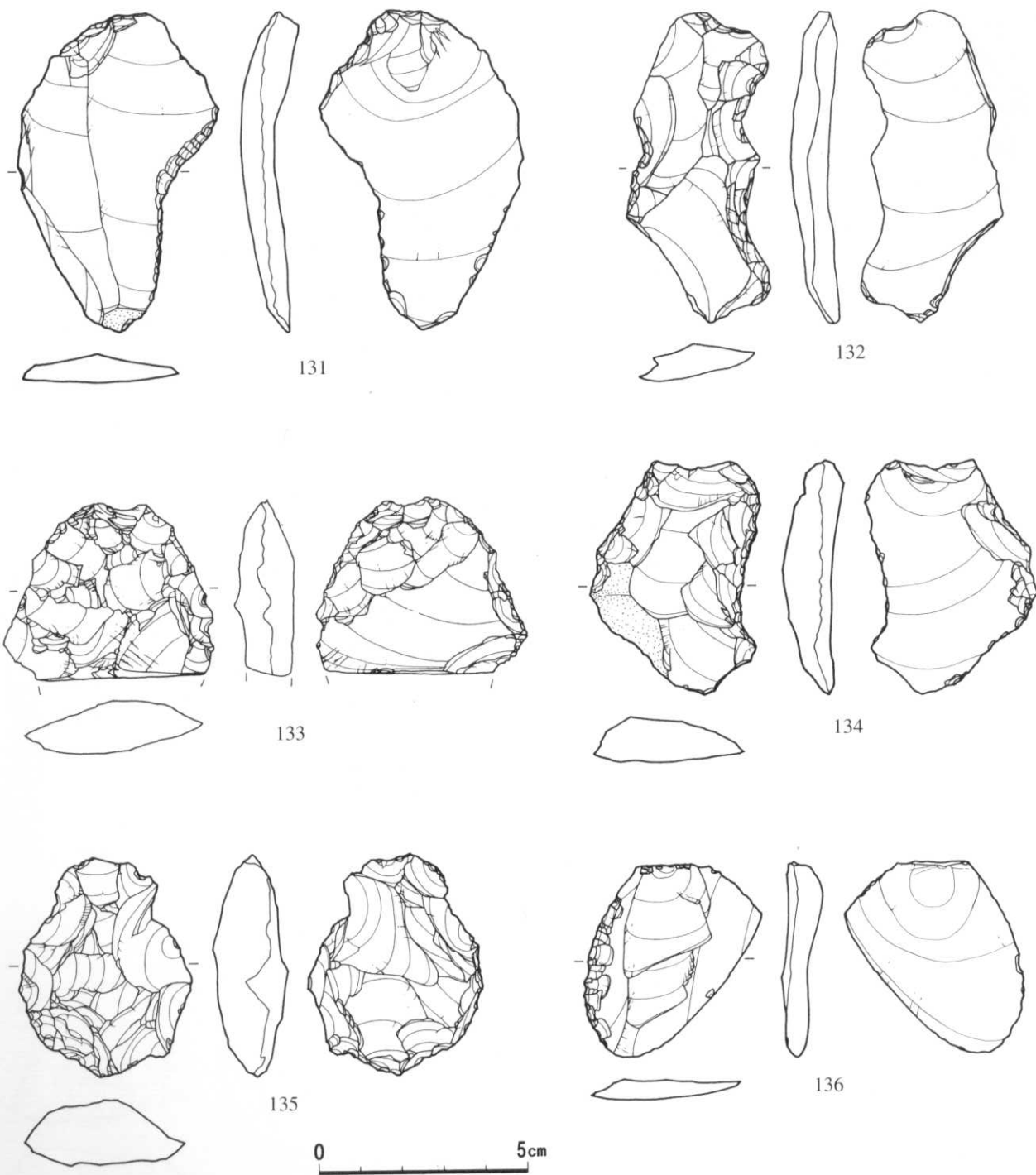
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
122	VII G-74	東西トレ	70	69	22	102.9	珪頁	G a		66628
123	〃	〃	56	70	25	94.6	〃	〃	石核素材。石核?	66630
124	VII G-76	VI	(41)	56	(13)	(28.1)	〃	〃		69564
125	VII F-75	VIトレ	56	45	16	36.1	〃	〃	石錐?	3363

50図 出土層位不明石器 (18)



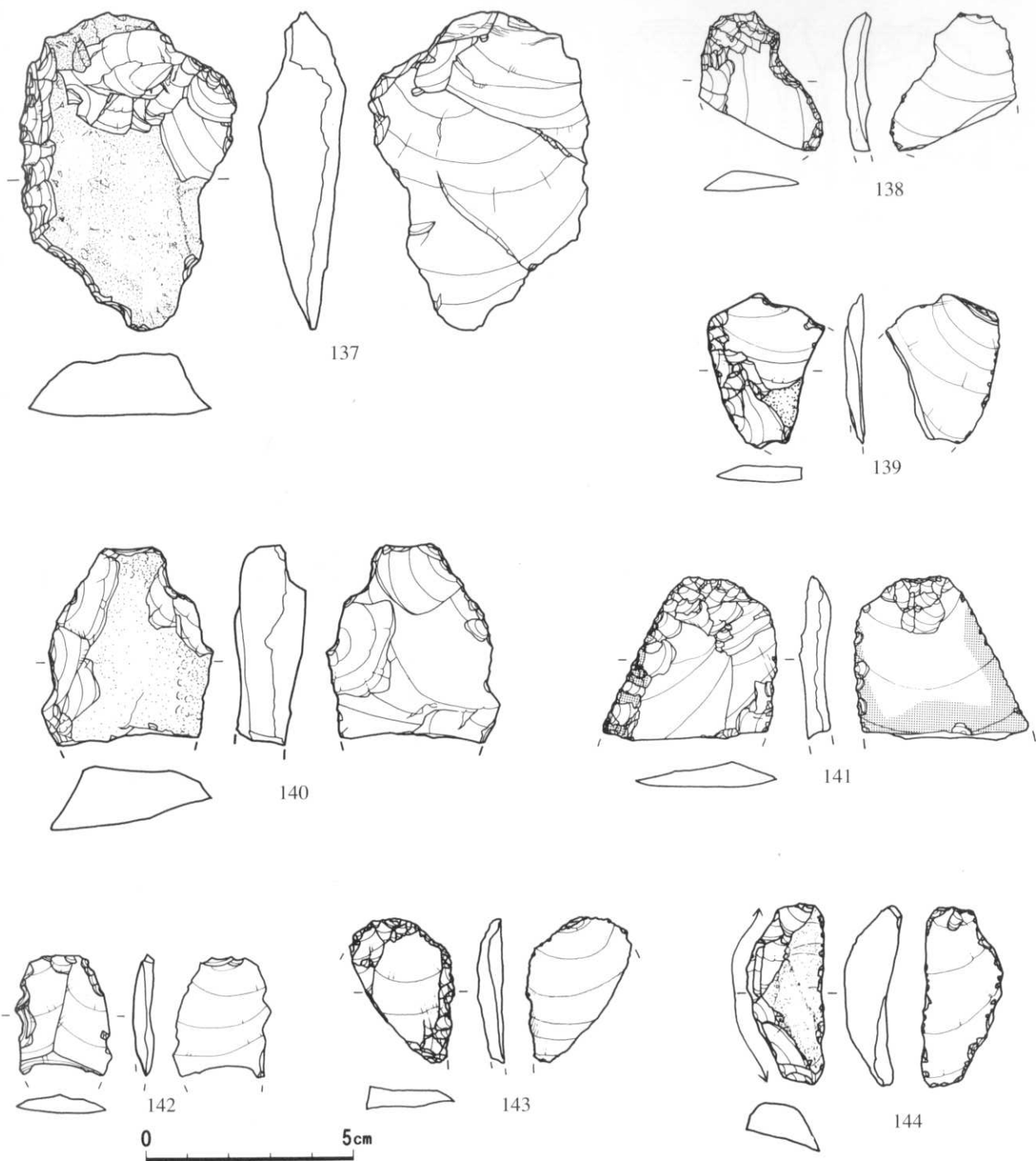
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
126	VII H-74	東西トレ	90	42	16	47.4	珪頁	G a		72479
127	VII G-76	VI	76	36	18	13.6	〃	〃		69523
128	VII G-77	〃	55	25	13	8.5	〃	〃		70034
129	VII G-76	〃	(74)	(52)	25	(81.2)	〃	〃		69552
130	VII F-76	VI トレ	32	54	8	10.2	〃	〃		63674

51図 出土層位不明石器 (19)



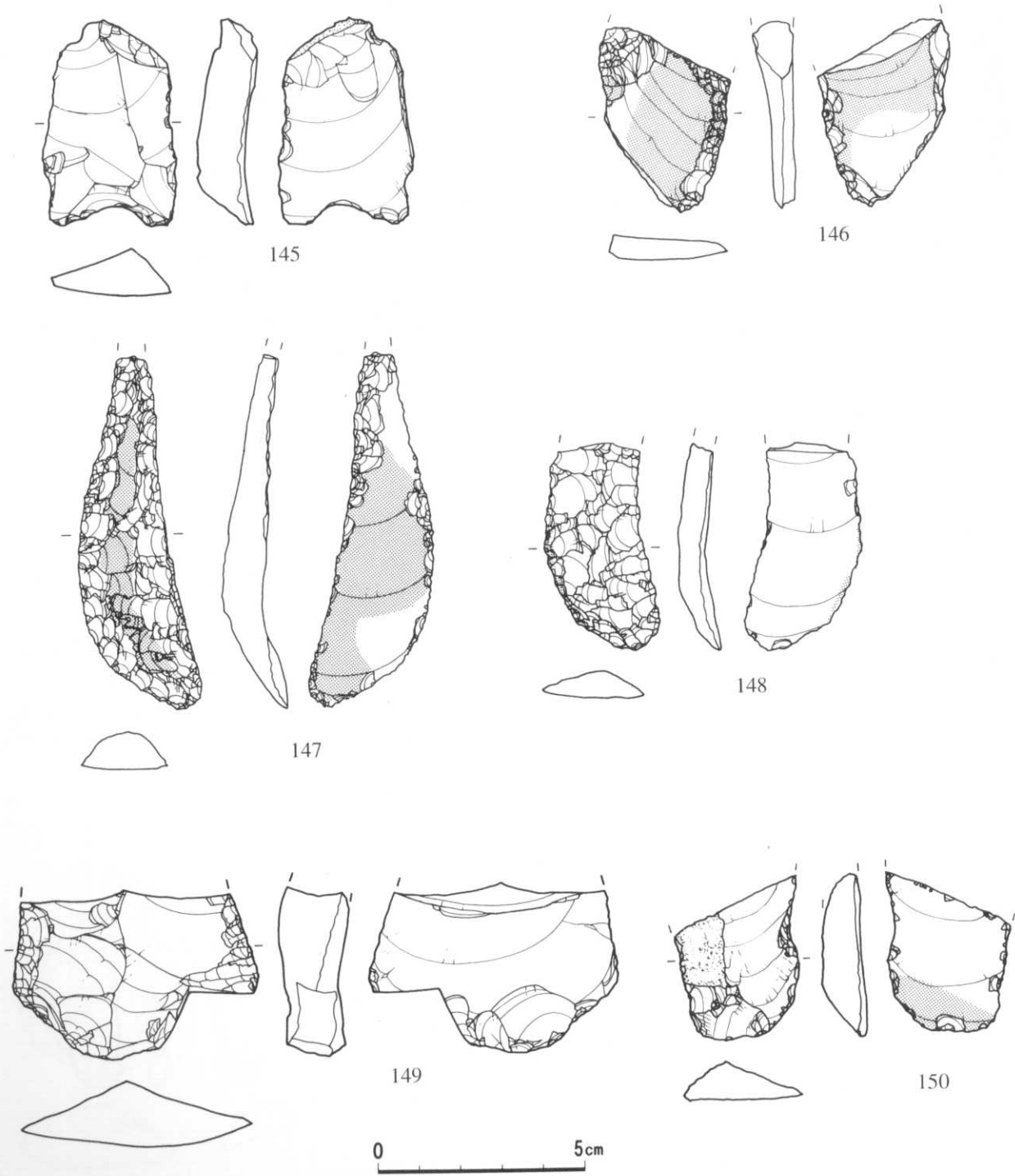
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
131	ⅦG-76	Ⅵ	77	48	14	30.0	珪頁	G a		69554
132	ⅦF-76	Ⅵトレ	75	35	9	22.4	〃	〃		63667
133	ⅦF-74	東西トレ	(42)	50	(14)	(30.2)	〃	〃		4060
134	ⅦG-74	〃	56	41	15	27.6	〃	〃		66608
135	〃	〃	53	41	18	34.8	〃	〃	石匙?	66666
136	ⅦH-74	Ⅵ	46	43	10	13.2	〃	〃		71461

52図 出土層位不明石器 (20)



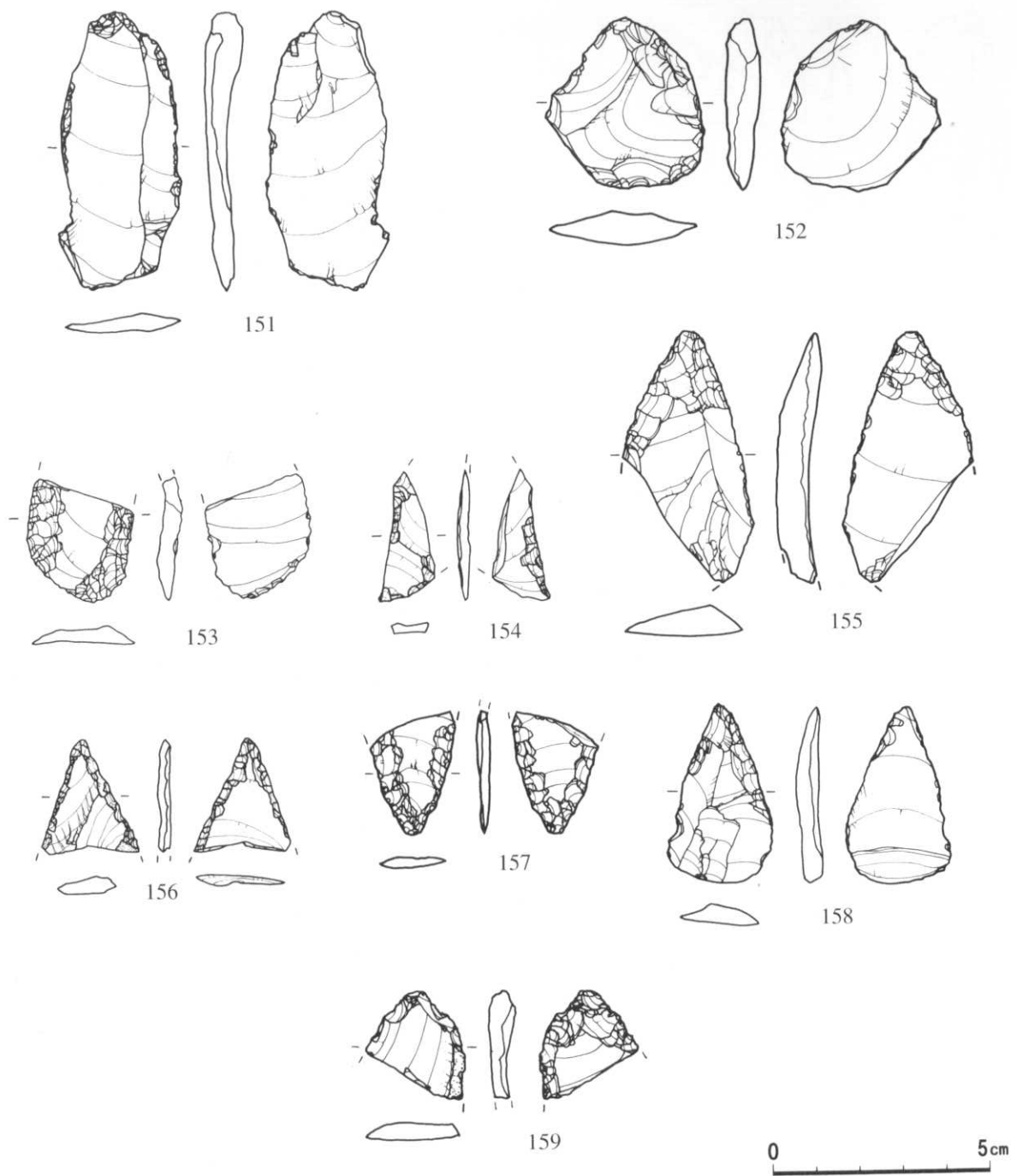
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
137	VI F-75	VI トレ	77	52	21	67.1	珪頁	G a		62776
138	VI G-74	東西トレ	(34)	(30)	(6)	(4.7)	〃	〃	石匙?	3978
139	〃	VI	(38)	(28)	(5)	(4.0)	〃	〃		66358
140	VI H-74	〃	(48)	41	(17)	(35.6)	〃	〃		71459
141	VI F-75	〃	(40)	(42)	(7)	(11.8)	〃	〃	石匙破片?	3979
142	VI F-74	VI トレ	(29)	23	5	(3.3)	〃	〃		62772
143	VI G-74	東西トレ	(35)	(25)	(6)	(4.8)	〃	〃		66647
144	〃	〃	44	20	14	9.2	〃	〃		66613

53図 出土層位不明石器 (21)



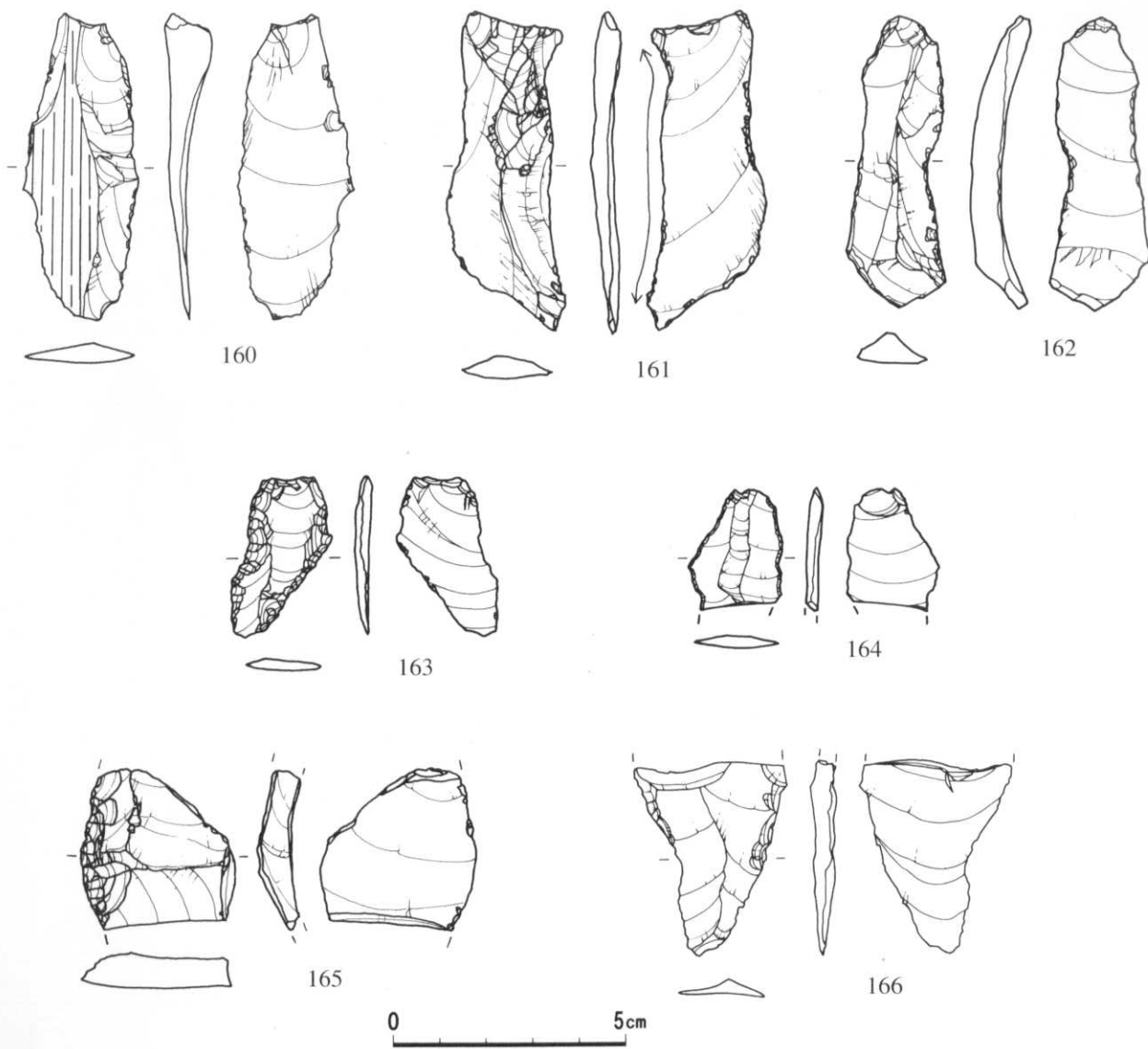
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
145	VII G-76	VI	50	33	15	20.8	珪頁	G a		69489
146	VII G-74	東西トレ	(45)	(32)	(9)	(9.6)	〃	〃	石匙破片?	66649
147	VII G-76	VI	(85)	30	16	(19.0)	〃	〃	〃	4058
148	VII G-74	東西トレ	(50)	(28)	(11)	(10.6)	〃	〃	〃	3954
149	VII G-76	VI	(41)	60	17	(35.9)	〃	〃	〃	69563
150	VII G-74	東西トレ	(40)	(30)	(11)	(11.3)	〃	〃	〃	66650

54図 出土層位不明石器 (22)



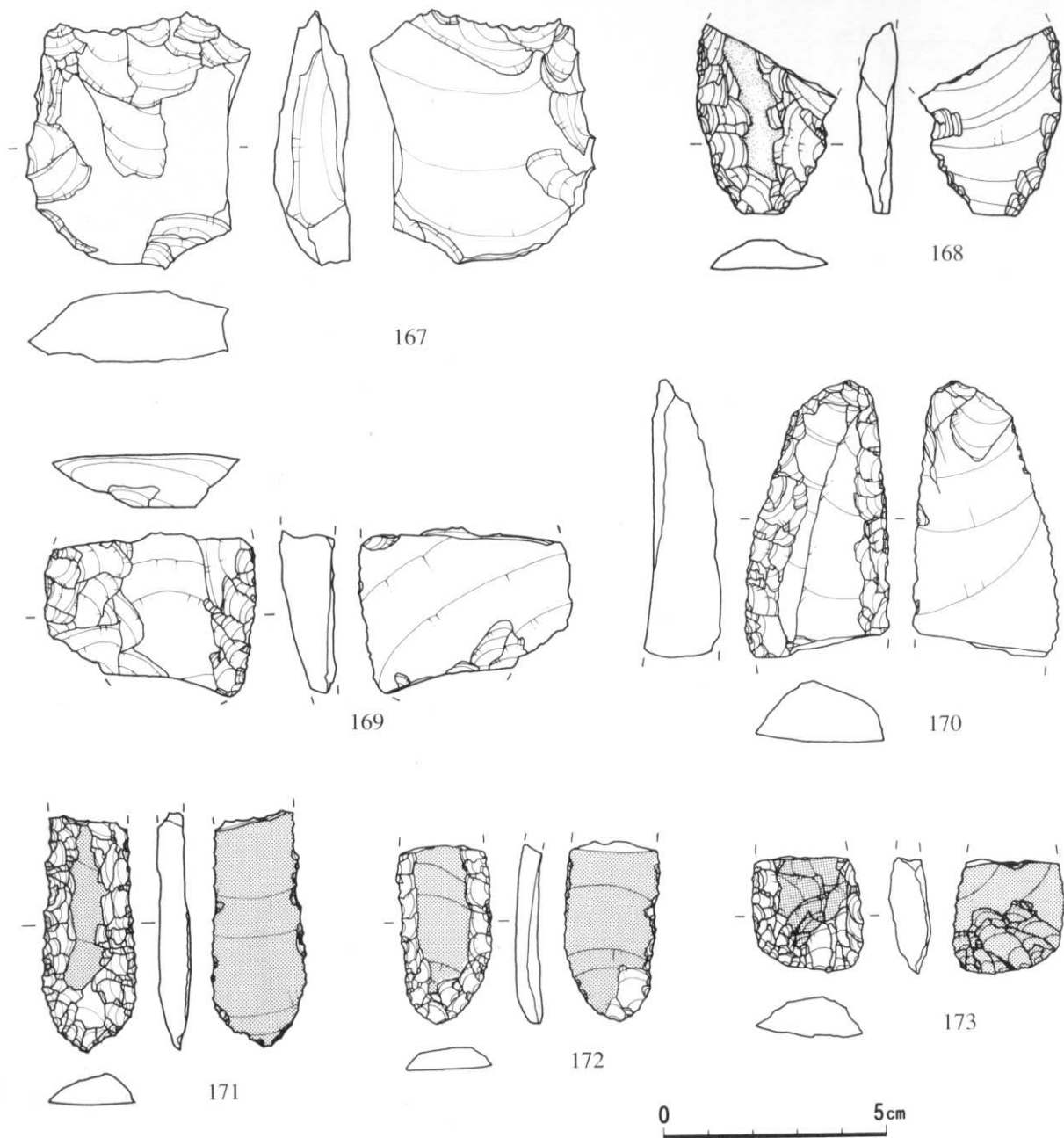
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
151	VII G-74	VI	64	28	9	8.9	珪頁	G a		66351
152	VII G-76	〃	40	37	8	11.3	〃	〃		69503
153	VII F-75	VI トレ	(29)	(25)	(6)	(3.1)	〃	〃		2943
154	VII G-74	VI	(30)	(13)	(3)	(1.0)	〃	〃		66342
155	VII G-76	〃	(58)	(30)	(11)	(12.2)	〃	〃		69505
156	VII H-74	〃	(27)	(23)	(3)	(1.6)	〃	〃	石鏃未製品?	3527
157	VII G-74	〃	(28)	(20)	(3)	(1.7)	〃	〃		66362
158	VII G-77	〃	41	24	6	4.2	〃	〃	石鏃未製品?	70033
159	VII G-74	東西トレ	(25)	(23)	6	(2.8)	〃	〃		66652

55図 出土層位不明石器 (23)



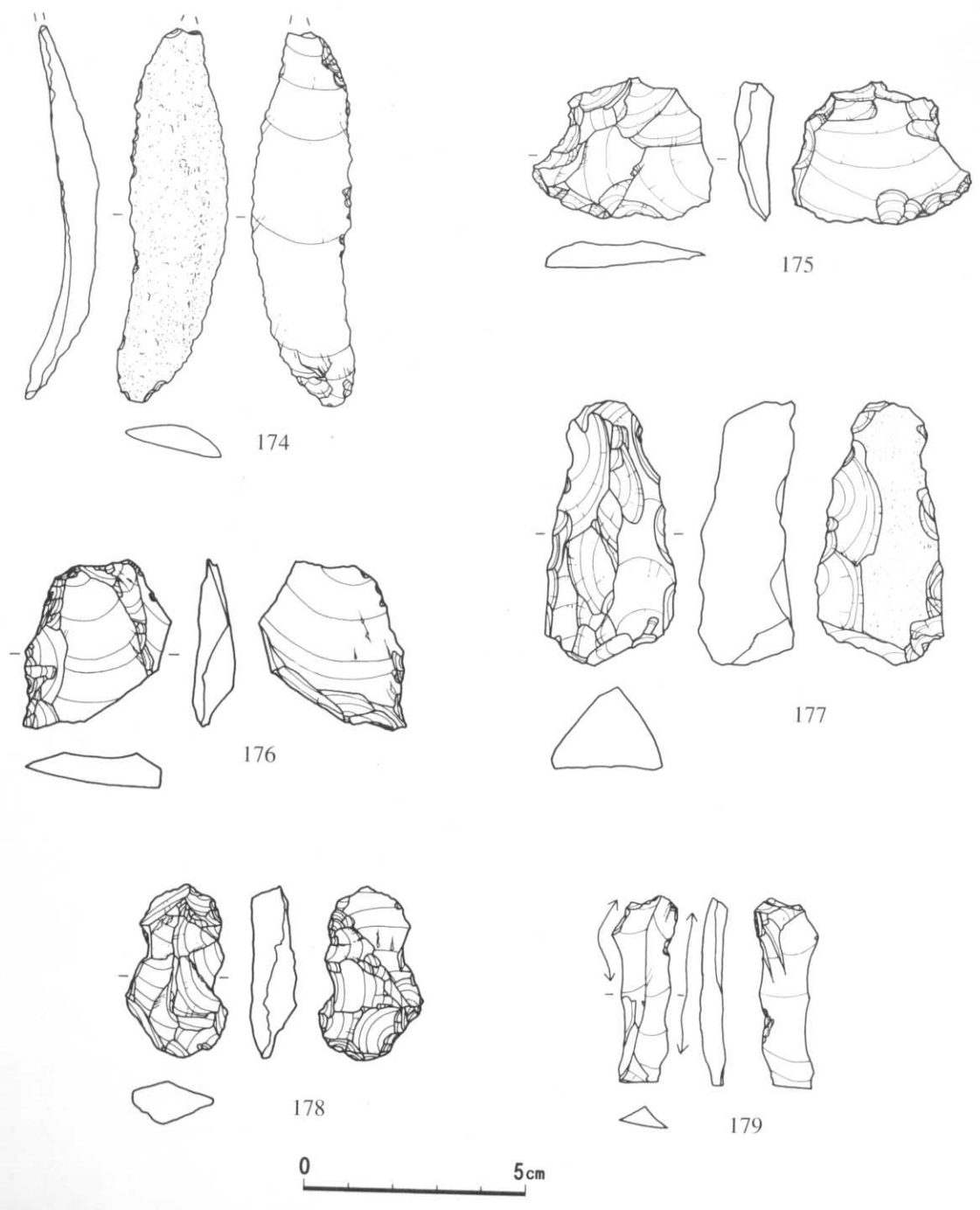
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
160	VII F-74	東西トレ	66	26	10	7.1	珪頁	G c		3982
161	VII G-74	〃	69	26	7	7.4	〃	〃		66560
162	VII G-77	VI	53	21	13	9.4	〃	〃		70035
163	VII F-75	VIトレ	35	22	4	2.1	〃	G a		62782
164	VII G-76	VI	(26)	(20)	(4)	(1.7)	〃	〃		69494
165	VII G-74	東西トレ	(35)	(34)	(9)	(10.4)	〃	〃		66559
166	VII F-75	VIトレ	(42)	(33)	6	(4.4)	〃	〃		72808

56図 出土層位不明石器 (24)



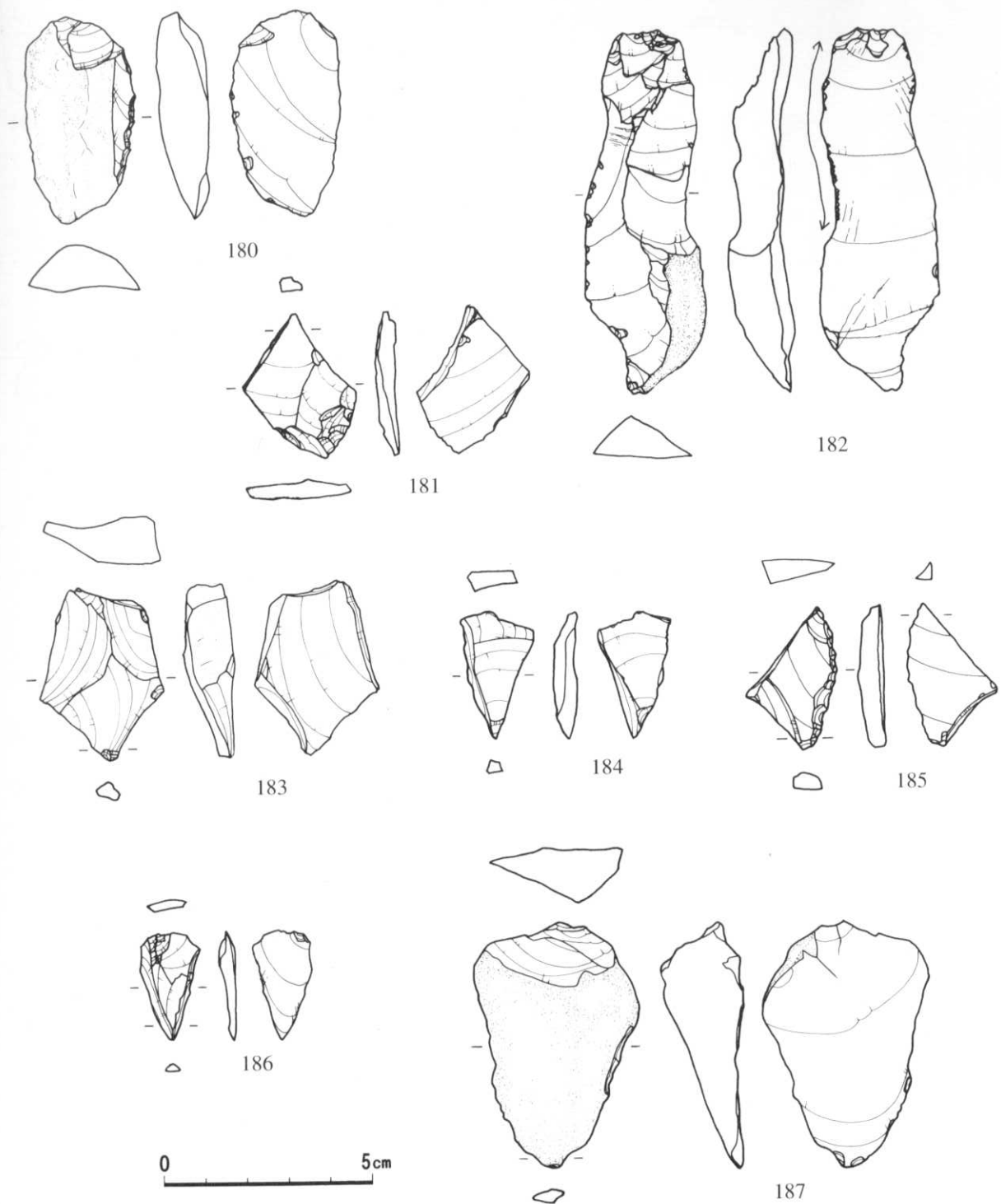
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
167	VII G-74		58	51	17	57.0	珪頁	G a		76358
168	VII G-76		(43)	(32)	(9)	(9.8)	〃	〃	石匙破片?	76367
169	VII G-74		(38)	(48)	(12)	(23.2)	〃	〃	〃	72574
170	VII F-76		(63)	(33)	(17)	(33.4)	〃	〃	〃	4069
171	VII G-76		(53)	(21)	(7)	(10.2)	〃	〃	〃	72617
172	VII G-74		(41)	(22)	(6)	(6.7)	〃	〃	〃	3952
173	〃		(27)	(25)	(9)	(7.9)	〃	〃	〃	3935

57図 出土層位不明石器 (25)



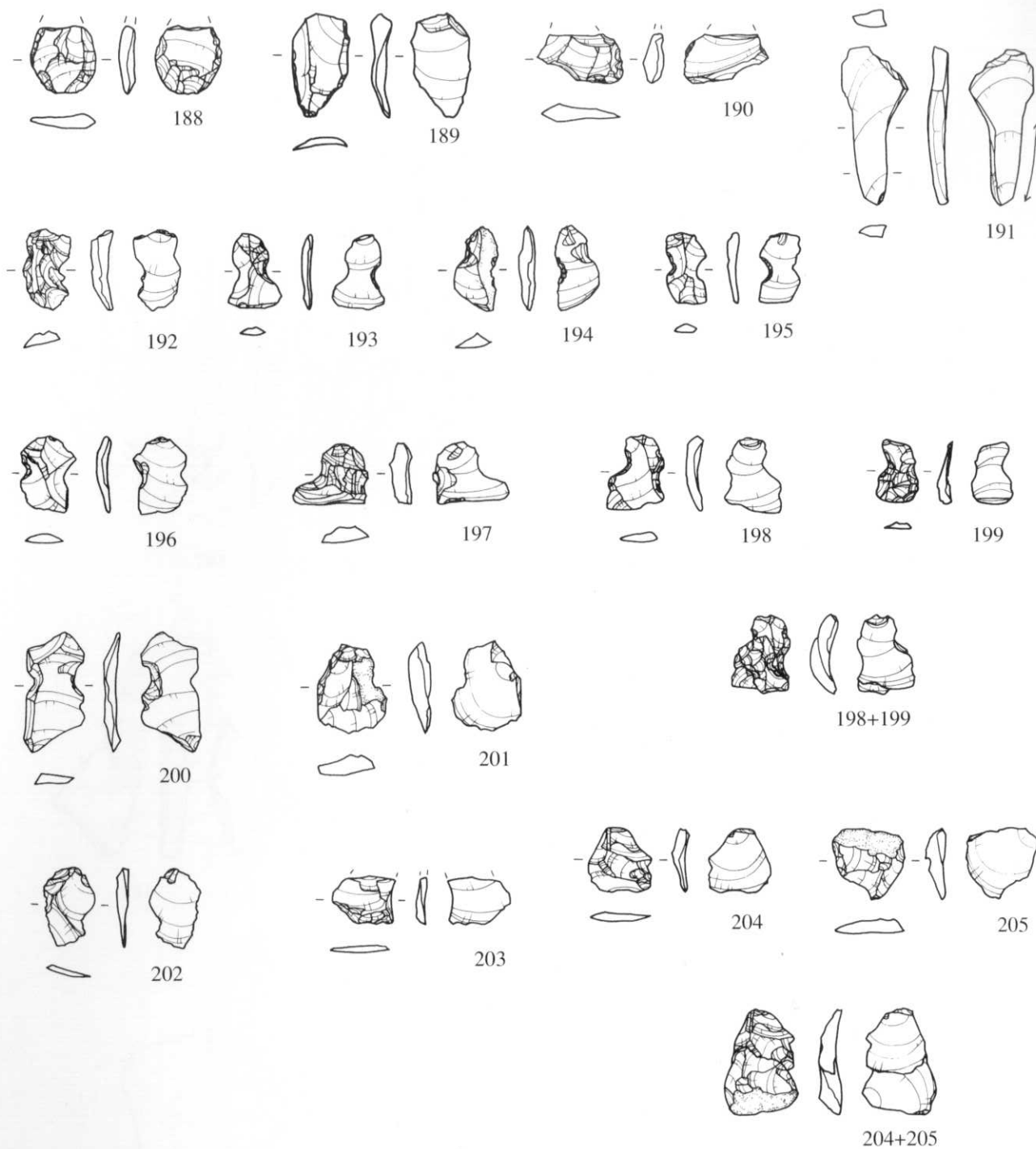
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
174	VII G-76		(85)	25	15	(13.5)	珪質	G b		4059
175	VII G-74		32	40	8	9.7	〃	G a		76353
176	VII F-76		39	33	10	9.8	〃	〃		62836
177	〃		60	29	21	32.6	〃	〃	石匙?	72804
178			39	23	11	8.3	〃	G b	異形石器?	76364
179	VII G-74		43	14	6	2.8	〃	G c		3931

58図 出土層位不明石器 (26)



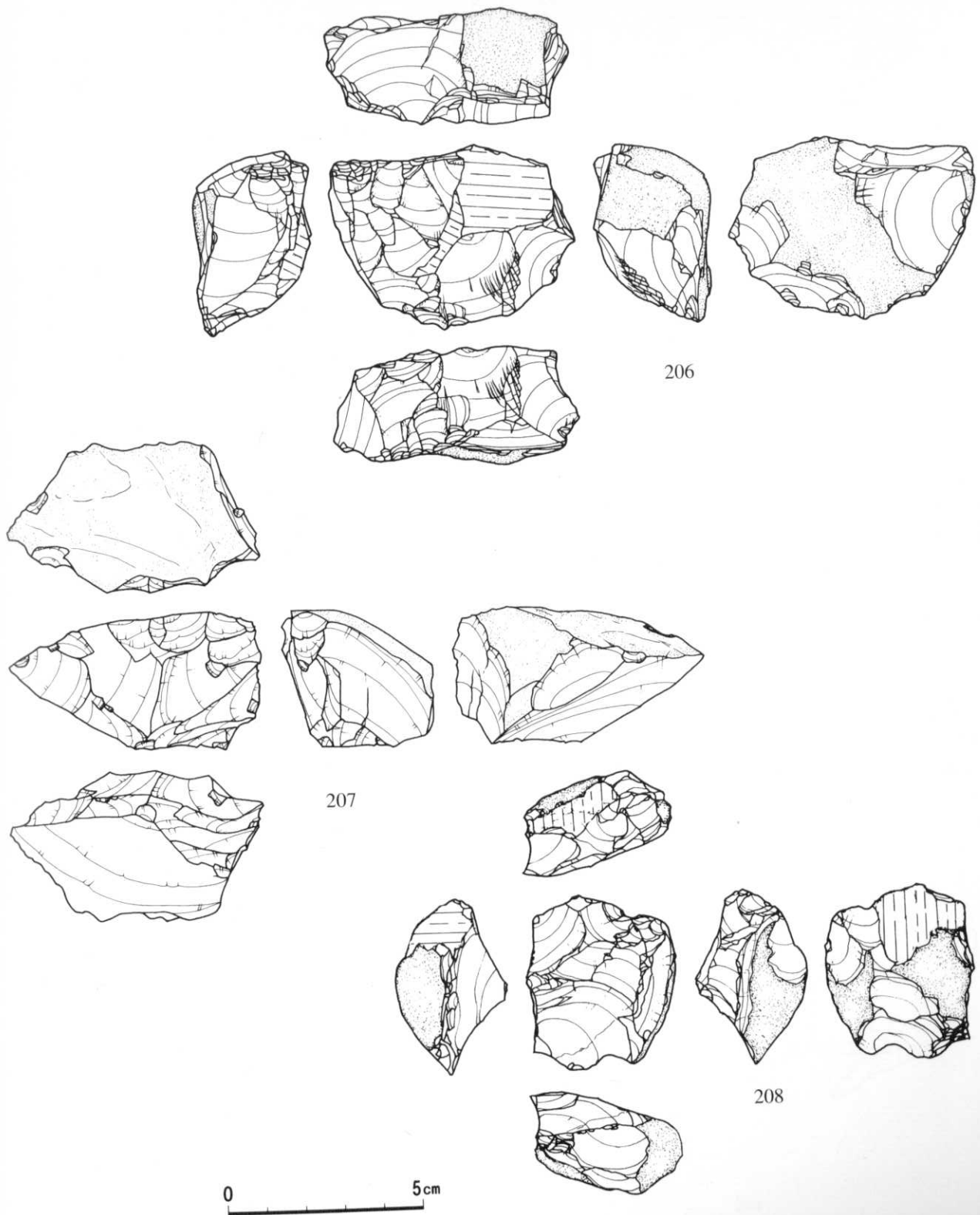
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
180	VII F-74	VI	50	27	12	15.9	珪頁	G a		60530
181	VII G-74	東西トレ	35	27	5	3.7	〃	G b	石錐?	66635
182	VII H-74	〃	88	29	16	23.9	〃	G c		72452
183	VII G-74	〃	42	30	12	12.8	〃	G b	石錐?	66662
184	〃	〃	30	17	5	1.9	〃	〃	石錐素材?	66661
185	〃	VI	32	22	7	3.7	〃	G a	石錐?	66338
186	VII F-75	VI トレ	26	14	4	1.0	〃	G b	石錐素材?	62781
187	VII G-77		59	40	20	32.0	〃	〃	石錐?	74331

59図 出土層位不明石器 (27)



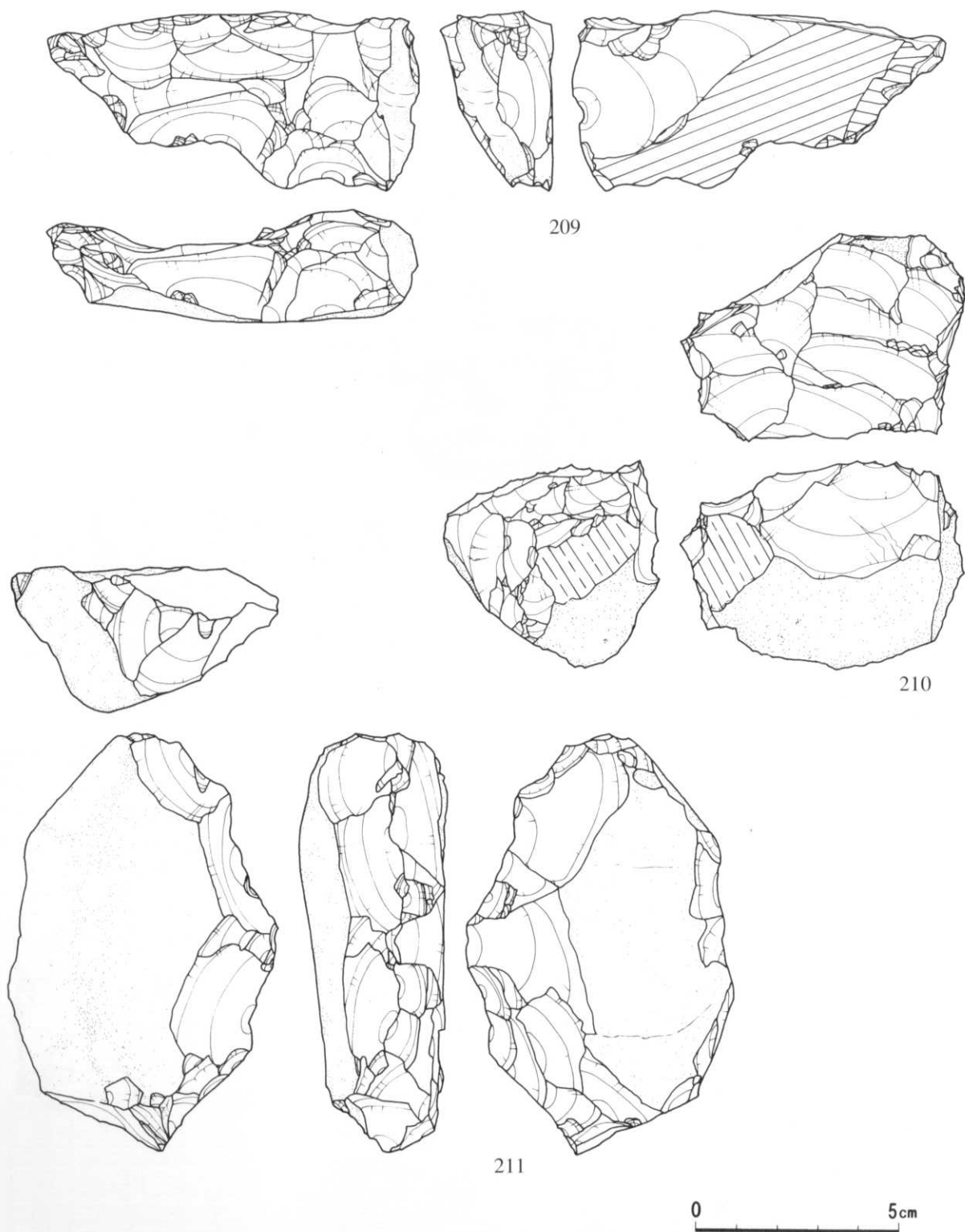
图版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
188	VII G—74	VI	(16)	16	(4)	(1.3)	玉	Ga	VII G—74	74010
189	〃	〃	25	14	5	1.1	〃	〃	〃	74008
190	〃	〃	(12)	21	5	(1.0)	〃	Gb	〃	74011
191	〃	〃	39	16	5	2.5	〃	〃	〃	74066
192	〃	〃	20	11	5	0.9	〃	〃	〃	74055
193	〃	〃	18	13	2	0.4	〃	R	〃	74047
194	〃	〃	21	11	4	0.6	〃	〃	〃	74061
195	〃	〃	17	10	3	0.3	〃	〃	〃	74045
196	〃	〃	19	14	3	0.6	〃	〃	〃	74044
197	〃	〃	15	19	5	1.0	〃	〃	〃	74054
198	〃	〃	19	14	4	0.6	〃	〃	〃	74053
199	〃	〃	15	10	3	0.4	〃	〃	〃	74049
200	〃	〃	30	15	4	1.4	〃	〃	〃	74012
201	〃	〃	22	17	5	1.5	〃	Pc	〃	74004
202	〃	〃	19	13	3	0.4	〃	〃	〃	74069
203	〃	〃	(12)	(16)	(2)	(0.4)	〃	〃	〃	74013
204	〃	〃	16	15	4	0.6	〃	〃	〃	74002
205	〃	〃	17	18	5	1.2	〃	〃	〃	74046

60图 出土層位不明石器 (28)



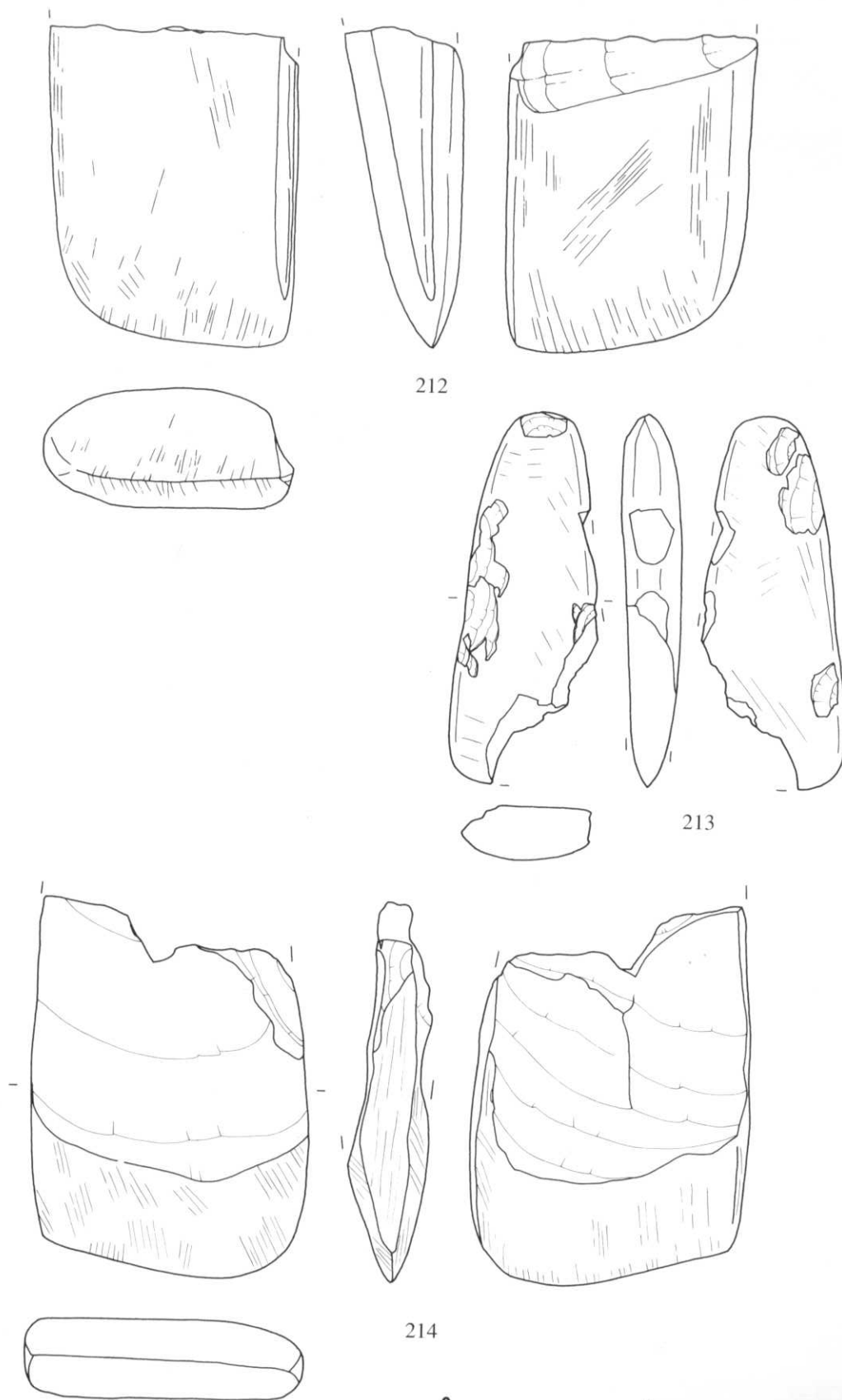
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
206	VII G-76	VI	46	60	30	102.2	珪頁	P a		69555
207	VII F-75	〃	36	65	39	79.7	〃	〃		76352
208	VII G-74	東西トレ	45	39	29	41.1	〃	〃		66575

61図 出土層位不明石器 (29)



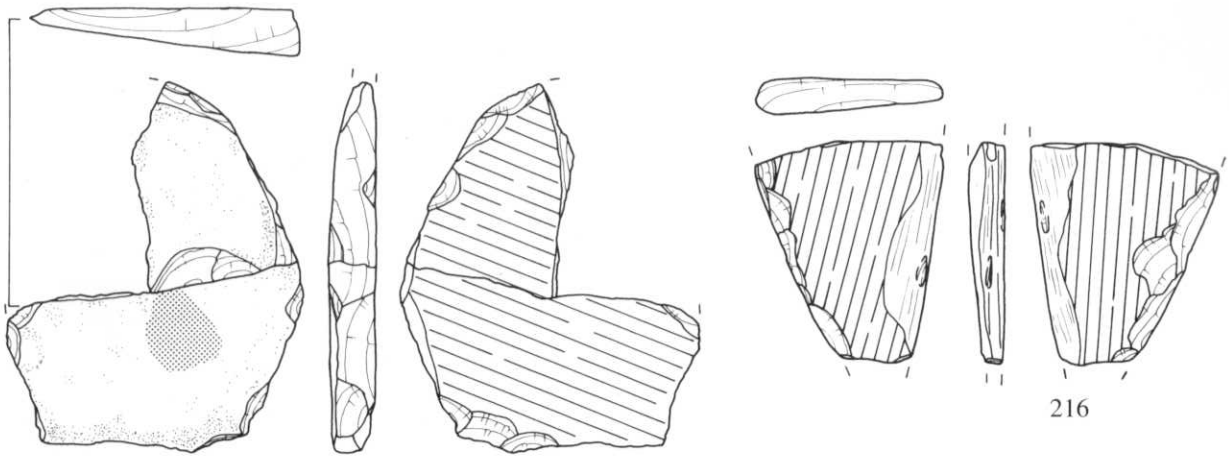
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
209	Ⅶ G-77		44	92	28	92.0	珪頁	P a			75259
210	Ⅶ G-74		50	66	53	191.5	〃	〃			76352
211			104	66	36	257.7	〃	〃			73368

62図 出土層位不明石器 (30)



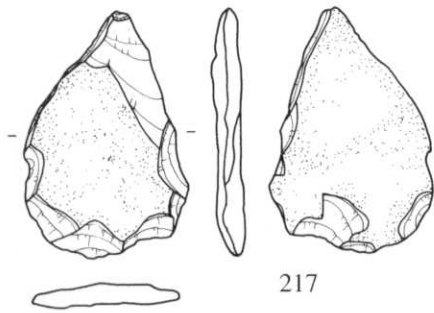
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
212	VII F-76	VI	(78)	60.1	(29)	(213.4)	緑細凝	H a		72834
213	VII F-75		(90)	(35)	(15)	(61.4)	〃	〃	焼け	75255
214	VII H-74	東西トレ	(92)	67	(19)	(157.2)	頁	〃		72478

63図 出土層位不明石器 (31)

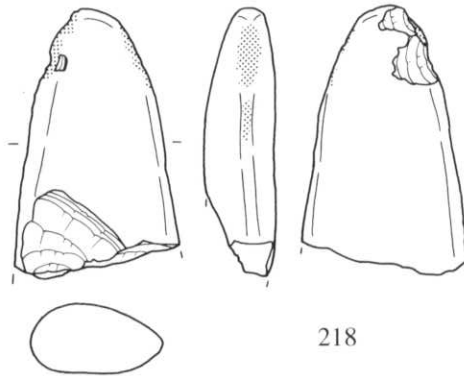


215

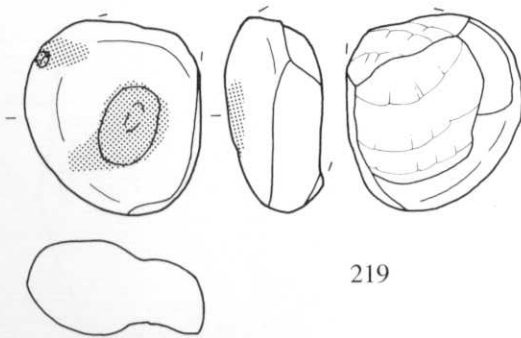
216



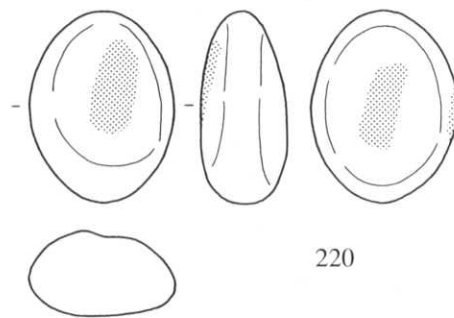
217



218



219

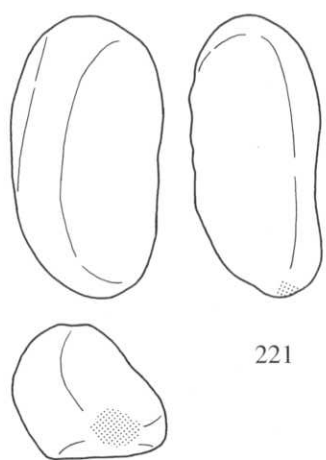


220

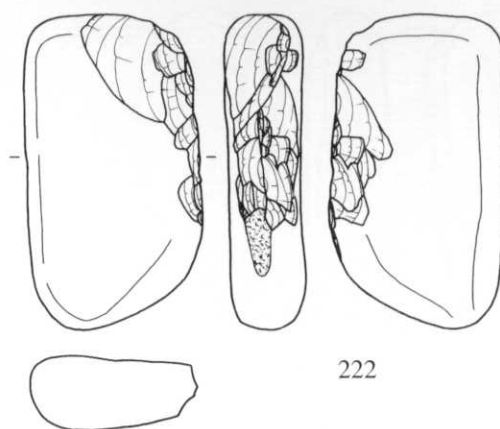


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
215	Ⅶ F-74	トレ	(148)	(118)	18	(317.2)	安	Q			76387
216	Ⅶ F-75	〃	(88)	(75)	(14)	(104.9)	〃	K			73371
217	Ⅶ E-74	〃	98	65	12	52.6	凝	Q			74662
218	Ⅶ F-75	Ⅵトレ	(107)	(66)	(29)	(209.8)	安	I b			73036
219	Ⅶ G-74	東西トレ	(78)	(70)	(37)	(211.8)	〃	I a			76391
220	Ⅶ F-75	Ⅵトレ	75	58	35	190.1	〃	I b			74823

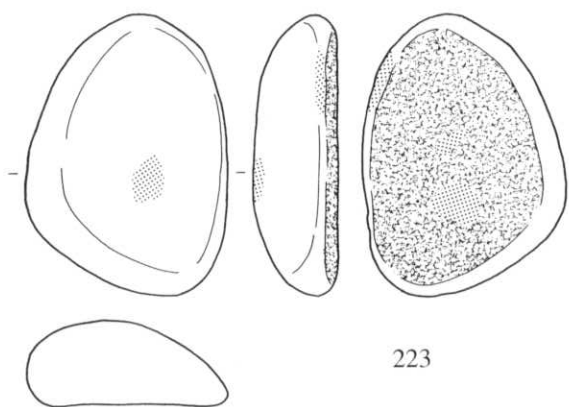
64図 出土層位不明石器 (32)



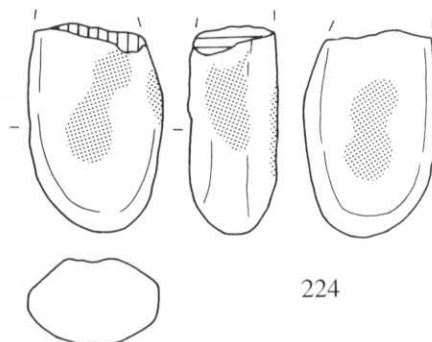
221



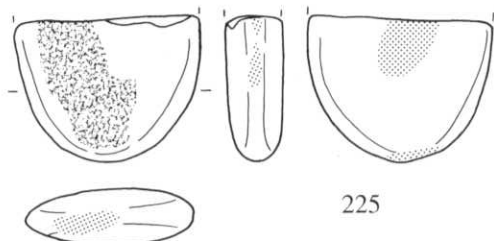
222



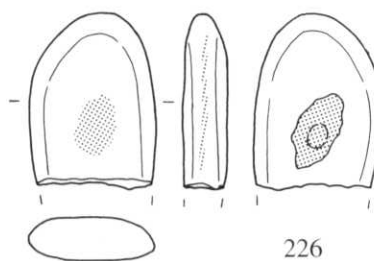
223



224



225



226



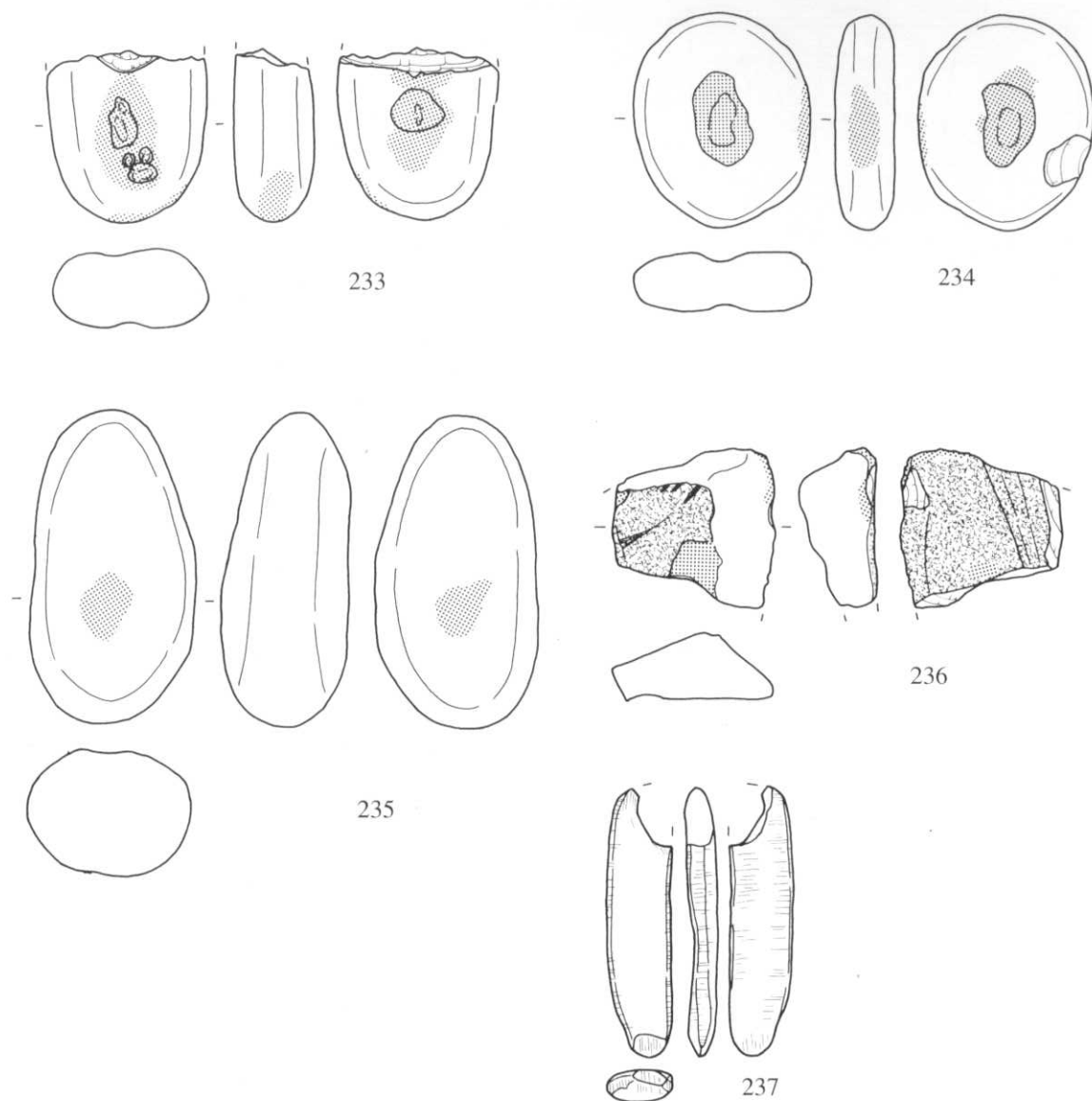
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
221	Ⅶ H-74	東西トレ	113	60	52	440.2	凝	I b		76392
222	Ⅶ G-76	Ⅵトレ	136	70	31	400.9	細凝	Q		74825
223	Ⅶ H-74	東西トレ	111	81	34	440.6	安	I b		74580
224	Ⅶ F-75	Ⅵトレ	(82)	53	(36)	(228.2)	凝	〃		74824
225	Ⅶ G-76	Ⅵ	(57)	(74)	(22)	(126.4)	溶凝	〃		74808
226	Ⅶ F-74-75	Ⅵトレ	(70)	(50)	(18)	(93.0)	安	〃		75009

65図 出土層位不明石器 (33)



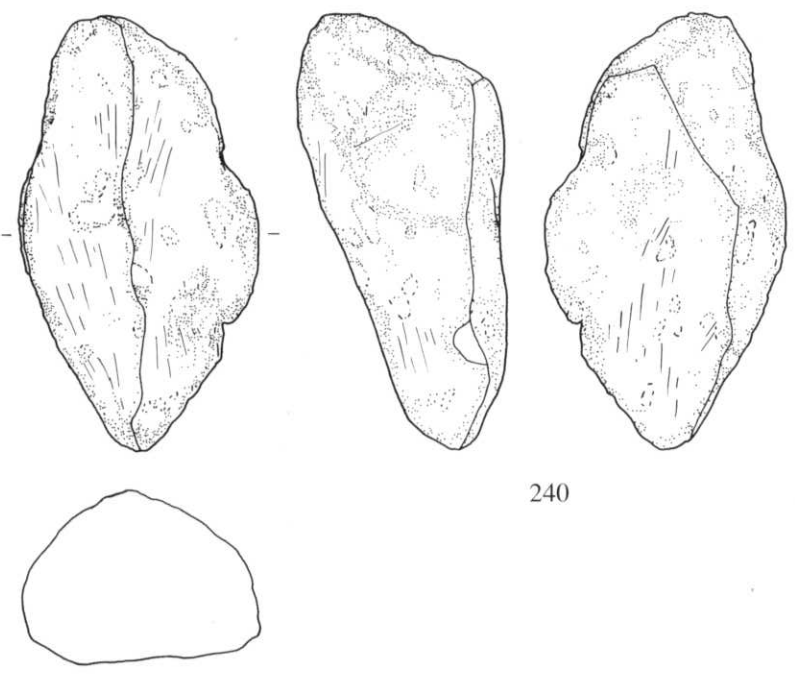
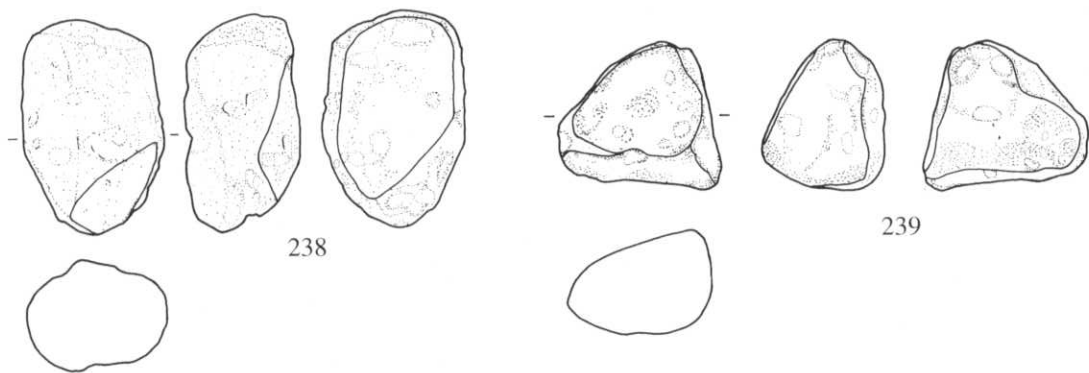
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
227	Ⅶ F—74	トレ	140	57	36	422.2	安	I b		74830
228			117	99	46	604.1	頁	〃		74832
229	Ⅶ F—74	トレ	77	41	22	92.1	〃	〃		74988
230	Ⅶ G—74	〃	(105)	(55)	(55)	(365.3)	溶凝	〃		74835
231			118	55	50	425.8	〃	〃		74833
232	Ⅶ G—74		102	51	50	465.2	安	〃		74836

66図 出土層位不明石器 (34)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
233	VII G-74		(72)	(67)	(34)	(220.6)	安	I a		74837
234			90	74	25	231.3	凝	々		74834
235	VII F-75	トレ	130	70	54	537.7	安	I b		74831
236	VII G-74	東西トレ	(66)	(68)	(32)	(115.7)	細凝	S b		75356
237	VII G-77	VI	(103)	(27)	(13)	(53.4)	頁	S a		70028

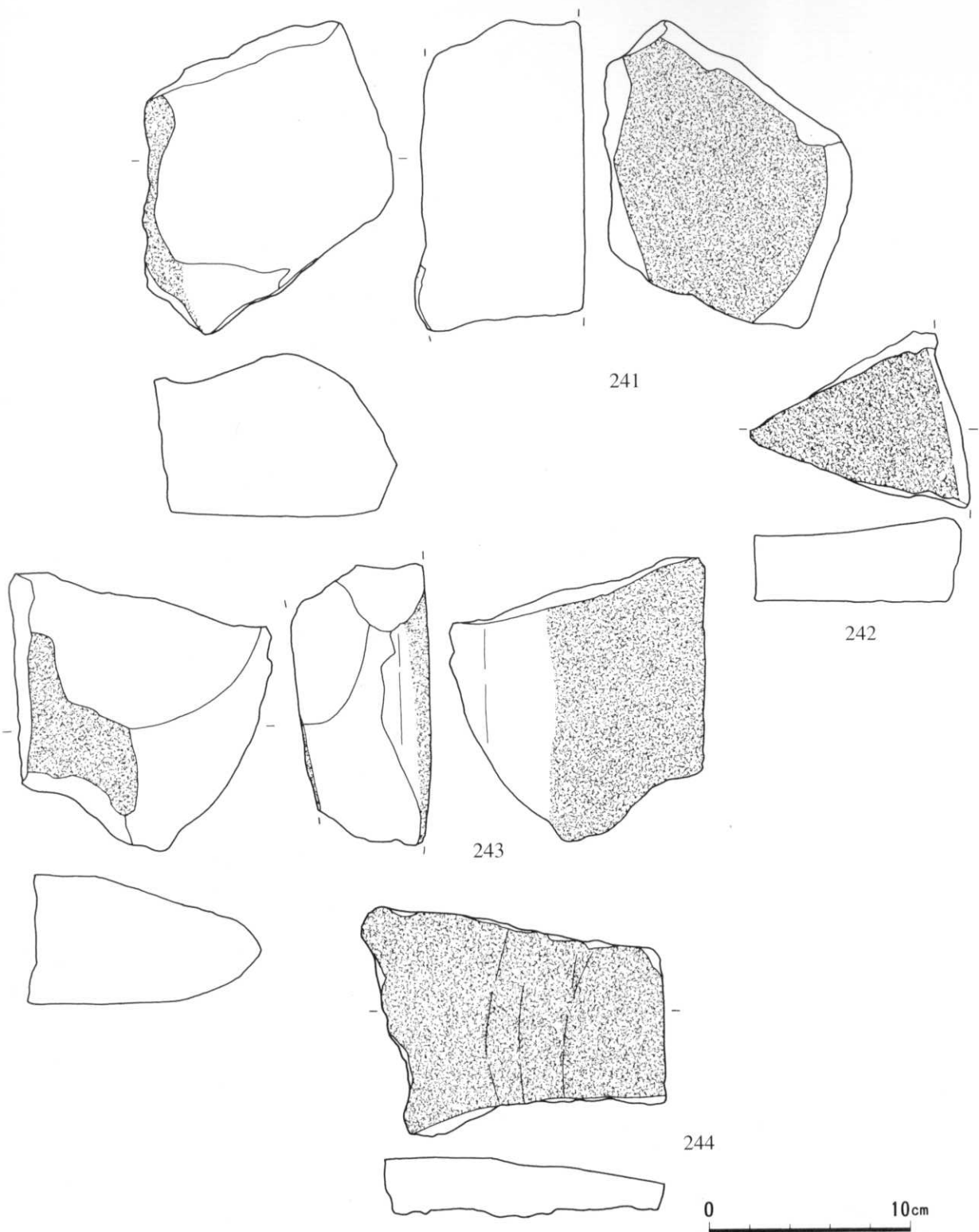
67図 出土層位不明石器 (35)



0 5cm

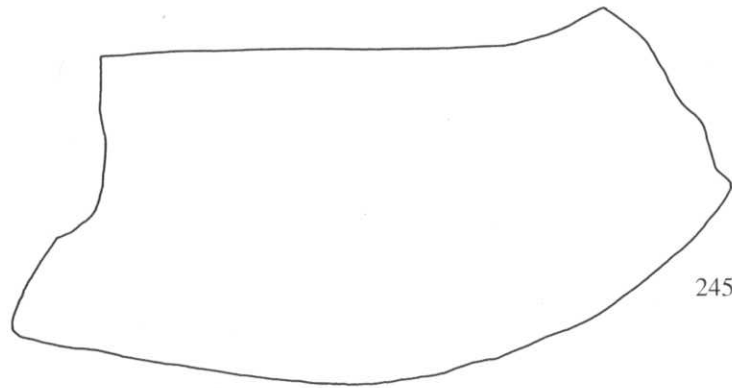
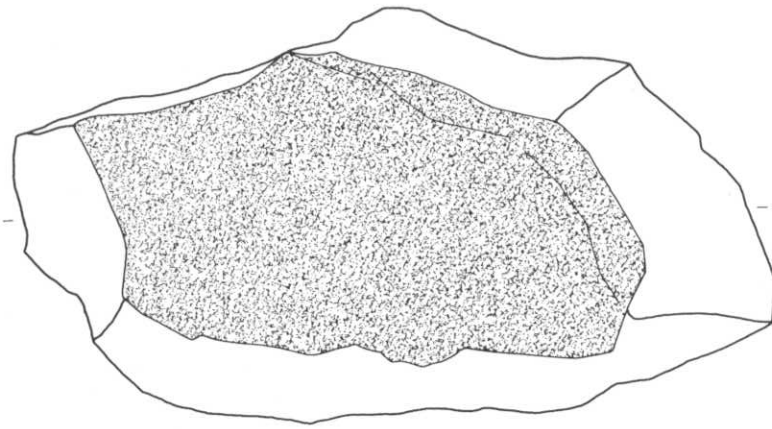
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
238	Ⅶ G-74	東西トレ	56	36	28	22.7	軽	T b		74699
239	Ⅶ G-75	Ⅵトレ	40	43	33	14.3	〃	〃		74667
240	Ⅶ F-75	〃	115	63	55	72.4	〃	〃		74670

68図 出土層位不明石器 (36)

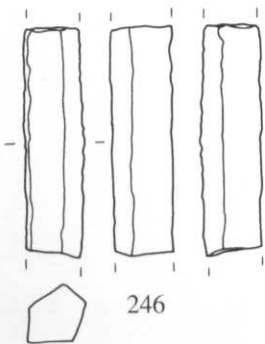


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
241	VII G-74	東西トレ	(150)	(125)	(86)	(2023.6)	安	L		70215
242	VII H-74	々	(140)	(130)	(70)	(1270.5)	々	々		70214
243	々	トレ	(174)	(218)	(90)	(3005.3)	々	々		70216
244	VII G-76	VI	(114)	(152)	(36)	(687.8)	凝	々	砥石?	74891

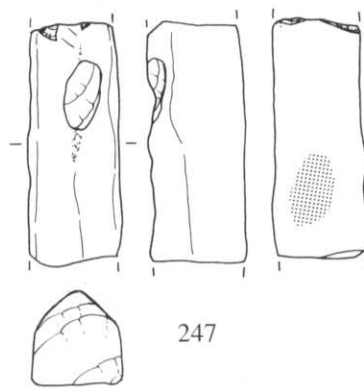
69図 出土層位不明石器 (37)



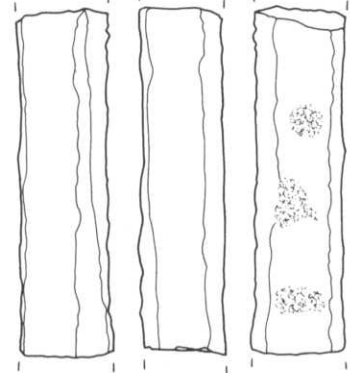
245



246



247



248



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
245	VII F-74	トレ	(164)	(298)	(158)	(8200)	安	L			70217
246	〃		(92)	(25)	(25)	(81.4)	流	U a			74723
247	VII G-74	東西トレ	(138)	(38)	(34)	(265.8)	〃	U b			74503
248	〃	〃	(96)	(37)	(38)	(210.5)	溶凝	〃			74501

70図 出土層位不明石器 (38)

第3節 土・石製品

(1) 第I層 (71図)

土偶

1は土偶脚部である。表面は乱雑な原体押圧、裏面は縦・横・斜位の原体押圧が施文される。

(小笠原 雅行)

石製品

2は両面に穿孔の痕跡があり、石製垂飾の未製品と考えられる。

(中村 美杉)

(2) 第II層 (71図)

土偶

3は土偶腕部である。胸部の突起の直上には、環状に凹線があり、内側にはそれに並行するように粘土が盛り上がる。口部の表現であろうか。胸部突起脇は原体押圧される。裏面は原体押圧と、角形刺突、原体の末端刺突が施文される。

(小笠原 雅行)

(3) 出土層位不明 (71・72図)

ミニチュア土器

5点出土した。使用痕が観察できるものはない。5は無文である。6～9は横断面が楕円形で、地文に縄文が施文される。8・9は底部が本来無く、貫通しているものであるが、それ以外は6・7と同様であるため、ミニチュア土器に含めた。7は欠損して不明だが、6・8・9は波状口縁である。8・9の波状口縁は6より顕著で、波頂部下には一對の貫通孔がある。底部は5が丸底気味、7が丸底である。

(小笠原 雅行)

土偶

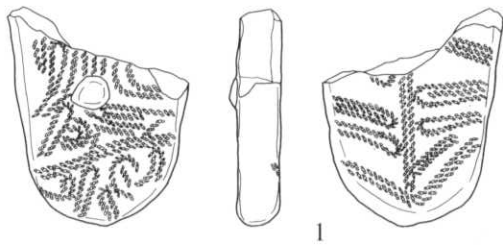
4は土偶脚部で、表面は横位に区切る押圧の下は「ハ」の字状の構成である。その間に渦巻状の押圧が加わる。裏面は剥落するが、折損面としては、滑らかに窪む。

(小笠原 雅行)

土・石製品

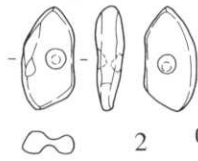
10は細粒凝灰岩の装飾品で、同様のものが第VI a層から出土している。11は中心に穿孔がある円盤状の石製品の破片と考えられる。12は石製品としたが、小型の磨製石斧の原材の可能性もある。

(中村 美杉)



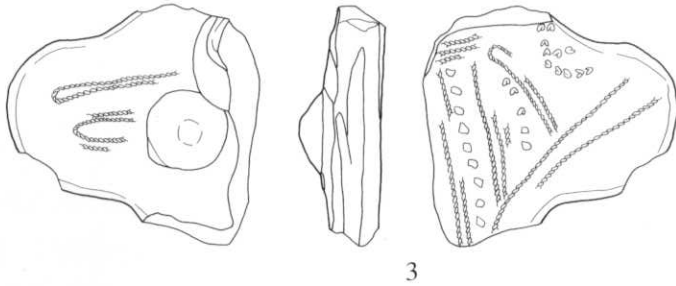
0 10cm

番号	出土地点	層位	計測値 (cm)			文様		種類	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
1	VIII G-74	I	(5.8)	(4.9)	1.5	LR押	LR押	土偶	脚部

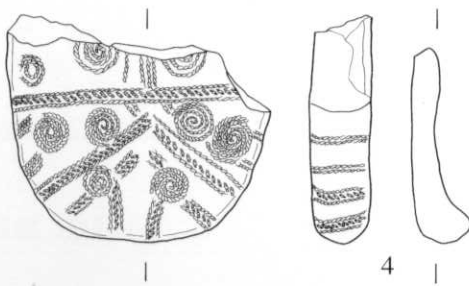


0 5cm

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	種類	備考	整理番号
2	VII H-75	I	28	14	8	3.0	細凝	石製品	垂飾未製品	3620



3



4

0 10cm

番号	出土地点	層位	計測値 (cm)			文様		種類	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
3	VIII G-77	II	(6.5)	(6.8)	(2.4)	L押	L押、刺突、原体未端押	土偶	中心に貫通孔(2条)
4	VIII F-74	東西トレ	(6.2)	(7.1)	(6.7)	R・LR押	剥落	ク	脚部

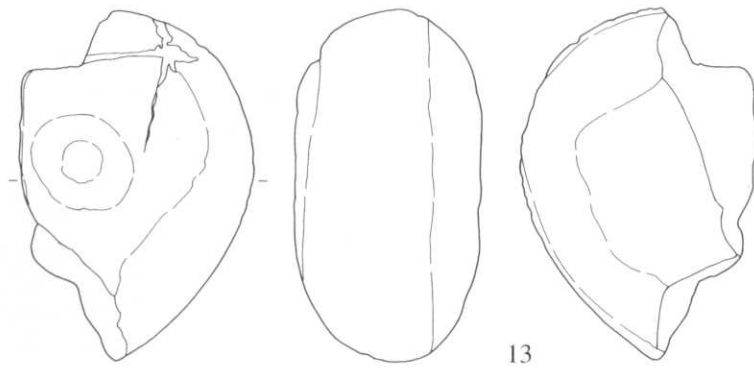
71図 第I・II層・出土層位不明土・石製品(1)



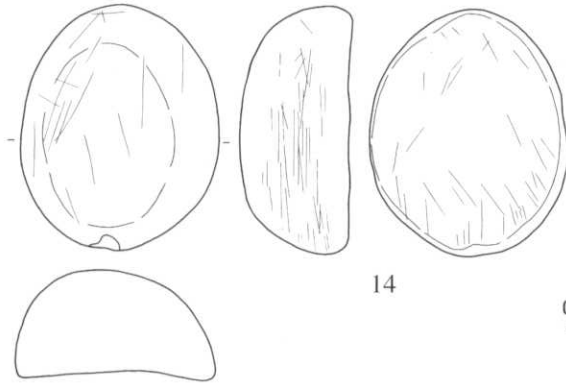
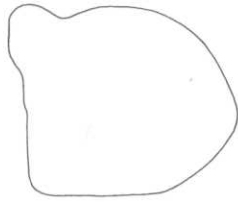
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
5	Ⅶ F-74	東西トレ	無文	無文	無文	成形痕		ミニチュア土器	
6	Ⅶ G-74	〃	R L R	R L R	R L R	〃		〃	一對の貫通孔、波状口縁
7	Ⅶ G-75	〃	〃	〃	〃	〃	丸底	〃	〃 〃
8	Ⅶ G-74	〃	〃	〃	〃	〃	貫通孔	〃	〃 〃
9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	種類	備 考	整理番号
10	Ⅶ H-74	Ⅵ	60	(32)	7	14.0	細凝	石製品		7053
11	Ⅶ G-74		(37)	(30)	7	5.8	〃	〃		2966
12	Ⅶ F-74		(103)	50	21	123.7	粘板岩	〃		3782

72図 出土層位不明土・石製品 (2)



13



14

0 5cm

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	種類	備	考	整理番号
13	VII G-74		(93)	(62)	49	99.0	細凝	石製品			7054
14	VII G-76	VI	65	52	29	39.2	々	々			2960

73図 出土層位不明土・石製品 (3)

第4節 骨角器

(1) 出土層位不明 (74図~76図)

出土地点・層位の不明確なものを一括した。ただし、VI層出土とあるのは、時期的に円筒下層 a・b式期のもので、それ以外もおおむね同時期と考えられる。製品・未製品合わせて43点出土している。また、加工痕のあるものも3点出土している。器種は針、錐、刺突具、釣針、管玉、棒状製品、ハンマーがある。材質は鹿角、陸獣骨、鳥骨、魚骨である。なお、器種ごとの細分類については第VI a層に準じる。また、骨角器の器種、材質の同定は全て国立歴史民俗博物館西本豊弘教授に依頼した。

A類 針 (1~24)

1類 (1~14) は有孔の一群である。1は頭部が肥大し、かつ扁平である。2は細身のものである。10~14は頭部及び先端部を欠損するものである。13は頭部の縦割れ破片である。

2類 (15・16) は無孔のものである。15・16は完形の無孔針である。16は長さ153cmの大型のものである。頭端が斜めに切り落とされている。15は頭頂部にキザミを持つ。

3類 (17~22) は破損品である。17~22は先端部破片である。18・21は陸獣の肋骨を半截したものである。19は頭部を欠損後再加工したものと考えられる。

4類は2点出土している。23・24はいずれも陸獣の肋骨を利用した針の未製品である。

B類 錐 (25~27)

25は先端部を欠損している。頭部形態が有孔の針と類似していることから、針からの転用品と考えられる。27は上部を欠損している。細身であり、針の可能性もあるが、先端に段を有することから錐とした。

D類 刺突具 (28~35)

29はエイの棘製で先端部を欠損している。頭部は裏面が平滑に加工されている。30はエイの棘製であり、頭部を一部欠損する。残存する頭部の裏面は平滑に加工され、頭部の形態は鋭角に尖ると考えられる。33はキツネの尺骨製で、先端部を斜めに切り落とした後、尖らせている。34は陸獣骨を半截して使用している。頭部には穿孔が施されている。また裏面の頂部には穿孔時のものと考えられるキザミがみられる。35も頭部に穿孔が施され、自然面を残す。

E類 単式釣針 (36~39)

4点出土している。37は鹿角製で、作り出しが内側に張り出している。また針部は右半分が欠損し、針部中央には縦にキザミが施される。38は軸部破片である。チモト部には内側に糸掛けと考えられる抉りがある。39は湾曲部の破片である。

G類 装身具 (42)

1点出土している。42は管玉の未製品である。陸獣骨製で、両端には切断痕が明瞭に観察される。

K類 棒状製品 (41)

1点のみの出土である。鹿角製である。先端は斜めに作り出されており、敲打痕がみられる。また一部欠損しているが上端に抉りが見られるため、有孔部を形成していた可能性もある。

N類 ハンマー (40)

その形状からハンマーと考えられる。鹿角製で、角座には敲打痕がみられる。グリップ部分は握りやすいように加工が施されている。角の先端はいずれも切断されている。

O類 用途不明のもの (43)

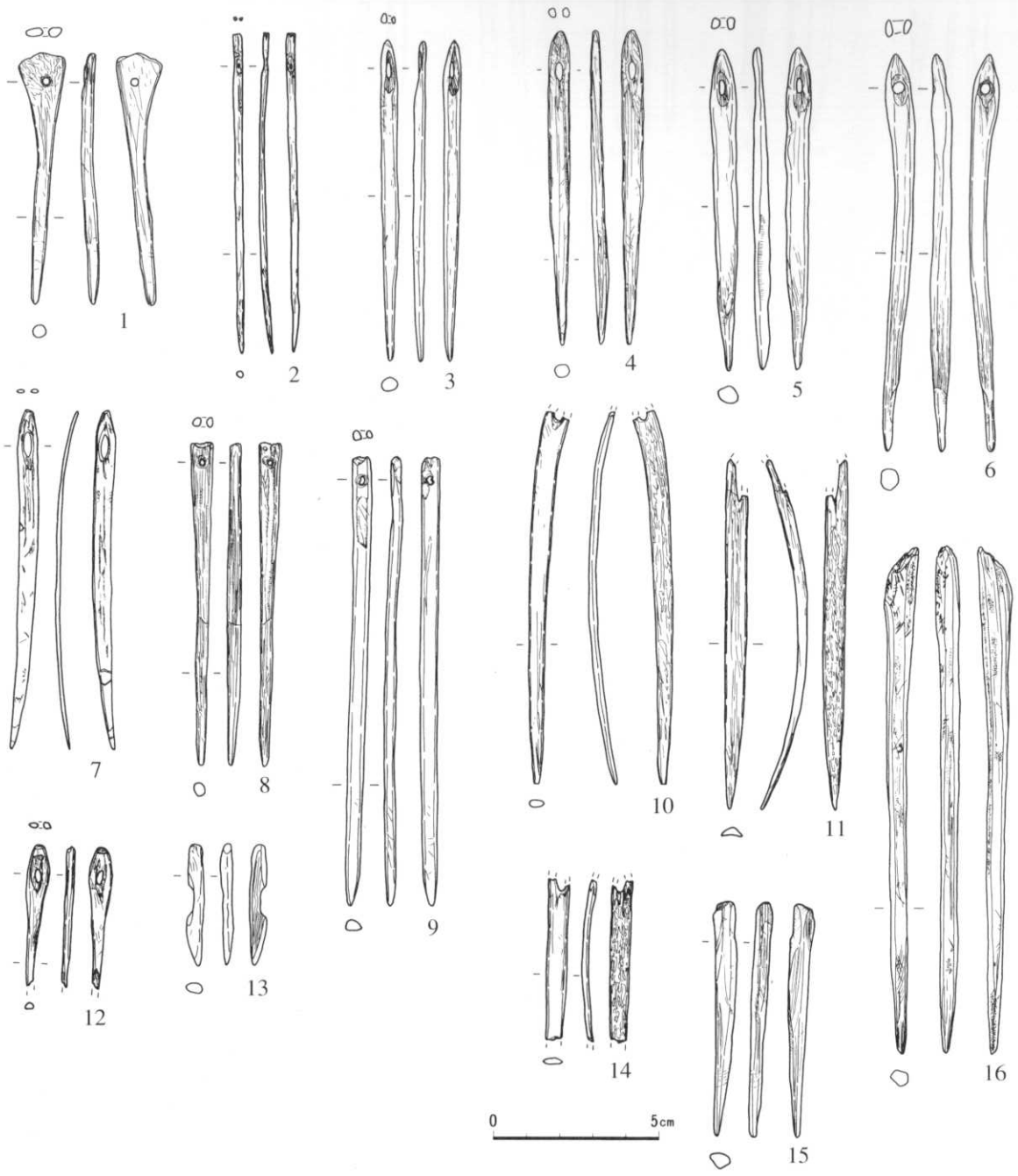
43は胴部破片で、熱を受けている。上下が欠損しているため器種は不明である。

P類 加工痕のあるもの (44~46)

いずれも切断痕が観察されるものである。46は鹿角で、両端の切断痕の他に表裏両面にも縦位に溝が走っている。

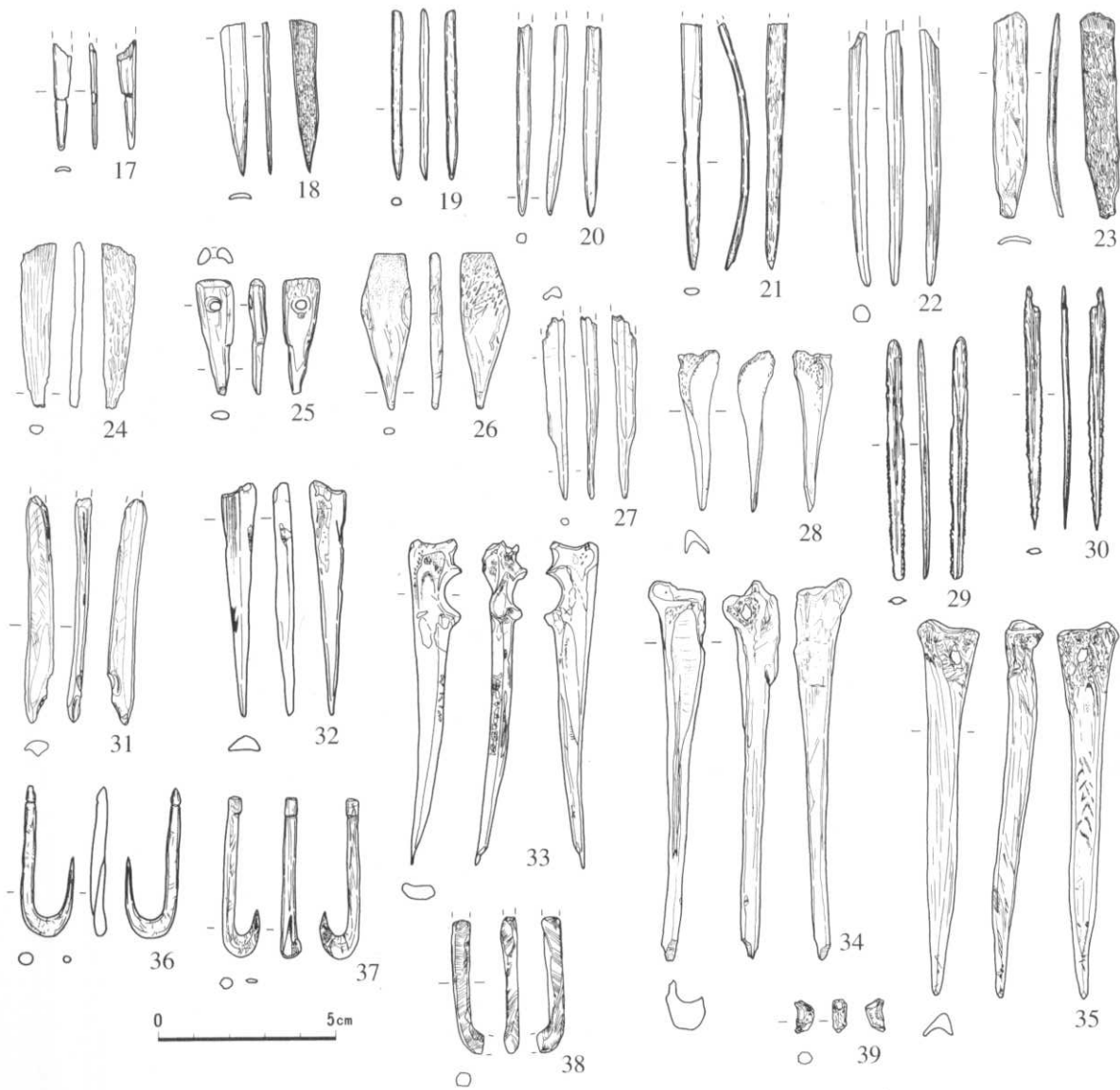
なお、図示しないが、加工痕のあるものを表1・写真34にまとめた。

(葛城 和穂)



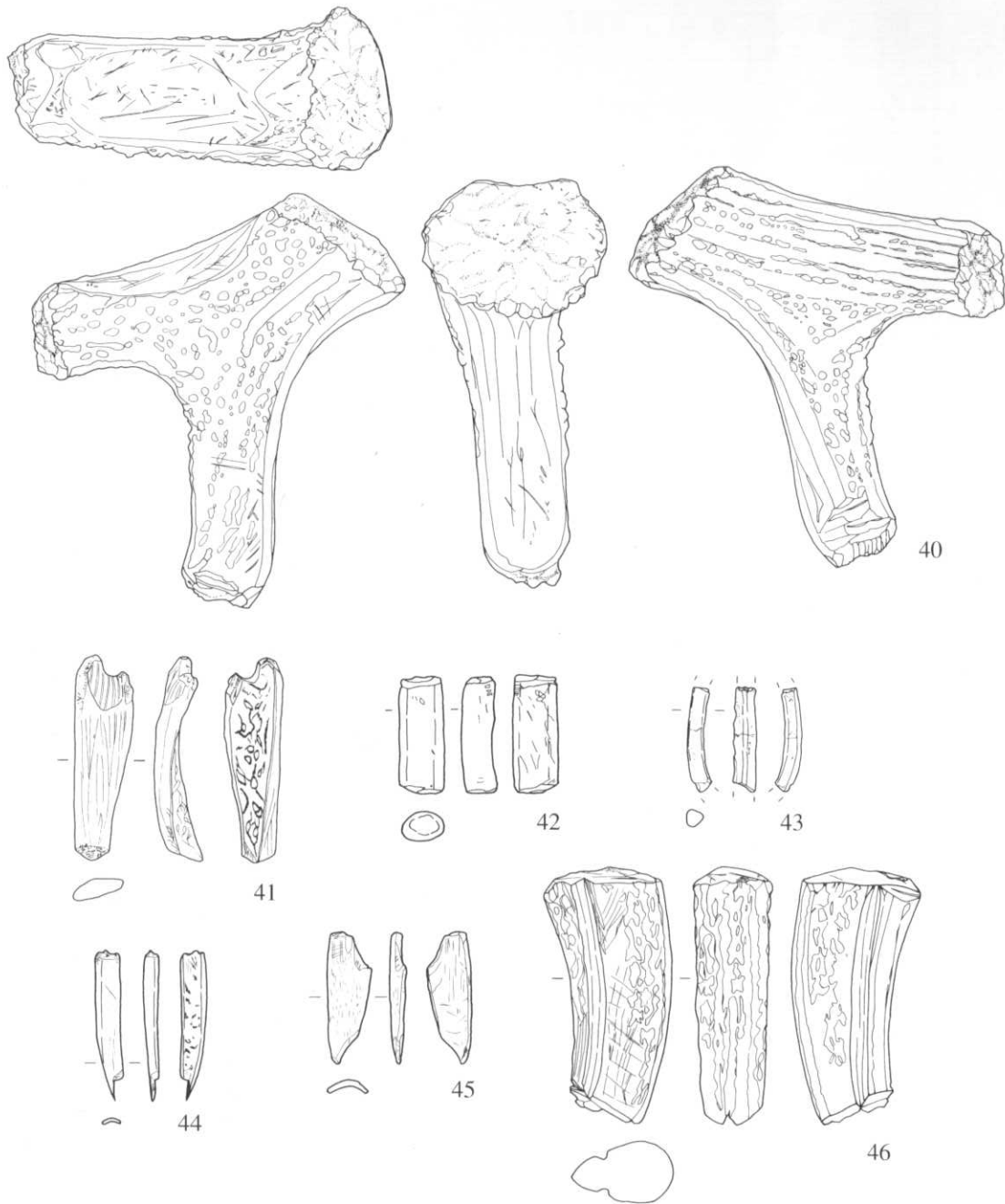
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	分類	部位	材質	備考	遺物番号
1	VI F-74	東西トレンチ	76	14	3.5	2.3	A-1		陸獣骨		44
2	VI G-75	VI	97.5	3	1.8	0.5	〃	肋骨	〃		204
3	VI F-74	VI トレンチ	93	7	5	2.5	〃		〃		47
4	VI G-74	VI	97	7	4	3	〃		〃		22
5	VI G-75	VI トレンチ	99	7	5	4.1	〃		〃		36
6	〃	VI	121.5	6	6	5.3	〃		〃		37
7	VI G-74	東西トレンチ	103	6	1	1.1	〃	肋骨	〃		30
8	VI F-74	〃	98	7	4	2.2	〃	中手・中足骨?	〃		29
9	VI G-74	〃	135	6	3	3.3	〃	中手・中足骨	〃		211
10	VI F-75	トレンチ	(112)	13	2	(1.6)	〃	肋骨	〃		80
11	VI G-74	東西トレンチ	(105)	7	3	(2)	〃		陸獣骨?		106
12	VI F-75	VI	(43)	7	2	(0.6)	〃		陸獣骨		128
13	〃	VI トレンチ	(37)	(5)	4	(0.6)	〃		〃		193
14	VI G-74	東西トレンチ	(49)	5	4	(0.6)	〃	肋骨	〃		118
15	VI F-75-2	不明	71	6	5	2.5	A-2		〃		158
16	VI G-75	VI	153	9	7	2	〃		〃		78

74図 出土層位不明骨角器 (1)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	分類	部位	材質	備考	遺物番号
17	Ⅶ F—74	Ⅵ	(30)	(5)	(2)	(1)	A—3		鳥骨		429
18	Ⅶ G—75	〃	(43)	(7)	1.5	(0.4)	〃	肋骨	陸獣骨		157
19	Ⅶ G—74	〃	(48)	(2.5)	2	(0.4)	〃	〃	〃		149
20	〃	東西トレンチ	(54)	(4)	4	(1.2)	〃	〃	〃		177
21	Ⅶ G—75	Ⅵ	(69)	(5.5)	2	(0.8)	〃	肋骨	〃		117
22	Ⅶ F—75	Ⅵトレンチ	(72)	(5)	5	(1.6)	〃	〃	〃		161
23	Ⅶ F—76	〃	(58)	10	2	(1.2)	A—4	肋骨	〃		222
24	〃	〃	(46.5)	9.5	3	(0.7)	〃	〃	〃		288
25	〃	Ⅵ	(32)	10	4	(0.9)	B	〃	〃		20
26	不明	不明	44	14	4	1.8	〃	〃	〃		248
27	Ⅶ F—74	トレンチ	(51)	(5.5)	(3.5)	(0.7)	〃	〃	〃		179
28	Ⅶ G—74	Ⅵ	45	11	4	0.6	D	脛骨	ウサギ	A931997	264
29	〃	〃	(67)	5	2	(0.6)	〃	棘	エイ	A934577	96
30	〃	〃	(68.5)	4.5	2	(0.5)	〃	〃	〃	A934576	94
31	Ⅶ F—74	東西トレンチ	(63)	8	4	(2.7)	〃	〃	陸獣骨		271
32	Ⅶ F—75	Ⅵトレンチ	(65.5)	10	5.5	(2.3)	〃	〃	〃		89
33	Ⅶ F—74	トレンチ	92	16	6	2.8	〃	右尺骨近位部	キツネ	A931989	70
34	Ⅶ G—75	Ⅵ	(108)	16	16	(7.1)	〃	〃	陸獣骨		236
35	不明	不明	105	17	8	4.6	〃	〃	〃		218
36	Ⅶ G—75	Ⅵ	43	14	4	1	E—1	角	シカ		59
37	不明	不明	45	10	5	1.1	〃	〃	〃		208
38	Ⅶ F—74	Ⅵトレンチ	(38)	6.5	4	(1)	E—3	〃	陸獣骨		192
39	Ⅶ G—75	Ⅵ	(9)	(5.5)	(3.5)	(0.1)	〃	角	シカ		234

75図 出土層位不明骨角器 (2)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	分類	部位	材質	備考	遺物番号
40	不明	不明	122	102	43	210.5	N	角	シカ		4
41	VII F-75	トレンチ	61	16	5	6.4	K	ク	ク		254
42	VII F-74	ク	35	12.5	9	3.4	G		陸獣骨		98
43	VII G-75	VI	(31)	6	5	(1.3)	O		ク		306
44	VII G-74	東西トレンチ	45	7	2	0.6	P		鳥骨		324
45	ク	ク	39.5	12	4	1			鳥骨?		145
46	不明	不明	75	35	21	42.8	ク	角	シカ		5

76図 出土層位不明骨角器 (3)

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	分類	部位	材質	備考	遺物番号
写真34 1	VI G-74-4	VI a	13	8	3	0.1	P		陸獣骨		490
2	VI F-74-4	〃	13	7	3	0.1	〃		〃		393
3	〃	〃	13	7	3	0.1	〃		〃		395
4	VI G-75-1	〃	20	7	4	0.1	〃		鳥骨		508
5	VI G-75-2	〃	8	12	8	0.5	〃		陸獣骨		484
6	VI G-74-2	〃	16	8	8	1.1	〃		〃		447
7	VI F-74-3	〃	31	10	4	0.1	〃		鳥骨		415
8	VI F-75-2	〃	28	5	3	0.3	〃		陸獣骨		407
9	VI F-76-3	〃	26	5	3	0.1	〃		鳥骨		478
10	VI G-74-1	〃	20	6	5	0.3	〃		海獣骨?		446
11	VI G-74-2	〃	21	16	3	0.3	〃		鳥骨		450
12	VI F-74-3	〃	22	13	2	0.4	〃		陸獣骨		327
13	VI F-74-4	〃	19	9.5	2.5	0.4	〃		〃		401
14	VI G-75-2	〃	23	9	3	0.5	〃	角	シカ		323
15	VI F-75-3	〃	26	7	2	0.3	〃		鳥骨		332
16	VI F-75-4	〃	38	10	3.5	0.9	〃		陸獣骨		166
17	VI G-75-1	〃	33	18	4	2.1	〃		〃		340
18	VI G-74-2	〃	28	11	6	1.4	〃		〃		479
19	VI F-74-3	〃	27	18	5	2.9	〃		〃		413
20	VI F-75-1	〃	38	10	3	0.6	〃		〃		322
21	VI F-74-4	〃	40	16	8	2.7	〃		〃		394
22	VI F-74-3	〃	33	11	6	1	〃		鳥骨		334
23	VI G-75-2	〃	34	11	7	1.8	〃		陸獣骨		347
24	VI G-74-1	〃	37	1.7	5	1.9	〃		〃		444
25	〃	〃	42	13	6	2.3	〃		〃		512
26	VI F-75-3	〃	50	9	3	0.7	〃		鳥骨		344
27	〃	〃	56	8	2	0.8	〃		〃		328
28	VI H-74-1	〃	40	13	13	2.1	〃	左尺骨遠位	ワシ	A931950	357
29	VI G-75-1	〃	29	24	16	2.7	〃		アビ	A931952	356
30	〃	〃	30	21	21	2.5	〃	右大腿骨	キツネ	A931955	354
31	VI F-74-4	〃	55	18	7	3.9	〃		陸獣骨		298
32	VI G-75-2	〃	62	14	10	3.1	〃	左尺骨	アホウドリ	A931953	359
33	VI F-75-2	〃	64	20	15	5.1	〃		陸獣骨		319
34	VI H-74-2	〃	92	21	8	3.7	〃	左脛骨近位	ノウサギ	A931988	151
35	VI G-75-2	〃	98	5	26.5	34	〃	右尺骨近位	シカ	A931987	115
36	VI H-74-2	〃	33.5	35	9	5.8	〃	角	〃		257
37	VI G-75-1	〃	70	14	8	7	〃		陸獣骨		352
38	VI G-74-2	〃	40	13	5	3.3	〃		〃		451
39	VI F-74-3	〃	44	17	7	4.3	〃		〃		412
40	VI G-76-1	〃	25	37	8	5.5	〃	角	シカ		255
41	VI F-75-1	VI b	6.5	7	4	0.1	〃	椎骨	サメ類	A934581	432
42	VI F-74-4	〃	21	6	3	0.3	〃		陸獣骨		405
43	VI F-74-3	〃	16	7.5	4	0.3	〃		〃		419
44	VI F-74-4	〃	17	10	4	0.9	〃		〃		404
45	VI G-74-2	〃	25	11	4	0.5	〃		〃		440
46	VI G-74-1	〃	36	7	5	1.1	〃		〃		342
47	VI G-74-2	〃	44	9	6	1.9	〃		〃		173
48	VI G-74-4	〃	22	24	13	1.3	〃	左中手骨	ヒシクイ	A931951	355
49	VI F-74-3	〃	22	16	8	1.9	〃		陸獣骨		335
50	VI G-74-3	〃	26	17	7	3	〃		〃		459
51	VI F-74-3	〃	78	22	12	3.8	〃	左大腿骨	ノウサギ	A930070	511

表1 加工痕のあるもの

第X章 補 遺

『三内丸山遺跡Ⅷ（第1分冊）』第Ⅵ章第5節「遺物廃棄ブロック」1—(1)—4)の項において、第Ⅲ層出土の土偶を扱った。その際9点の土偶を図示したが、他にも掲載していなかったものがあることが判明した。その中には、既報告の土偶と接合するものがあることもわかった。前回報告分の151頁117図5・6がそれである。この2点は再度図化し、未掲載のものと併せて、補遺とし報告する。

今回報告するのは12点で、いずれも中期の遺物包含層から出土しており、円筒上層式に伴う土偶である。1は間層24とした円筒上層a式期の包含層から出土している。胴部片で、表面と側面には擬似絡条体圧痕、裏面にはさらに細沈線が加わる。ヘソ部の貼付は剥落しており、裏面中央には縦位に凹線が入る。2～4は短刻線と細沈線が施文されたものである。2は頭部で、頭頂部は王冠状で若干窪む。3は右腕から胸部で、左胸は剥落している。細沈線施文後に短刻線が加えられる。4は脚部で、裏面中央に凹線が入るが、若干屈曲する。5は右腕を欠失した小型の土偶である。細沈線が施文され、頭部両側縁には突起が付けられる。裏面中央には縦位の凹線が入る。6からは縄文原体押圧が施文されるものである。6は頭部で、頭頂部は平坦である。表面は縄文原体の平行・渦巻状押圧と短刻線ないしは擬似絡条体圧痕、裏面は平行押圧が施文される。7は左腕部で、表面は横・縦位に、裏面は横位の文様構成である。ともに渦巻状の押圧も加わる。8・9は腕部である。8は表裏面とも鋸歯状の原体押圧になるものと思われるが、表面が周期が密で、裏面はやや大振りである。9は表面が横・縦・斜位の原体押圧である。10はヘソ部の突起の両側は縦位に、下はハの字状に、横位の区画以下も縦・ハの字状に原体押圧される。裏面中央には縦位に（他のものと異なり）細い沈線が入る。11・12は原体押圧の他に、刺突が加わるものである。11は口から胸部で、口部はリング状の高まりとなる。表面は胸部の突起付近より上が横位、それ以下が縦位の縄文原体押圧が施文され、胸部上下から腕部にかけて刺突が施文される。裏面は縦位と、三角形の原体押圧である。12は脚部で、表面の最下部には逆三角形に原体押圧される。裏面はV字状とハの字状の組み合わせである。側面に刺突が施文される。

(小笠原 雅行)



0 10cm

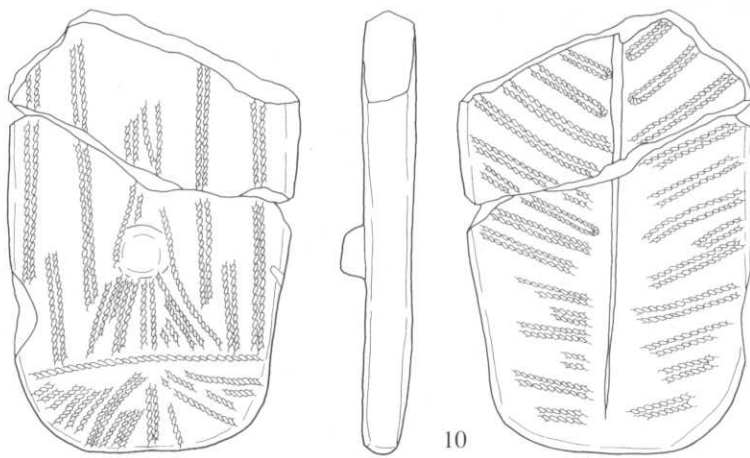
番号	出土地点	層位	計測値 (cm)			文様		種類	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
1	VII G-74	III (間層24)	(6.5)	(8.9)	(1.9)	擬似絡条体压痕	細沈線、擬似絡条压痕	土偶	胴部、ヘソ剥落
2	VII G-75	III	(4.7)	(4.3)	(2.8)	短刻線	短刻線	〃	頭部
3	VII G-74	〃	(4.5)	(7.1)	(1.8)	細沈線、短刻線	細沈線、短刻線	〃	右腕へ胸部、左胸剥落
4	VII G-74	〃	(3.7)	(3.5)	(1.2)	〃	〃	〃	脚部、裏面中央に凹線
5	VII G-74	〃	5.7	(3.9)	1.0	細沈線	細沈線	〃	右腕欠
6	VII G-74	〃	(7.8)	(5.7)	(2.2)	L.R押	L.R押	〃	頭部
7	VII G-74	〃	(10.3)	(6.4)	(1.7)	L押	L押	〃	左腕、隣接グリッドで接合
8	VII G-74	〃	(4.1)	(3.9)	(1.6)	〃	〃	〃	右腕部
9	VII G-74	〃	(5.9)	(6.2)	(2.7)	〃	〃	〃	左腕部

77図 第三層出土土偶 (1)

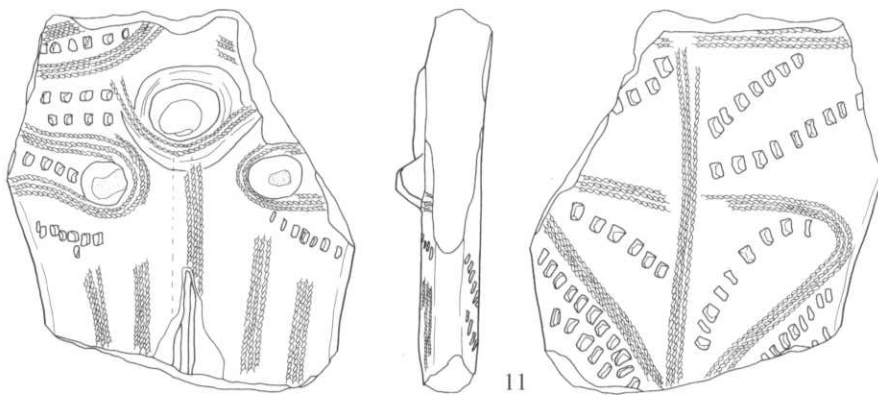


番号	出土地点	層位	計測値 (cm)			文様		種類	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
1	VII G-74	III (間層24)	(6.5)	(8.9)	(1.9)	擬似絡条体圧痕	細沈線、擬似絡圧痕	土偶	胸部、ヘソ剥落
2	VII G-75	III	(4.7)	(4.3)	(2.8)	短刻線	短刻線	〃	頭部
3	VII G-74	〃	(4.5)	(7.1)	(1.8)	細沈線、短刻線	細沈線、短刻線	〃	右腕へ胸部、左胸剥落
4	VII G-74	〃	(3.7)	(3.5)	(1.2)	〃	〃	〃	脚部、裏面中央に凹線
5	VII G-74	〃	5.7	(3.9)	1.0	細沈線	細沈線	〃	右腕欠
6	VII G-74	〃	(7.8)	(5.7)	(2.2)	L.R押	L.R押	〃	頭部
7	VII G-74	〃	(10.3)	(6.4)	(1.7)	L押	L押	〃	左腕、隣接グリッドで接合
8	VII G-74	〃	(4.1)	(3.9)	(1.6)	〃	〃	〃	右腕部
9	VII G-74	〃	(5.9)	(6.2)	(2.7)	〃	〃	〃	左腕部

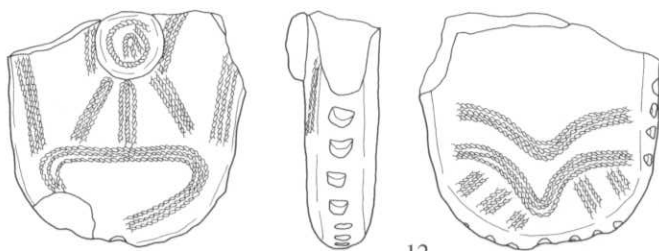
77図 第三層出土土偶 (1)



10



11



12

0 10cm

番号	出土地点	層位	計測値 (cm)			文様		種類	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
10	Ⅶ F-74	Ⅲ	(11.9)	(7.8)	(2.1)	L押	L押	土偶	胴へ脚部、裏面中央に沈線
11	Ⅶ G-75	〃	(10.2)	(9.4)	(2.6)	L押、刺突	L押、刺突	〃	頭部、中央に貫通孔
12	Ⅶ F-76	〃	(6.4)	(6.4)	(2.5)	L押	L押	〃	脚部、側面に刺突

78図 第Ⅲ層出土土偶 (2)

写 真 图 版

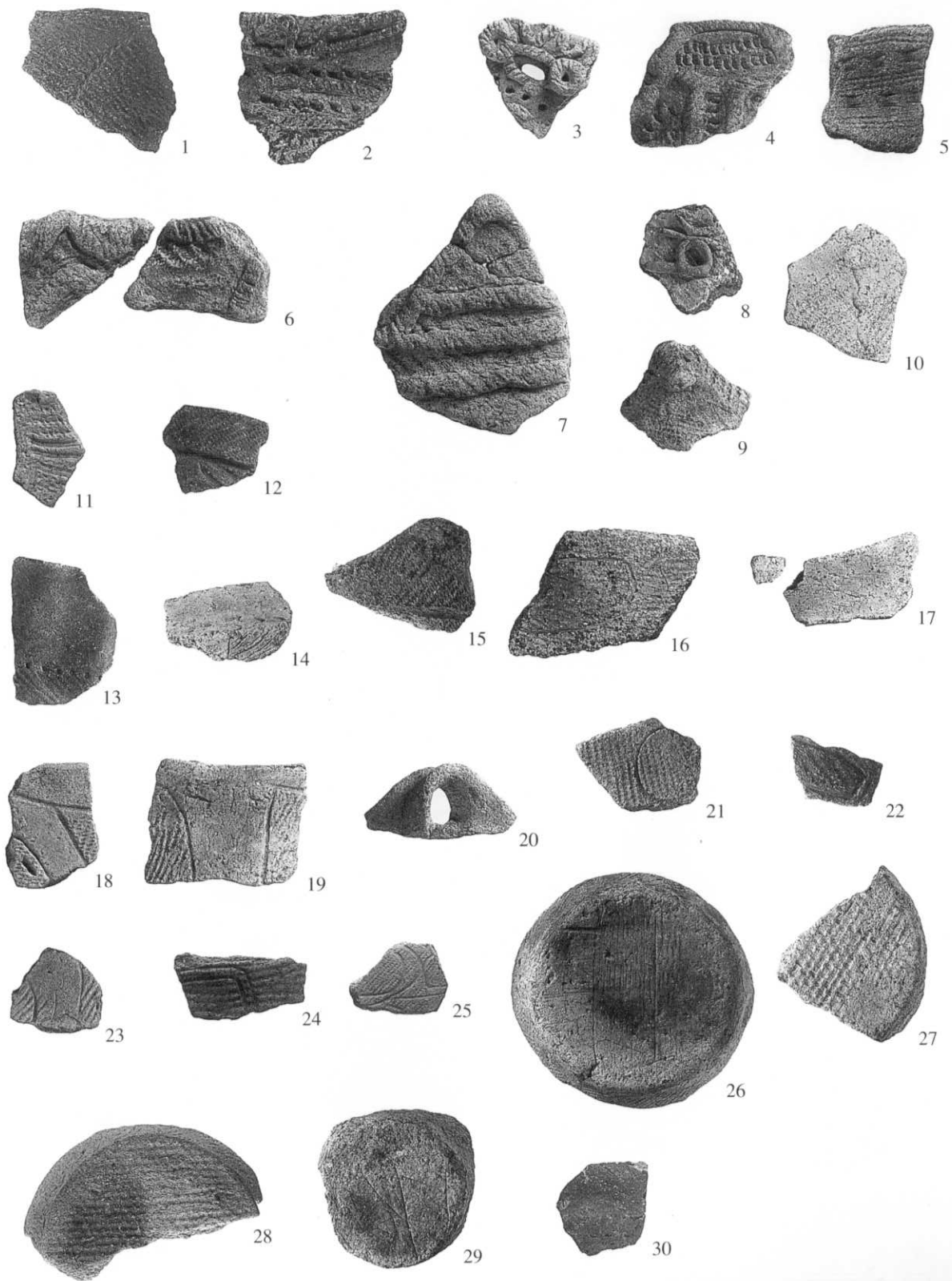


写真1 第I層出土土器

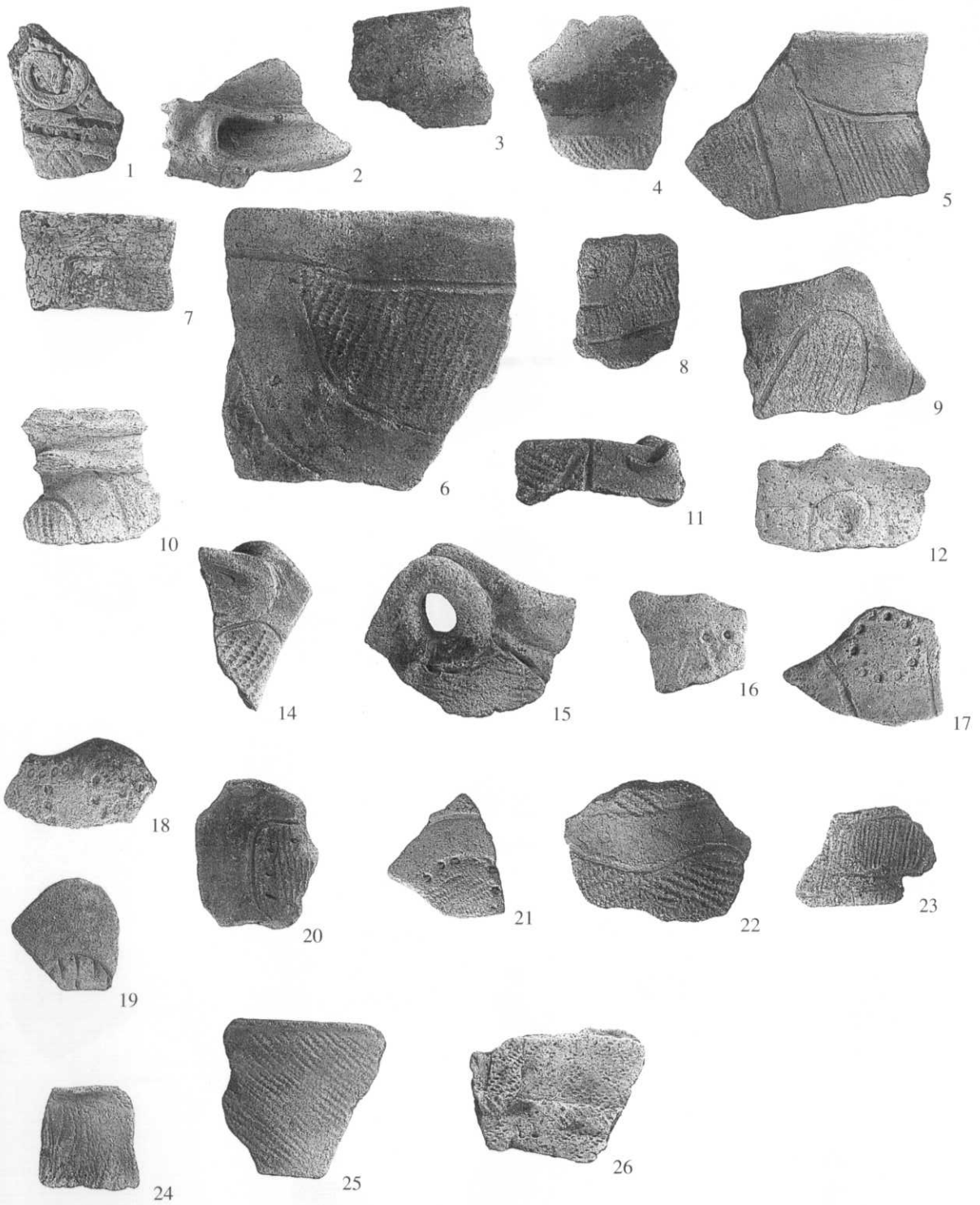


写真2 第Ⅱ層出土土器(1)



写真3 第Ⅱ層出土土器(2)

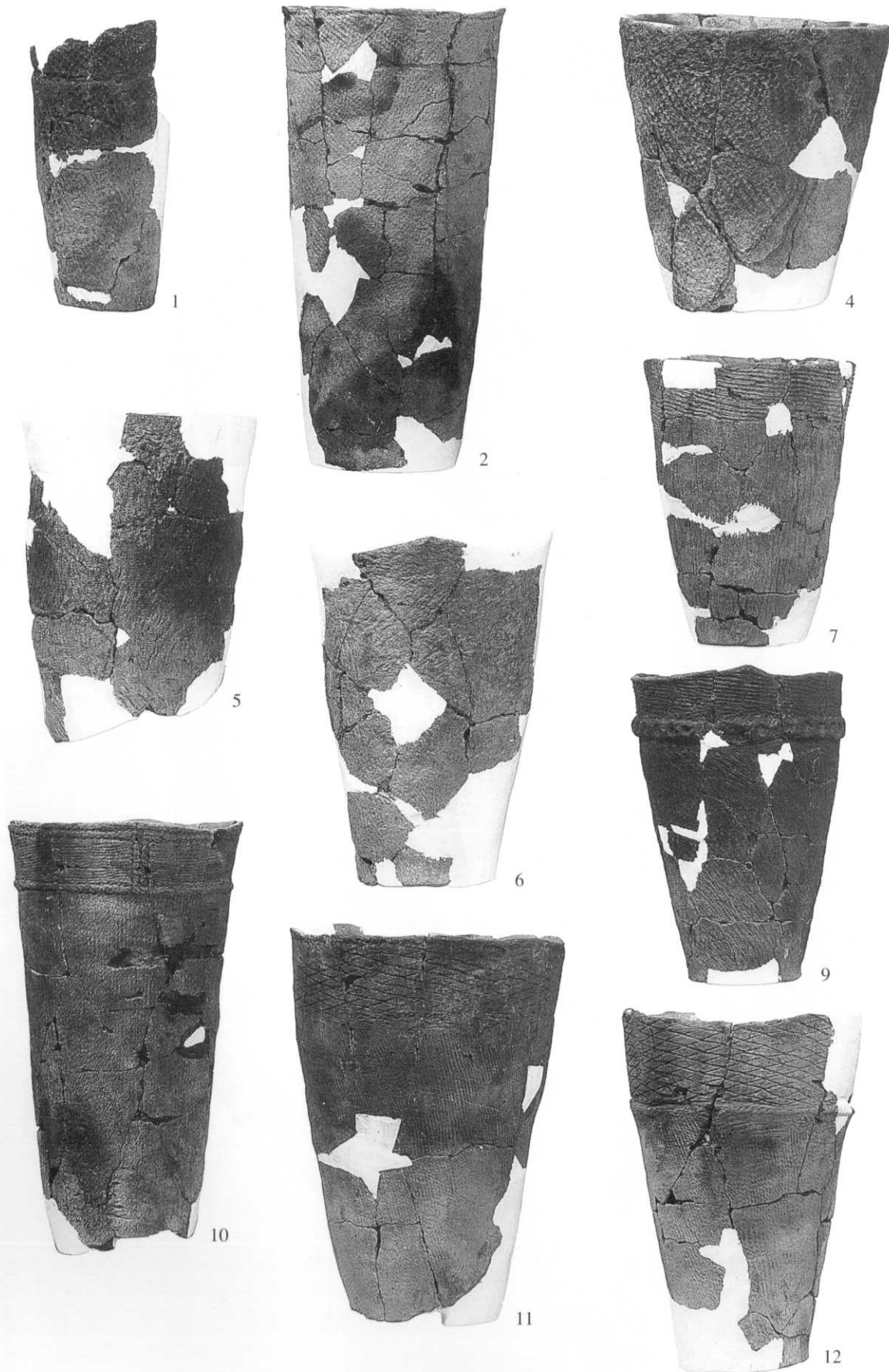


写真4 出土層位不明土器(1)

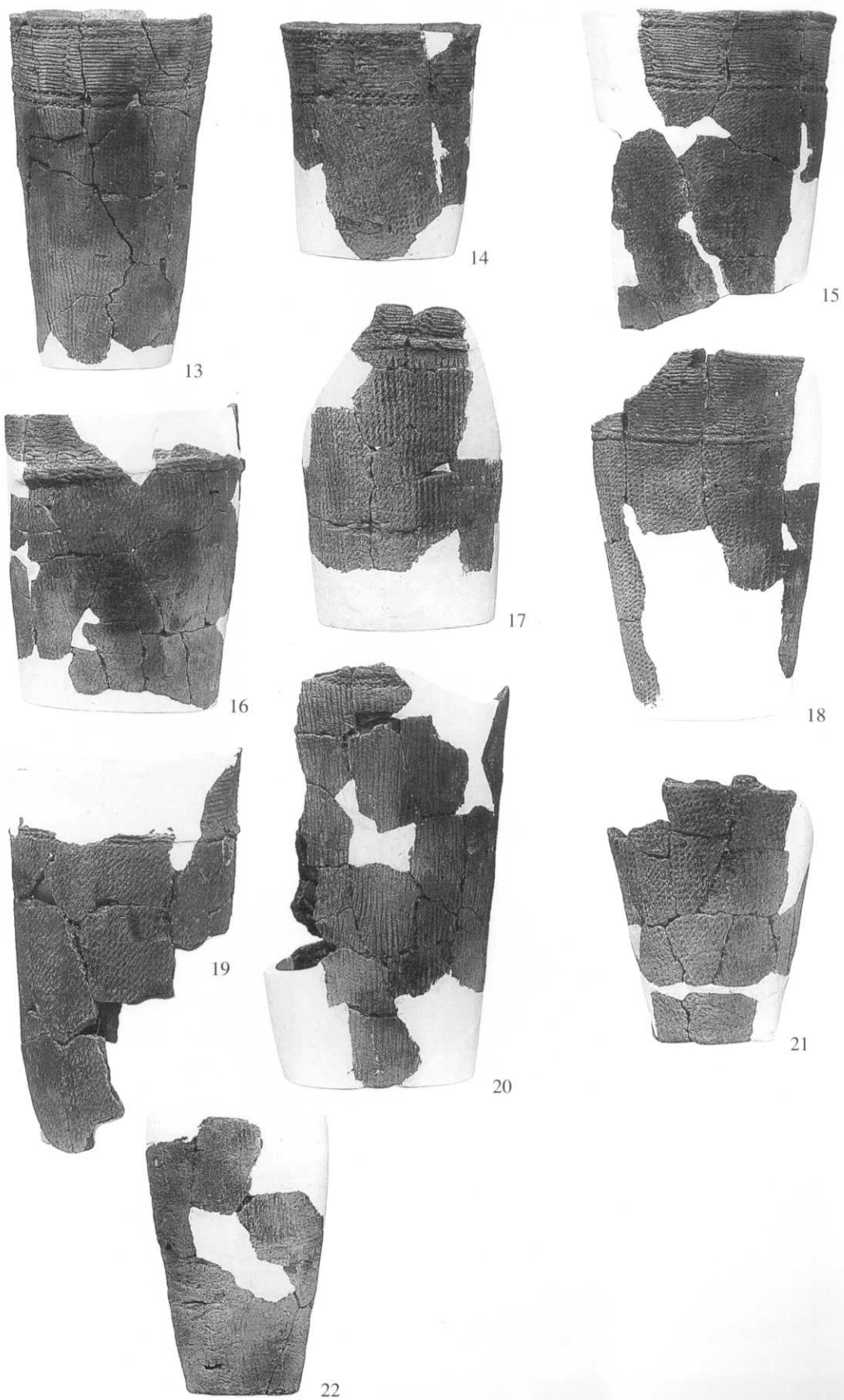


写真5 出土層位不明土器(2)

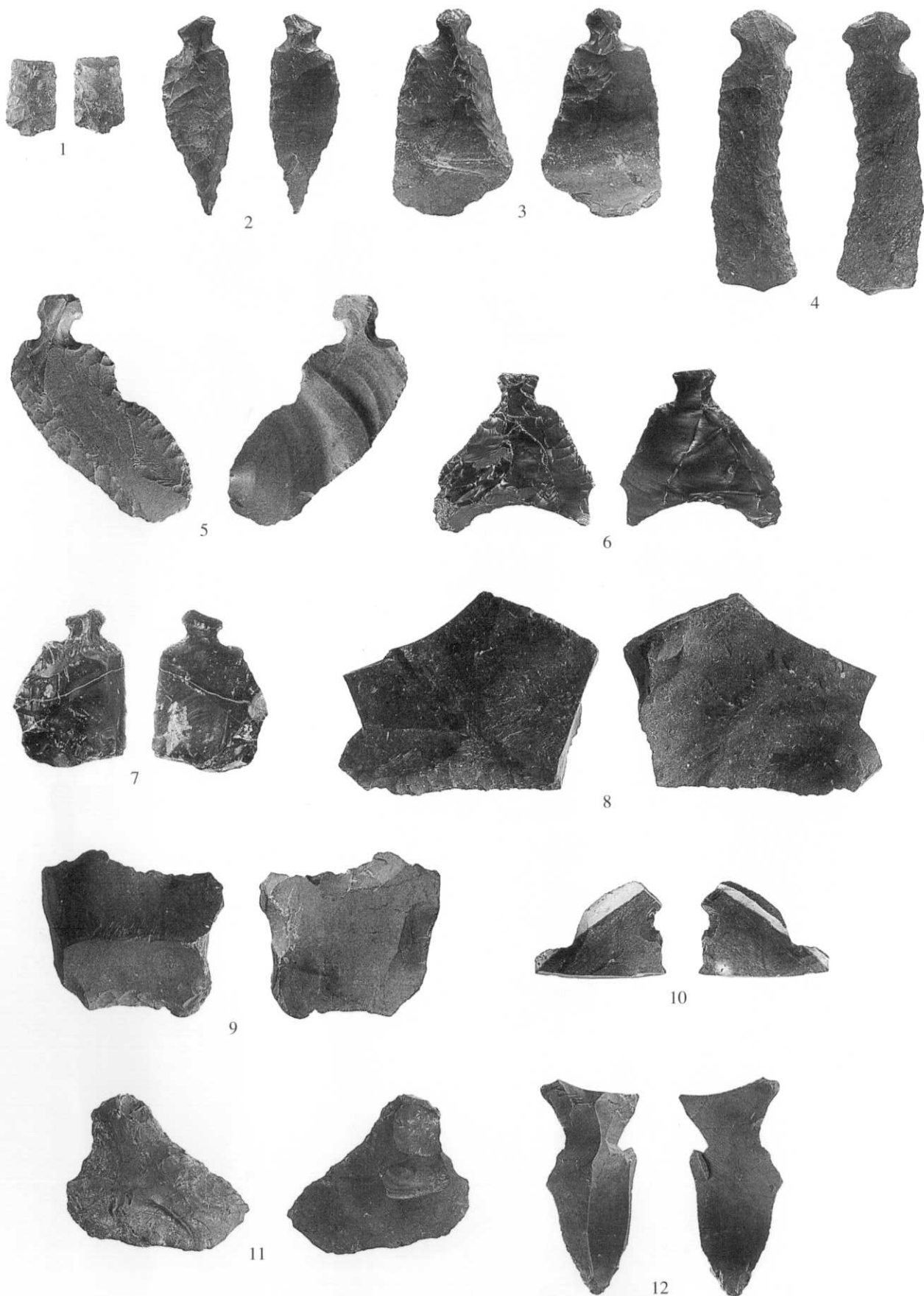


写真6 第I層出土石器(1)

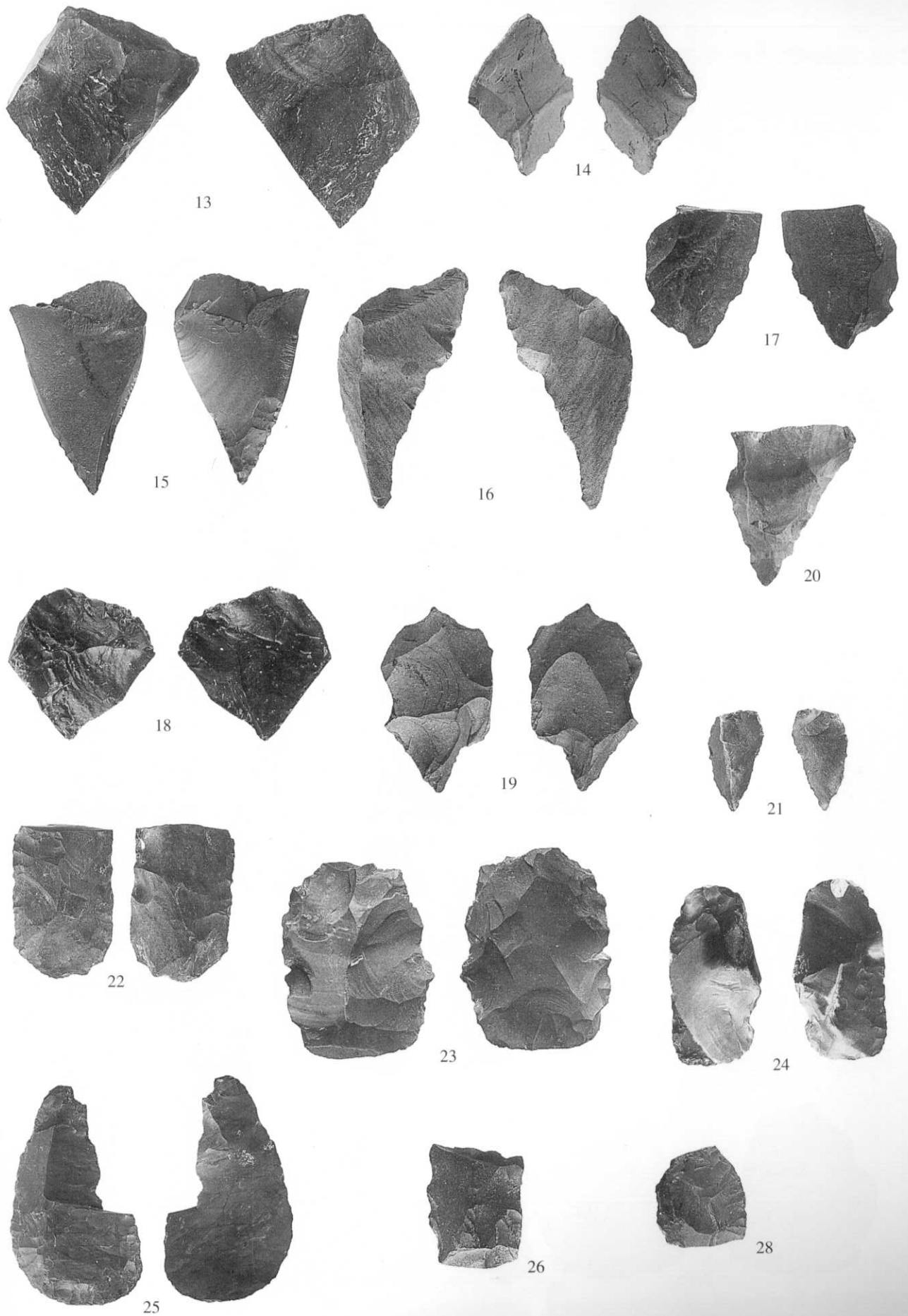


写真7 第I層出土石器(2)

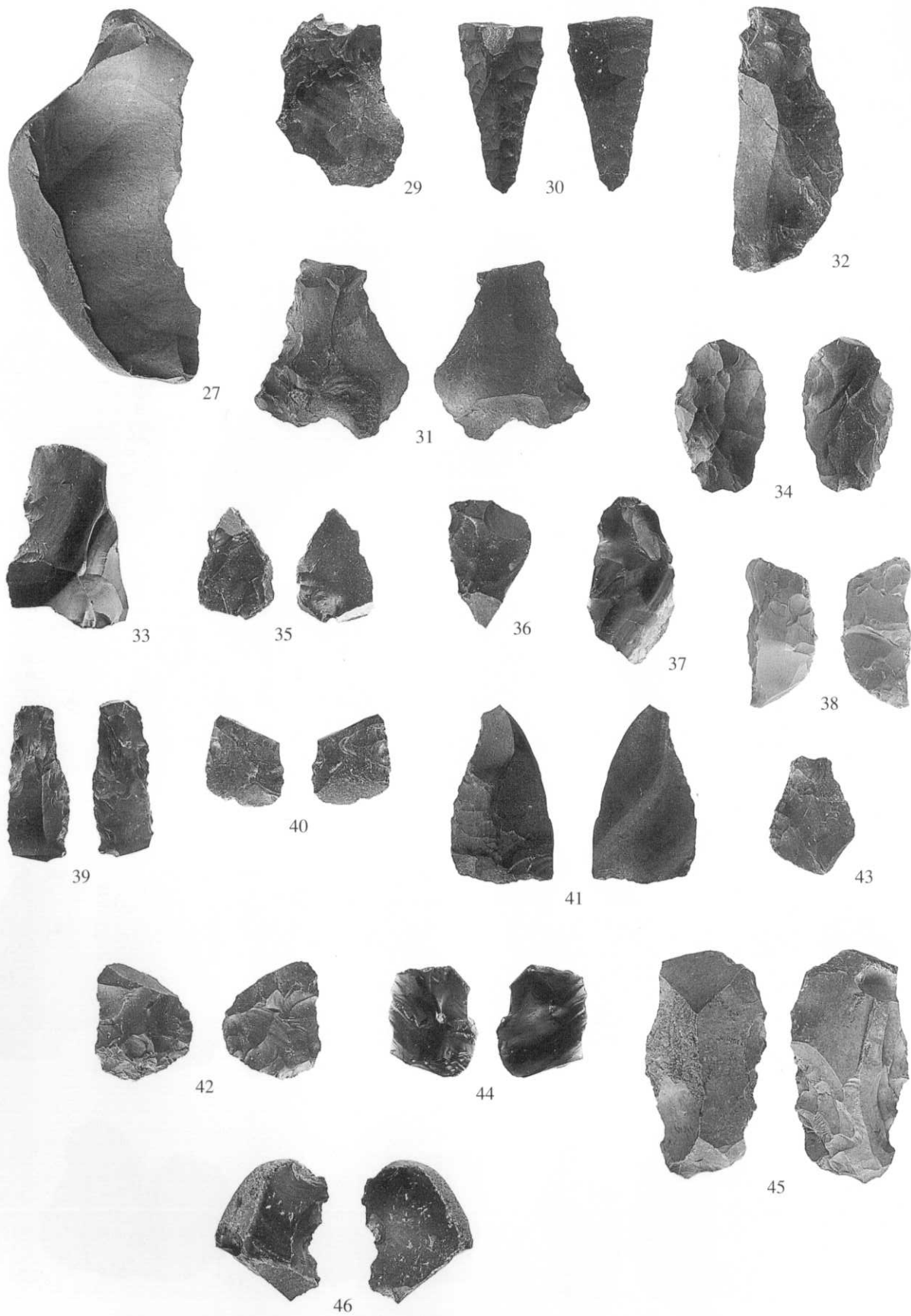


写真 8 第 I 層出土石器 (3)

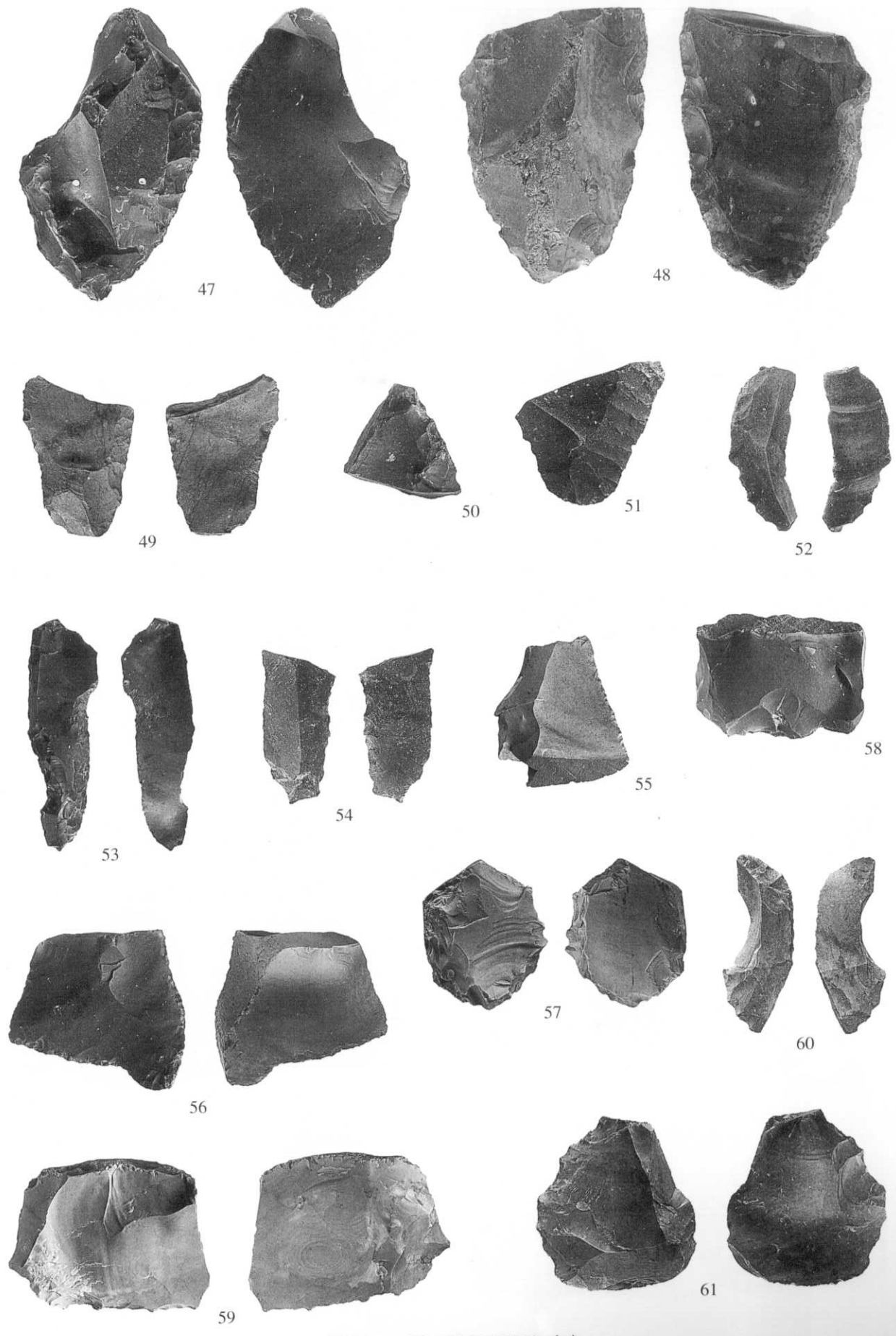


写真9 第I層出土石器(4)

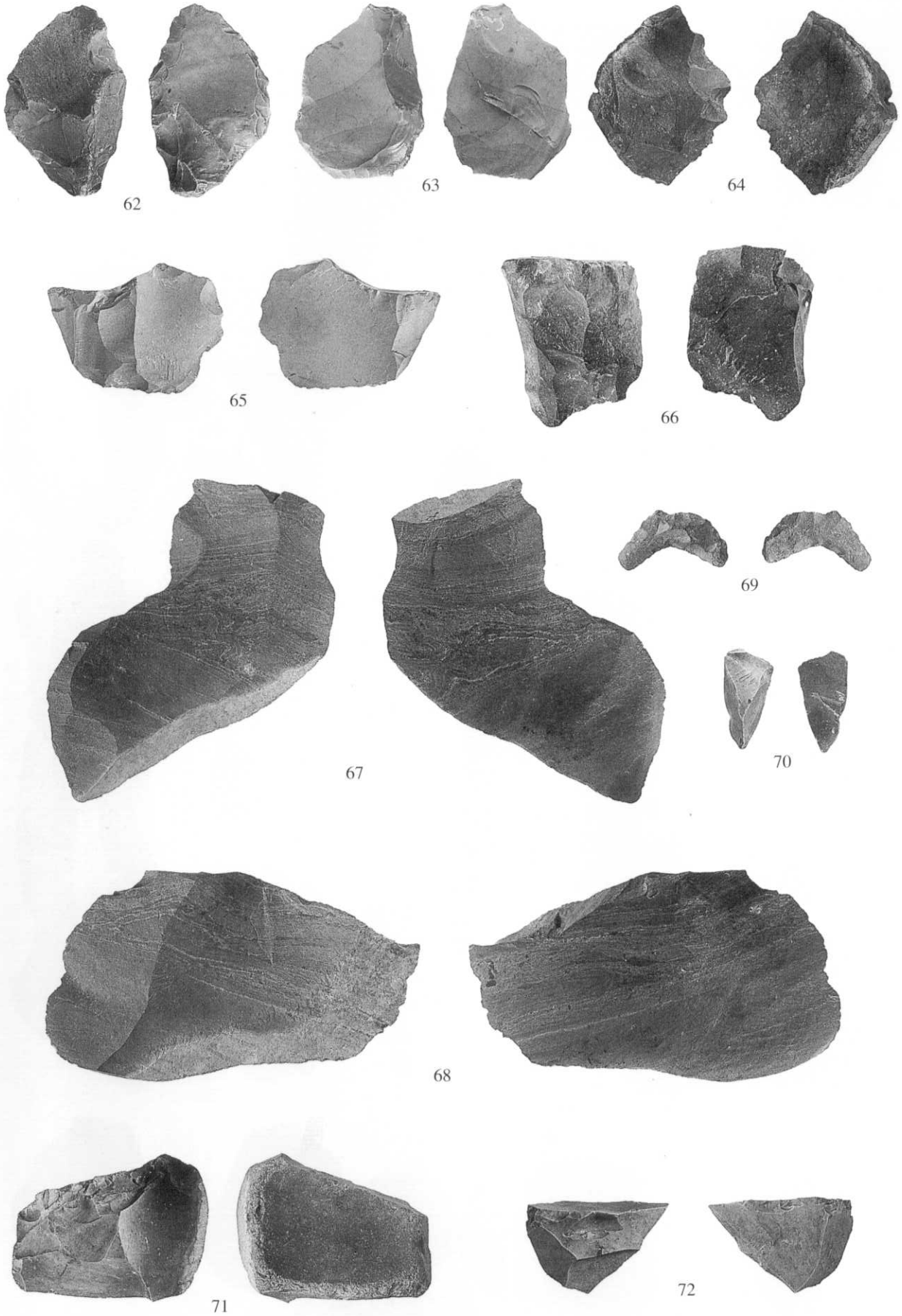


写真10 第I層出土石器 (5)

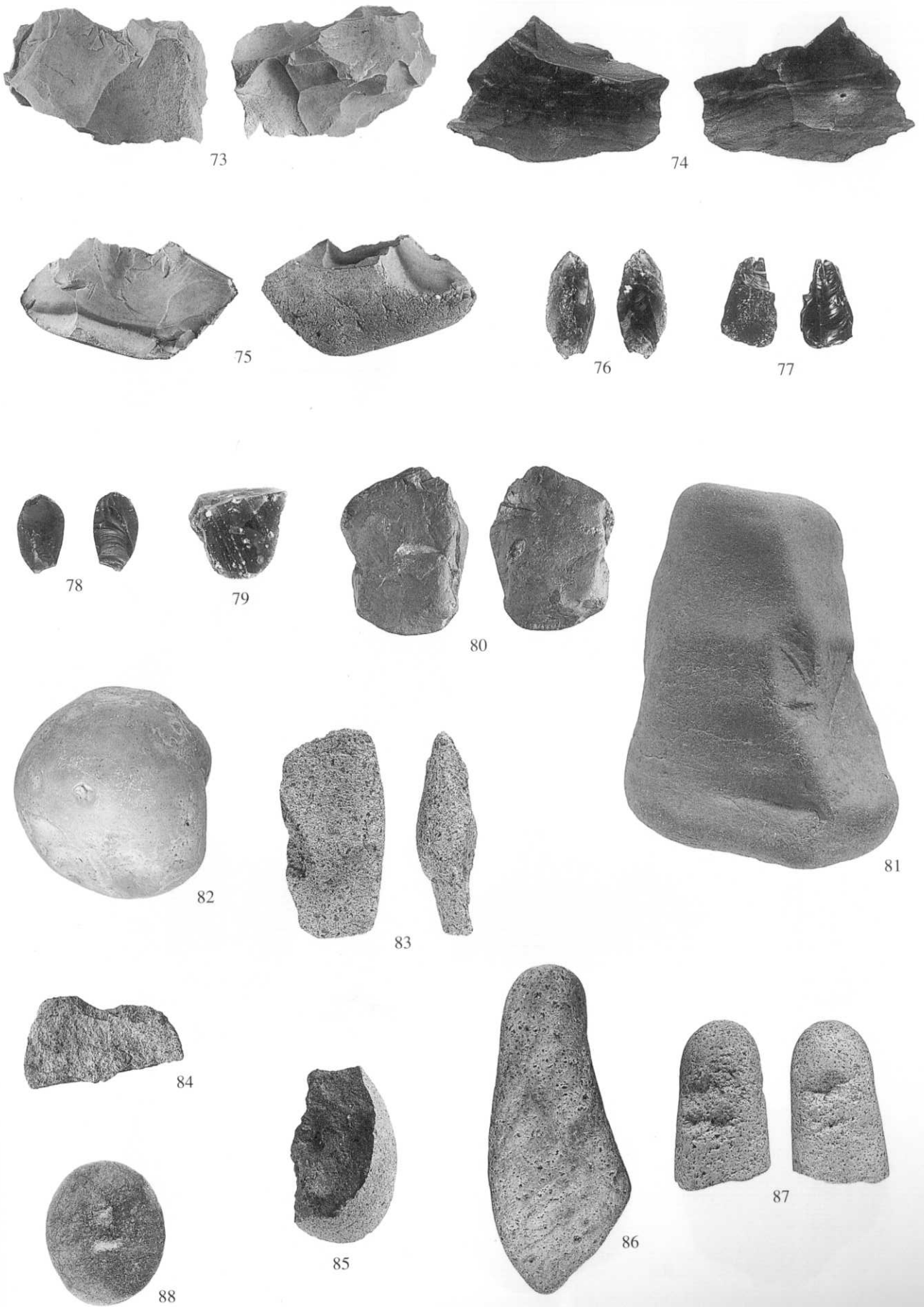


写真11 第I層出土石器(6)

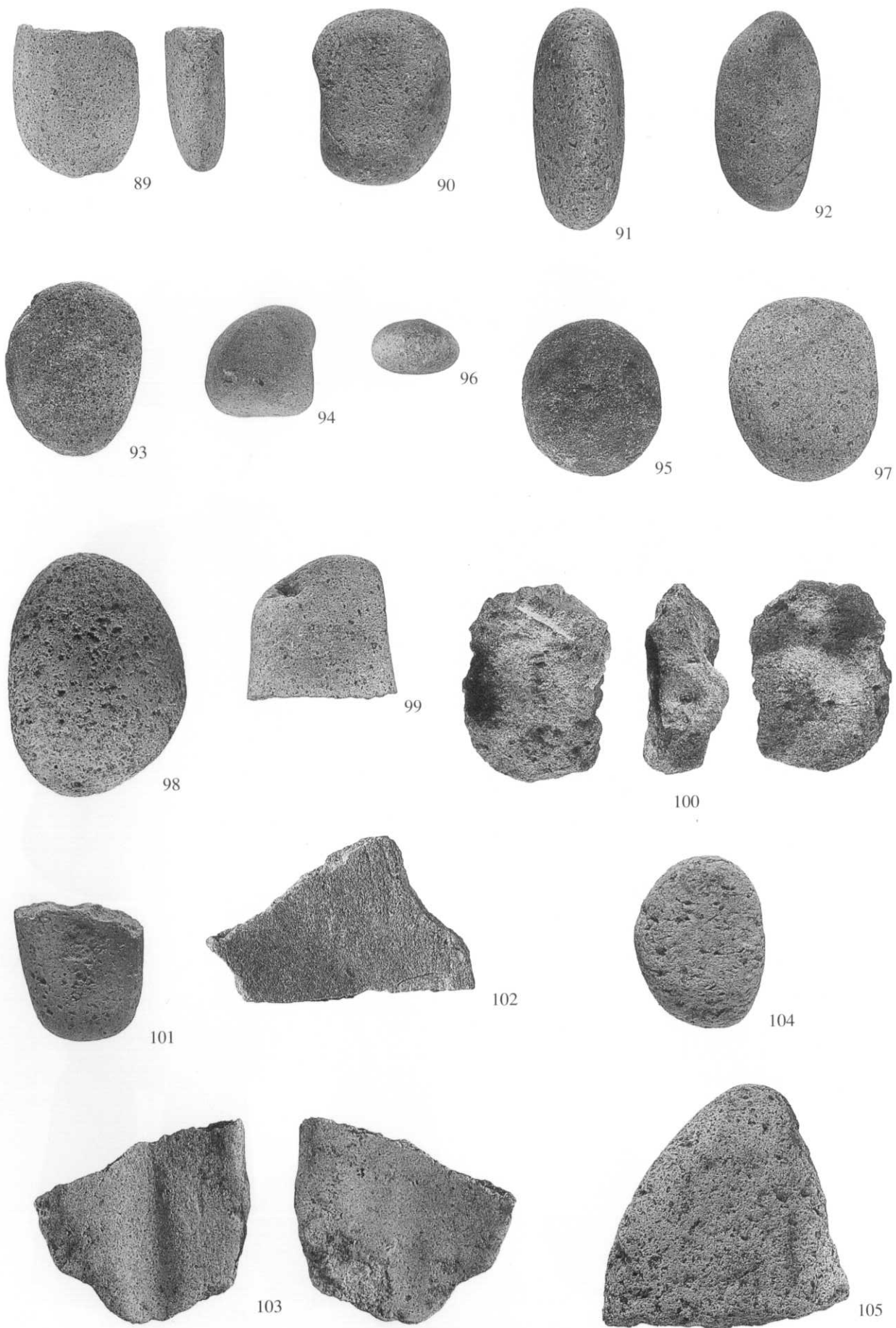
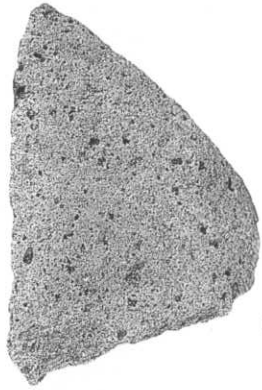
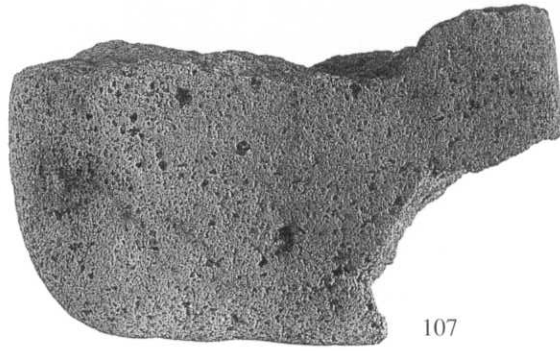


写真12 第I層出土石器(7)



106



107



108

写真13 第I層出土石器(8)

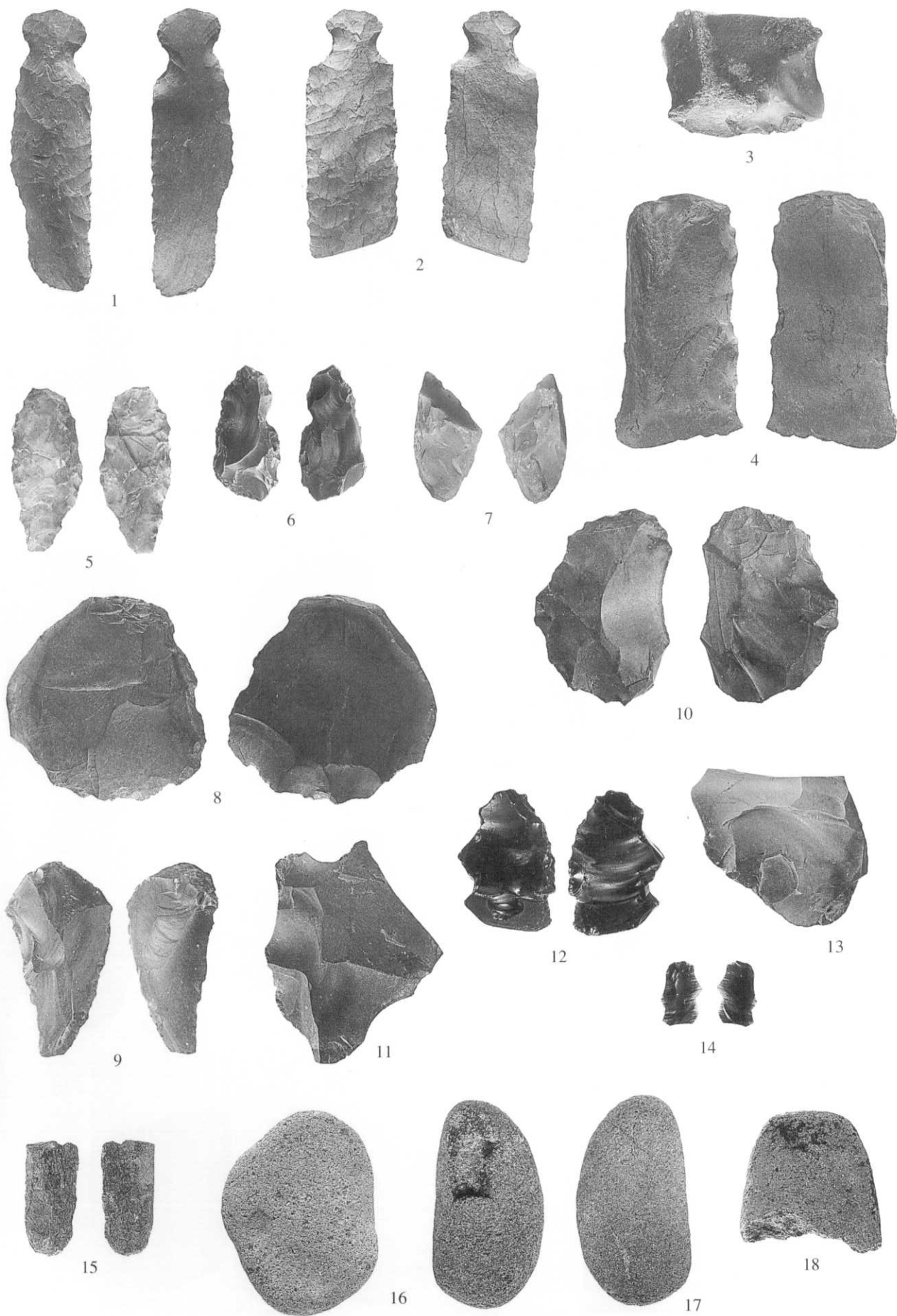


写真14 第Ⅱ層出土石器(1)



19



20

写真15 第Ⅱ層出土石器(2)

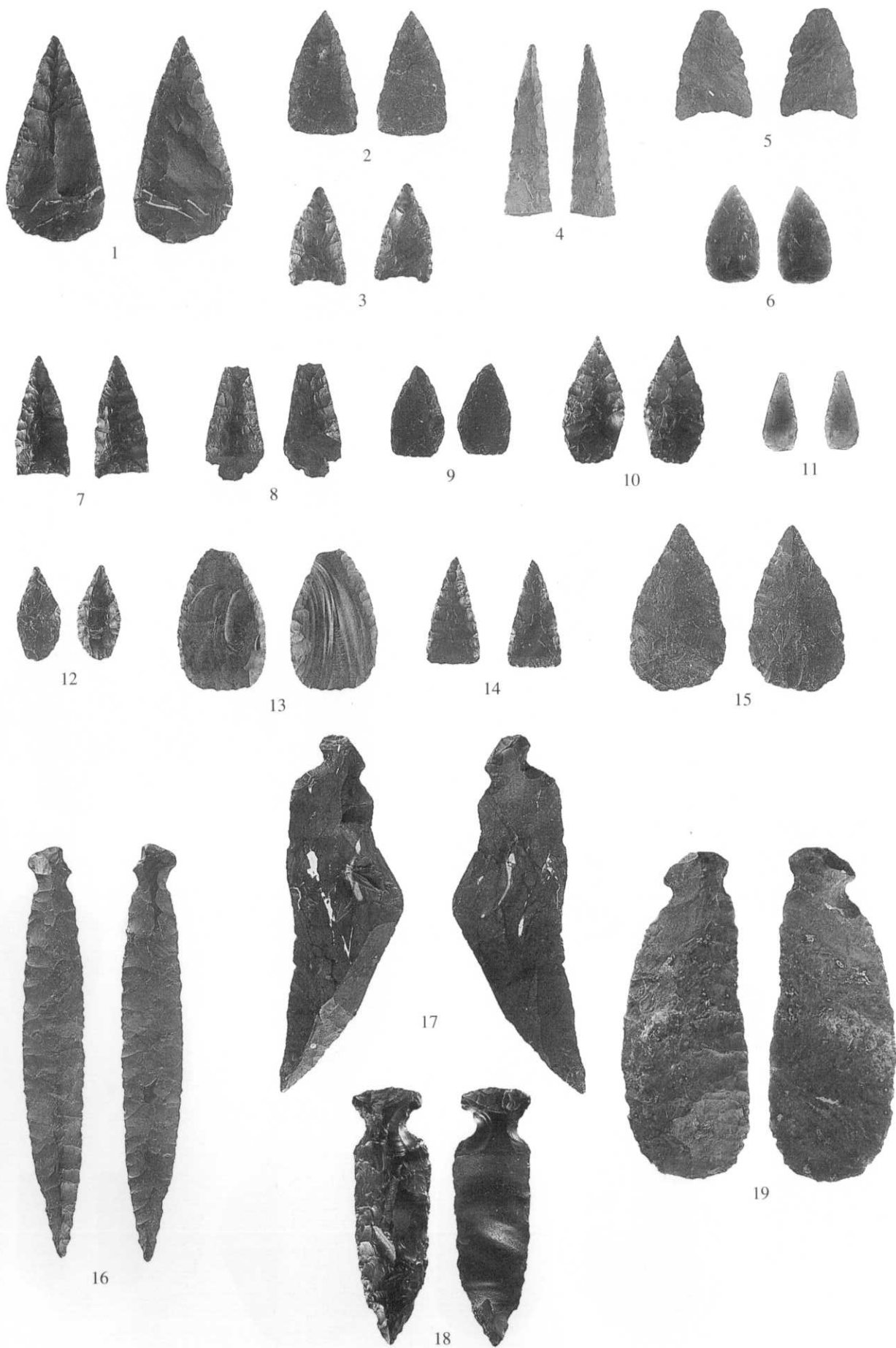


写真16 出土層位不明石器 (1)

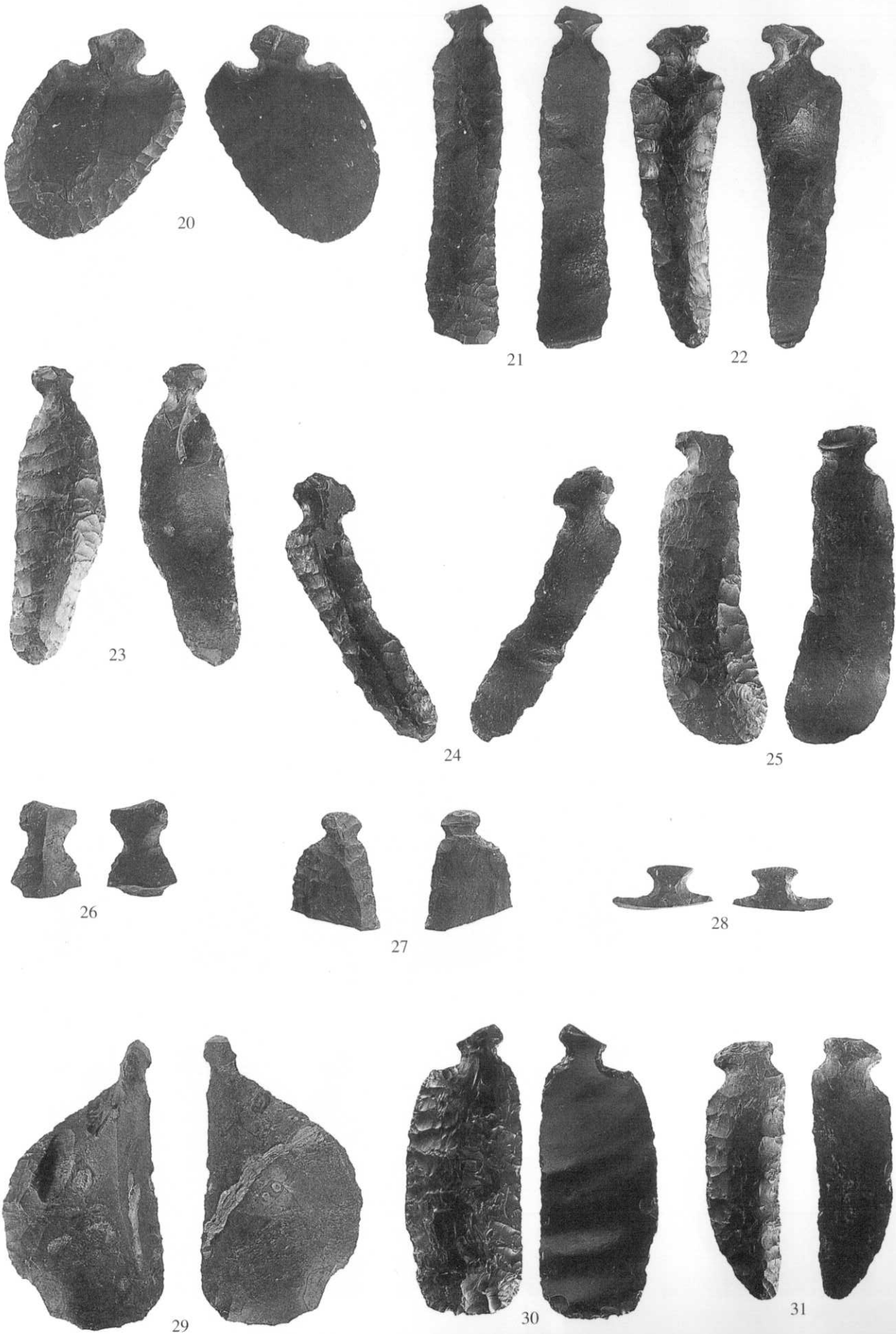
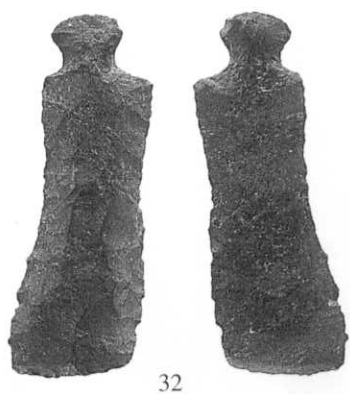
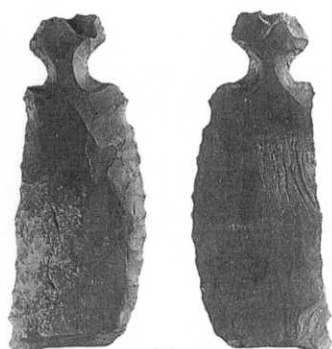


写真17 出土層位不明石器 (2)



32



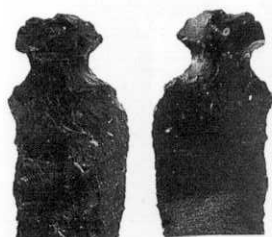
33



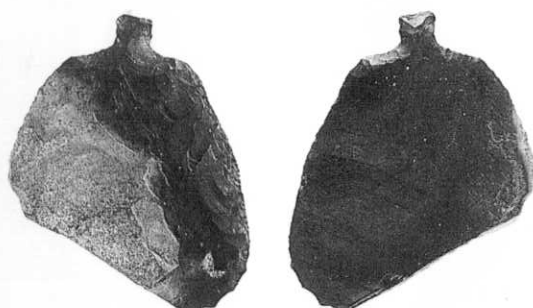
34



35



36



37



40



38



39



41



42



写真18 出土層位不明石器 (3)

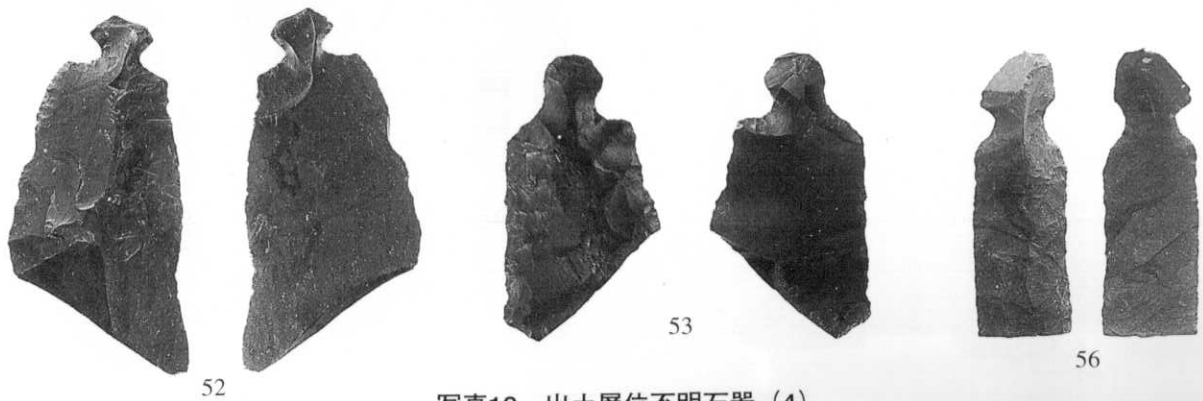
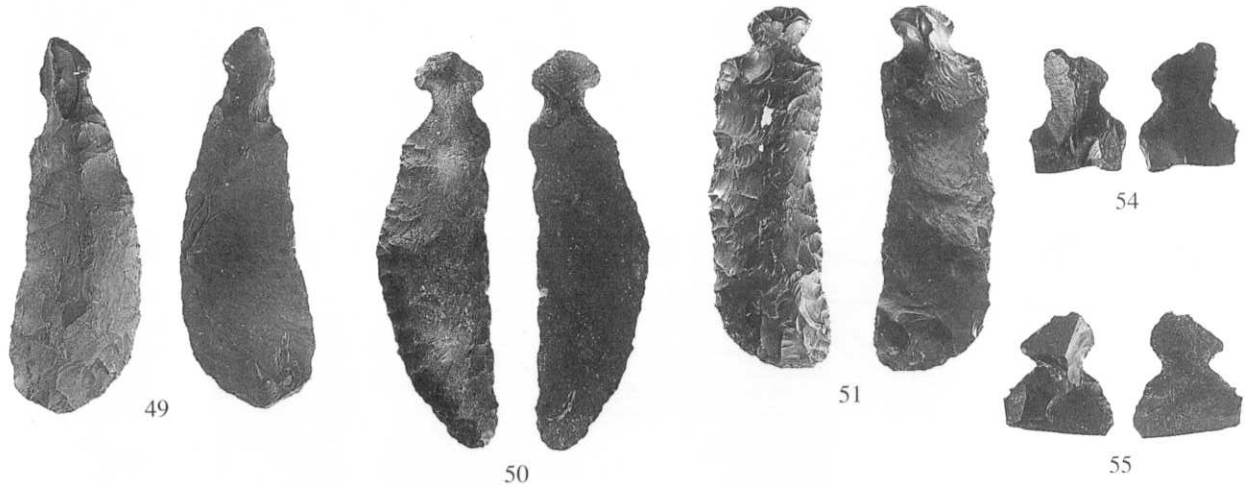
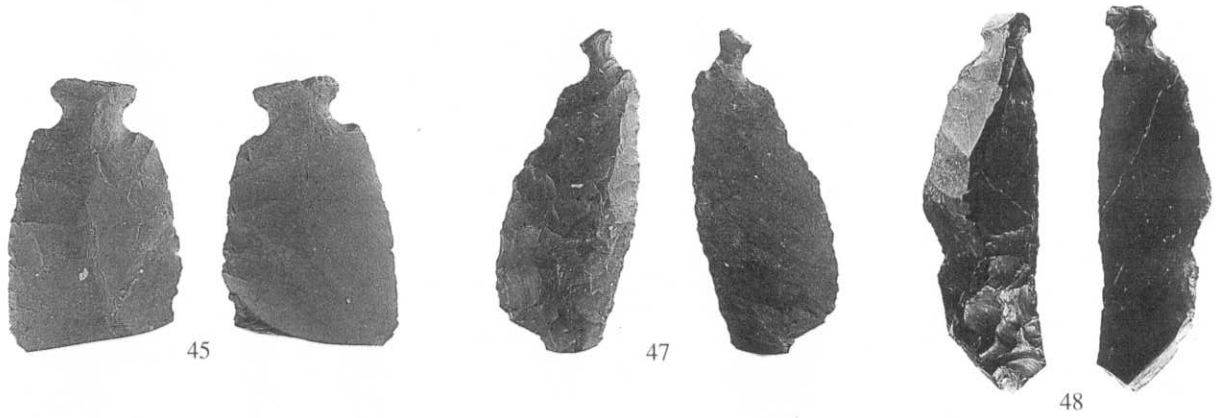
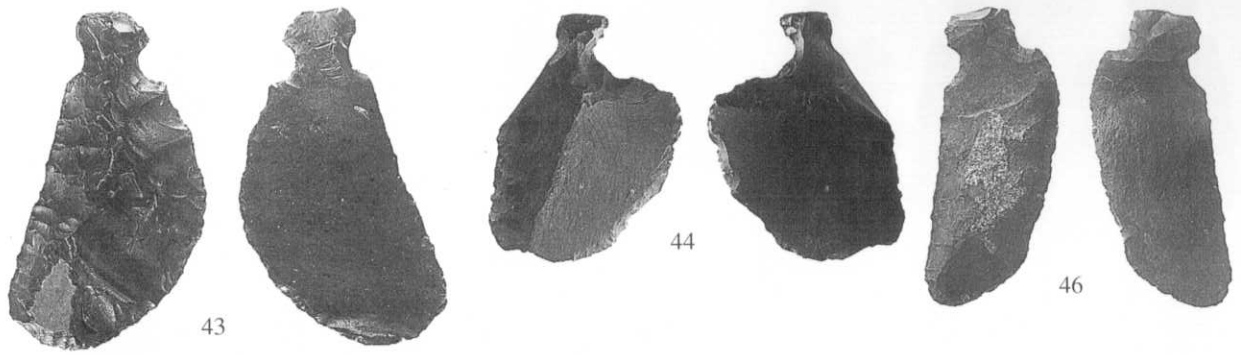


写真19 出土層位不明石器 (4)

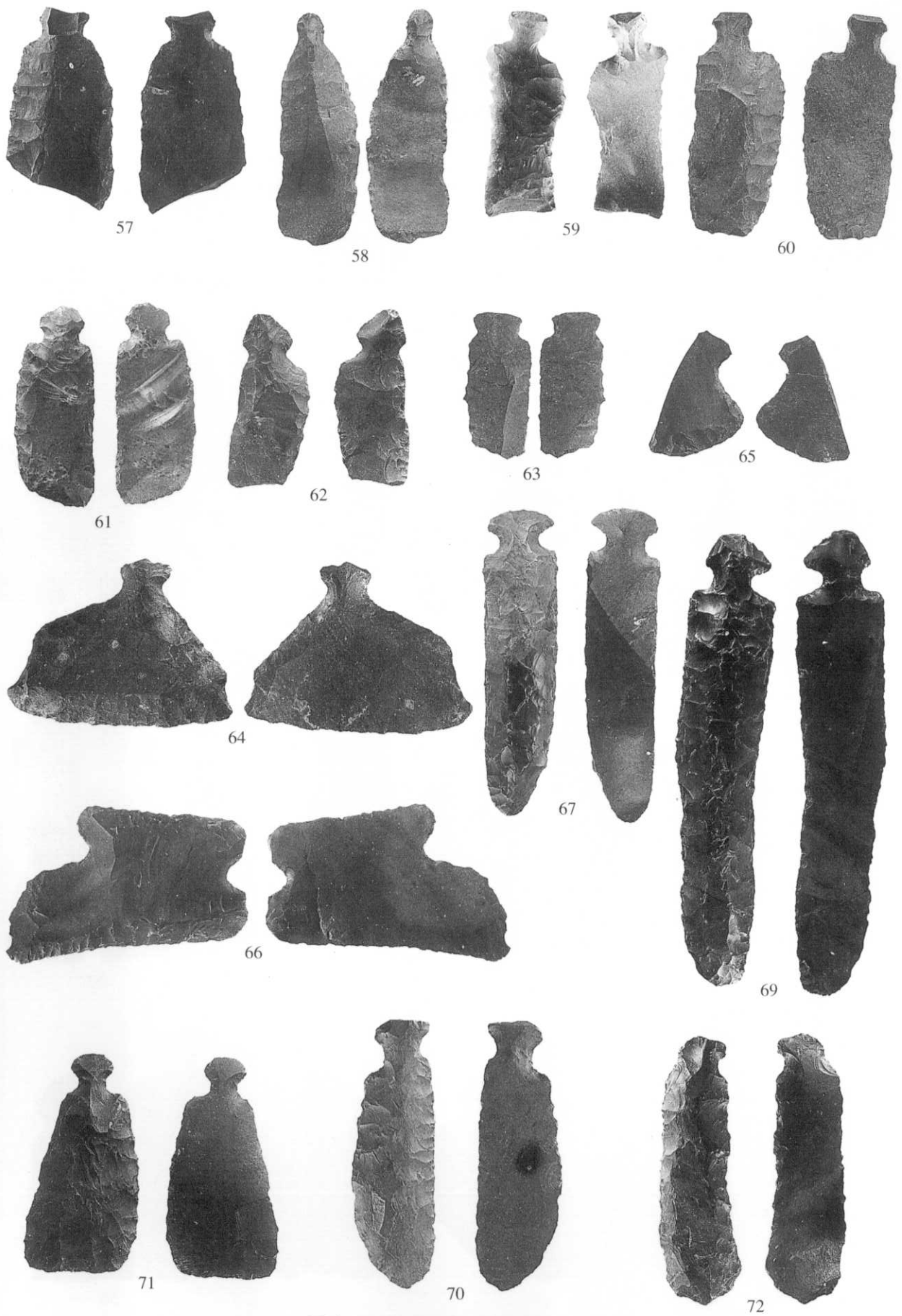


写真20 出土層位不明石器 (5)

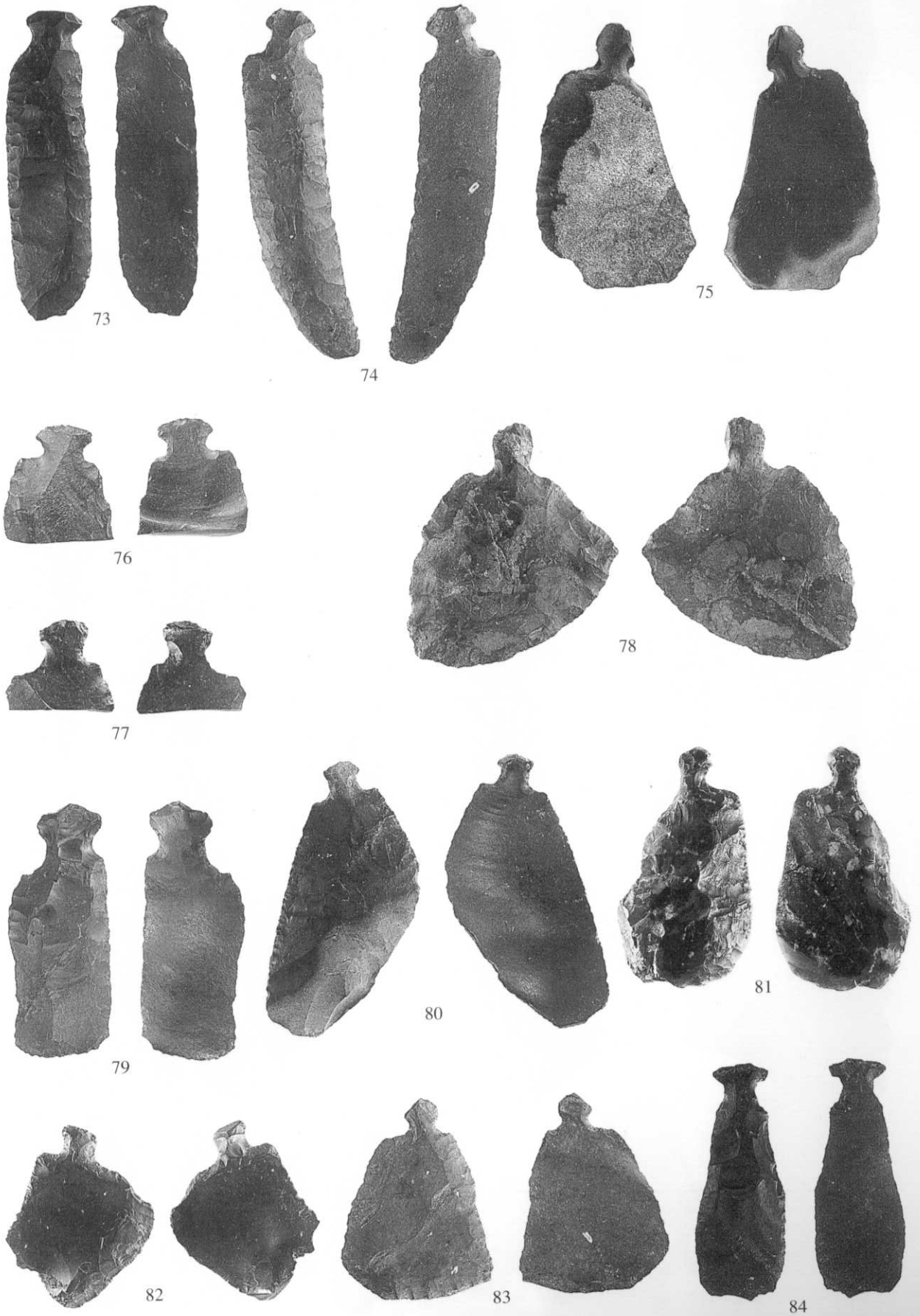


写真21 出土層位不明石器 (6)

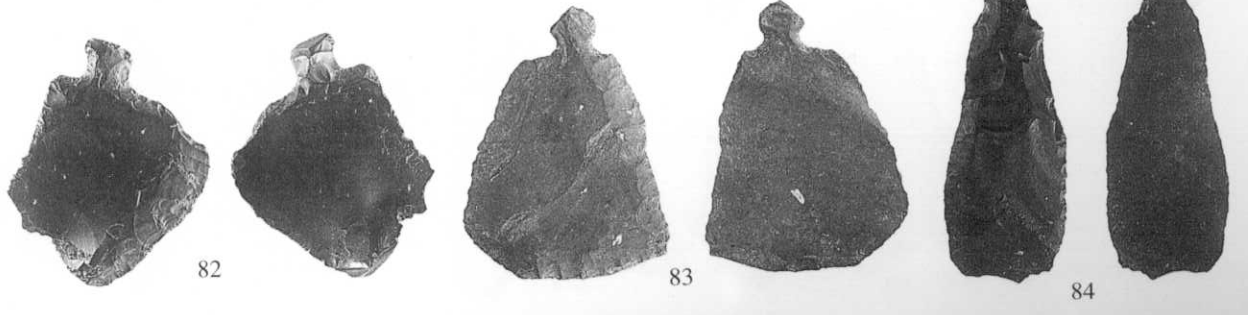
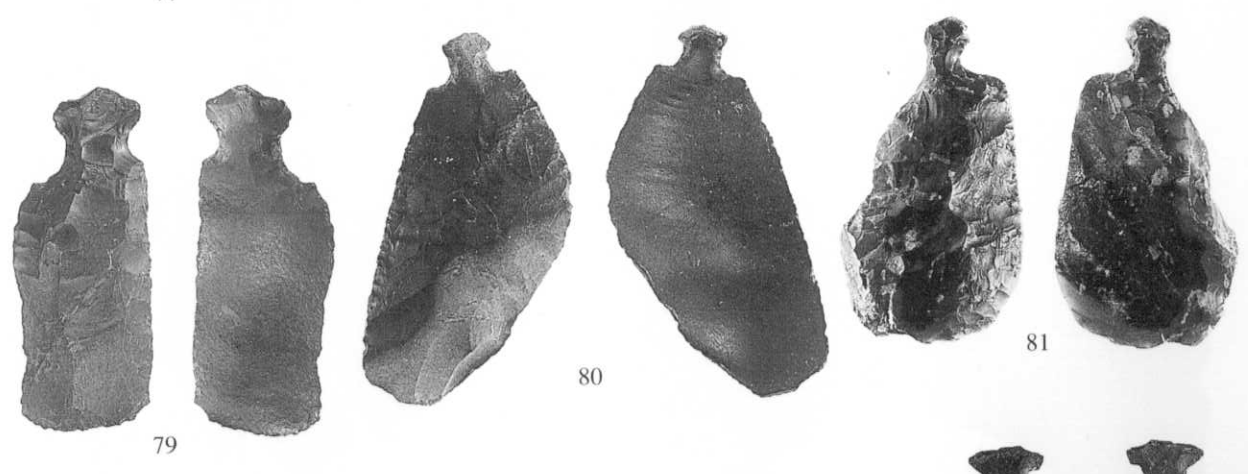
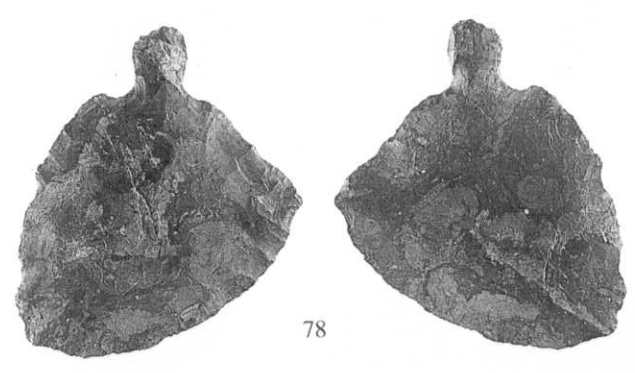
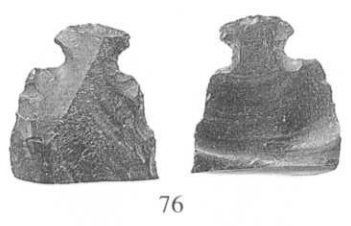
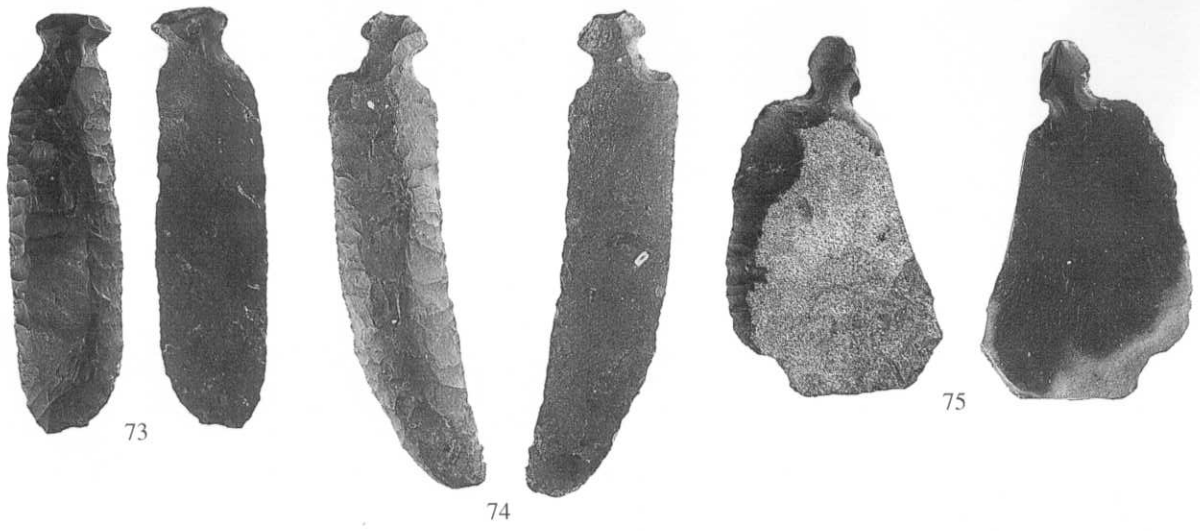


写真21 出土層位不明石器 (6)

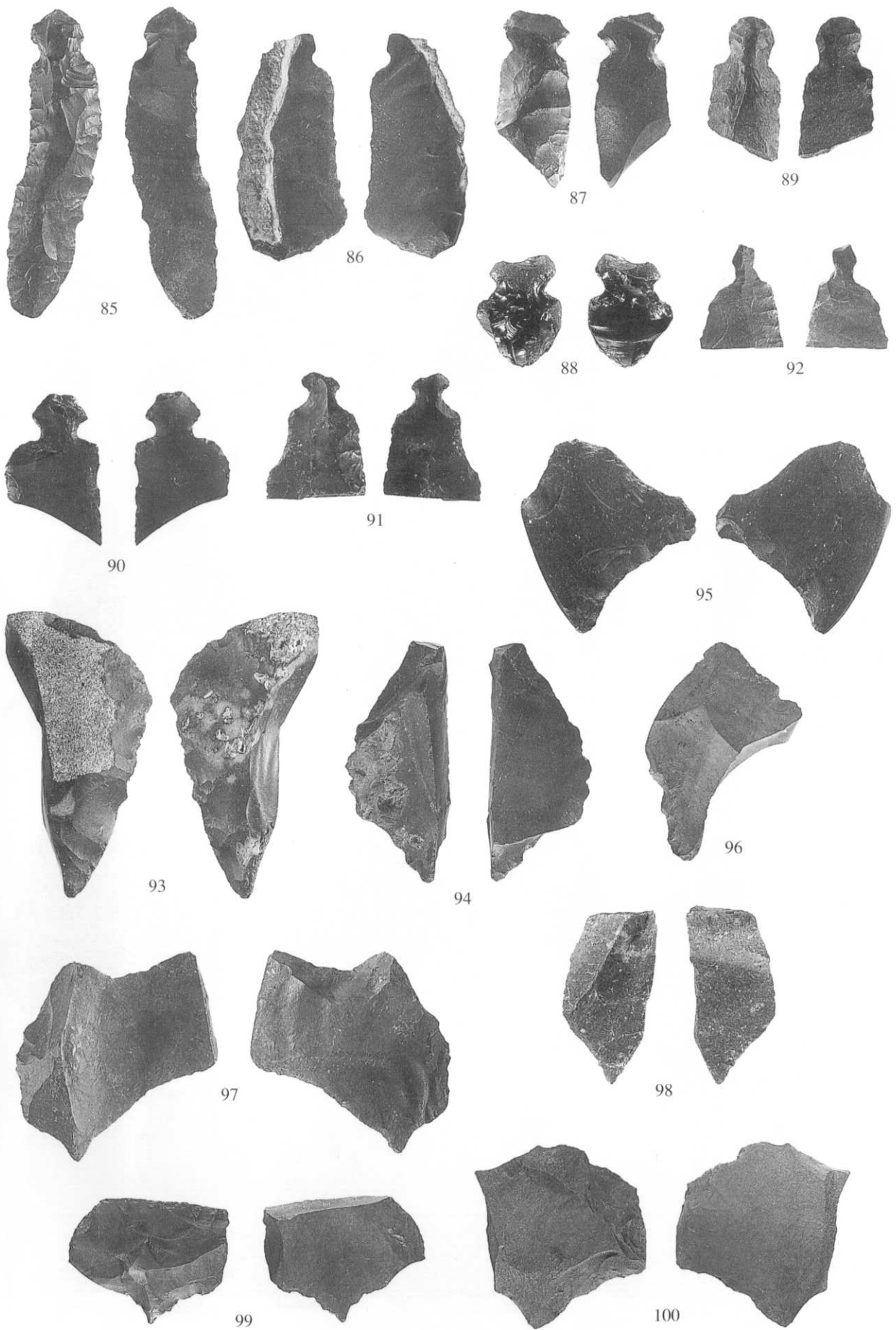


写真22 出土層位不明石器 (7)

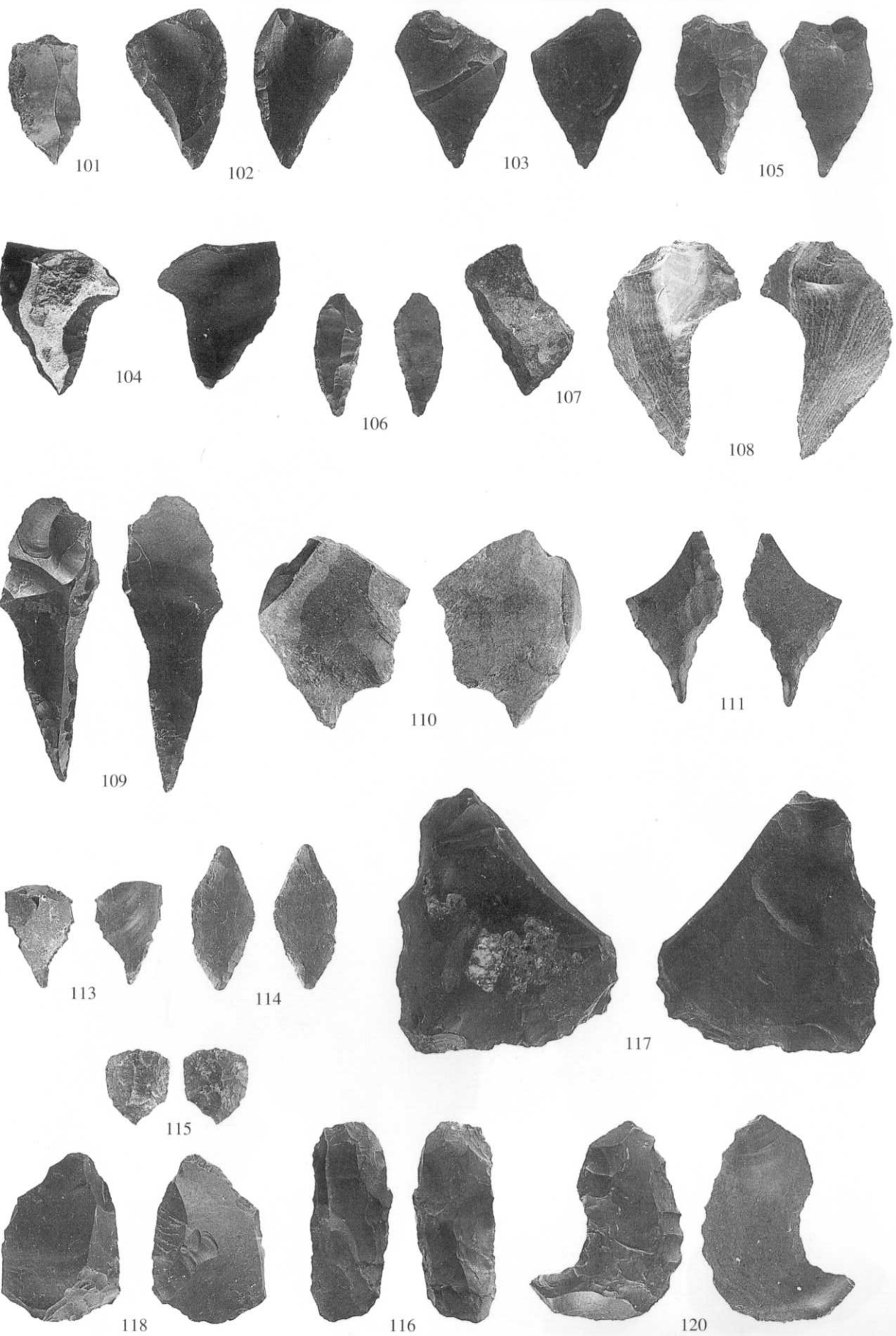


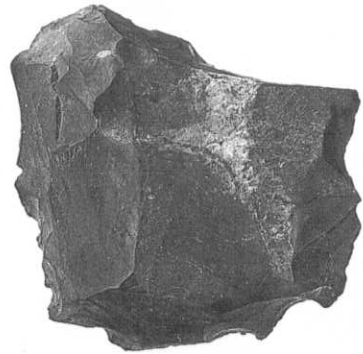
写真23 出土層位不明石器 (8)



119



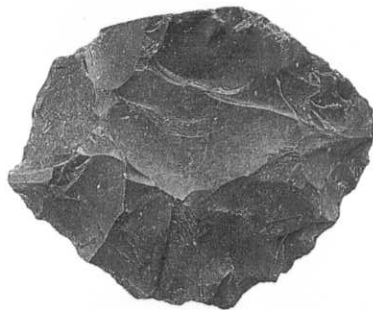
121



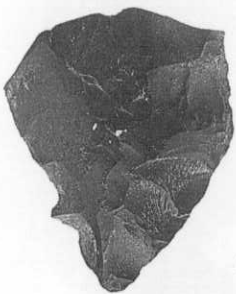
122



123



124



125



126



127



130



写真24 出土層位不明石器 (9)

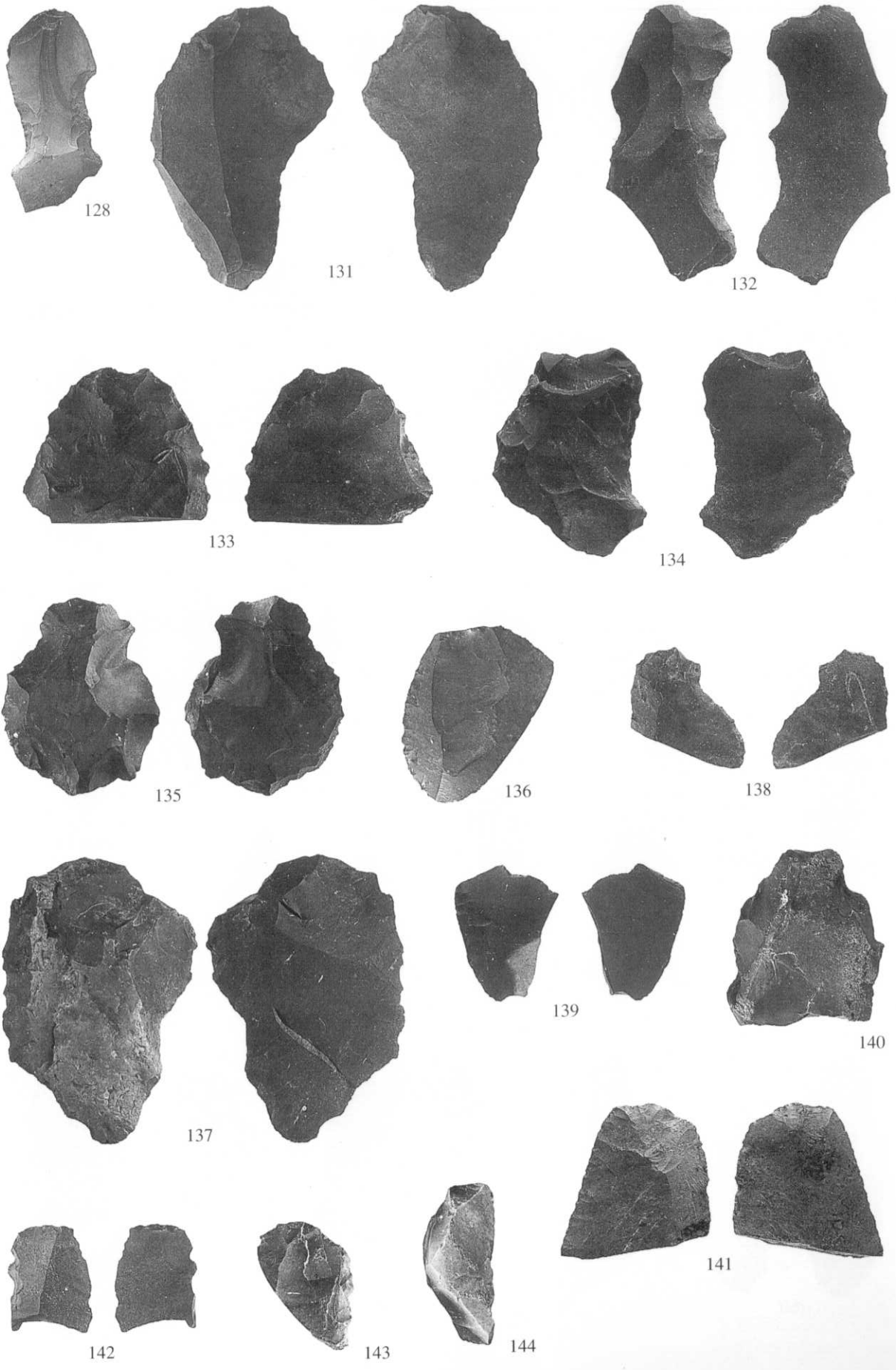


写真25 出土層位不明石器 (10)

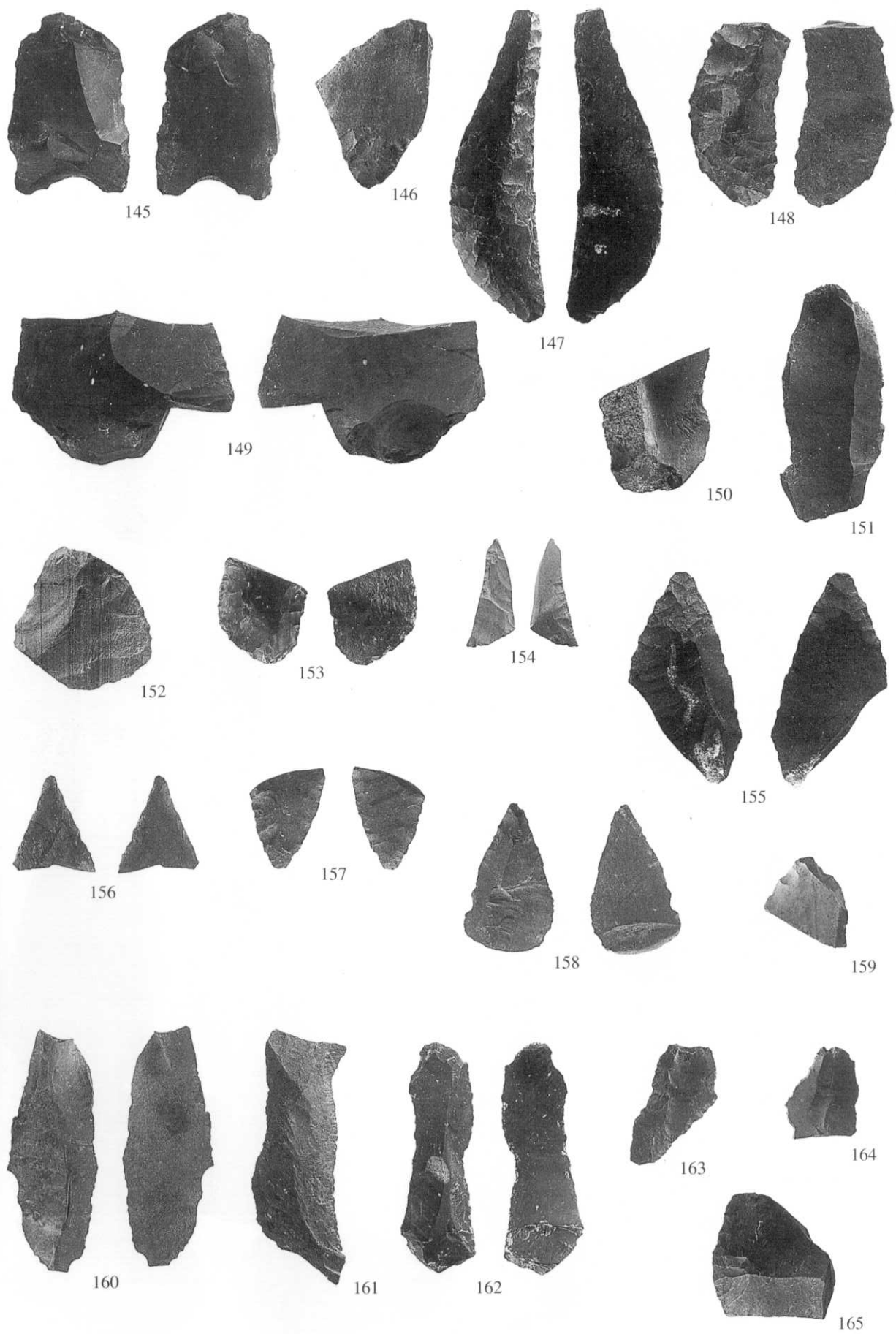


写真26 出土層位不明石器 (11)

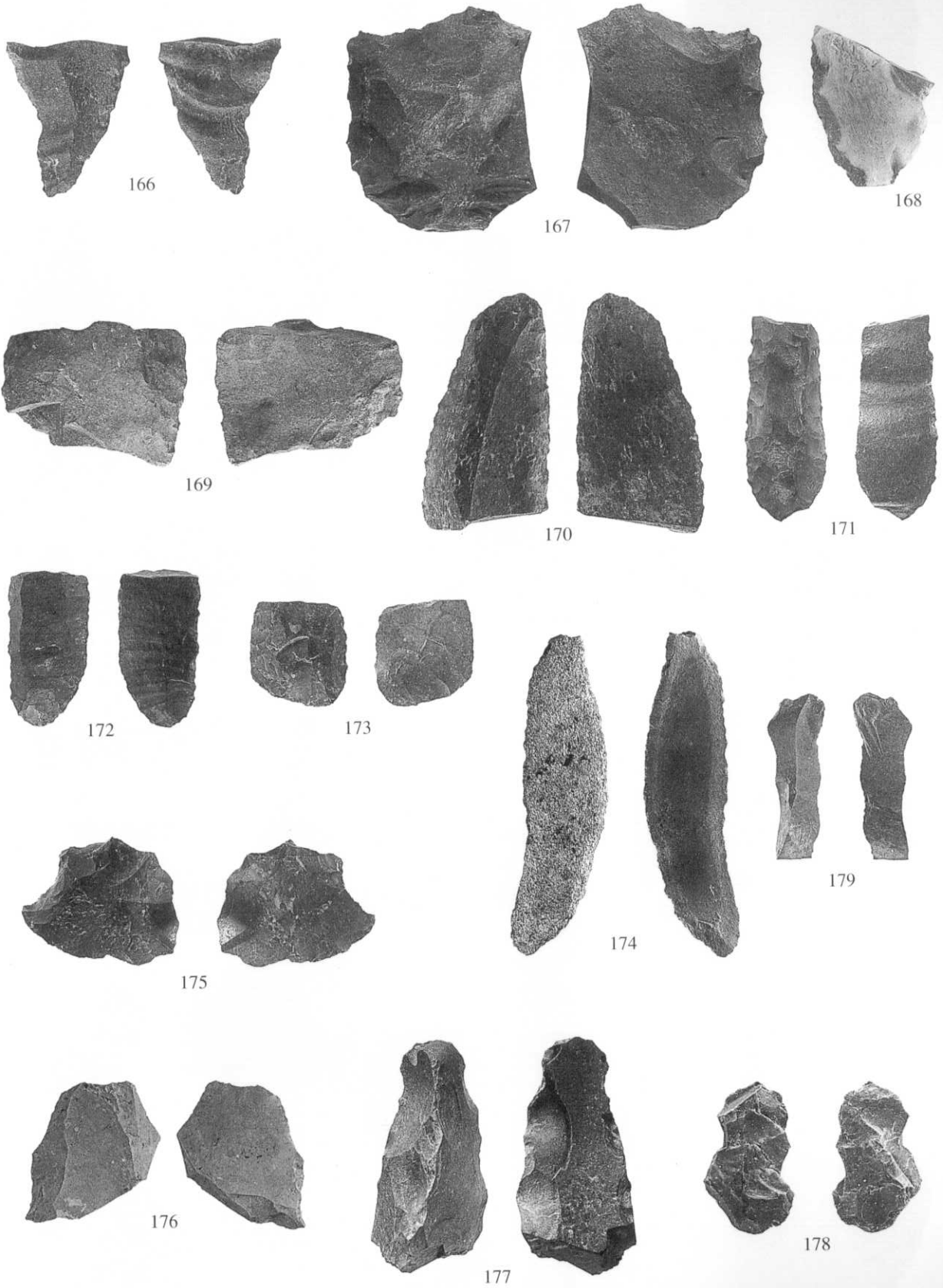
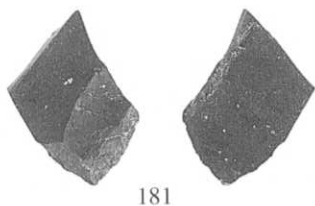


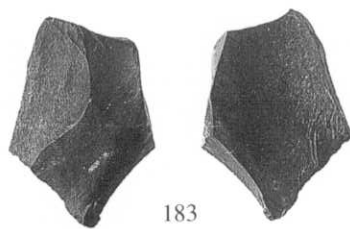
写真27 出土層位不明石器 (12)



180



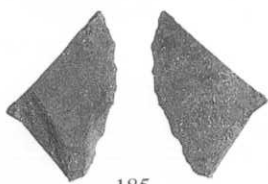
181



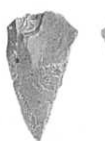
183



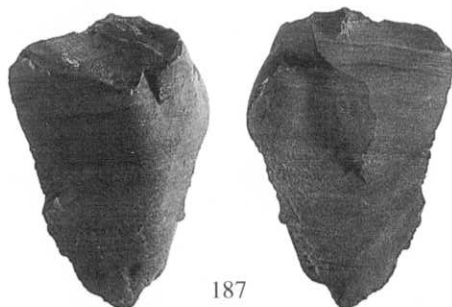
184



185



186



187



188



189



190



191



192



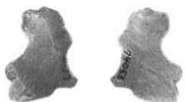
193



194



195



198



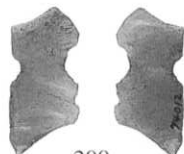
199



196



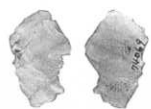
197



200



198+199



202



204+205



206

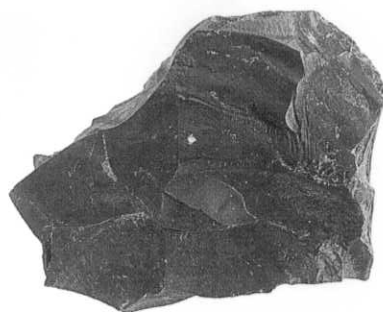
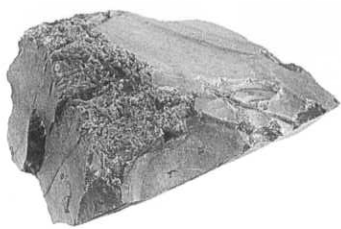


208

写真28 出土層位不明石器 (13)



207



211



210



212



213



214



写真29 出土層位不明石器 (14)

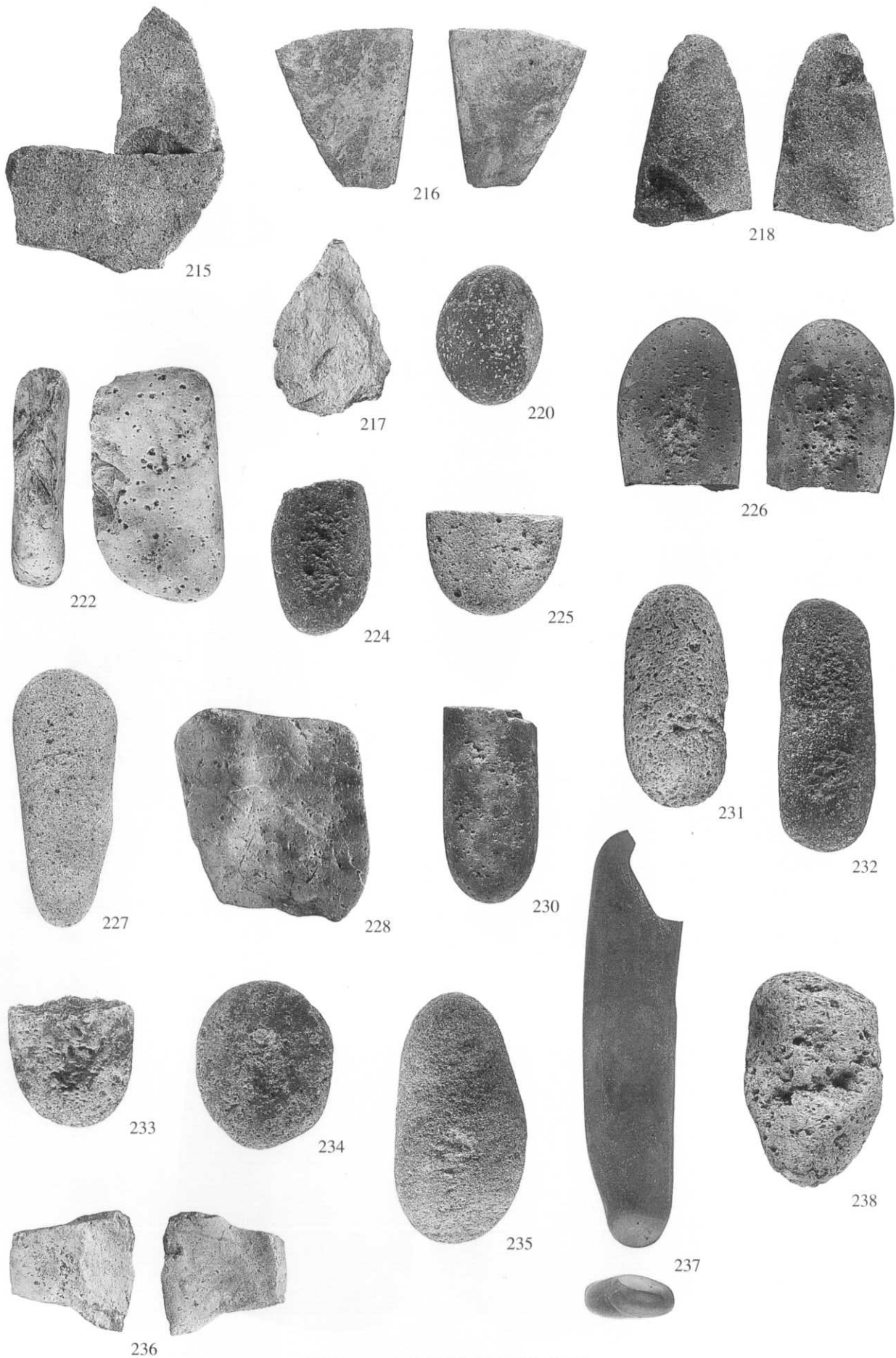
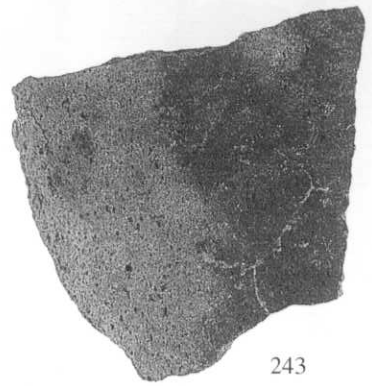


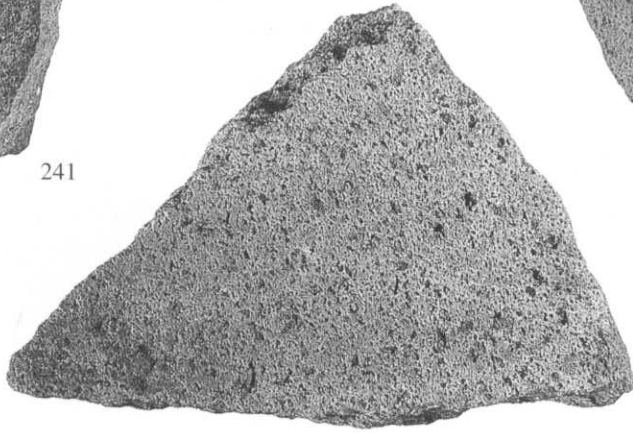
写真30 出土層位不明石器 (15)



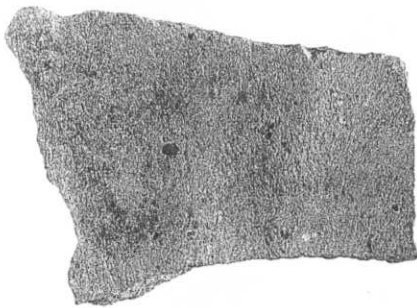
241



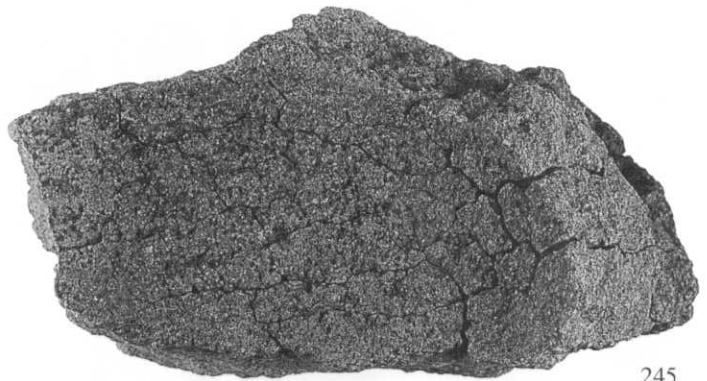
243



242



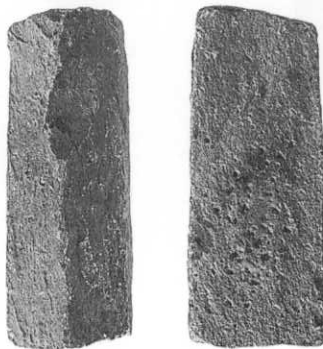
244



245



246



247



248

写真31 出土層位不明石器 (16)

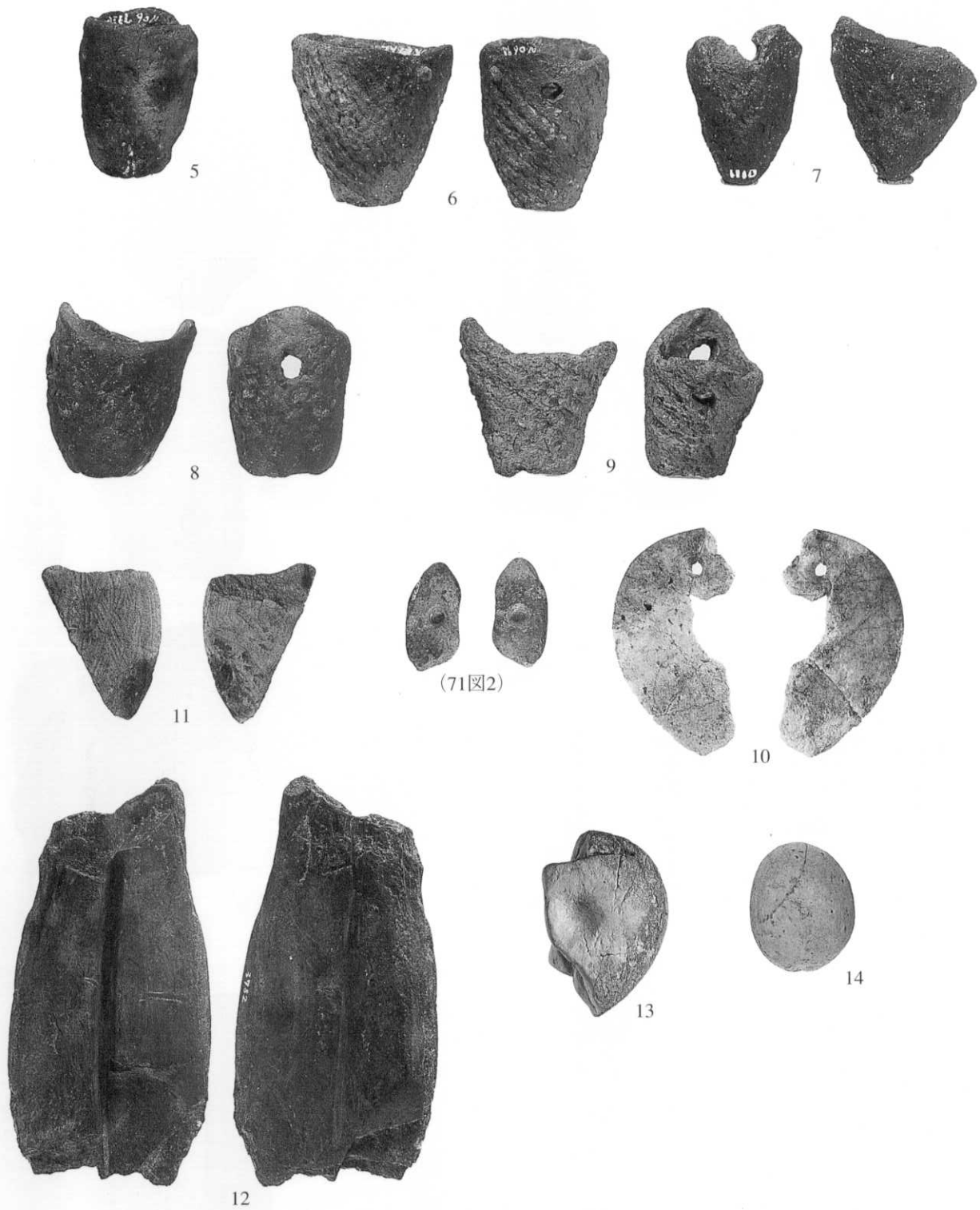


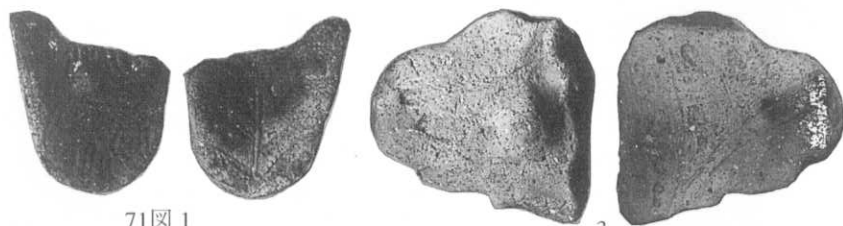
写真32 出土層位不明土・石製品



写真33 出土層位不明骨角器

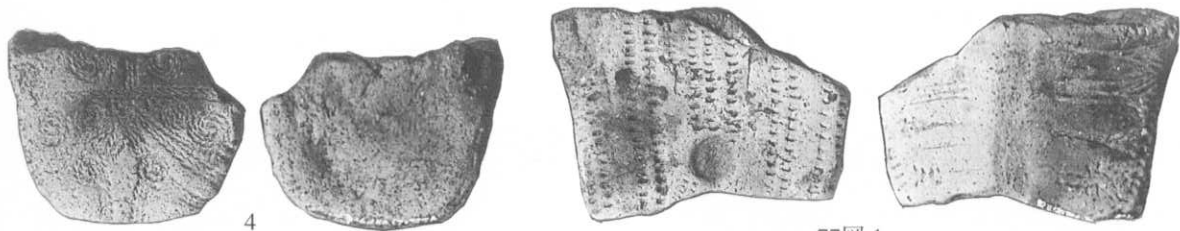


写真34 加工痕のあるもの



71图 1

3



4

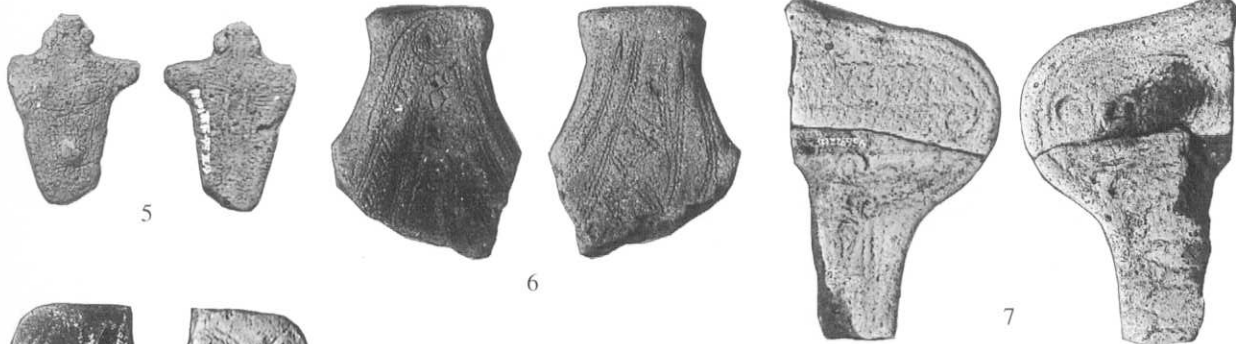
77图 1



2

3

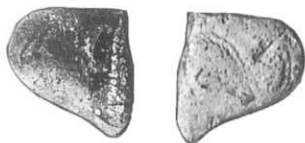
4



5

6

7



8

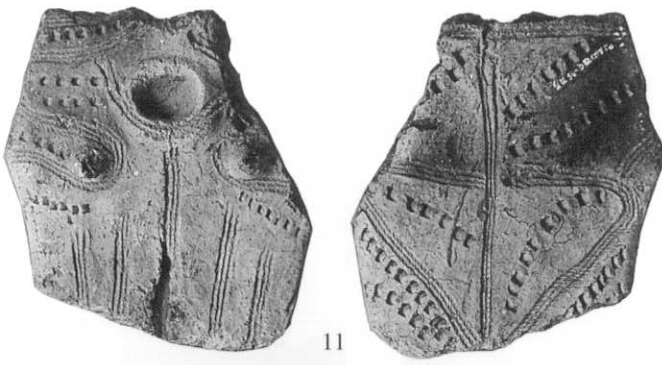


9



78图 10

写真35 土偶 (1)



11



12



第II層除去状況（包含層確認）



同左北側斜面

写真36 土偶（2）・調査風景

報 告 書 抄 録

ふりがな	さんないまるやまいせきはくつちょうさほうこくしょ
書名	三内丸山遺跡発掘調査報告書
副書名	第6鉄塔地区発掘調査報告書3
巻字	
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第289集
編著者名	中村美杉・斎藤岳・小笠原雅行・葛城和穂
編集機関	青森県教育庁文化課
所在地	青森市新町2丁目3番1号
発行年月日	西暦2000年7月19日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
さんないまるやまいせき 三内丸山遺跡	あおもりけんあおもりし おおあざさんないあざまるやま 青森県青森市大字三内字丸山	02201	01021	40° 48' 40"	140° 42' 20"	1992.8.1~11.30 1993.4.20~7.22	169㎡	鉄塔移設 に先立つ 緊急調査

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
三内丸山遺跡	集落跡	縄文時代		縄文土器(前・中期) 石器(前・中期) 骨角器(前期) (今回報告分)	縄文時代前期末~中期後葉 の土砂を主体とする大規模 な遺物包含層 縄文時代前期半葉の泥炭層 からの有機質遺物の出土

青森県埋蔵文化財調査報告書第289集

三内丸山遺跡 XVI

—第6 鉄塔地区調査報告書 3—

発行日 平成12年 7月19日

発 行 青森県教育委員会

編 集 青森県教育庁文化課
〒030-0801 青森市新町 2丁目 3-1
電話 017-734-9924

印刷所 東北印刷工業株式会社
〒030-0902 青森市合浦 1丁目 2-12
